

Ⅲ 調査結果の分析

1 定 住 性

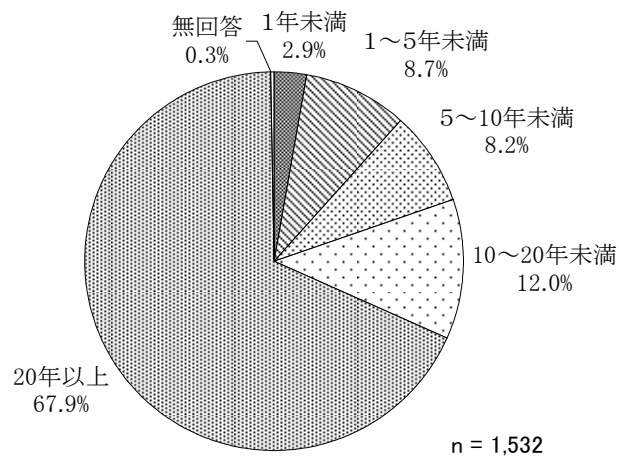
-
- (1) 居住年数
 - (2) 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点
 - (3) 総合的な暮らしやすさ
 - (4) 定住・移転意向
-

1 定 住 性

(1) 居住年数

●20年以上の【長期居住者】が全体の67.9%を占める

問1 あなたは、足立区に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)



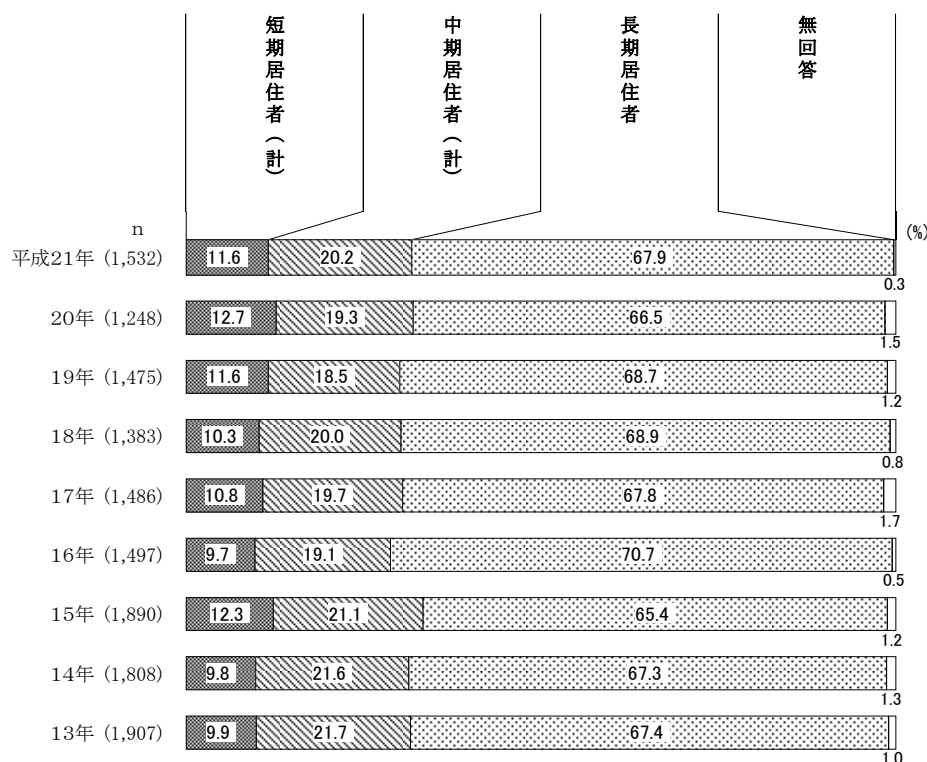
区民の居住年数は、「20年以上」の【長期居住者】が67.9%と7割近くを占めている。また、「5～10年未満」(8.2%)と「10～20年未満」(12.0%)を合わせた【中期居住者】は20.2%、「1年未満」(2.9%)と「1～5年未満」(8.7%)を合わせた【短期居住者】は11.6%となっている。

居住年数を経年でみると、ここ数年は数字に大きな変化はみられない。

図 1-1-1 経年変化 居住年数

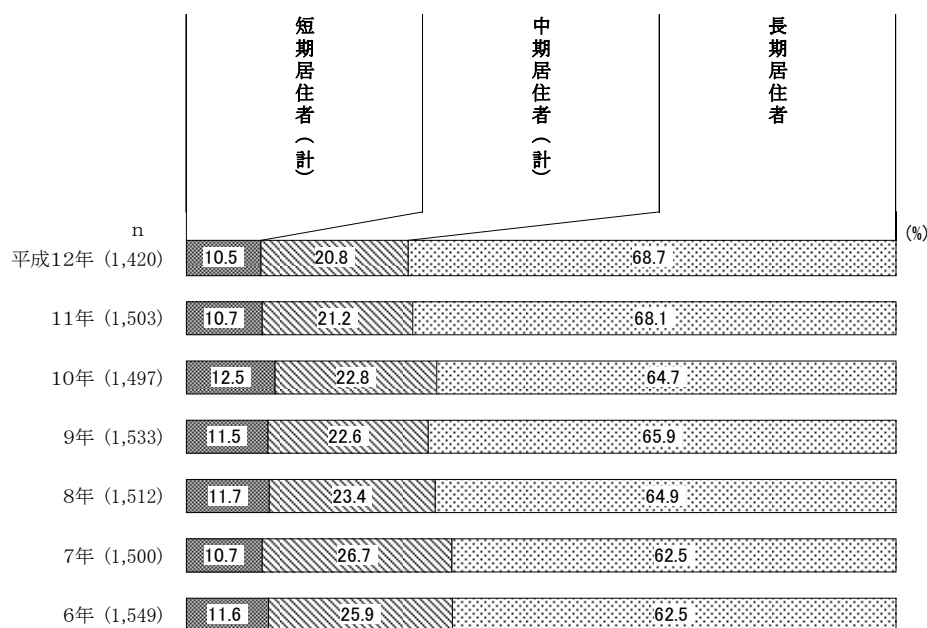
(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)

問 1 あなたは、足立区に住んで何年になりますか。(〇は1つだけ)



(平成12年まで 訪問面接法)

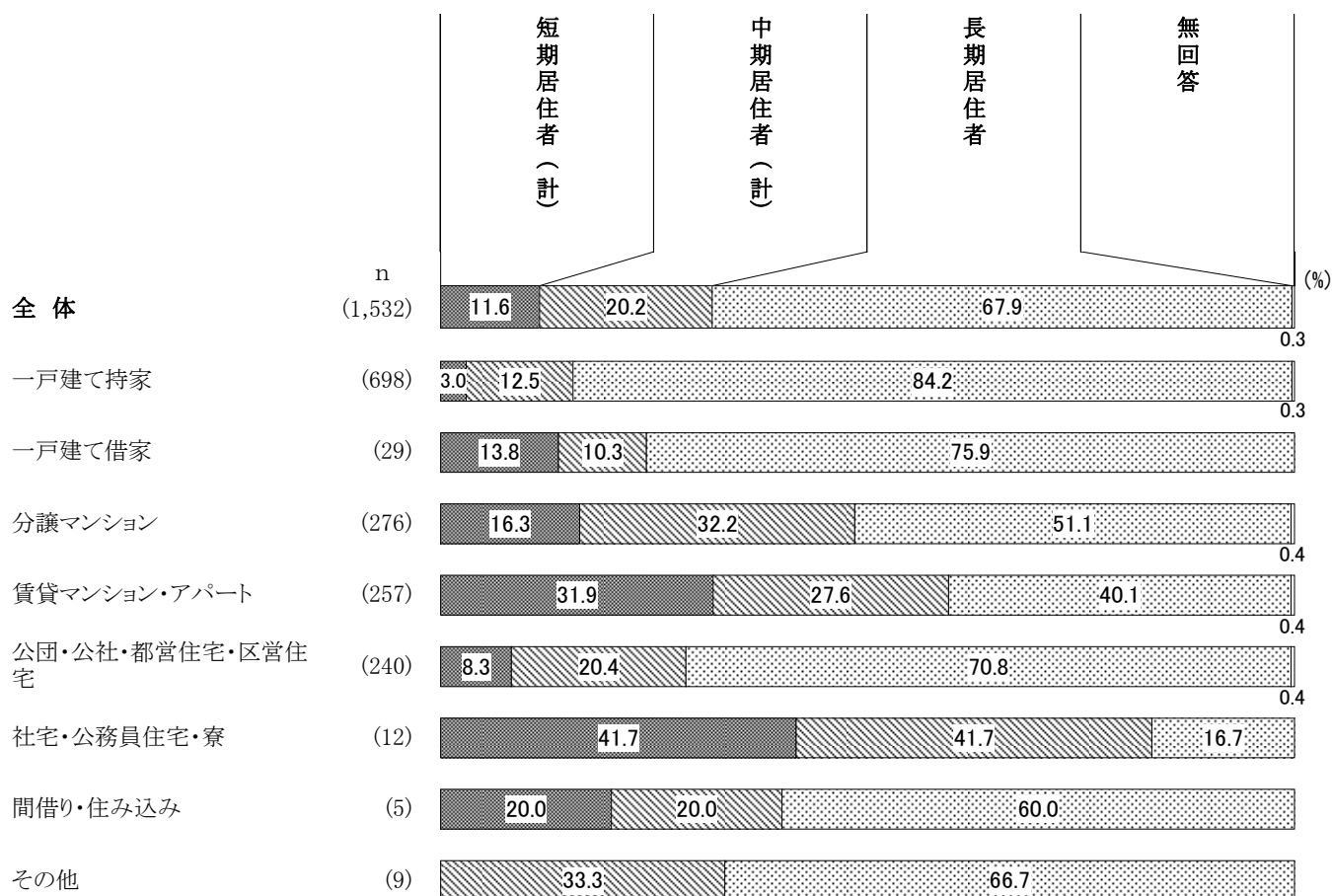
問 あなたは、足立区に住んで何年になりますか。(〇は1つ)



(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法(平成12年までは訪問面接法、13年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

住居形態別でみると、一戸建て持家では、【長期居住者】が84.2%と8割台半ばを占めているほか、公団・公社・都営住宅・区営住宅でも、70.8%と7割を超えている。また、賃貸マンション・アパートでは、【短期居住者】が31.9%と3割を超えている。

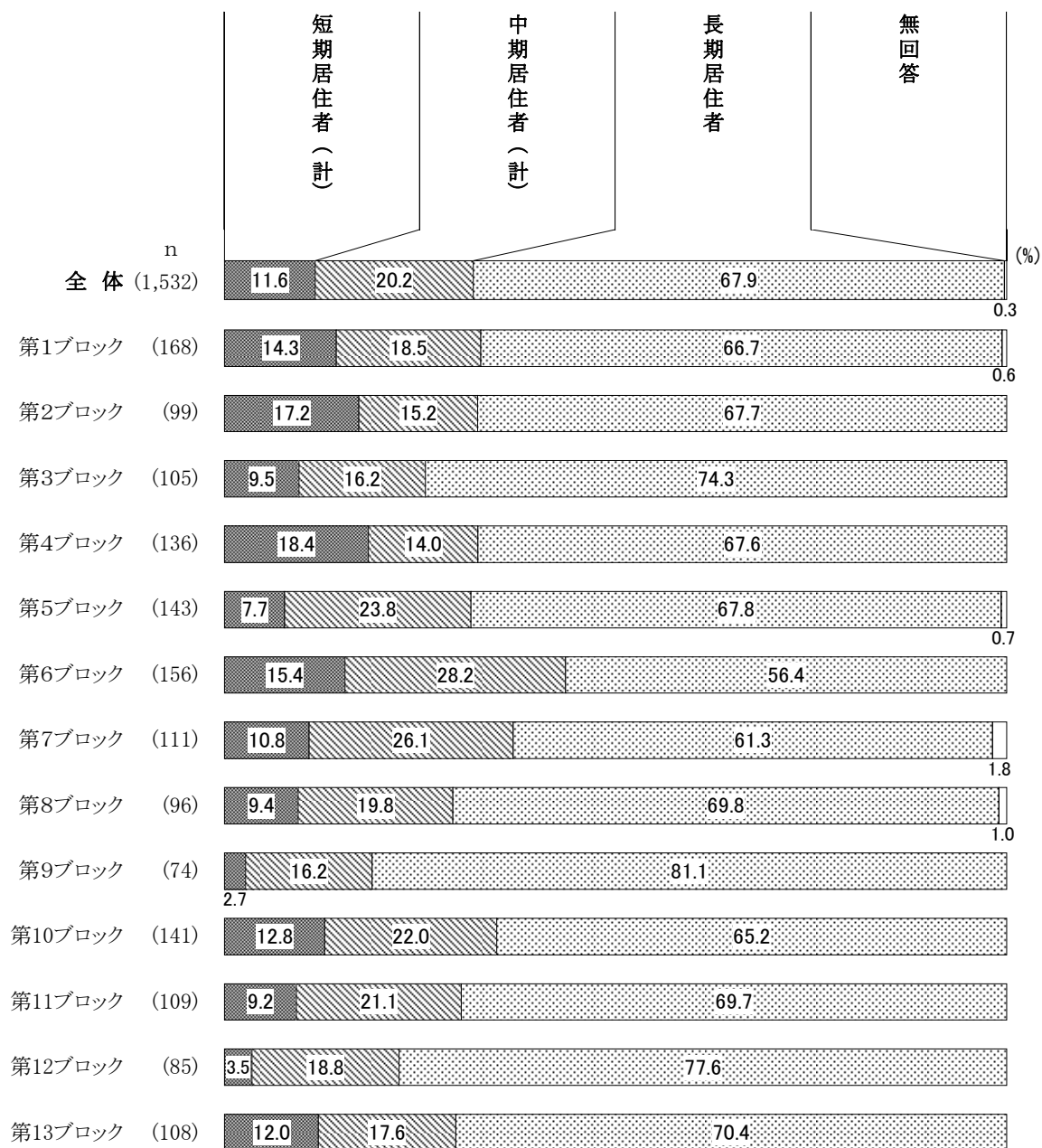
図1-1-2 住居形態別 居住年数



(注) 回答者が極度に少ないものについては、分析でふれていない。

地域ブロック別でみると、第9ブロックでは、【長期居住者】が81.1%と8割を超えているほか、第12ブロックでも77.6%と8割近くを占めている。一方、第6、第7ブロックでは、【長期居住者】が他のブロックよりやや少なく、【中期居住者】が、それぞれ28.2%、26.1%と高くなっている。

図 1-1-3 地域ブロック別 居住年数

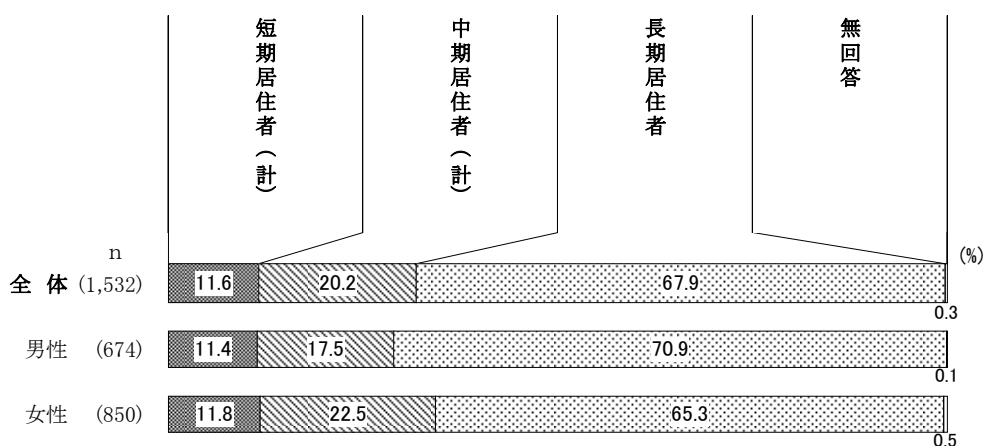


ブロック区分



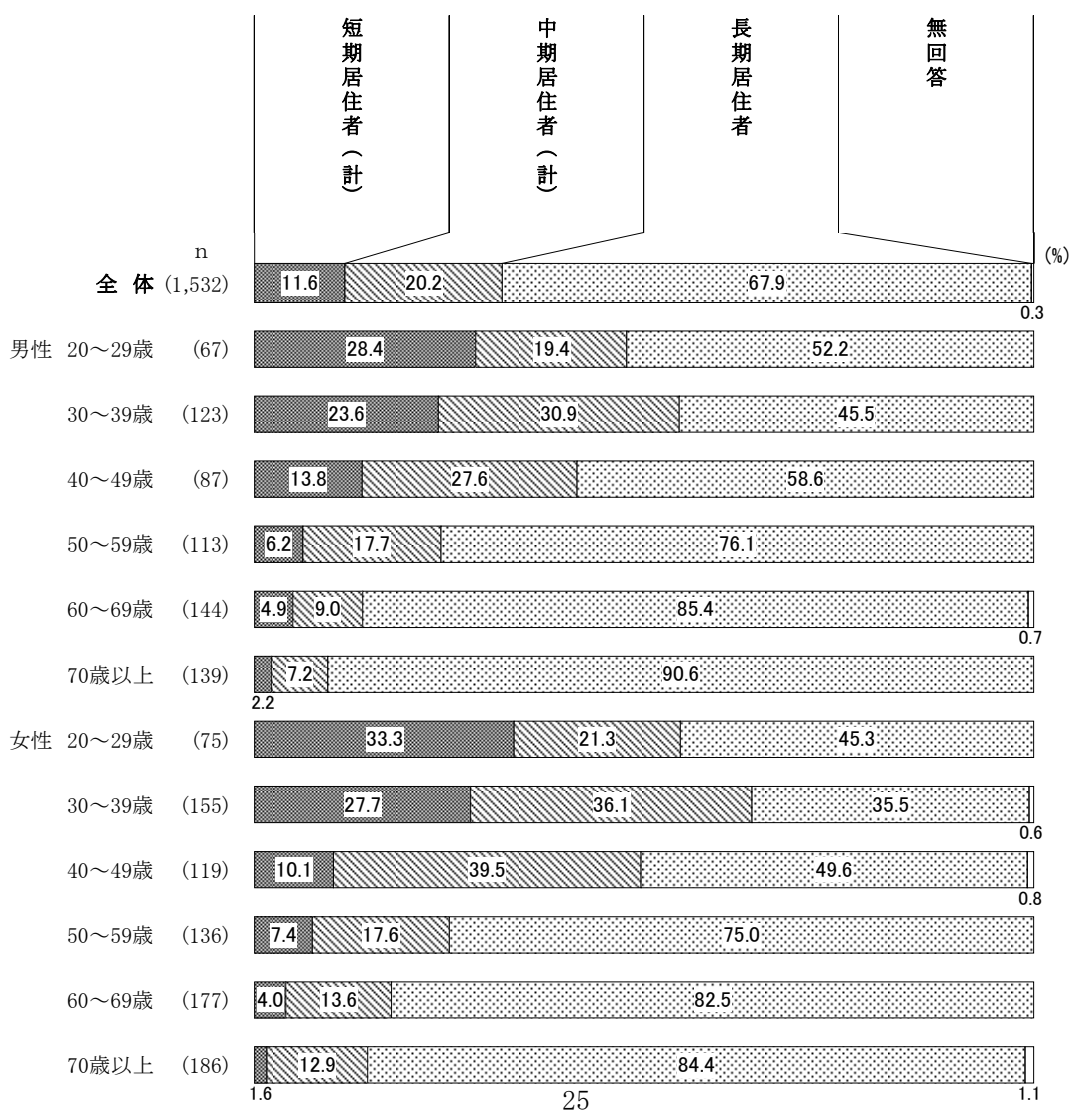
性別でみると、「長期居住者」は、男性が70.9%、女性が65.3%となっている。

図 1-1-4 性別 居住年数



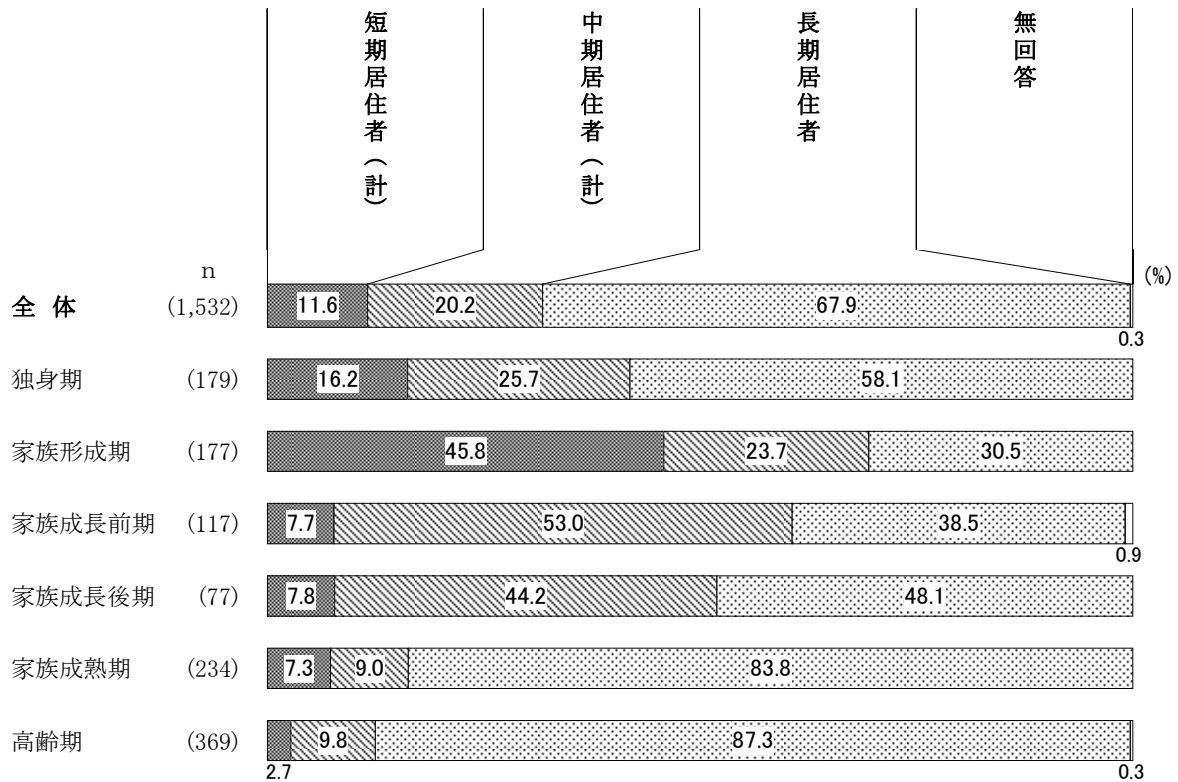
性・年代別でみると、男性では、40代以上で【長期居住者】は年齢が高くなるにつれて増加する傾向を示し、70歳以上では90.6%に達している。女性でも、【長期居住者】はほぼ同様の増加傾向を示しており、60代では82.5%、70歳以上では84.4%に達している。

図 1-1-5 性・年代別 居住年数



ライフステージ別でみると、家族形成期では、【短期居住者】が45.8%を占めて多くなっている。家族成長前期、家族成長後期では、【中期居住者】が、それぞれ53.0%、44.2%と増加し、家族成熟期、高齢期になると、【長期居住者】が、いずれも8割を超えている。

図 1-1-6 ライフステージ別 居住年数



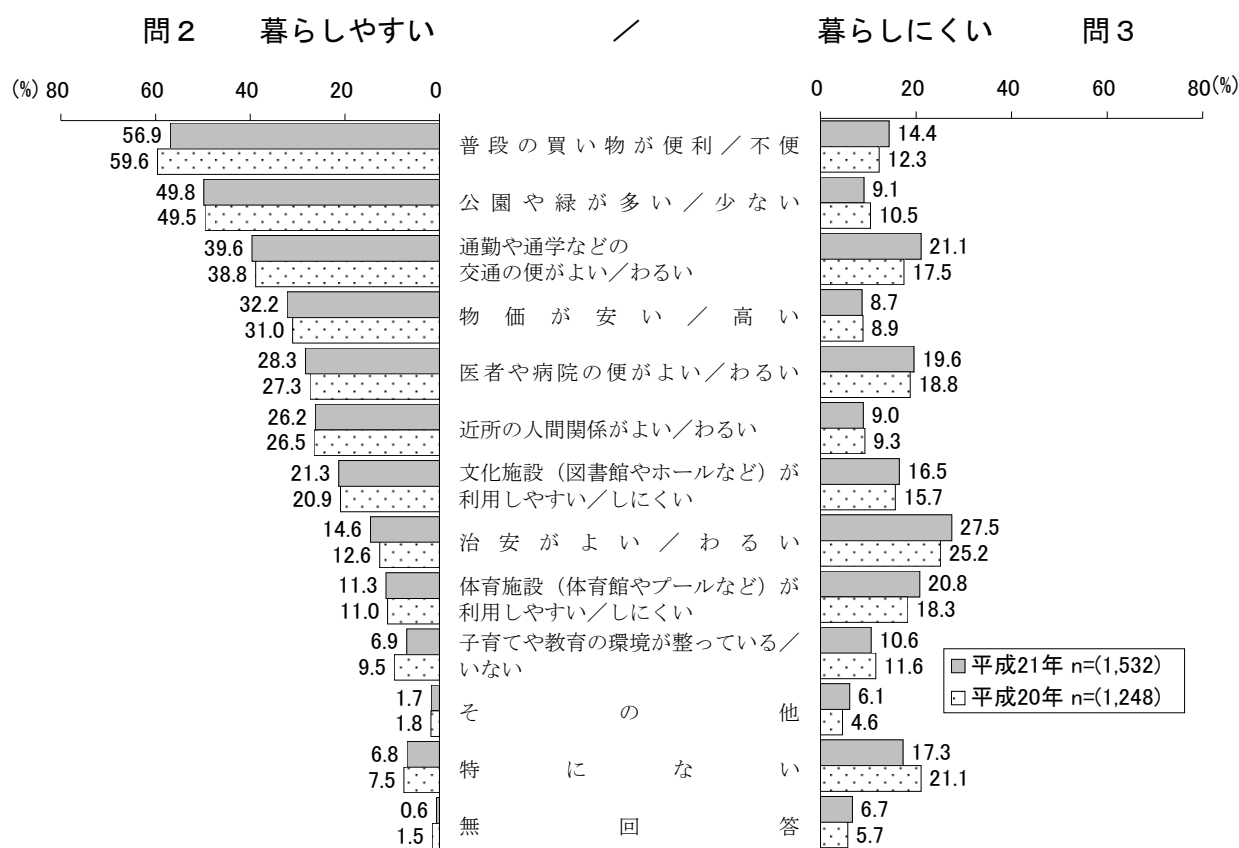
(2) 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点

●暮らしやすい点は「普段の買い物が便利」が最も高い

暮らしにくい点は「治安がわるい」が最も高い

問2 あなたのお住まいの地域について、暮らしやすいと感じる点は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

問3 あなたのお住まいの地域について、暮らしにくいと感じる点は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



居住地域の暮らしやすいと感じる点は、「普段の買い物が便利」が56.9%で最も高く、以下、「公園や緑が多い」（49.8%）、「通勤や通学などの交通の便がよい」（39.6%）、「物価が安い」（32.2%）、「医者や病院の便がよい」（28.3%）の順で続いている。

前回の調査結果と比較すると、上位項目に、大きな順位、比率の変化はみられない。

一方、暮らしにくいと感じる点は、「治安がわるい」が27.5%を占めて最も多く、以下、「通勤や通学などの交通の便がわるい」（21.1%）、「体育施設（体育館やプールなど）が利用しにくい」（20.8%）、「医者や病院の便がわるい」（19.6%）、「文化施設（図書館やホールなど）が利用しにくい」（16.5%）、「普段の買い物が不便」（14.4%）の順で続いている。一方、「特にない」は17.3%となっている。

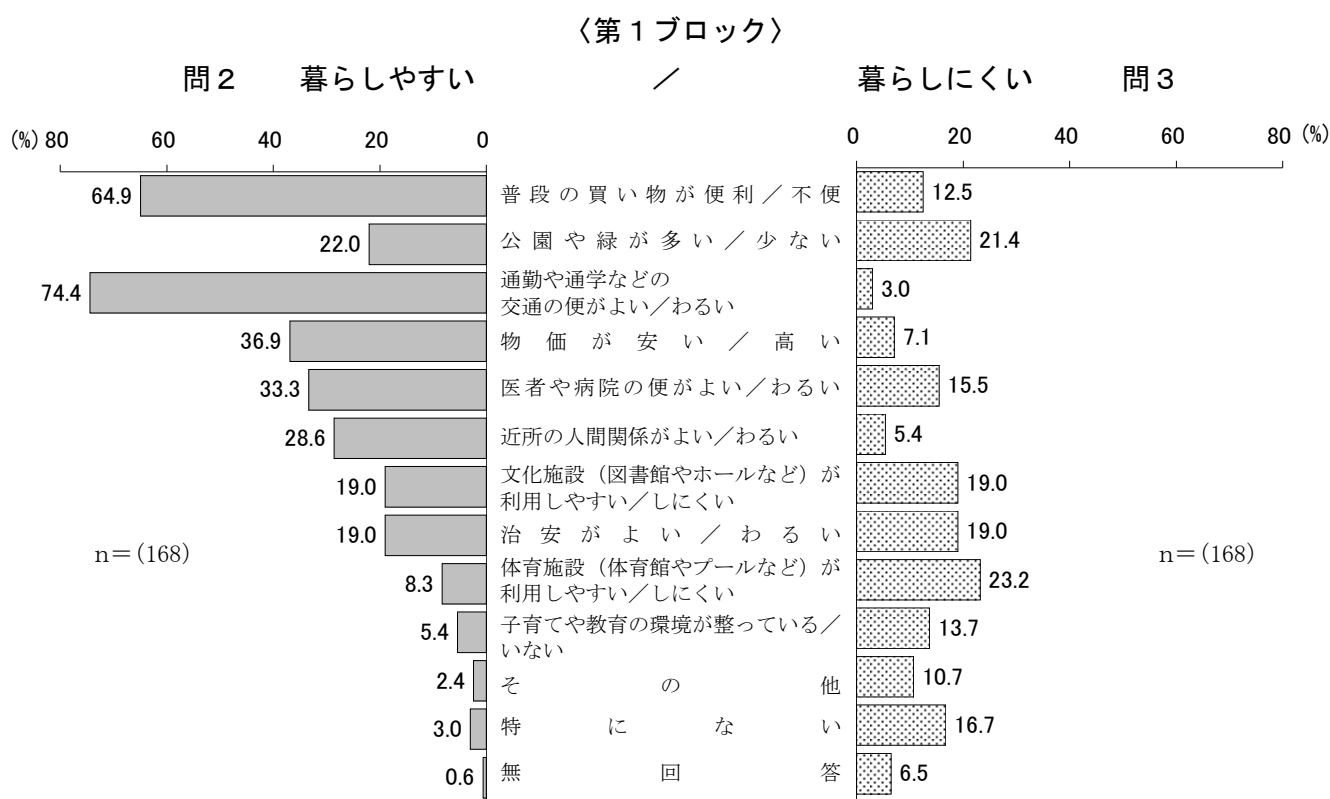
前回の調査結果と比較すると、「通勤や通学など交通の便がわるい」が、前回の17.5%から3.6ポイント増加している。

地域ブロック別で暮らしやすさをみると、全体で第1位の「普段の買い物が便利」は、第4、第6、第8ブロックで、それぞれ72.8%、69.9%、72.9%と7割前後を占め、とくに高くなっている。全体で第2位の「公園の緑が多い」は第6、第7、第9、第12ブロックで、いずれも7割近くを占めている。

また、全体で第3位の「通勤や通学などの交通の便がよい」は、第1ブロックで74.4%と最も高く、第4、第5ブロックでも、5割台の高い値を示している。

暮らしにくさをみると、全体で第1位の「治安がわるい」は、第8ブロック、第9ブロックで4割近くを占めている。全体で第2位の「通勤や通学などの交通の便がわるい」は、第9ブロックで51.4%と、最も高くなっている。また、全体で第3位の「体育施設（体育館やプールなど）が利用しにくい」は第2ブロックで34.3%と最も高くなっている。

図1-2-1 地域ブロック別 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点

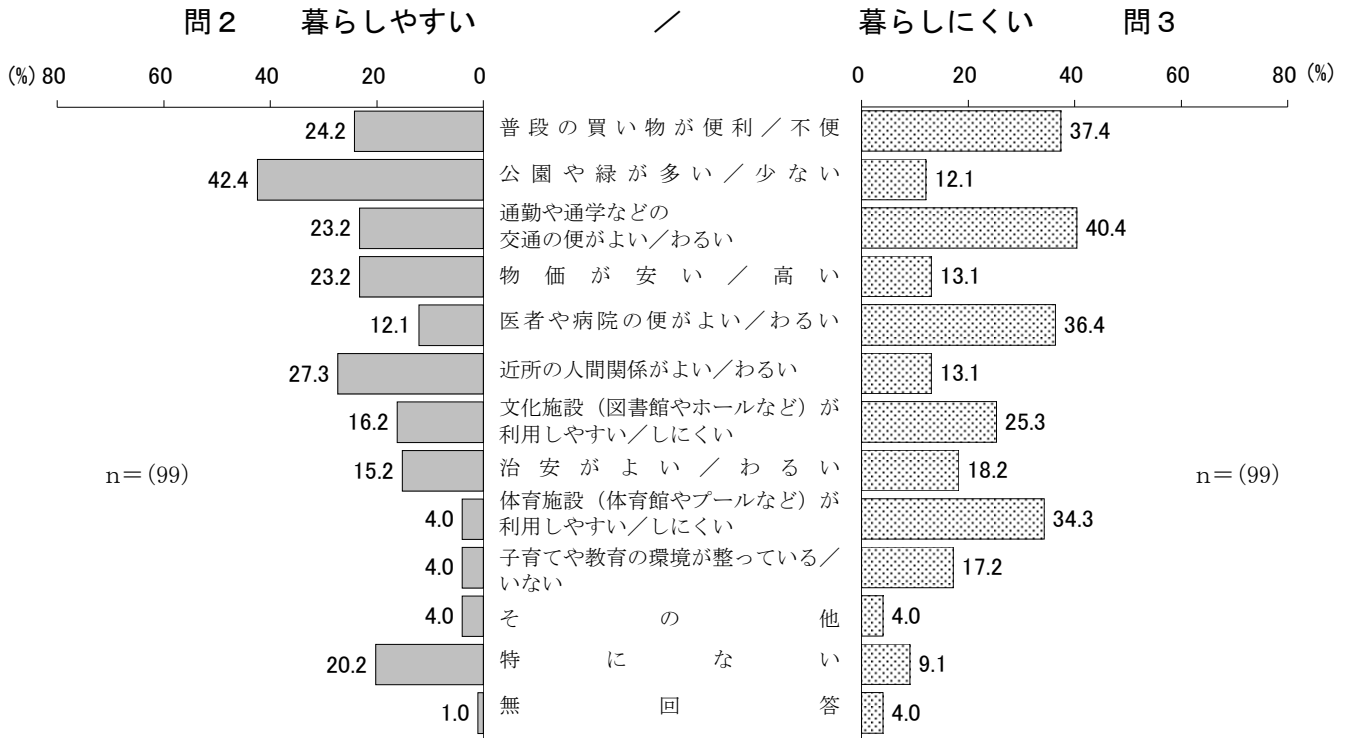


ブロック区分

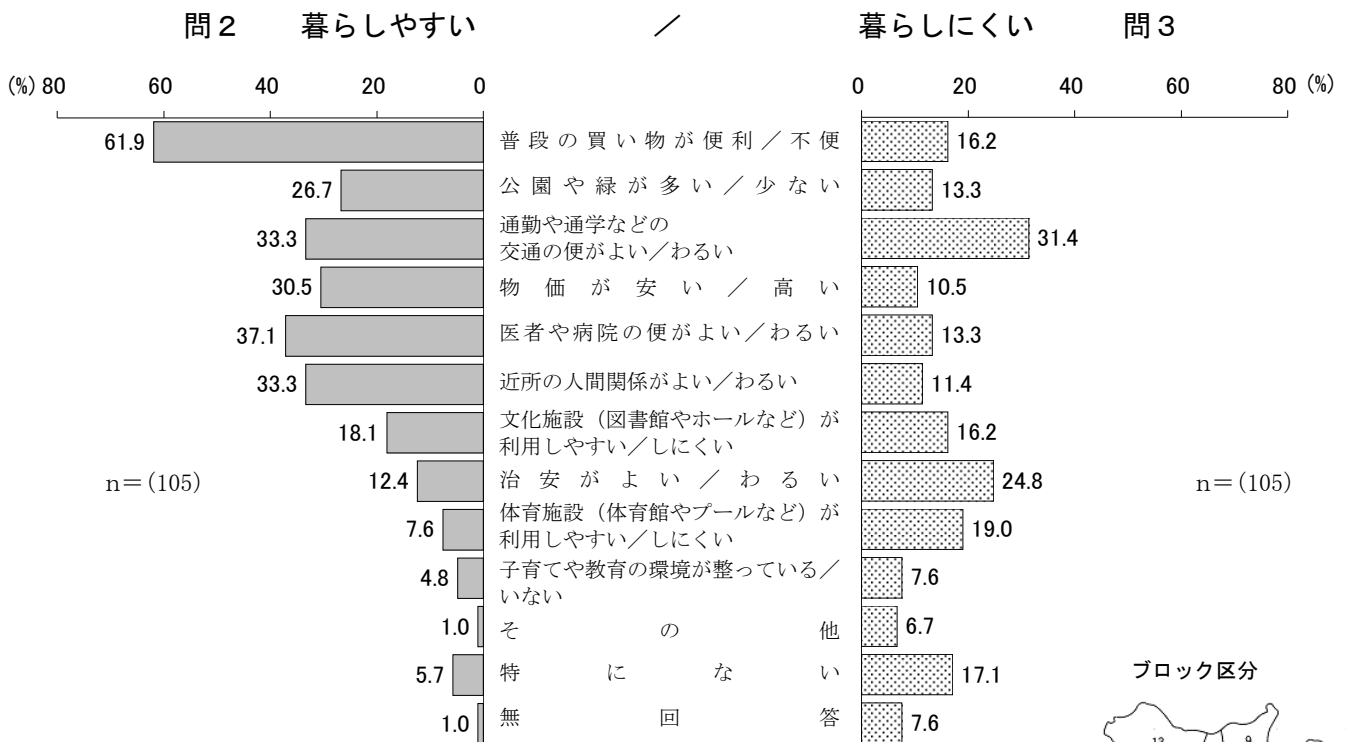


図1-2-1 地域ブロック別 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点—つづき—

〈第2ブロック〉



〈第3ブロック〉

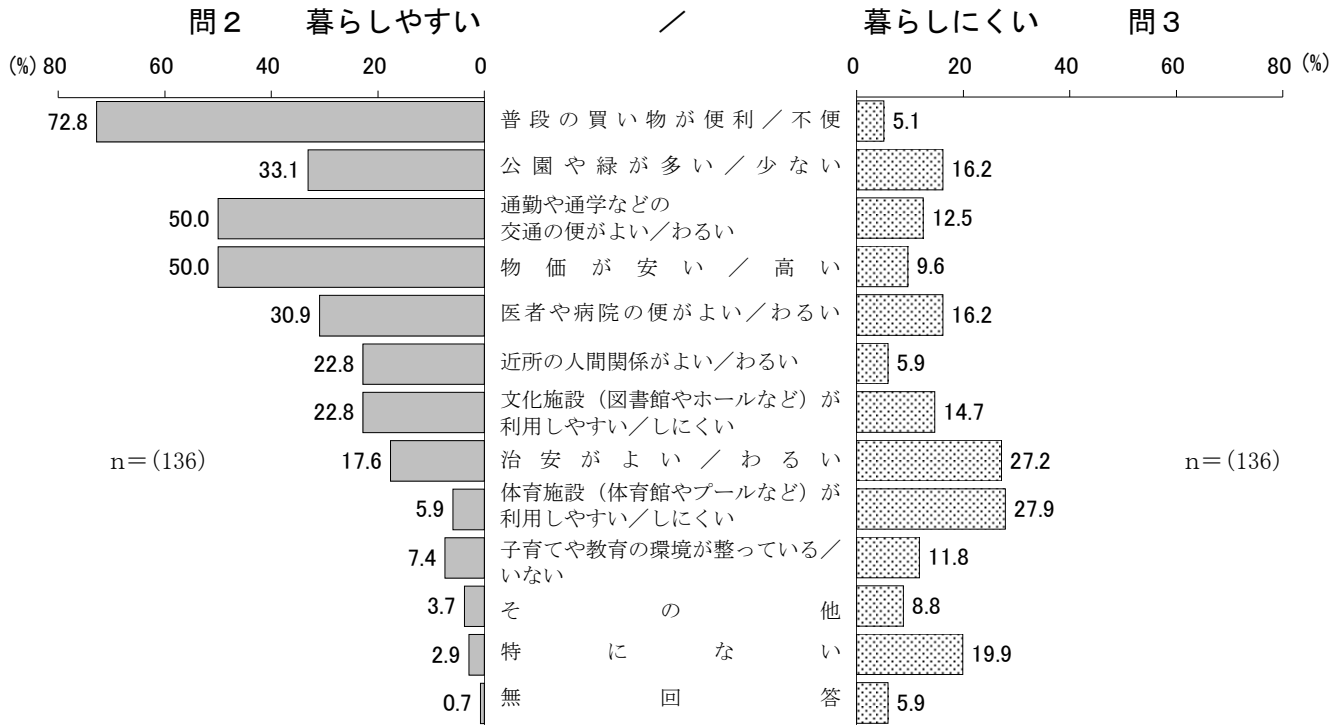


ブロック区分



図1-2-1 地域ブロック別 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点一つづき

〈第4ブロック〉



〈第5ブロック〉

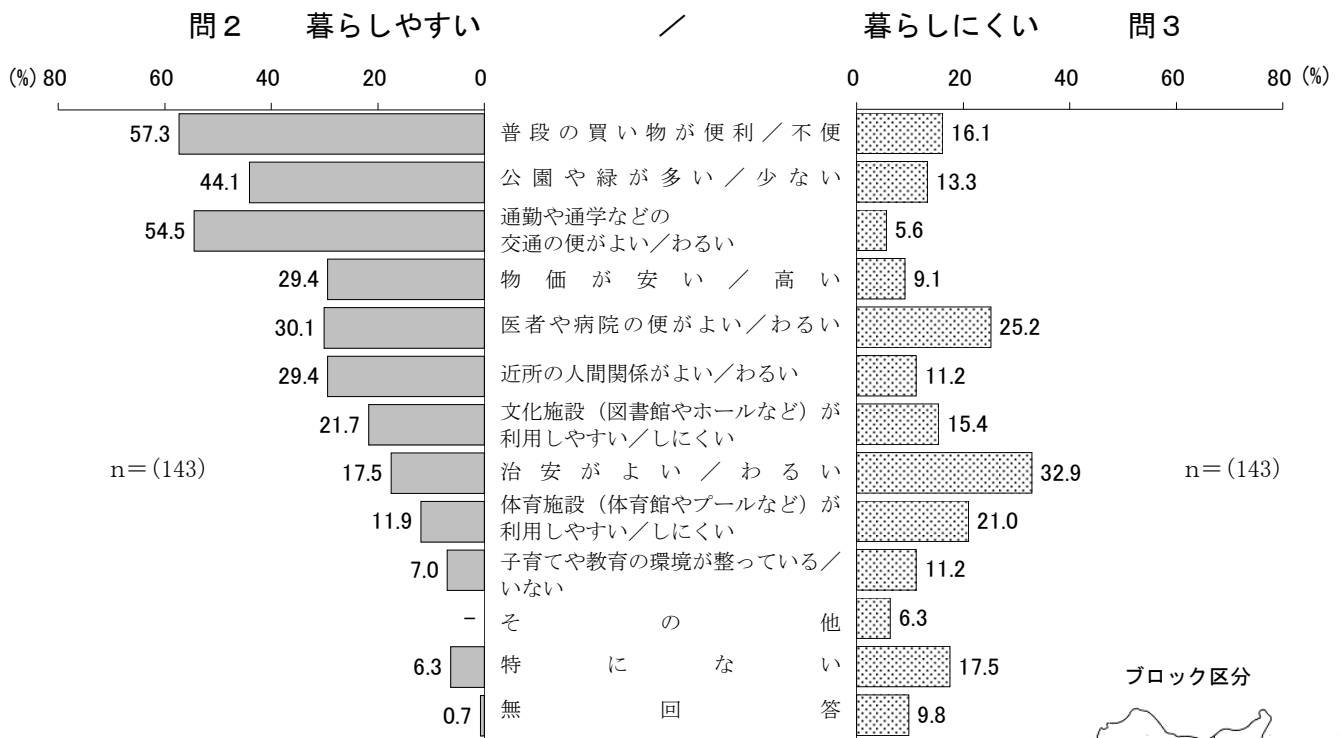
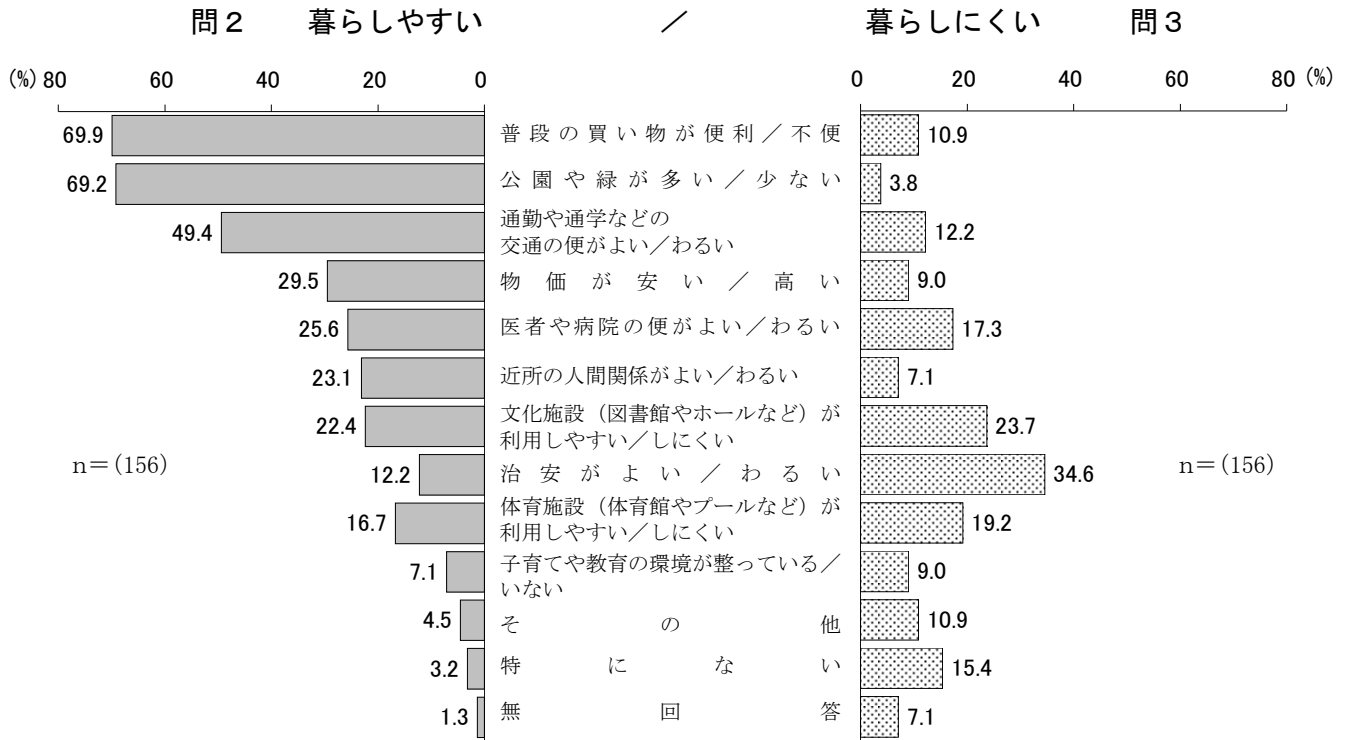


図1-2-1 地域ブロック別 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点一つづき

〈第6ブロック〉



〈第7ブロック〉

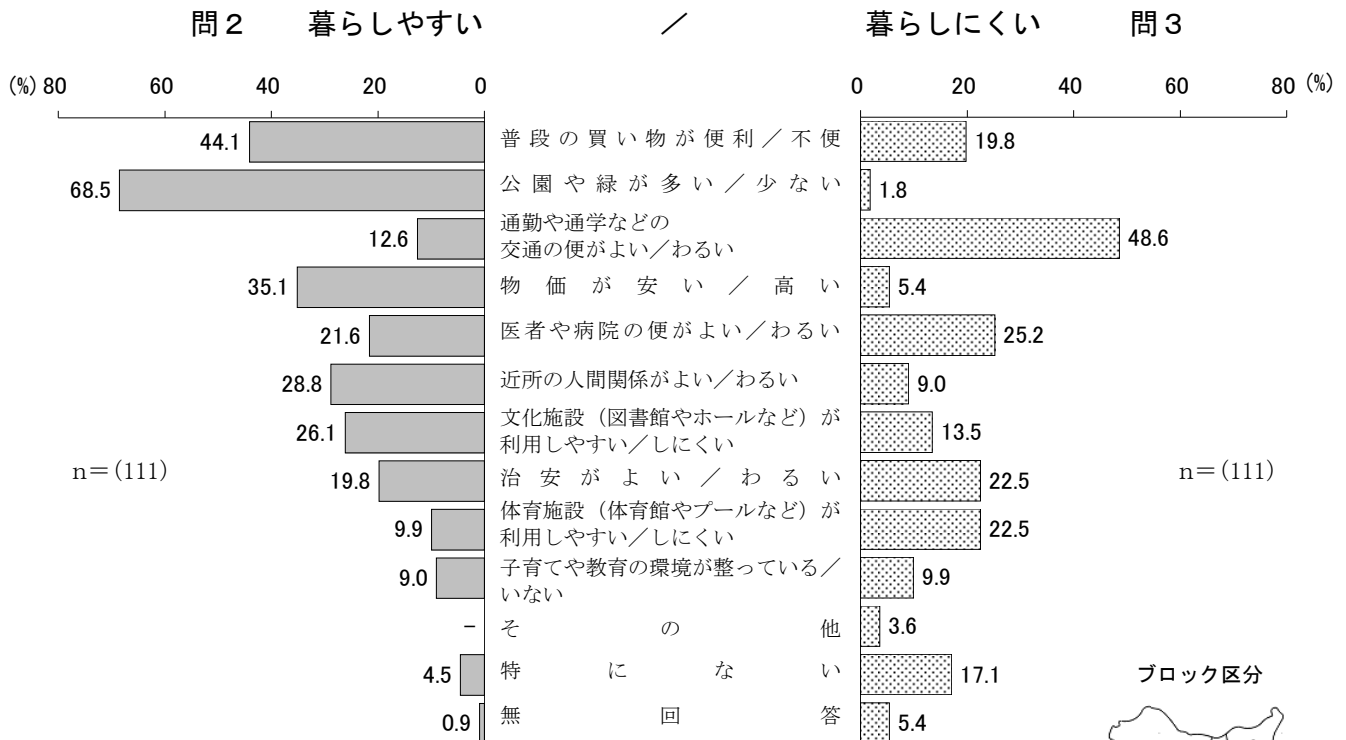
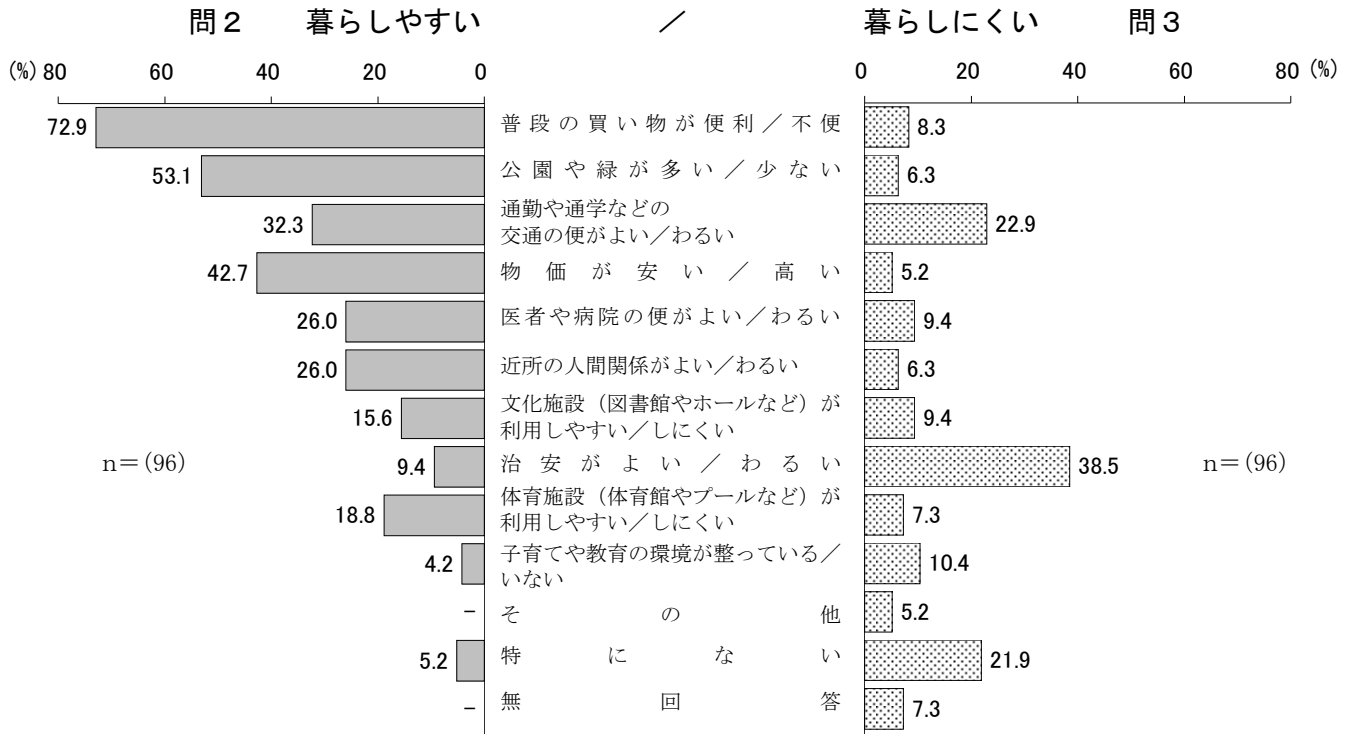


図1-2-1 地域ブロック別 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点—つづき—

〈第8ブロック〉



〈第9ブロック〉

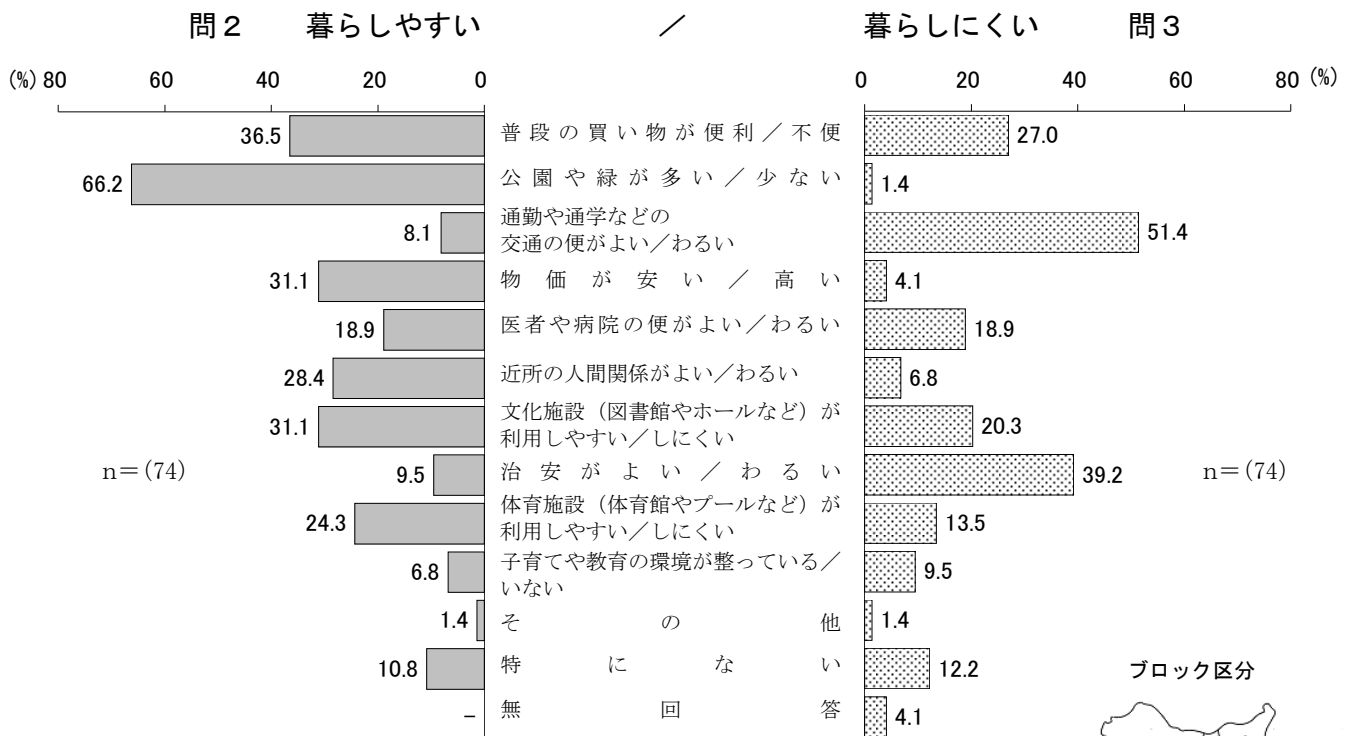
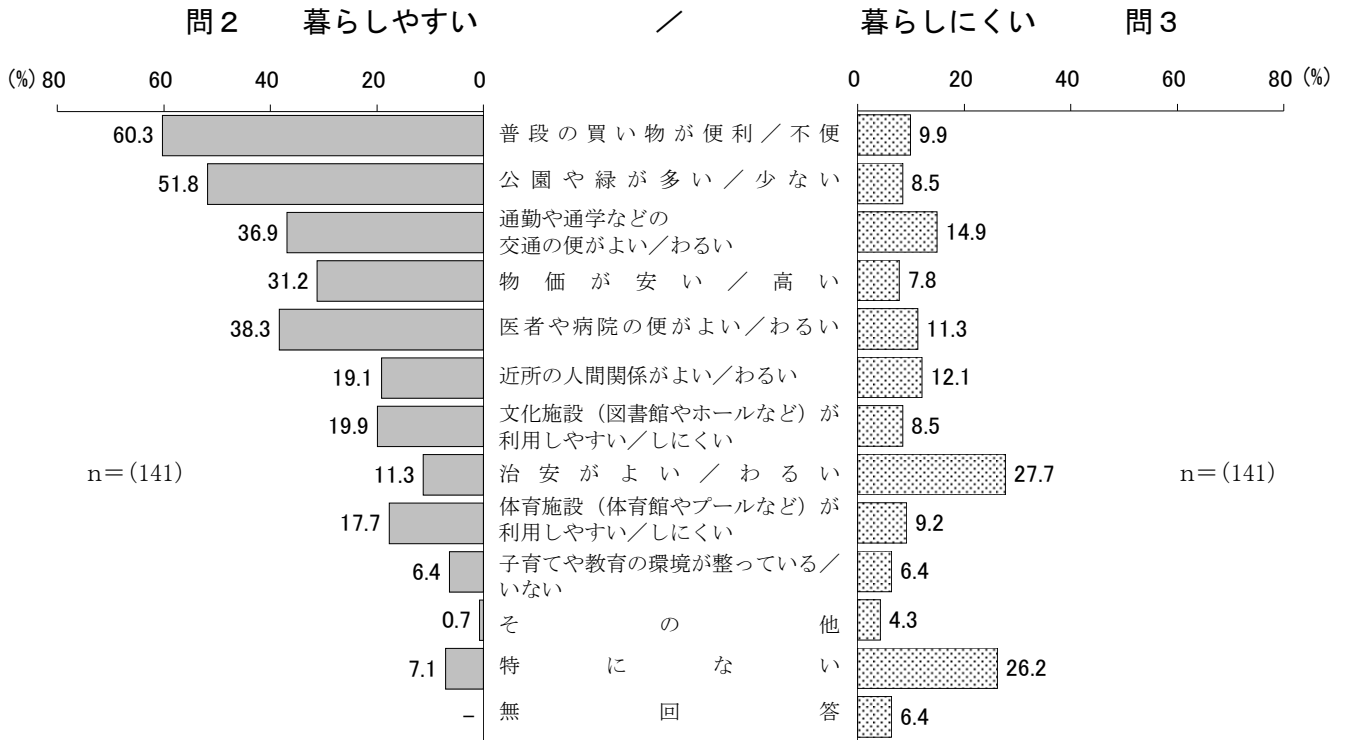


図1-2-1 地域ブロック別 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点一つづき

〈第10ブロック〉



〈第11ブロック〉

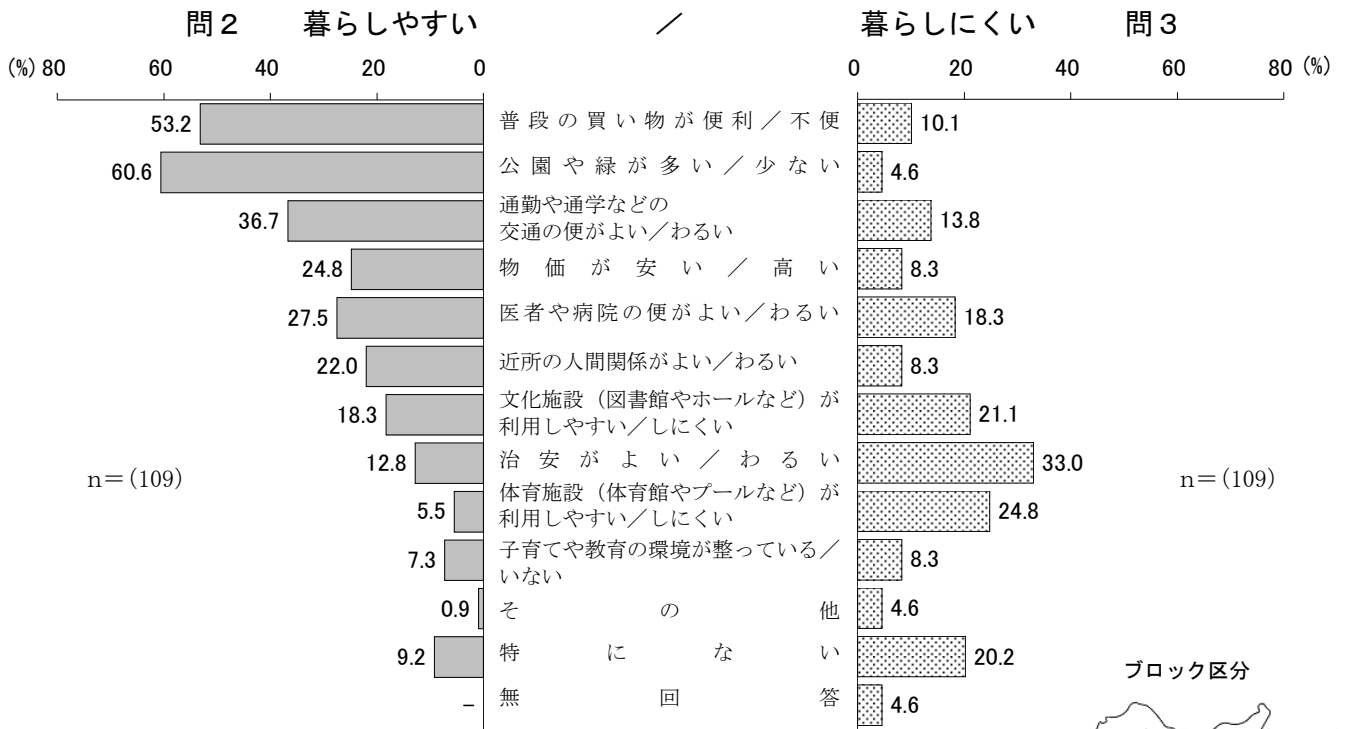
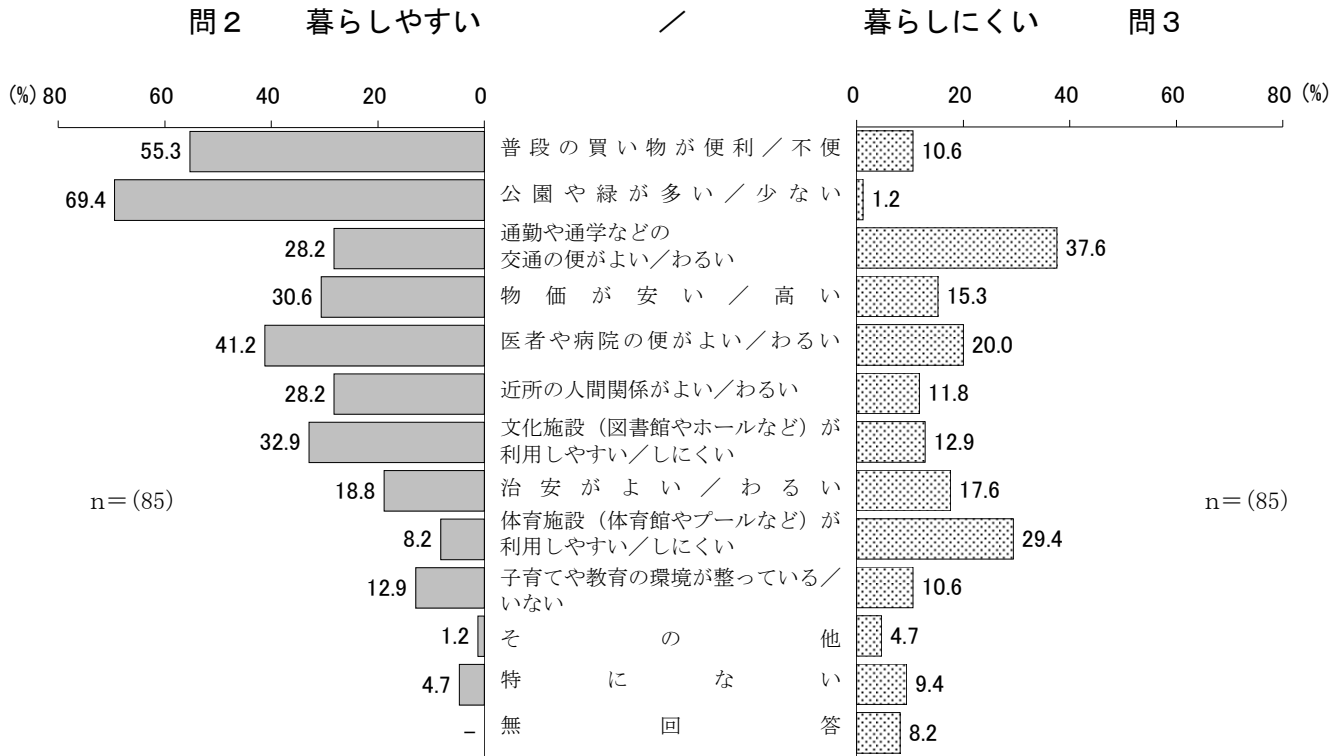
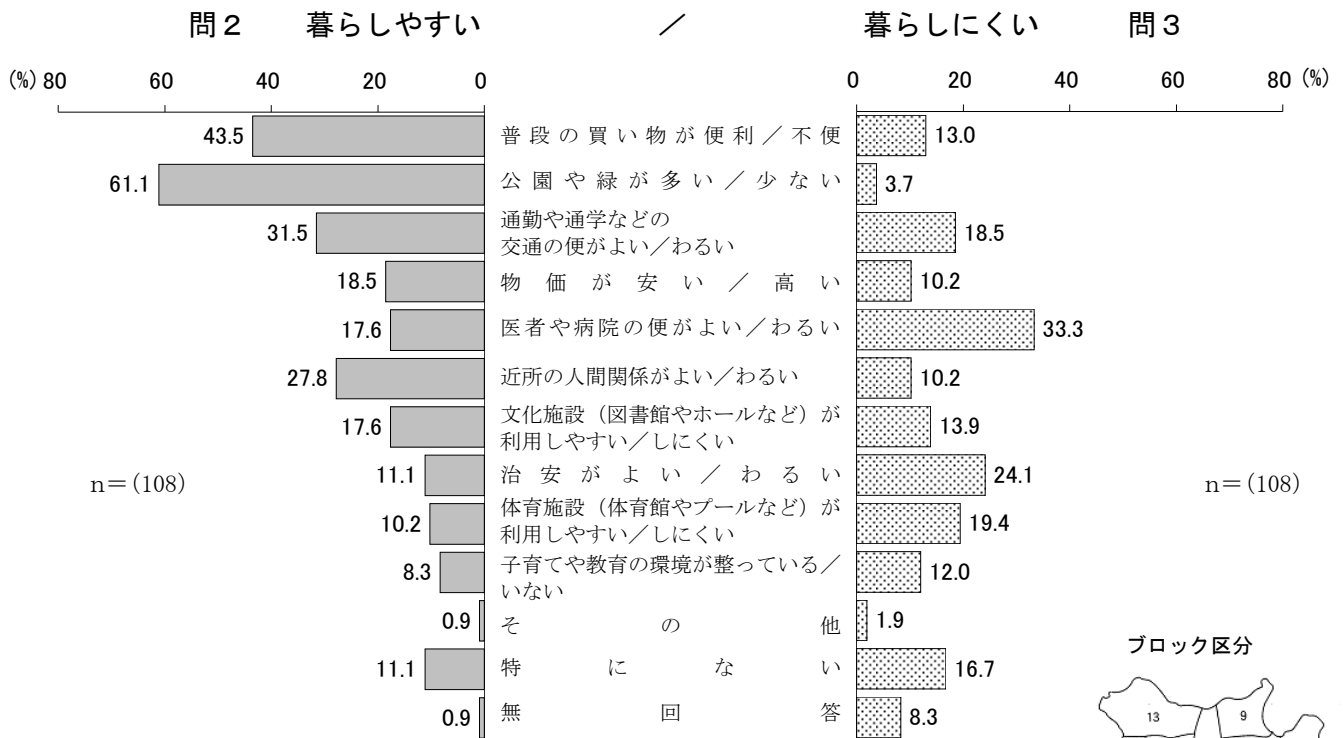


図1-2-1 地域ブロック別 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点一つづき

〈第12ブロック〉



〈第13ブロック〉



性・年代別にみると、暮らしやすい点としては、全体で第1位の「普段の買い物が便利」は、女性の全年代で6割前後と高くなっている。全体で第2位の「公園や緑が多い」は、30代女性、40代男性、60代女性で、6割近くを占めている。第3位の「通勤や通学などの交通の便がよい」は、50代男性（46.0%）、50代女性（45.6%）で4割台半ばを占めているほか、20代、30代、40代で男女ともに4割前後を示している。

暮らしにくい点としては、全体で第1位の「治安がわるい」は、20代男性で53.7%と5割を超えているほか、20代女性、30代男女、40代男性でも4割を超えている。

図1-2-2 性・年代別 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点

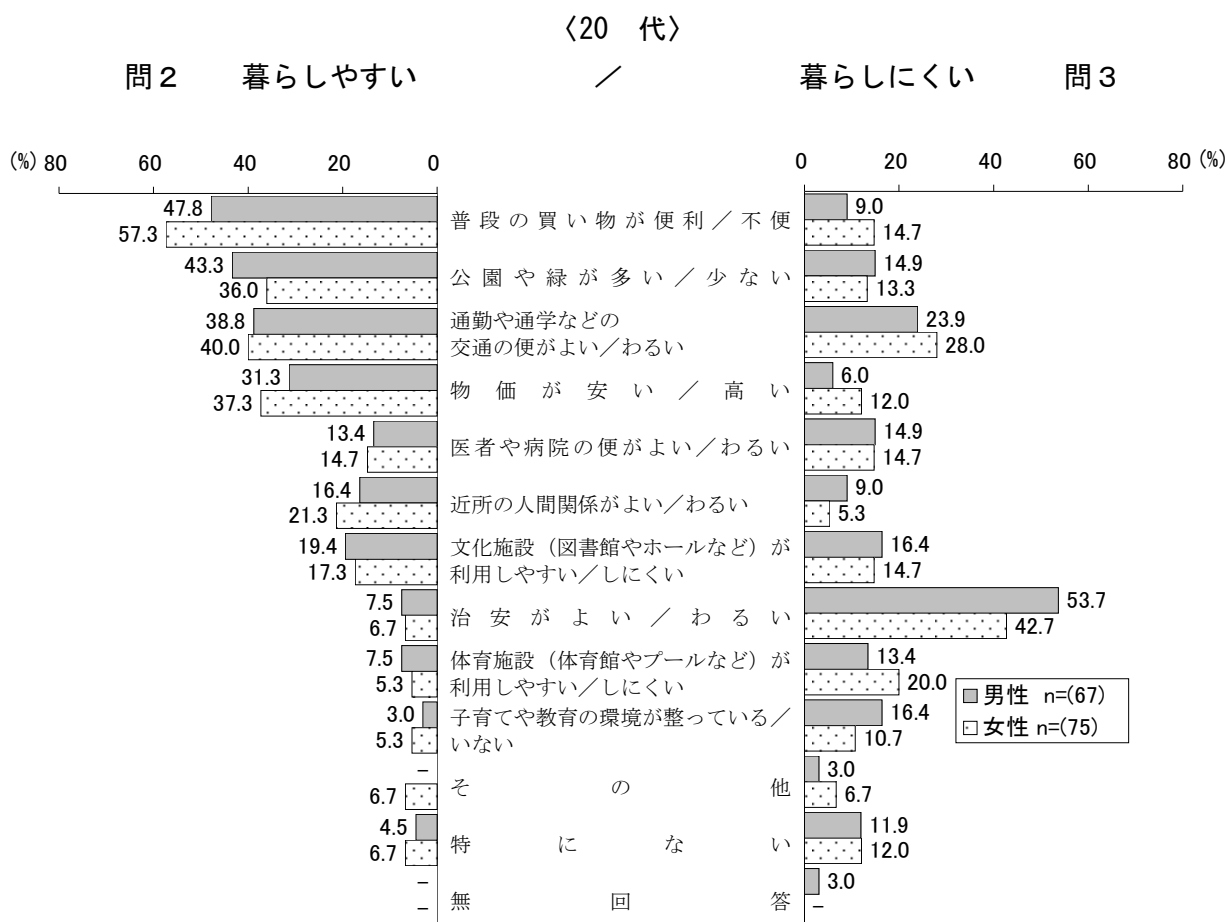


図1-2-2 性・年代別 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点—つづき—

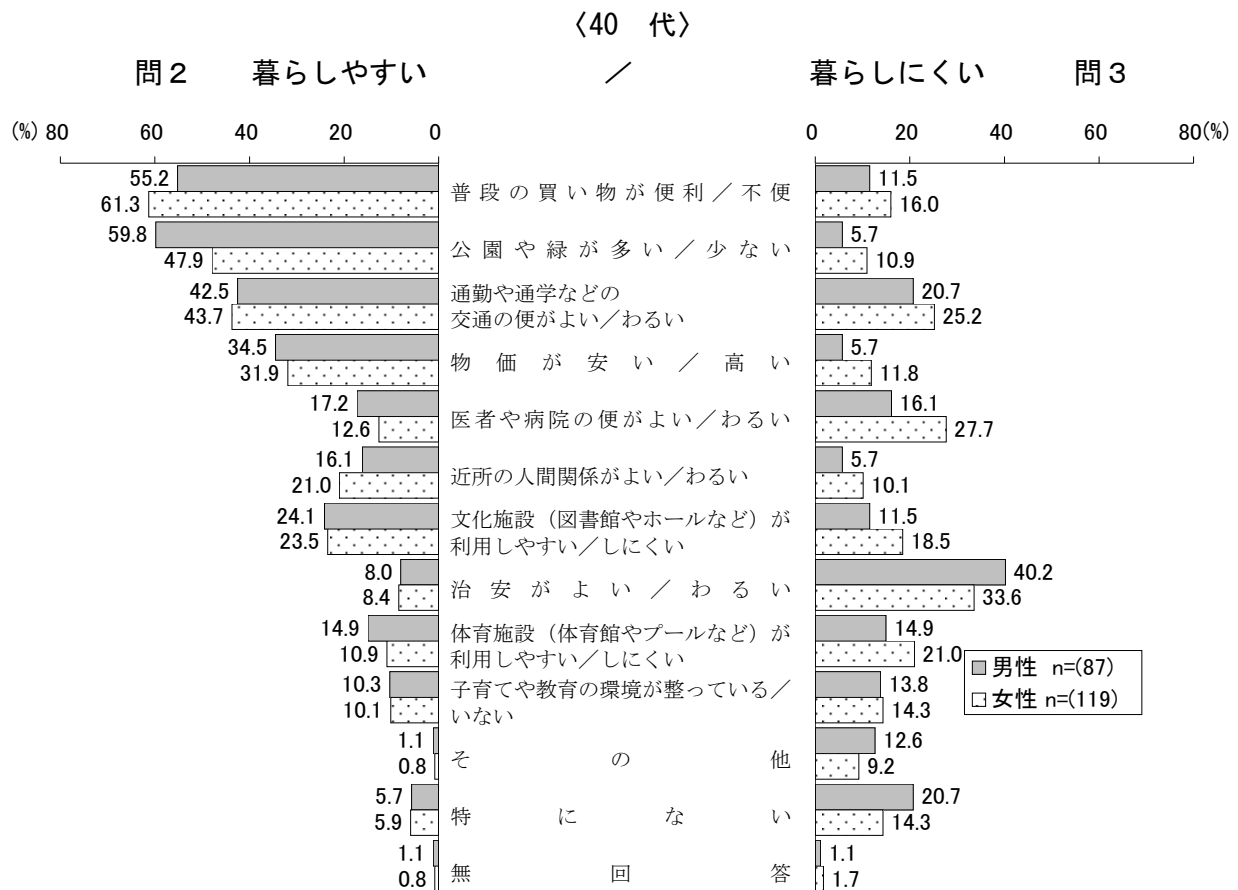
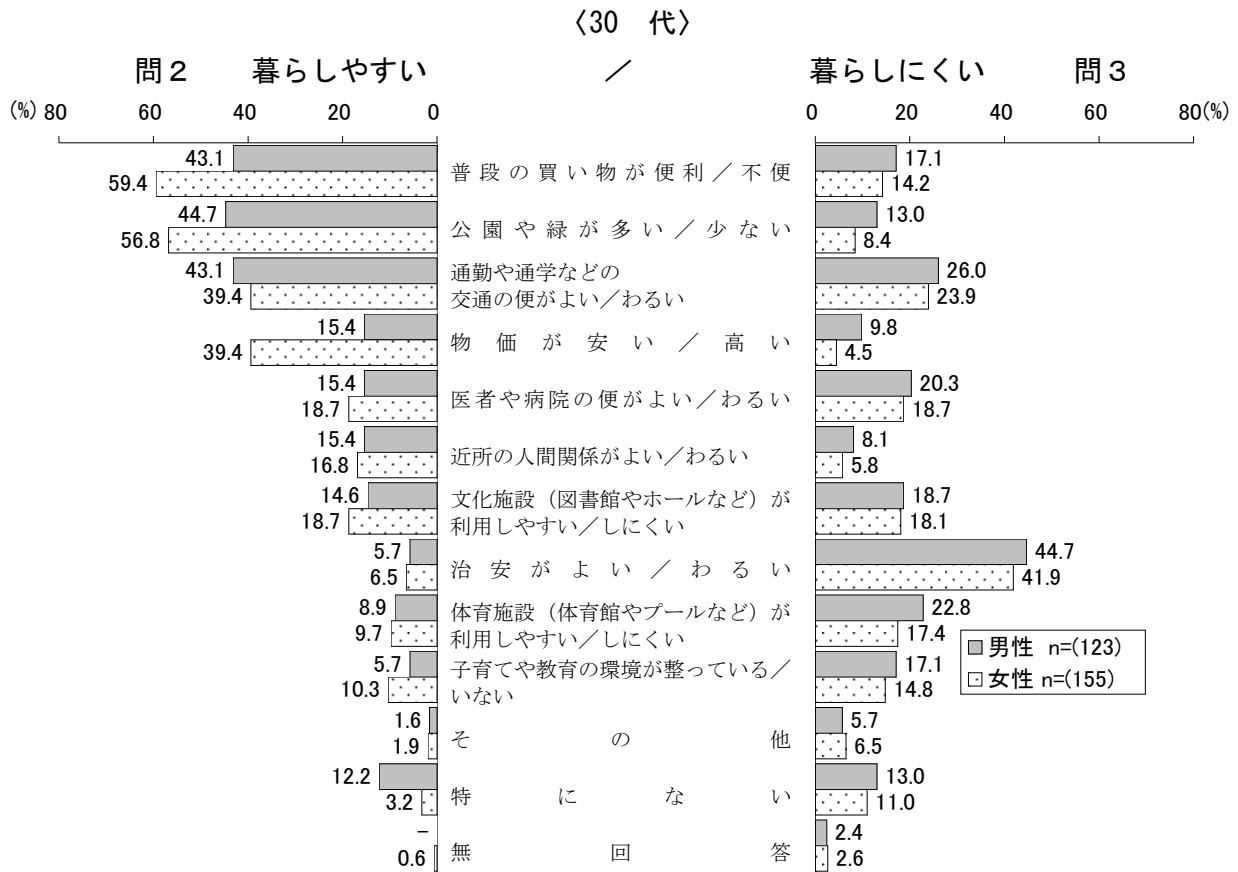
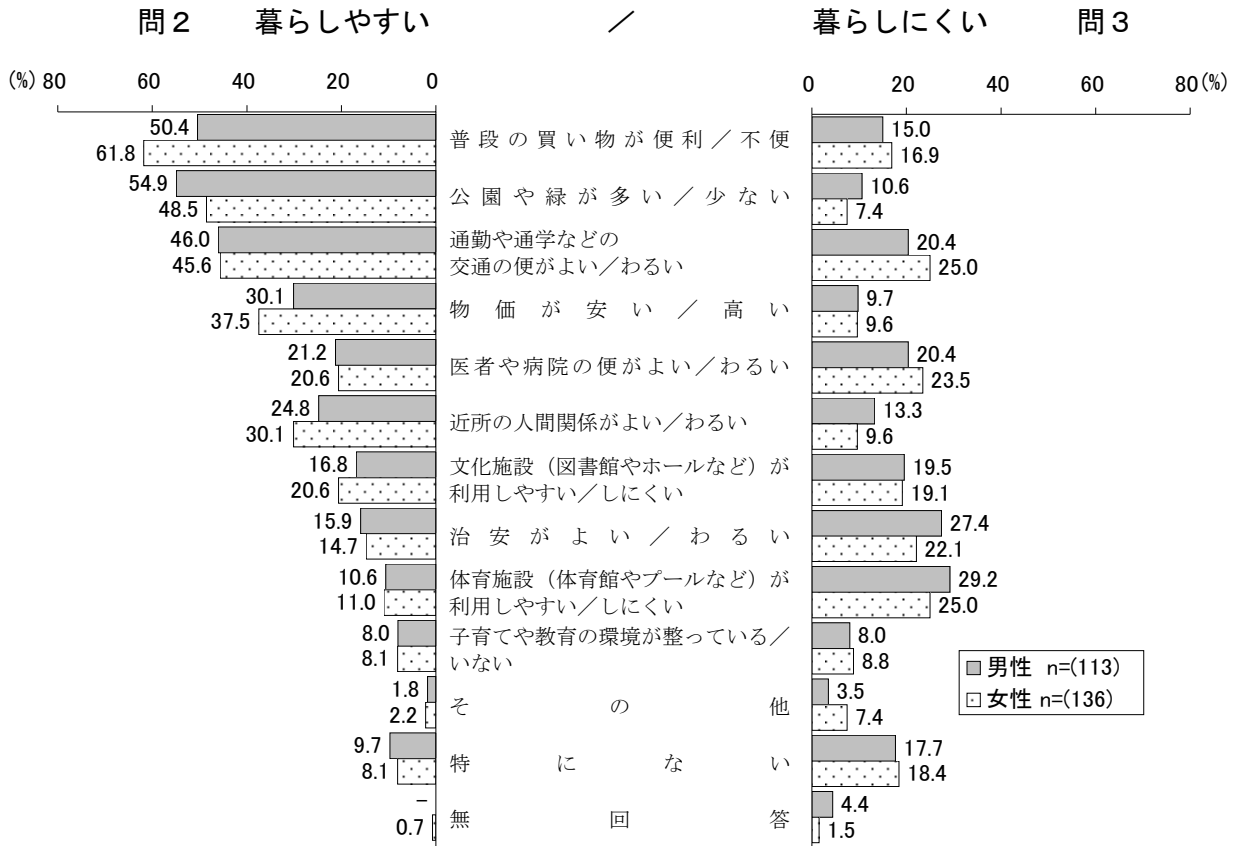


図 1-2-2 性・年代別 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点—つづき—

〈50 代〉



〈60 代〉

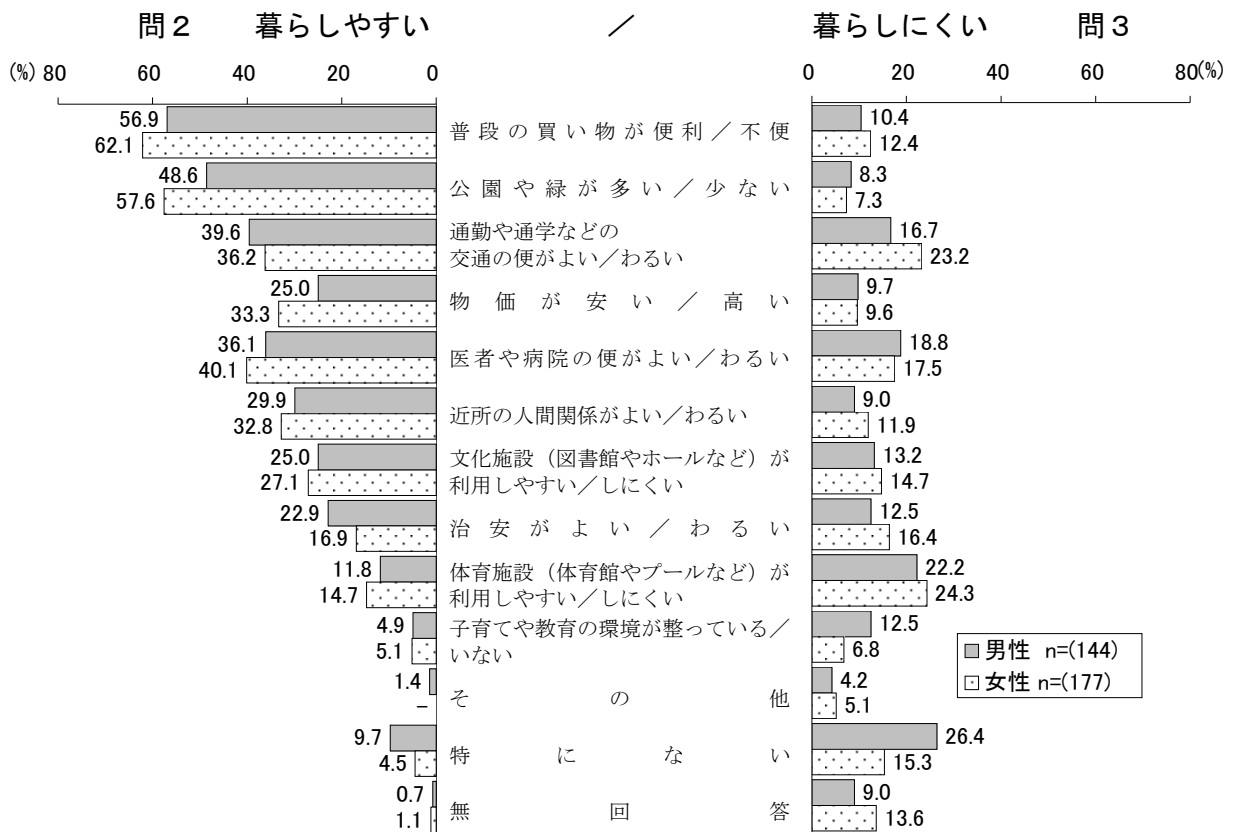
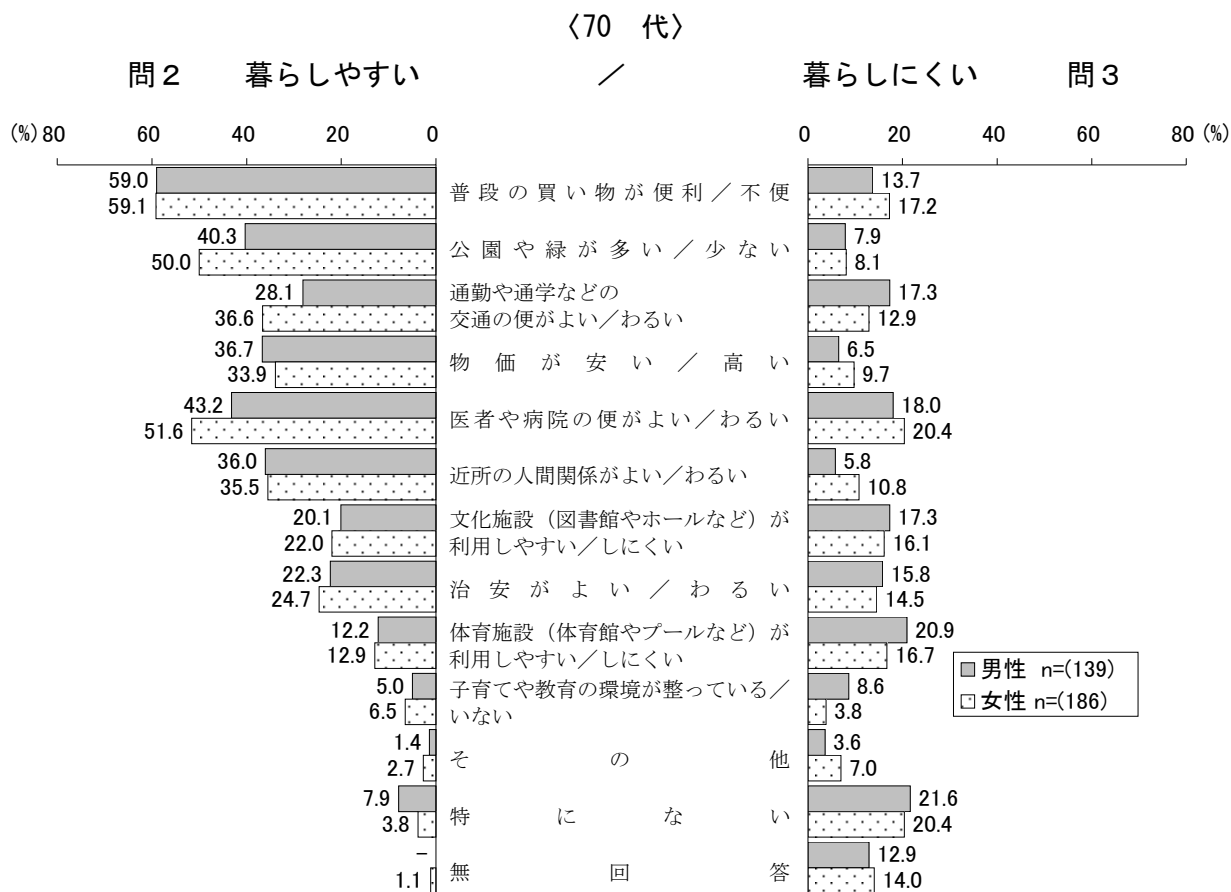
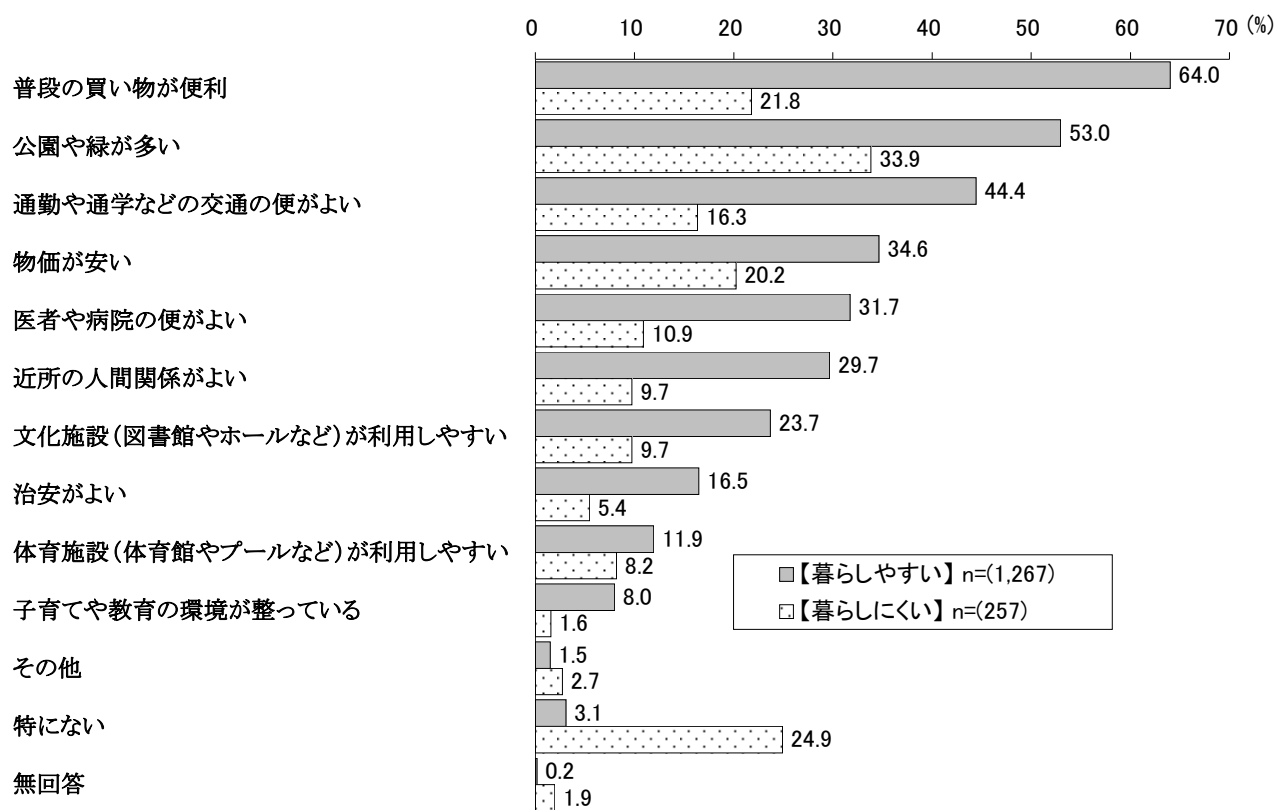


図 1-2-2 性・年代別 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点—つづき—



地域の暮らしやすい点を問4の【暮らしやすい】【暮らしにくい】別で見ると、「その他」「特にない」「無回答」以外のすべての項目で、【暮らしやすい】が高くなっている。とくに「普段の買い物が便利」「医者や病院の便がよい」「近所の人間関係がよい」「治安がよい」は、【暮らしやすい】が【暮らしにくい】のほぼ3倍高くなっている。

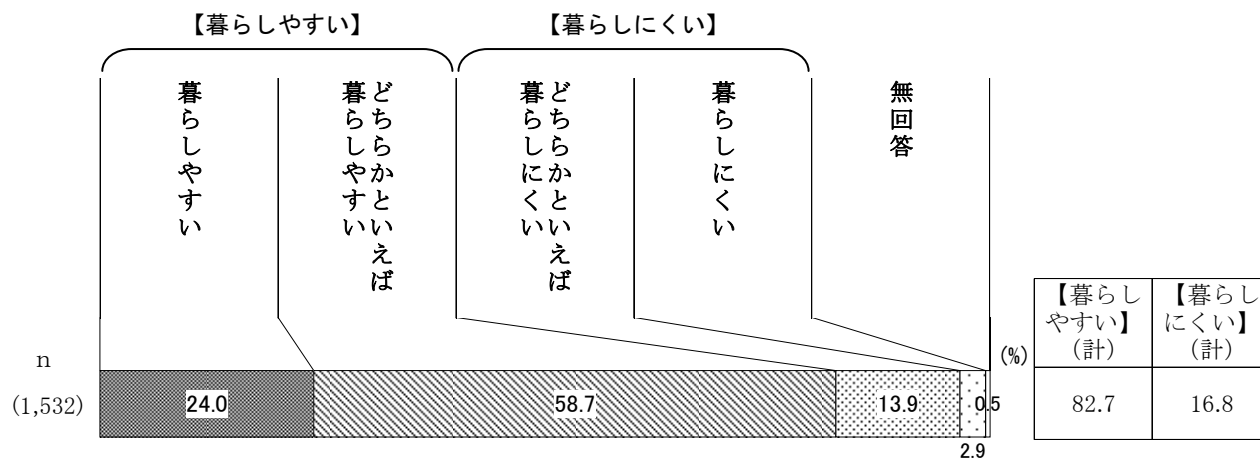
図1-2-3 問4の【暮らしやすい】【暮らしにくい】別 地域の暮らしやすい点



(3) 総合的な暮らしやすさ

●【暮らしやすい】と感じている人が82.7%

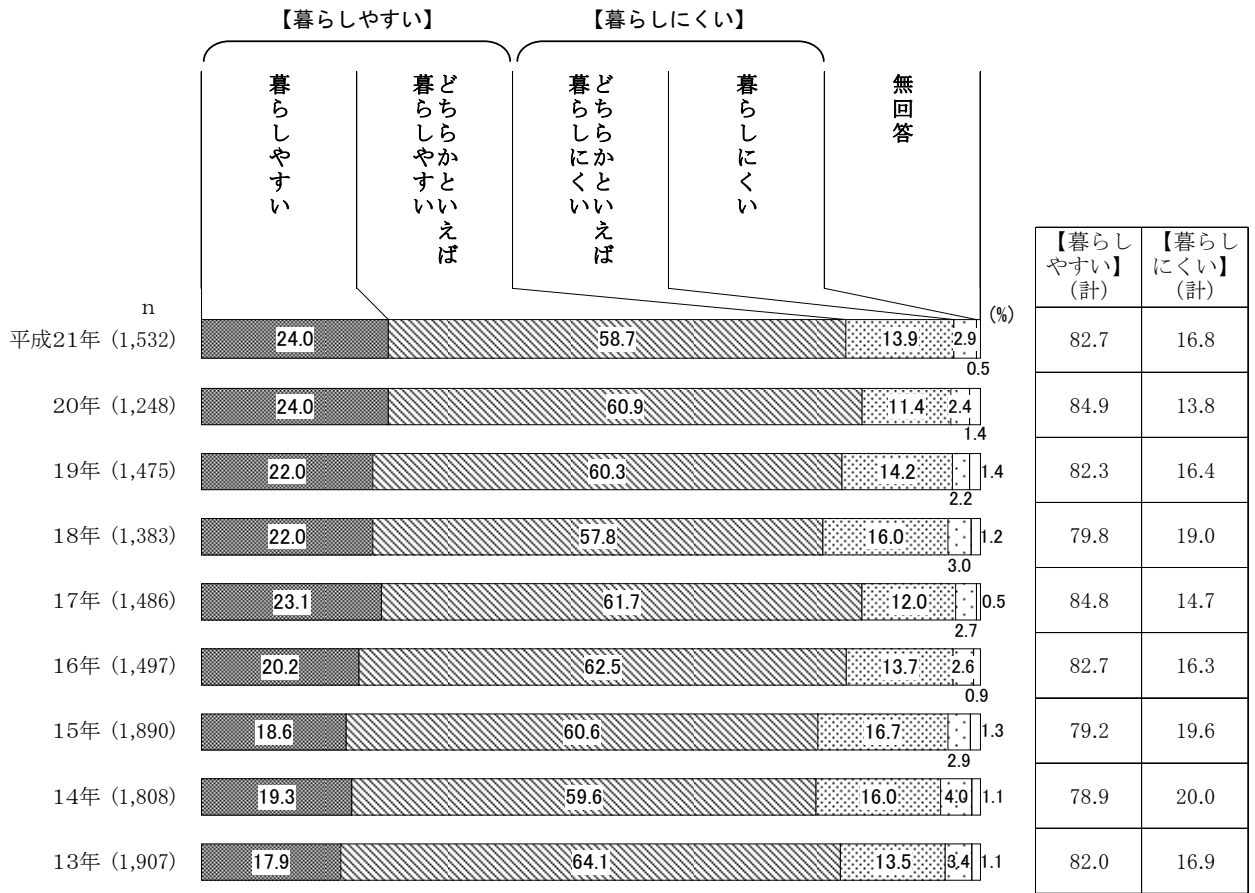
問4 それでは、以上のことを踏まえてお聞きします。あなたは、あなたのお住まいの地域について、暮らしやすいと感じますか。(〇は1つだけ)



居住地域について、「暮らしやすい」は24.0%で、これに「どちらかといえば暮らしやすい」(58.7%)を合わせた【暮らしやすい】は82.7%と8割を超えている。一方、「どちらかといえば暮らしにくい」(13.9%)と「暮らしにくい」(2.9%)を合わせた【暮らしにくい】は16.8%となっている。

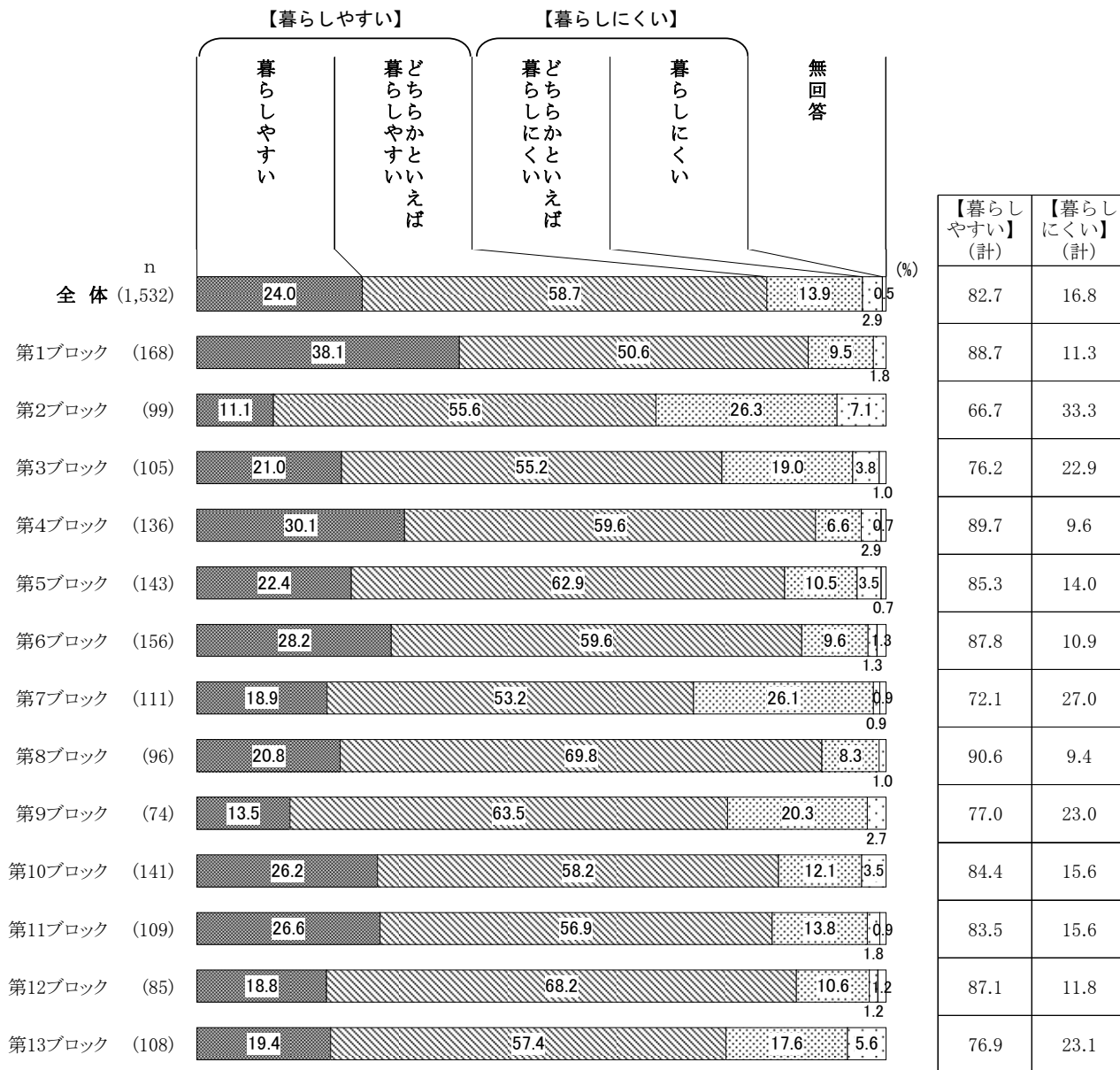
暮らしやすさを経年で比較すると、「暮らしやすい」は、微増傾向にある。

図 1-3-1 経年変化 総合的な暮らしやすさ



地域ブロック別でみると、第1、第4、第5、第6、第8、第12ブロックでは、【暮らしやすい】が85%を超えている。一方、第2ブロックでは、【暮らしにくい】が33.3%と3割を超えているほか、第3、第7、第9、第13ブロックも2割を超えている。

図1-3-2 地域ブロック別 総合的な暮らしやすさ



ブロック区分



暮らしやすさを地域ブロック別の経年で比較すると、8ブロック、12ブロックで【暮らしやすい】は、増加傾向にある。

図1-3-3 経年変化 地域ブロック別 総合的な暮らしやすさ

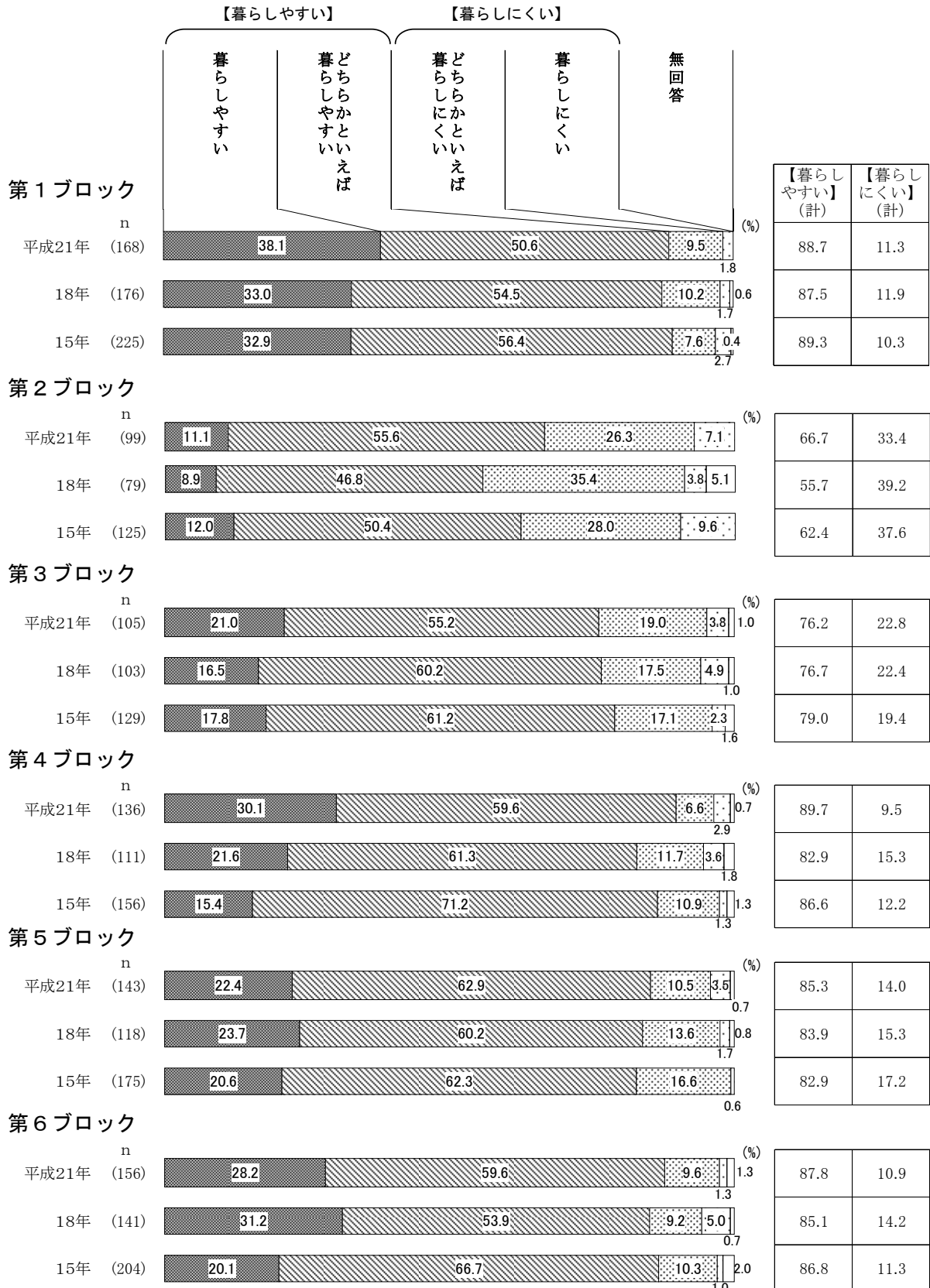
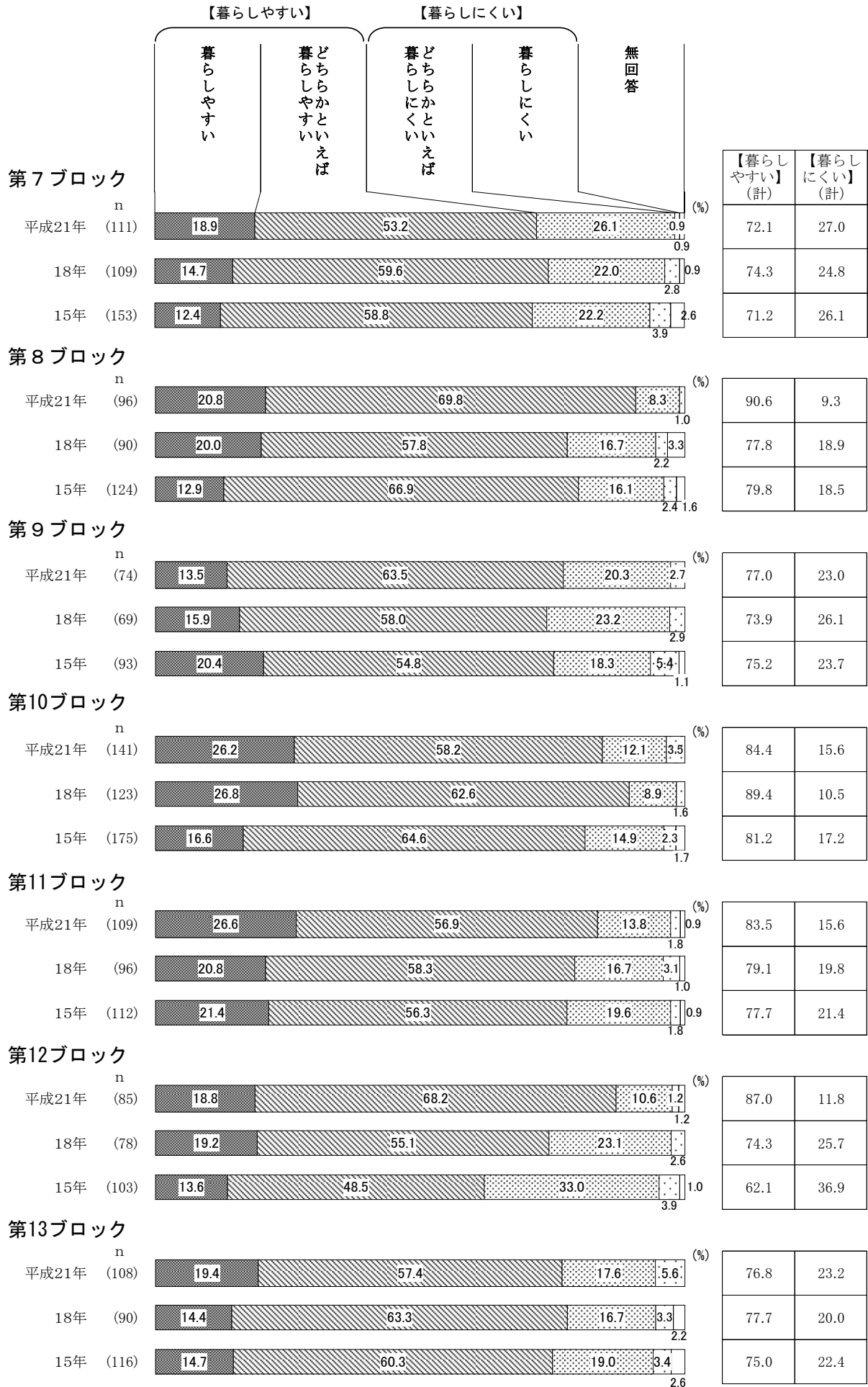
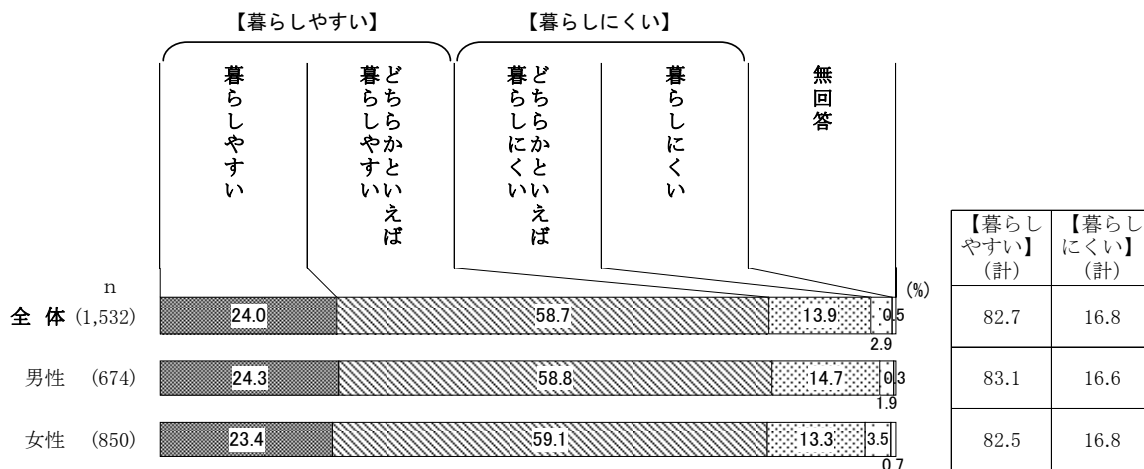


図1-3-3 経年変化 地域ブロック別 総合的な暮らしやすさ 一つづきー



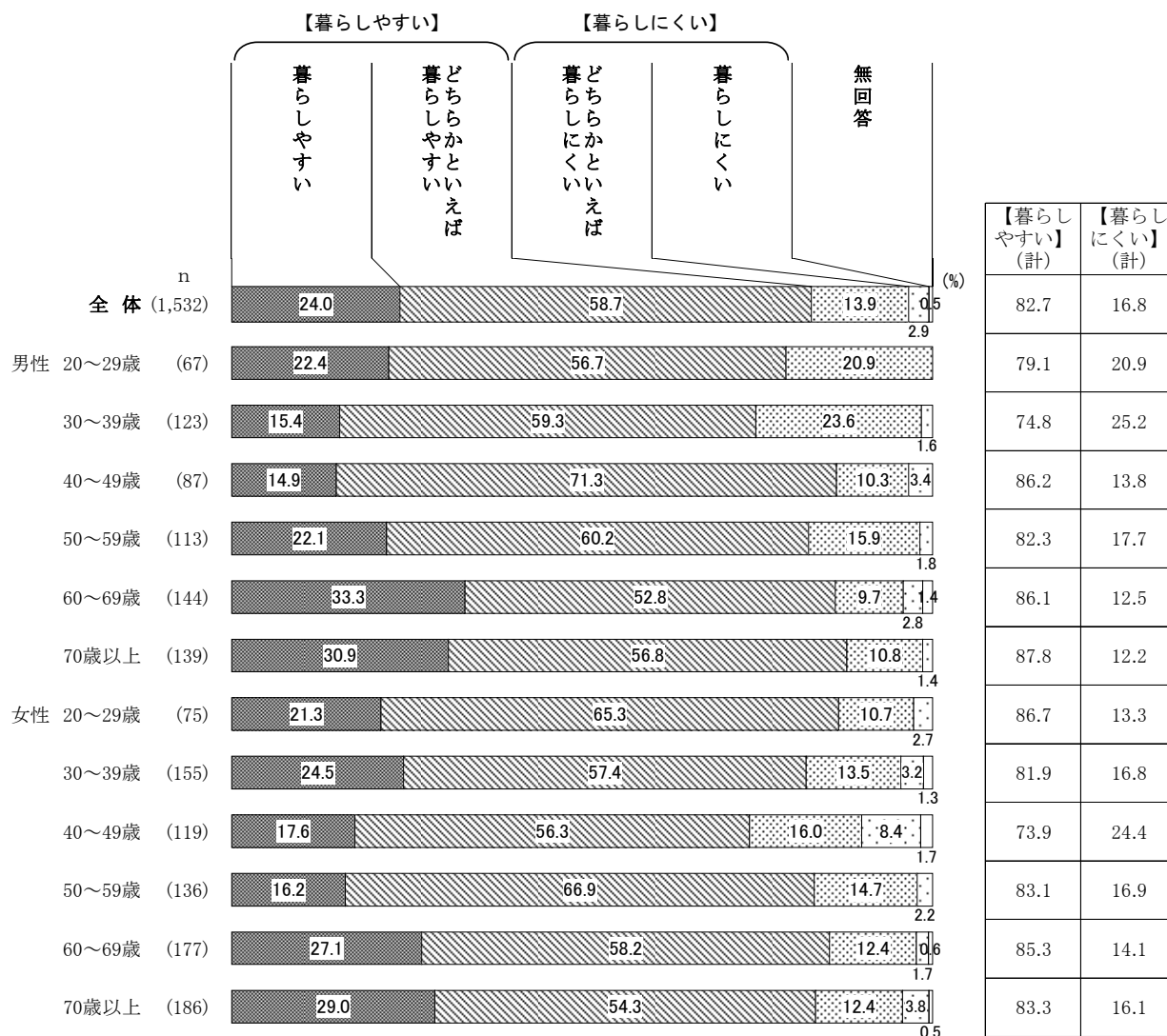
性別でみると、【暮らしやすい】は男性が83.1%、女性が82.5%で男女ほぼ一致している。

図 1-3-4 性別 総合的な暮らしやすさ



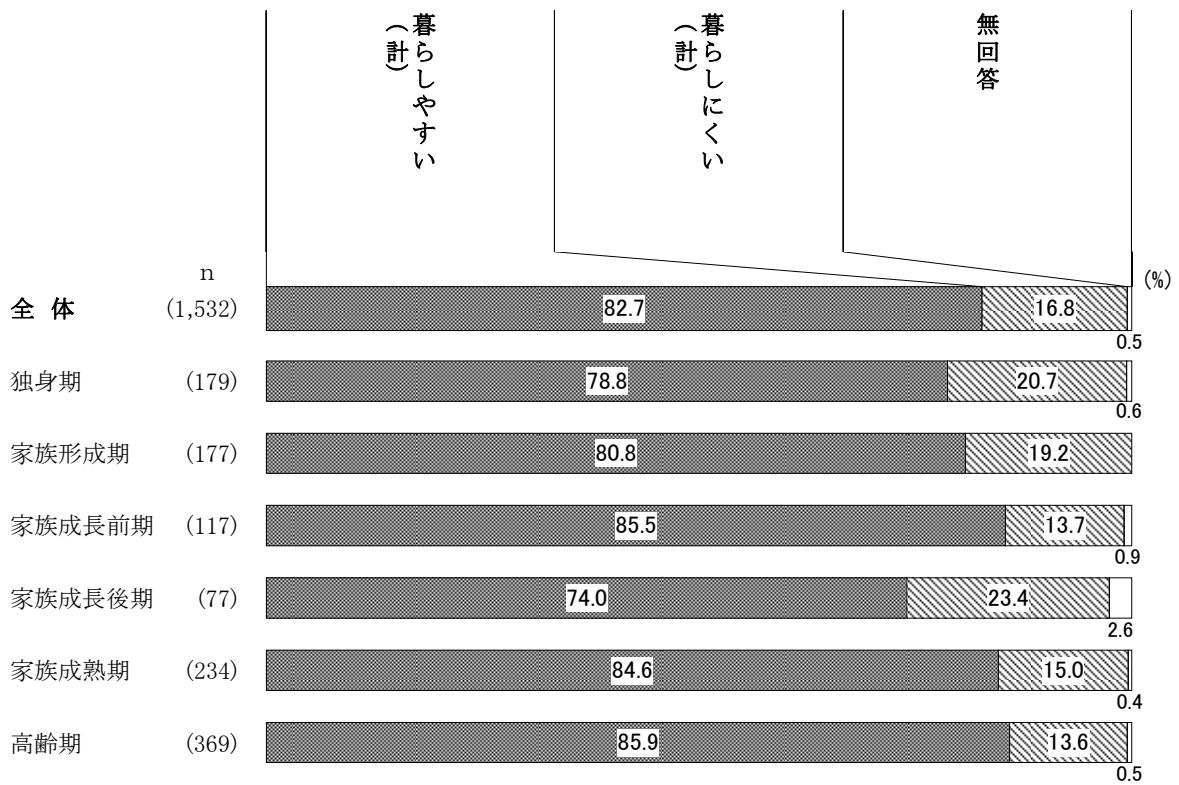
性・年代別でみると、男性では、40代、60代、70歳以上で【暮らしやすい】が8割台半ばを占めている。一方、20代、30代では【暮らしにくい】が2割を超え、他の年代より多くなっている。女性では、40代を除くと、いずれの年代でも【暮らしやすい】が8割を超えている。

図 1-3-5 性・年代別 総合的な暮らしやすさ



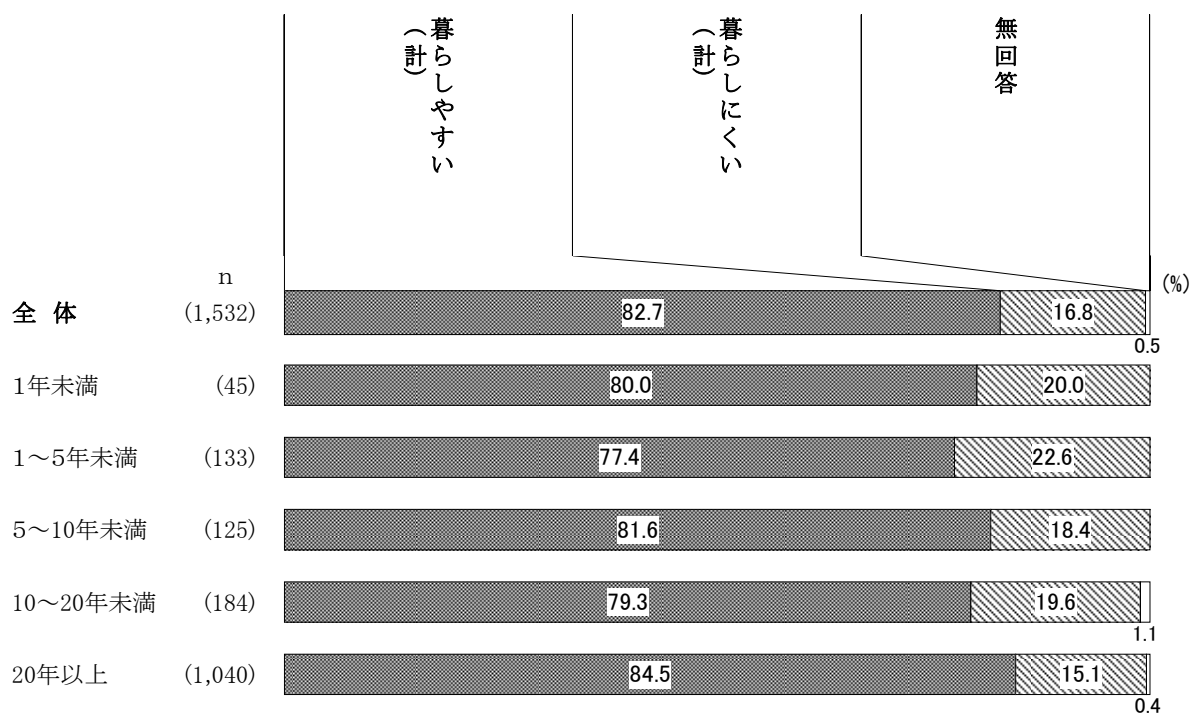
ライフステージ別で見ると、全ステージで【暮らしやすい】との評価が多くなっているが、家族成長後期では【暮らしやすい】が74.0%と、他のステージよりやや低く、【暮らしにくい】が23.4%と、やや高くなっている。

図1-3-6 ライフステージ別 総合的な暮らしやすさ



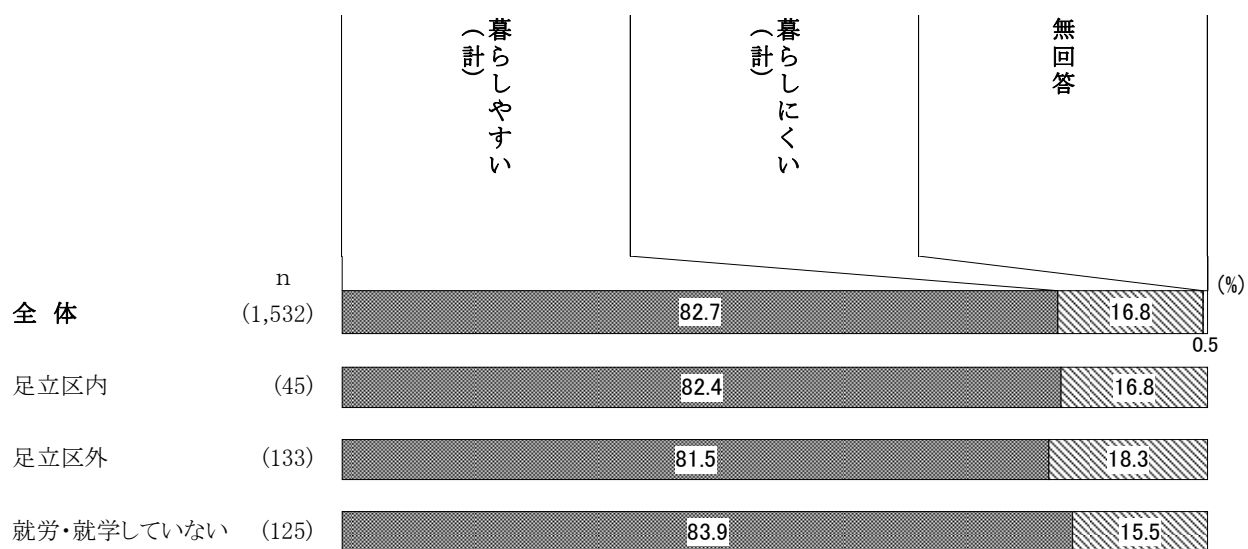
居住年数別でみると、20年以上では、【暮らしやすい】が84.5%と最も高くなっている。

図 1-3-7 居住年数別 総合的な暮らしやすさ



就労・就学場所別でみると、いずれも【暮らしやすい】が8割を超えている。

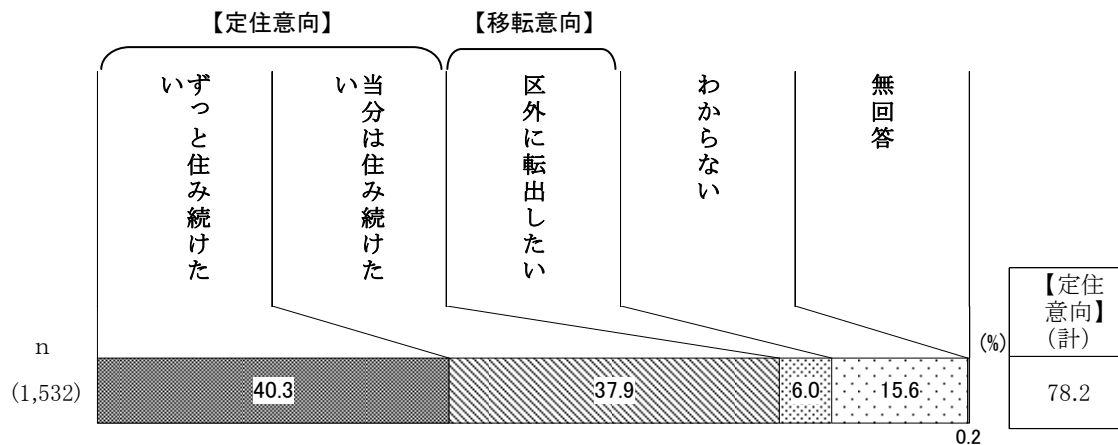
図 1-3-8 就労・就学場所別 総合的な暮らしやすさ



(4) 定住・移転意向

●78.2%が【定住意向】をもっている

問5 あなたは、足立区に今後も住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)



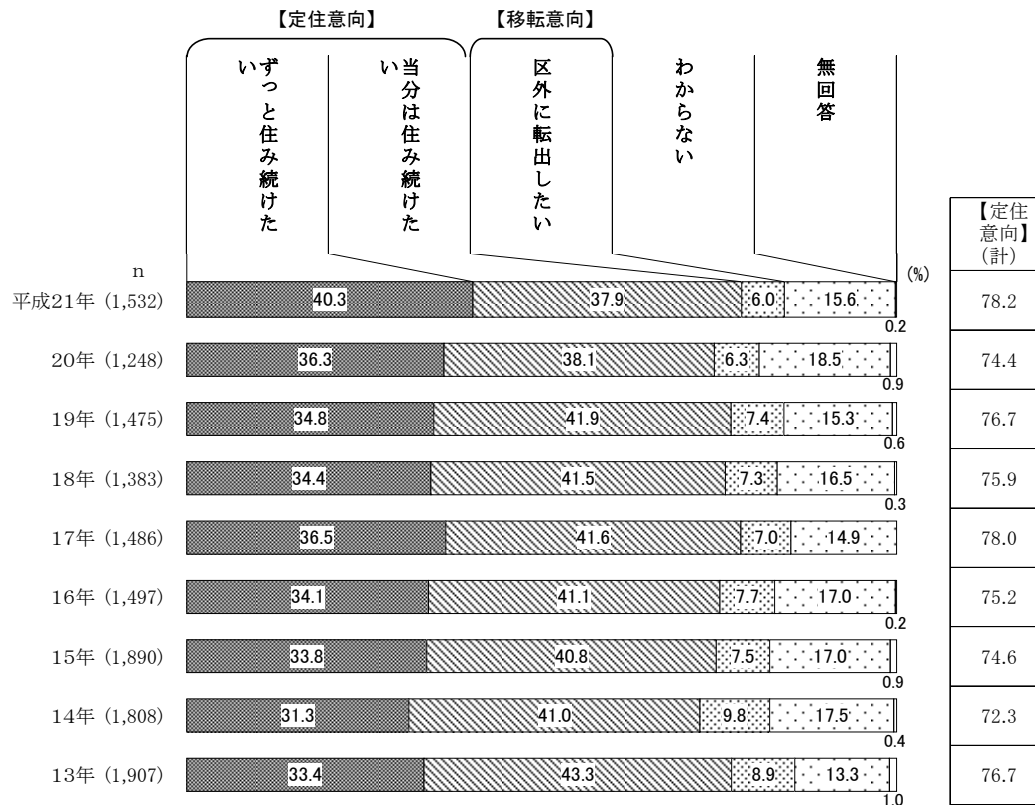
今後も区内に「ずっと住み続けたい」は40.3%で、これに「当分は住み続けたい」(37.9%)を合わせた【定住意向】は78.2%を占めている。一方、「区外に転出したい」は6.0%となっている。

定住・移転意向を経年で比較すると、「ずっと住み続けたい」は、微増傾向にある。

図 1-4-1 経年変化 定住・移転意向

(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)

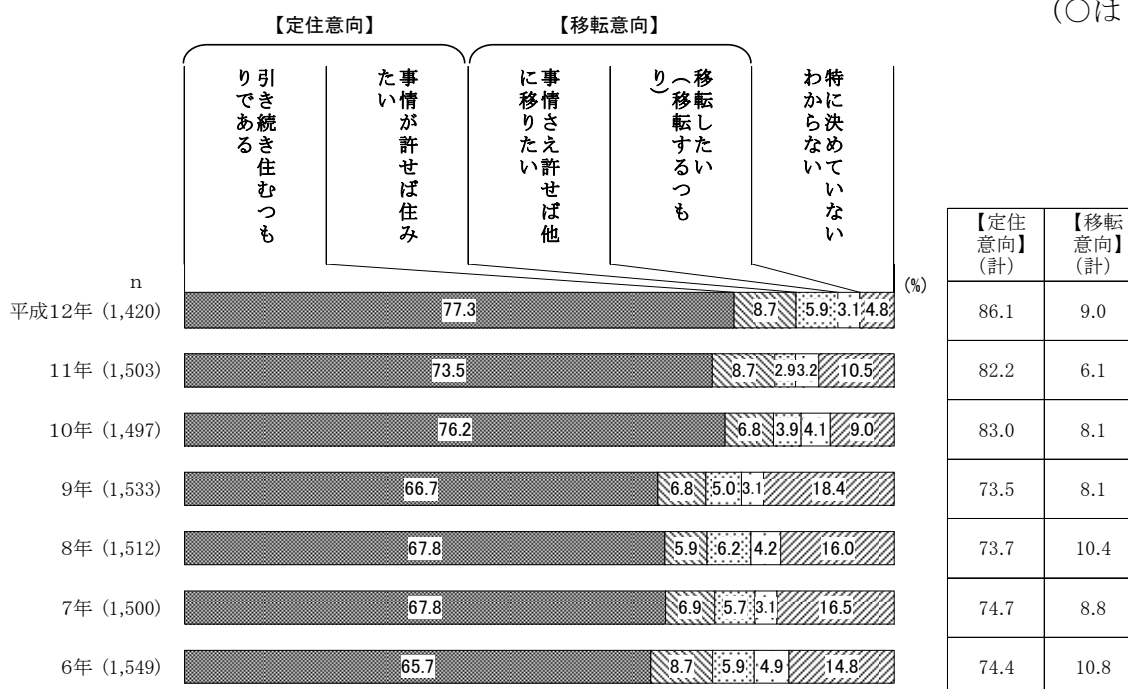
問 5 あなたは、足立区に今後も住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)



(平成12年まで 訪問面接法)

問 あなたは、足立区に今後も住み続けたいと思いますか。この中から1つお答えください。

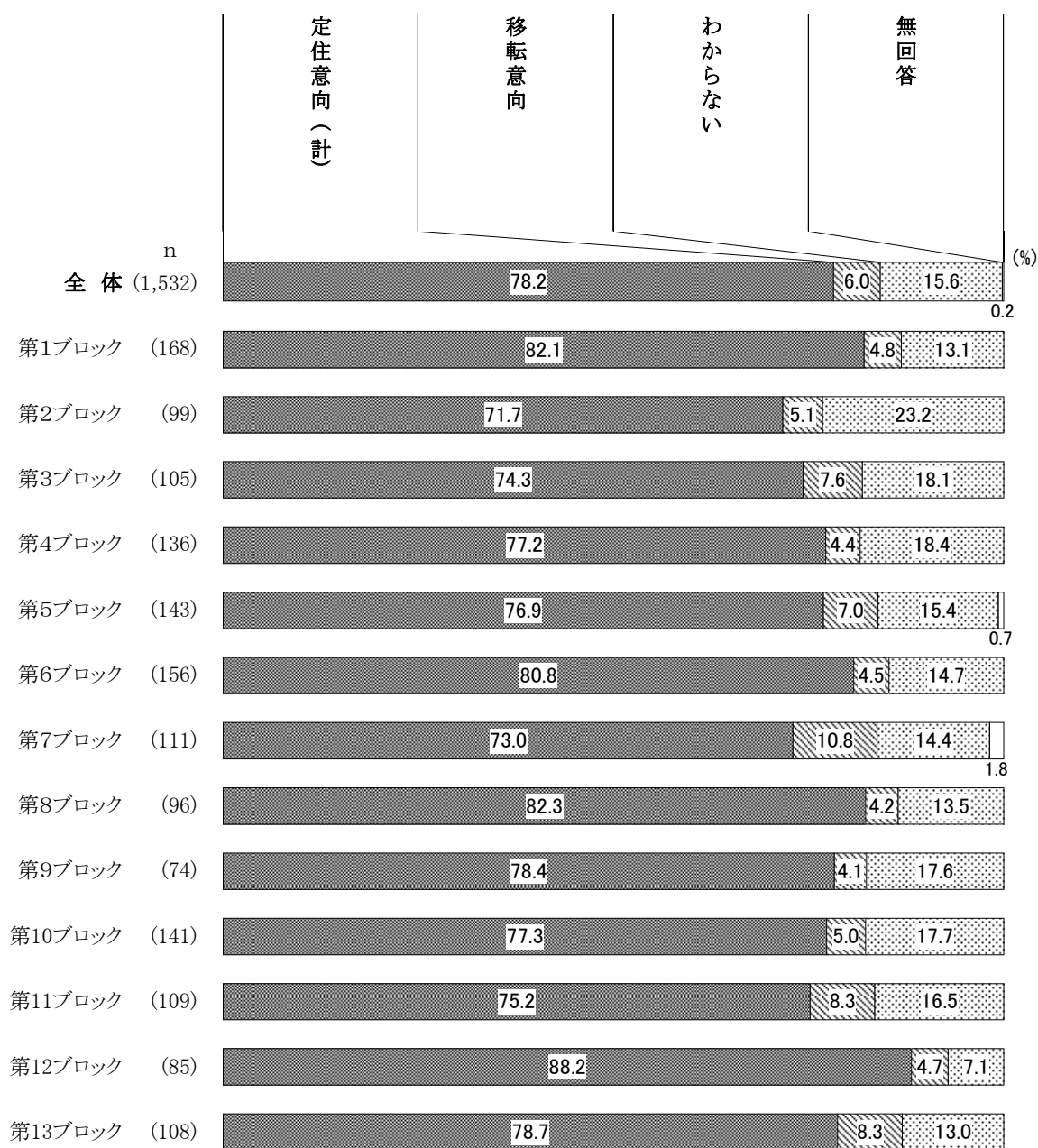
(○は1つ)



(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法（平成12年までは訪問面接法、13年以降は郵送配布郵送回収法）、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

地域ブロック別でみると、第12ブロックでは、【定住意向】が88.2%と全ブロック中最も高くなっている。一方、第2ブロックでは、【定住意向】は71.7%と最も低くなっている。

図1-4-2 地域ブロック別 定住・移転意向

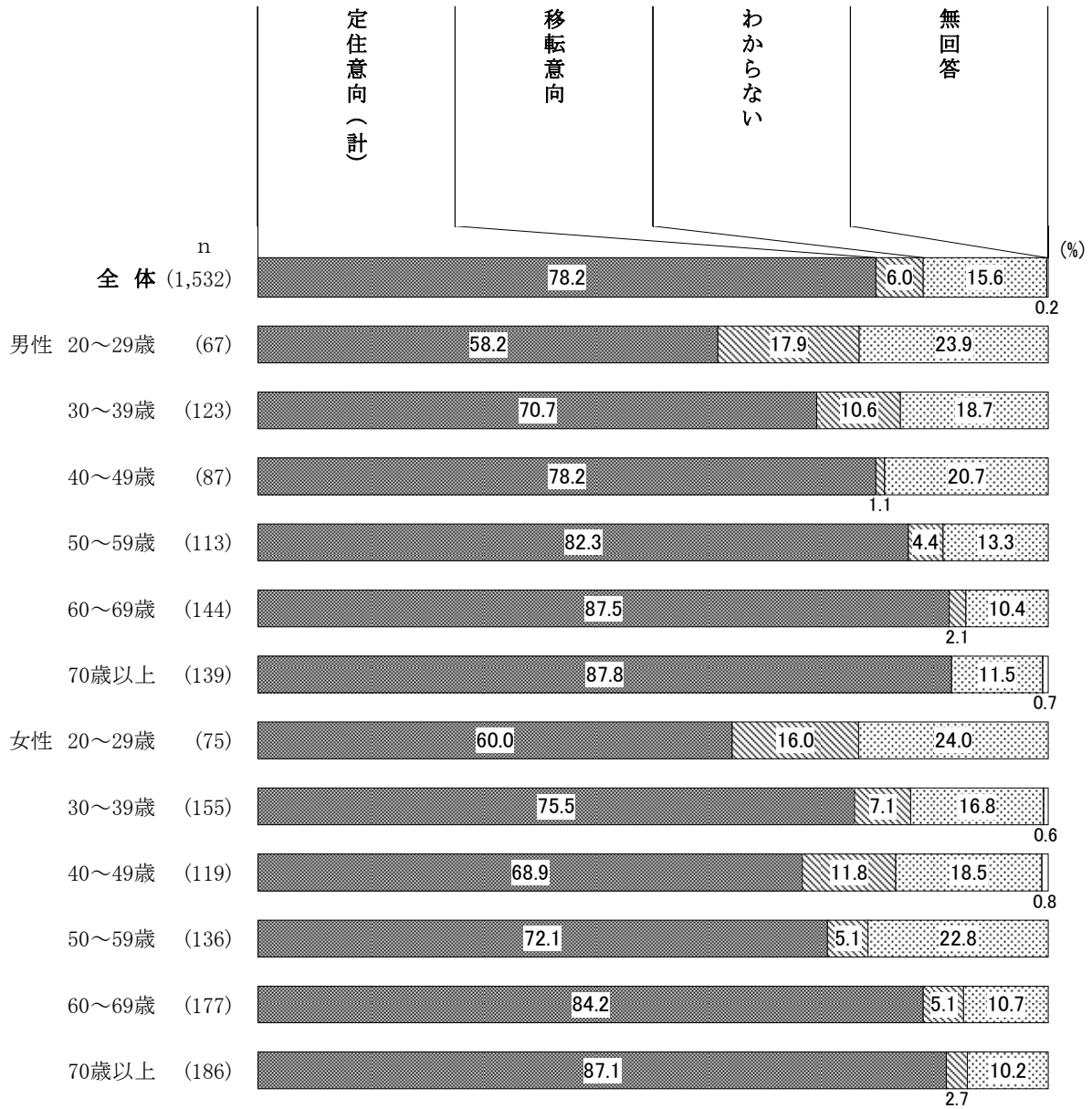


ブロック区分



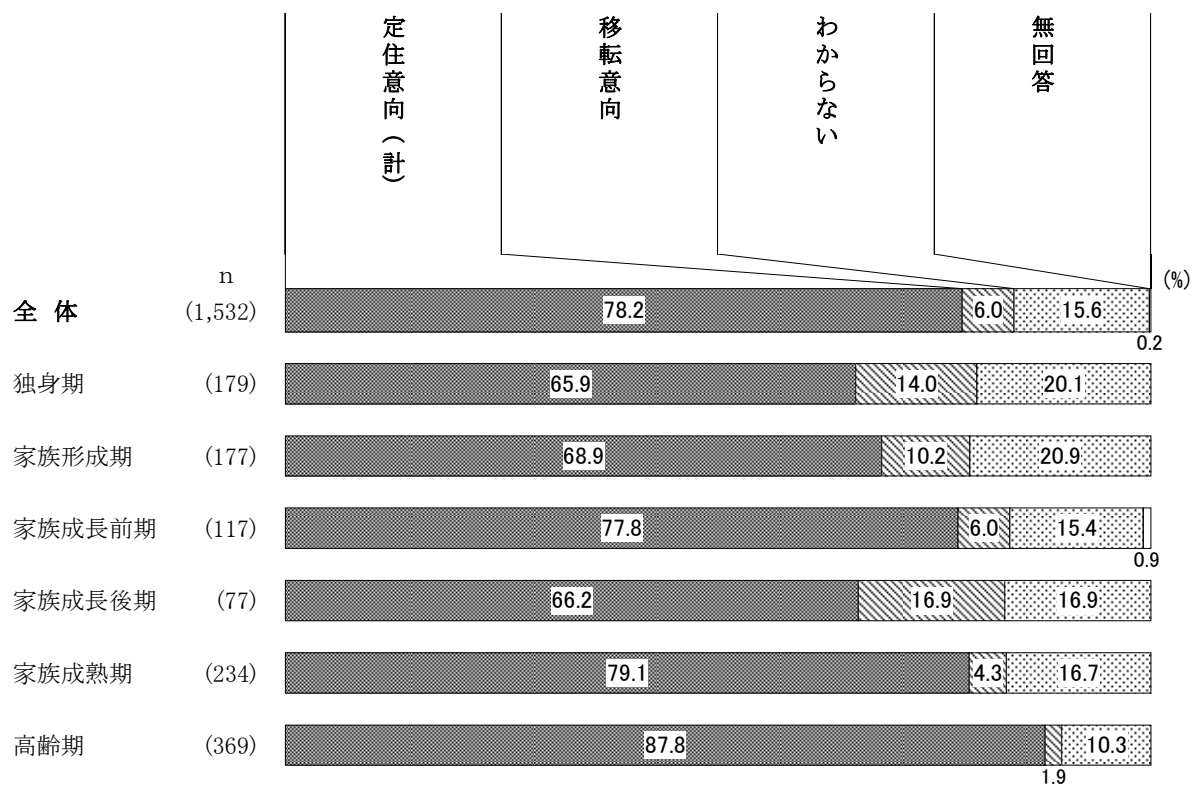
性・年代別でみると、男女とも年齢が高くなるにつれて、【定住意向】は上昇し、男性の70歳以上では87.8%、女性の70歳以上では87.1%に達している。

図 1-4-3 性・年代別 定住・移転意向



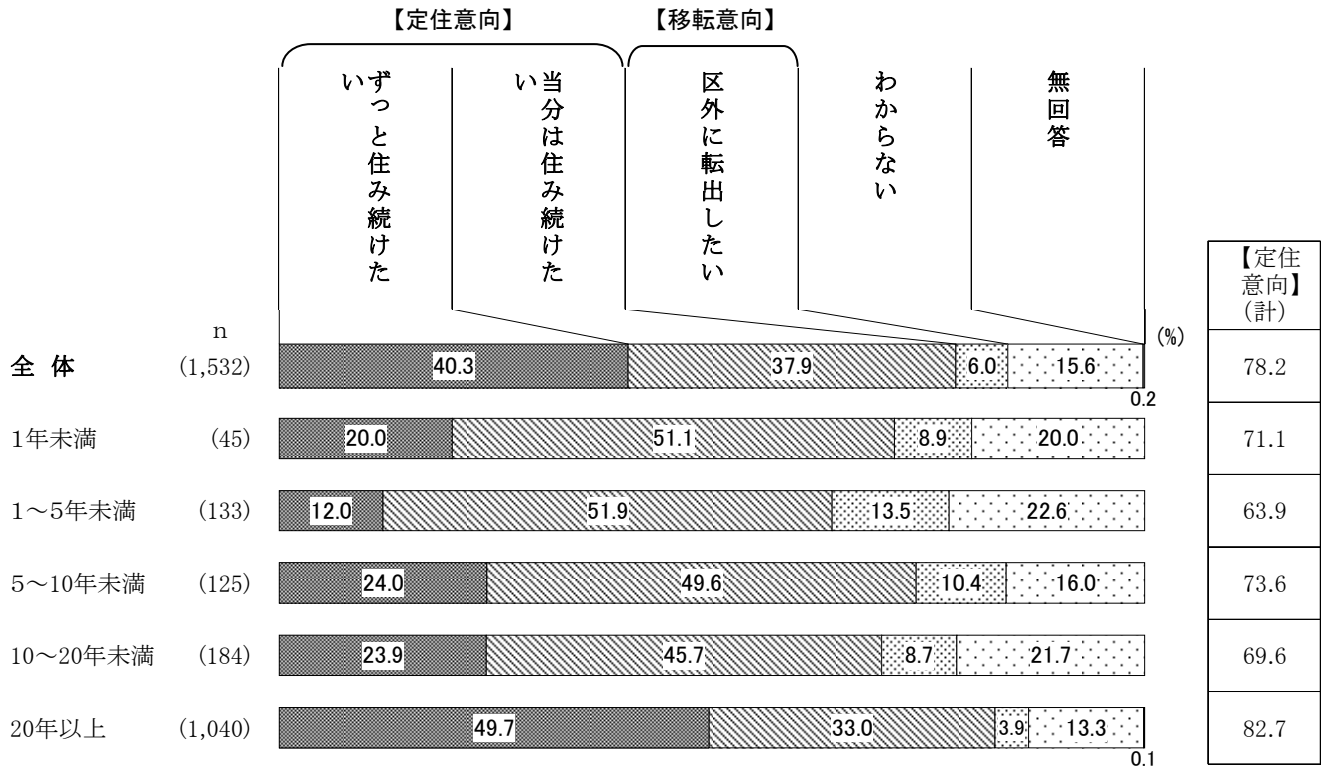
ライフステージ別で見ると、高齢期では【定住意向】が87.8%と最も高くなっている。

図 1-4-4 ライフステージ別 定住・移転意向



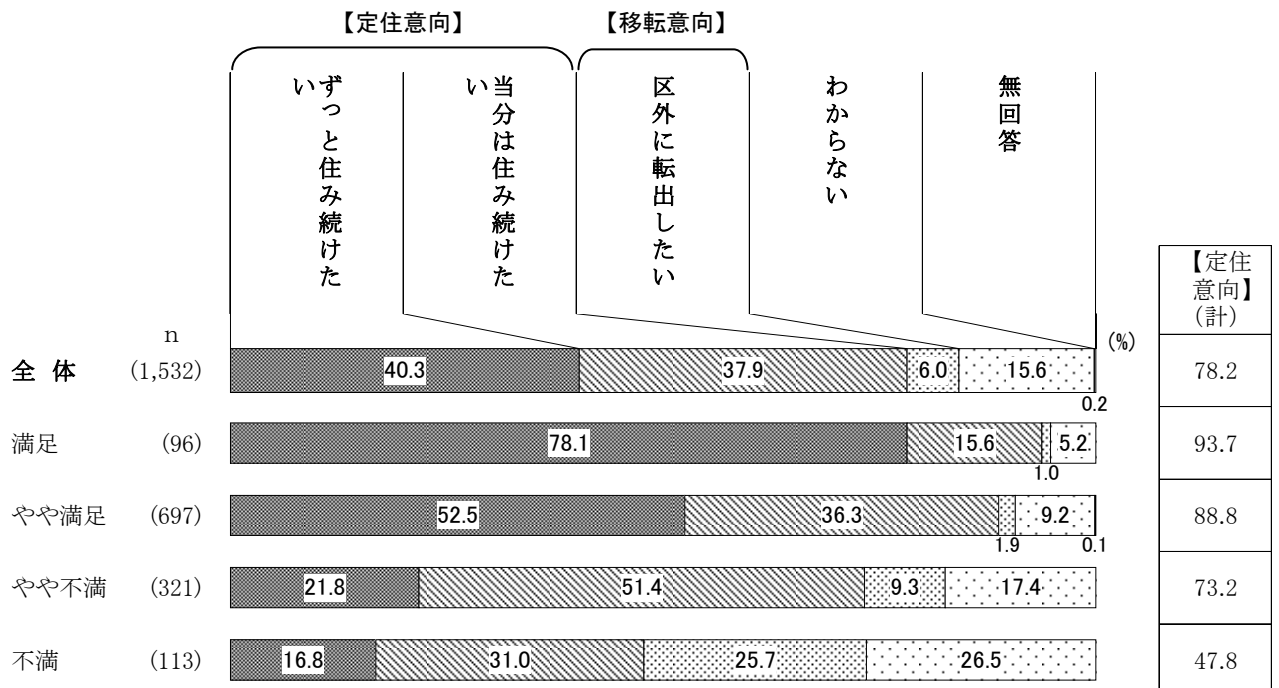
居住年数別でみると、20年以上では、【定住意向】が82.7%を占め、「ずっと住み続けたい」も49.7%と最も高くなっている。一方、1～5年未満では、「ずっと住み続けたい」(12.0%)が最も低く、「区外に転出したい」(13.5%)が最も高くなっている。

図1-4-5 居住年数別 定住・移転意向



区政への満足度別でみると、満足度が高くなるにつれて【定住意向】は増加し、“満足”という層では93.7%を占めている。また、この層では「ずっと住み続けたい」も78.1%と8割近くを占めている。

図1-4-6 区政への満足度別 定住・移転意向



2 区の魅力・イメージ

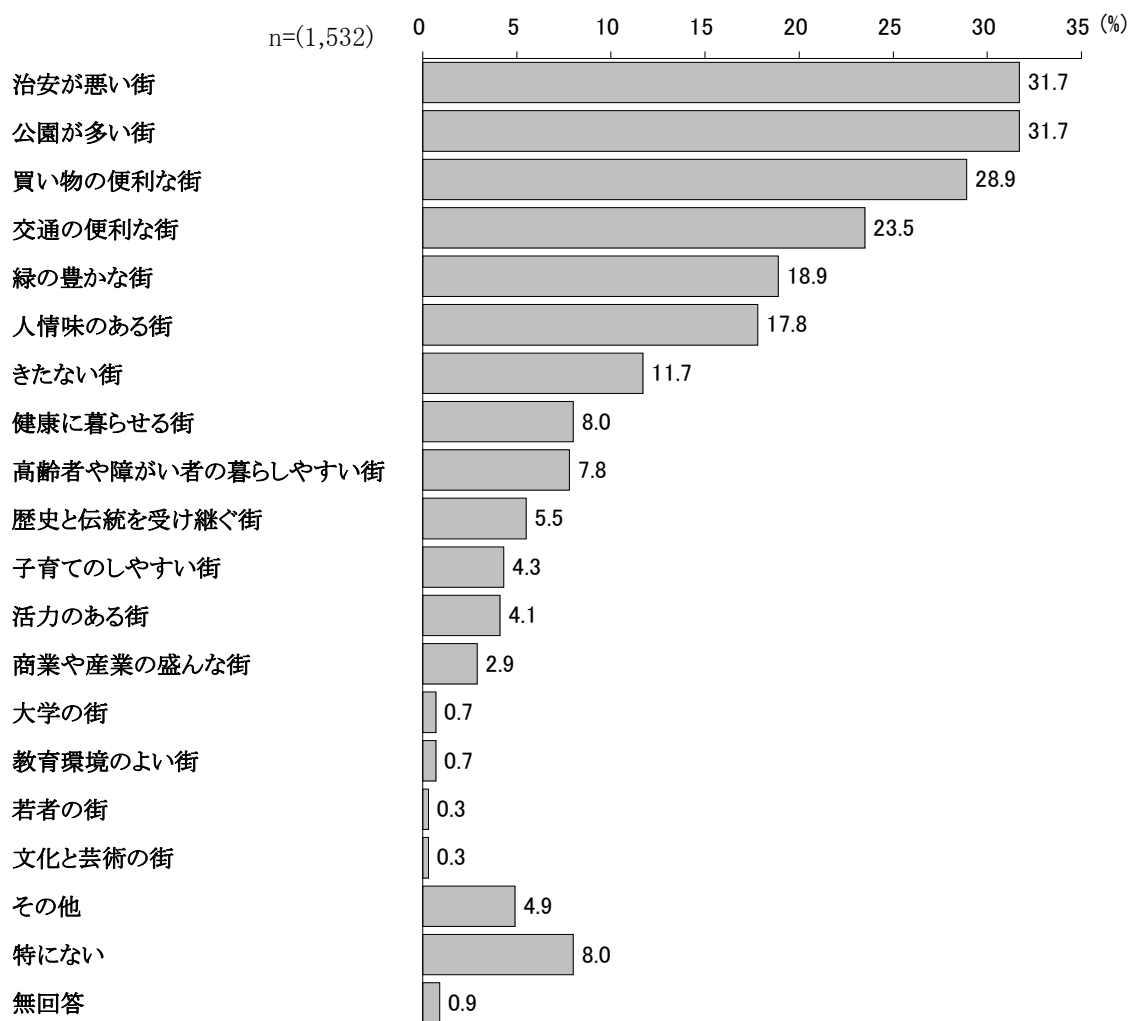
-
- (1) 区のイメージ
 - (2) 区の事業や施設との関わり
 - (3) 区に対する愛着や誇りに繋がるもの
 - (4) 区に対する気持ち
 - (5) 区のシンボル
 - (6) ここ数年で大きく変化した地域
-

2 区の魅力・イメージ

(1) 区のイメージ

- 「公園が多い街」と「治安が悪い街」が3割を超える

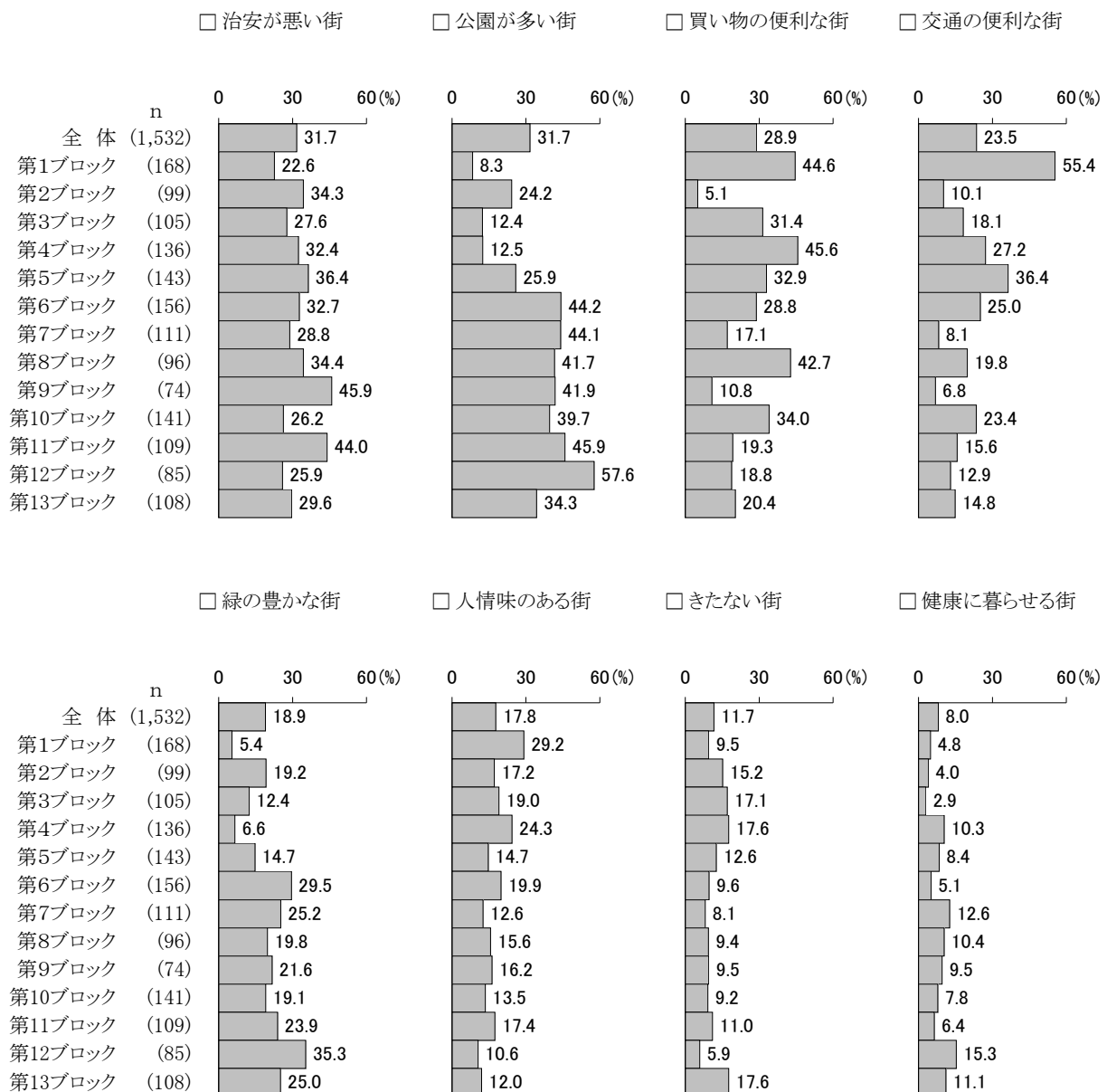
問6 あなたは、足立区に対してどのようなイメージ（印象）を持っていますか。（〇は3つまで）



区に対するイメージ（印象）は、「公園が多い街」（31.7%）と「治安が悪い街」（31.7%）が、いずれも3割を超えて多くなっている。また、「買い物の便利な街」（28.9%）、「交通の便利な街」（23.5%）、「緑の豊かな街」（18.9%）も高くなっている。

地域ブロック別でみると、第12ブロックでは、「公園が多い街」が57.6%と6割近くを占めているほか、「緑の豊かな街」(35.3%)も全地域ブロック中最も高くなっている。また、第6、第7、第8、第9、第11ブロックでも「公園が多い街」が4割を超えている。一方、第9、第11ブロックでは、「治安が悪い街」が、それぞれ45.9%、44.0%と4割を超え、他のブロックより高くなっている。第1ブロックでは、「交通の便利な街」が55.4%と全地域ブロック中際立って高くなっているほか、「買い物の便利な街」(44.6%)も高くなっている。また、第4、第8ブロックでも「買い物の便利な街」が4割を超えている。

図2-1-1 地域ブロック別 区のイメージ（上位8位）

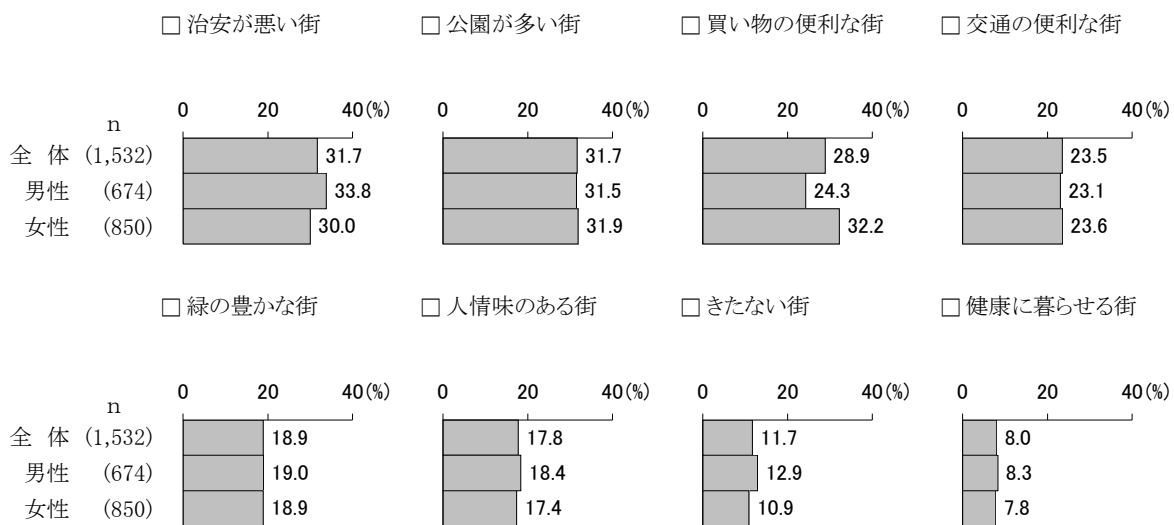


ブロック区分



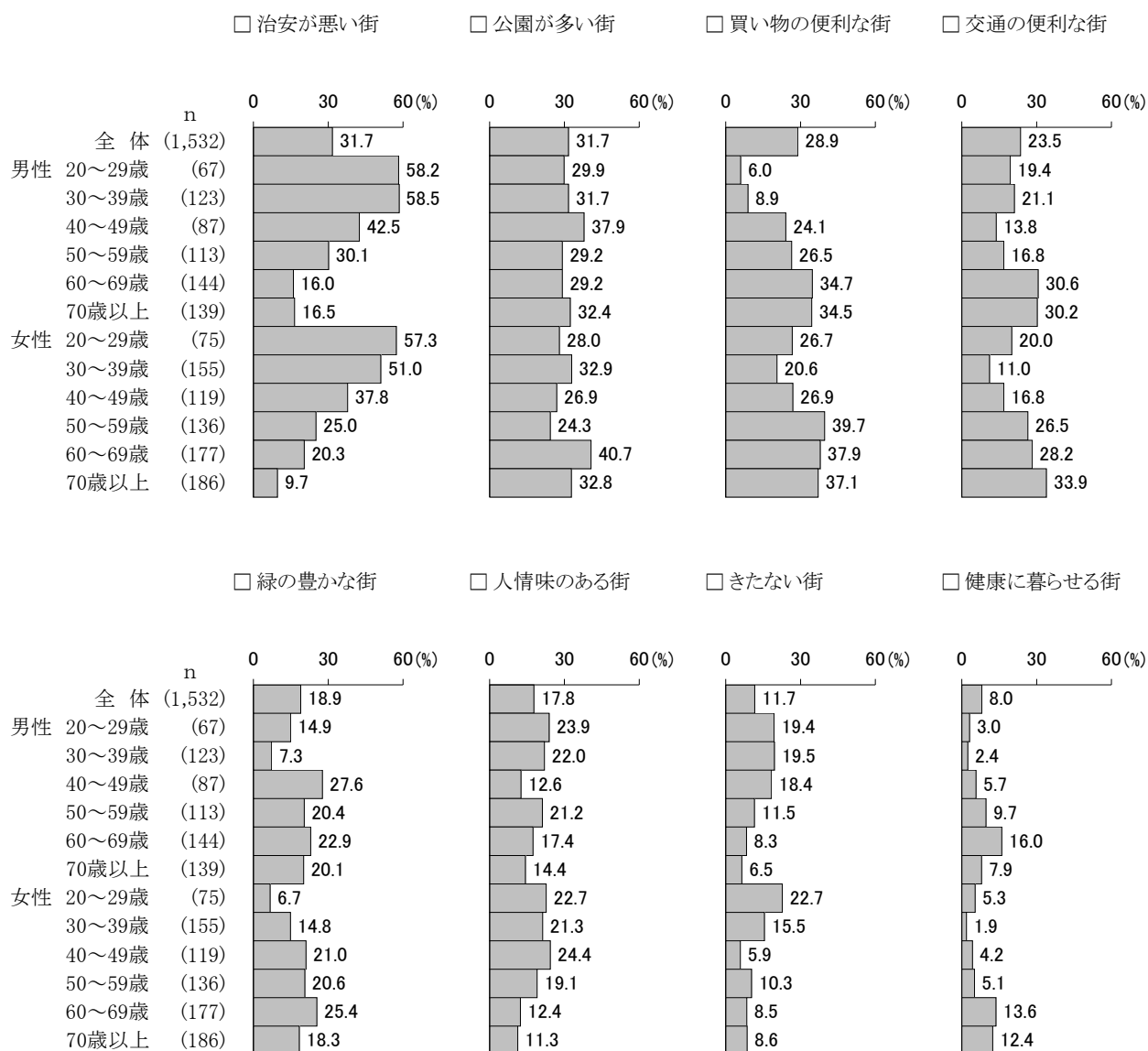
性別で見ると、女性では、「買物の便利な街」が32.2%と、男性（24.3%）より高くなっている。

図 2-1-2 性別 区のイメージ（上位 8 位）



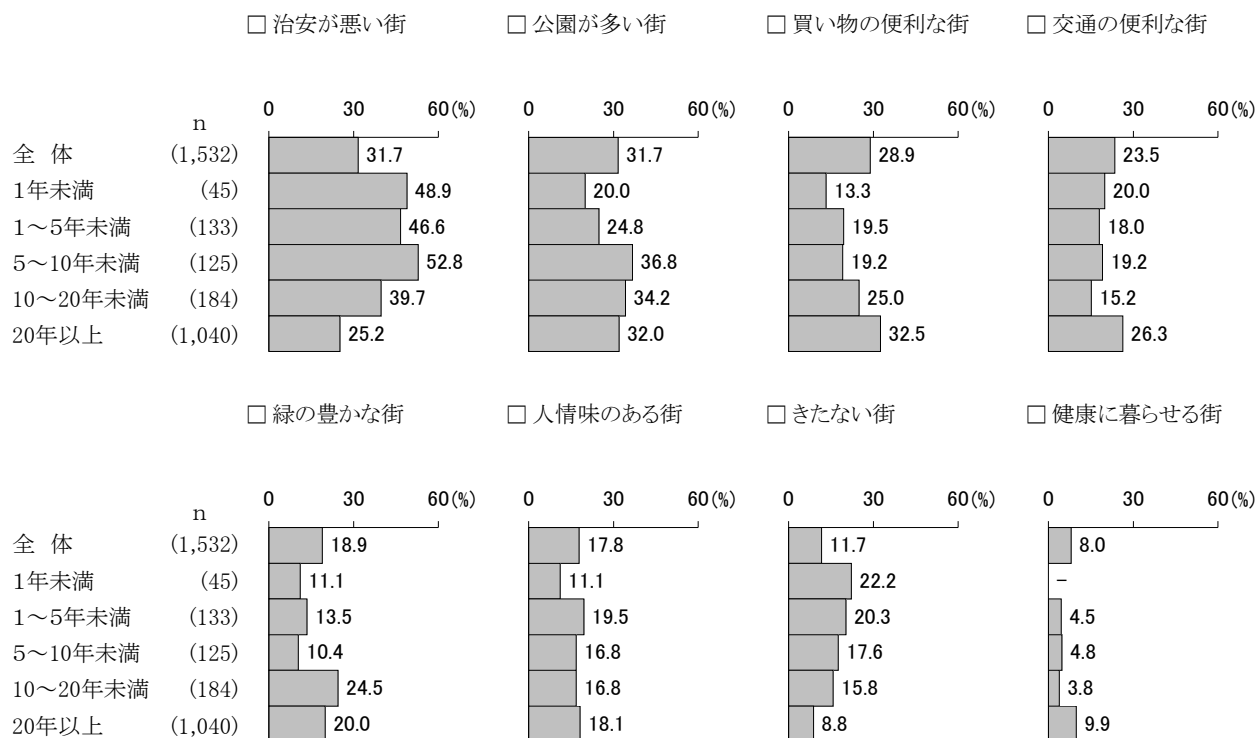
性・年代別でみると、男性では、20代、30代で「治安が悪い街」がそれぞれ58.2%、58.5%と6割近くを占め、他の年代より高くなっている。40代では、「公園が多い街」(37.9%)と「緑の豊かな街」(27.6%)が、他の年代に比べて高くなっている。また、60代、70歳以上では、「買い物の便利な街」及び「交通の便利な街」が3割を超えている。女性では、20代、30代で「治安が悪い街」がそれぞれ57.3%、51.0%と5割を超え、他の年代より高くなっている。50代以上ではいずれの年代でも「買い物の便利な街」が4割近くを占めている。また、60代では「公園が多い街」が40.7%と最も高くなっている。

図2-1-3 性・年代別 区のイメージ（上位8位）



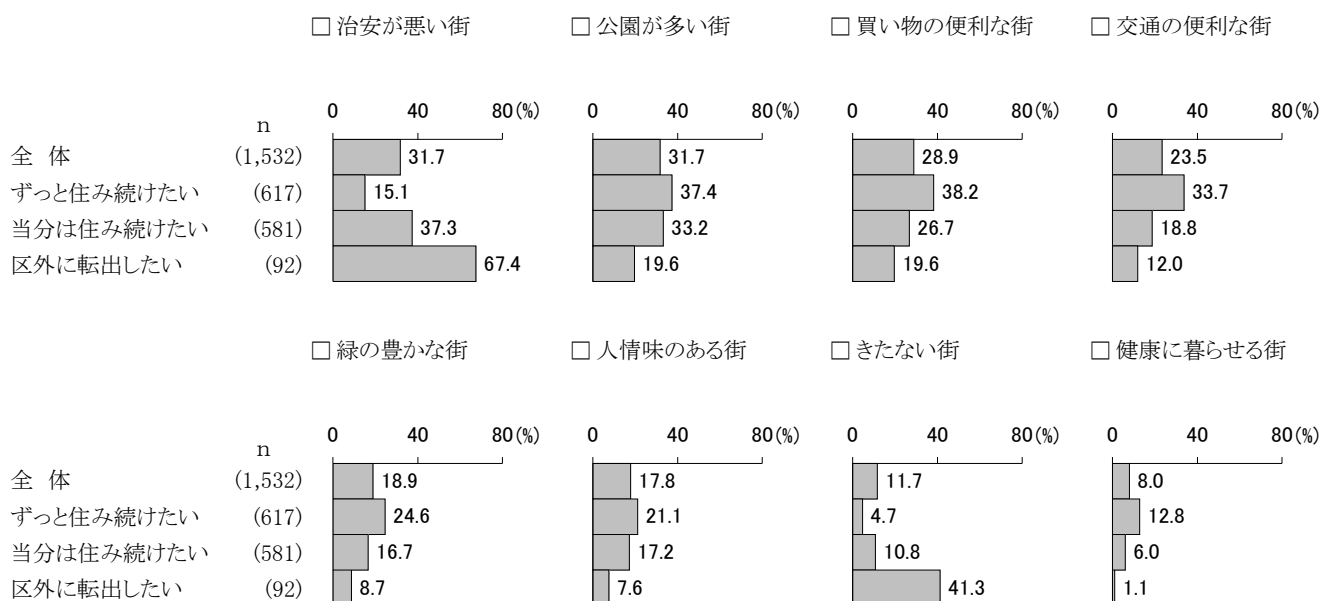
居住年数別でみると、5～10年未満では、「治安が悪い街」が52.8%を占めているほか、1年未満、1～5年未満でも5割近くを占めている。5～10年未満、10～20年未満、20年以上では、いずれの年代でも「公園が多い街」が3割を超えている。また、20年以上では、「買い物の便利な街」（32.5%）と「交通の便利な街」（26.3%）が他の層より高くなっている。

図2-1-4 居住年数別 区のイメージ（上位8位）



定住・移転意向別でみると、定住意向が高くなるにつれて、「公園が多い街」、「緑の豊かな街」、「買い物の便利な街」、「交通の便利な街」は上昇している。一方、「区外に転出したい」層では、「治安が悪い街」が67.4%と定住意向層を大きく上回っている。

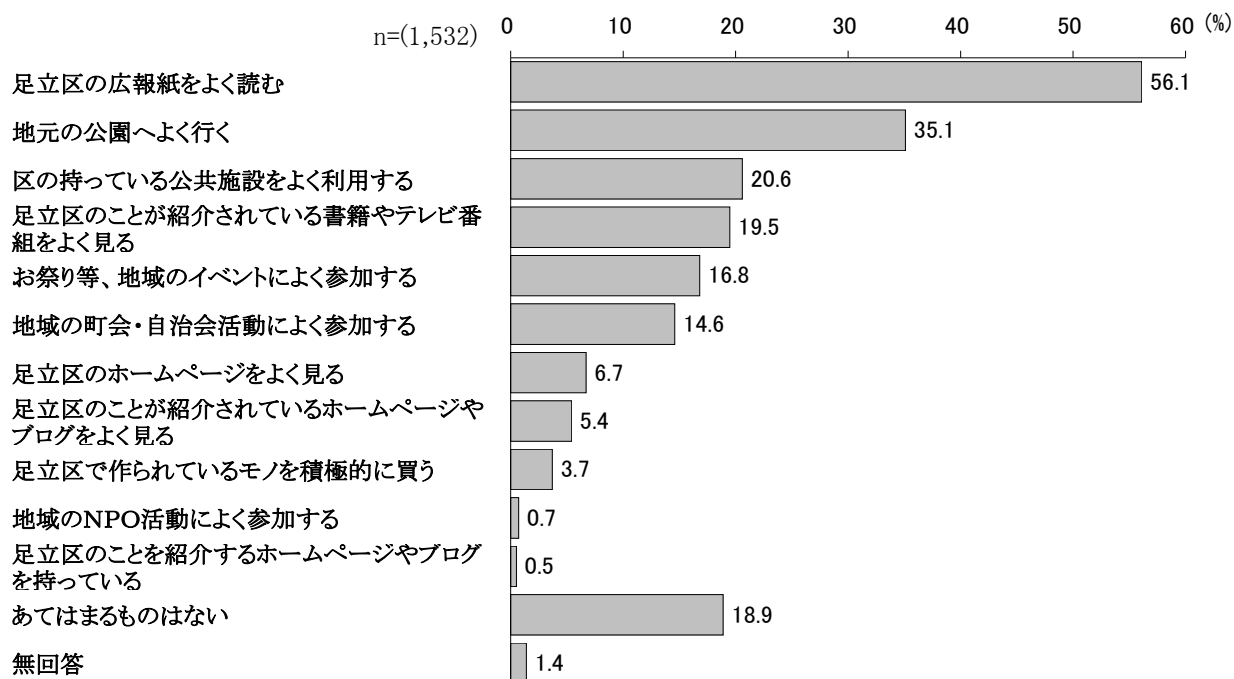
図2-1-5 定住・移転意向別 区のイメージ（上位8位）



(2) 区の事業や施設との関わり

●「足立区の広報紙をよく読む」が5割台半ばで最も多い

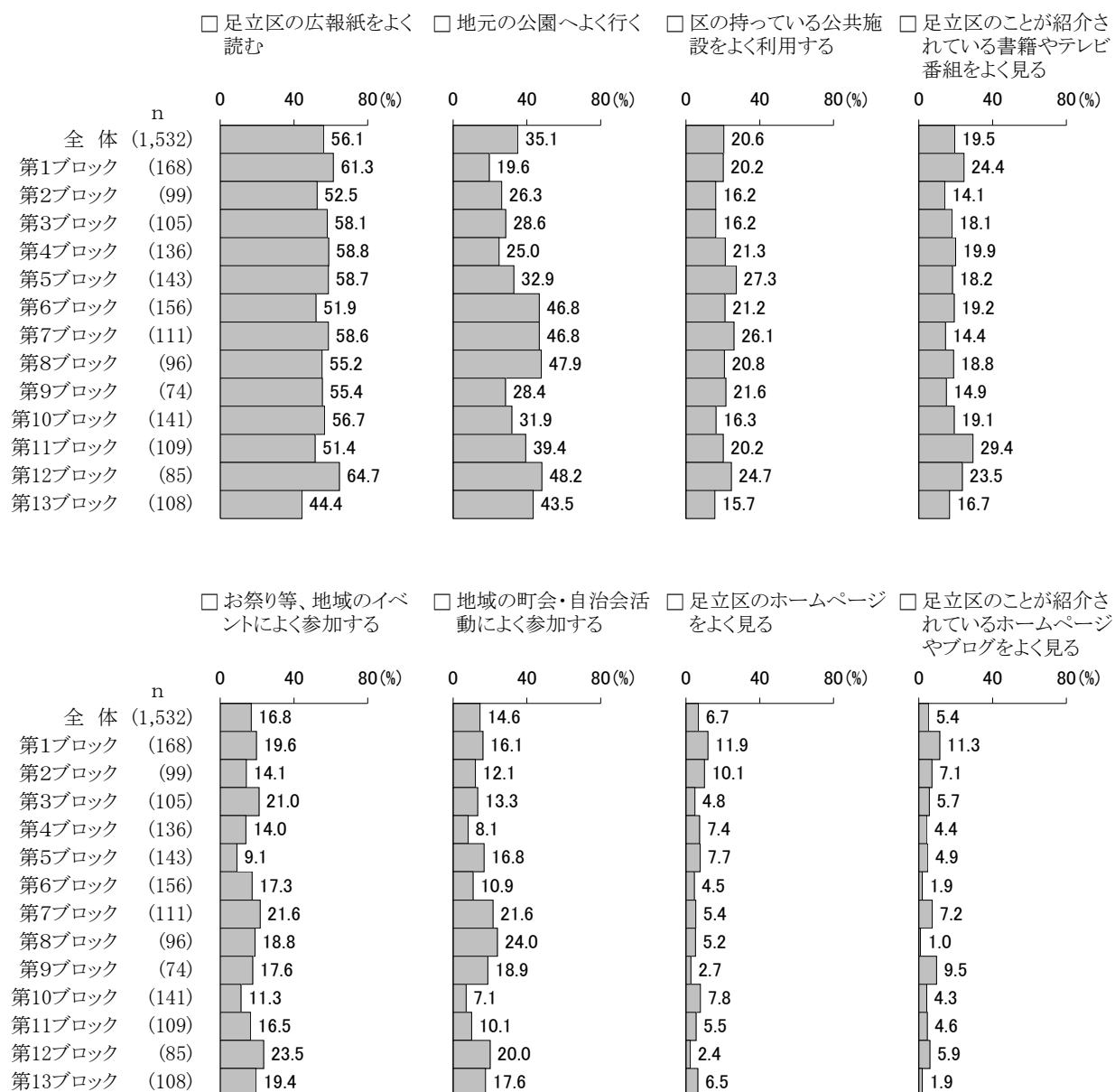
問7 次の中であなたにあてはまることがあれば、お選びください。(○はあてはまるものすべて)



区の事業や施設との関わりは、「足立区の広報紙をよく読む」が56.1%で最も多く、以下、「地元の公園へよく行く」(35.1%)、「区の持っている公共施設をよく利用する」(20.6%)、「足立区のこと紹介されている書籍やテレビ番組をよく見る」(19.5%)の順が続いている。

地域ブロック別でみると、第12ブロックで、「足立区の広報紙をよく読む」が64.7%と最も高くなっているほか、第1、第3、第4、第5、第7ブロックでも6割前後を占めている。また、第6、第7、第8、第12、第13ブロックでは、「地元の公園へよく行く」が、4割を超えている。第5、第7、第12ブロックでは、「区の持っている公共施設をよく利用する」が2割台半ばを占め、他のブロックよりやや高くなっている。

図2-2-1 地域ブロック別 区の事業や施設との関わり（上位8位）

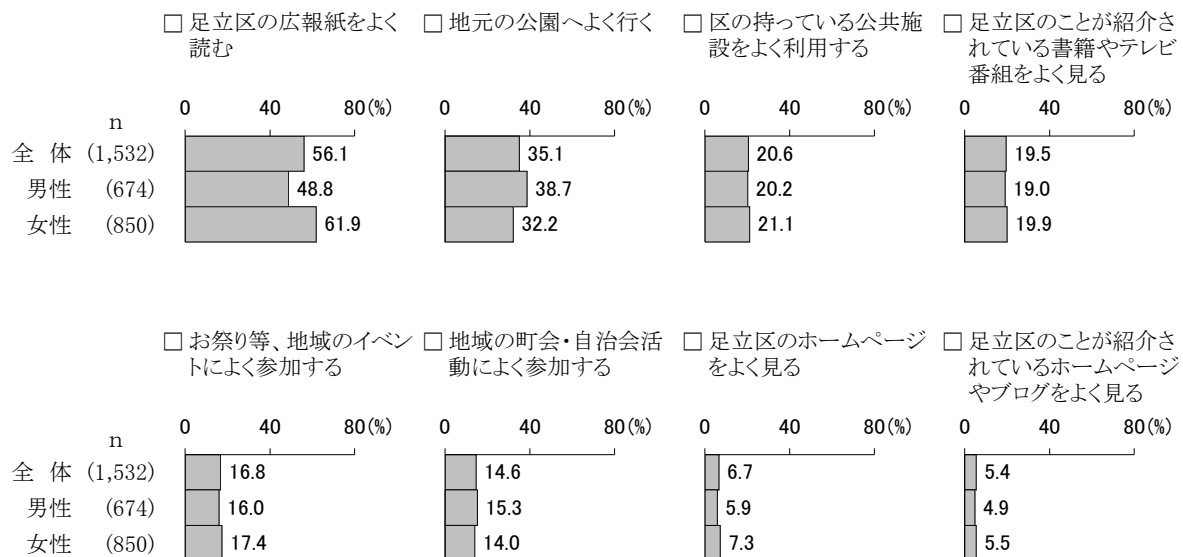


ブロック区分



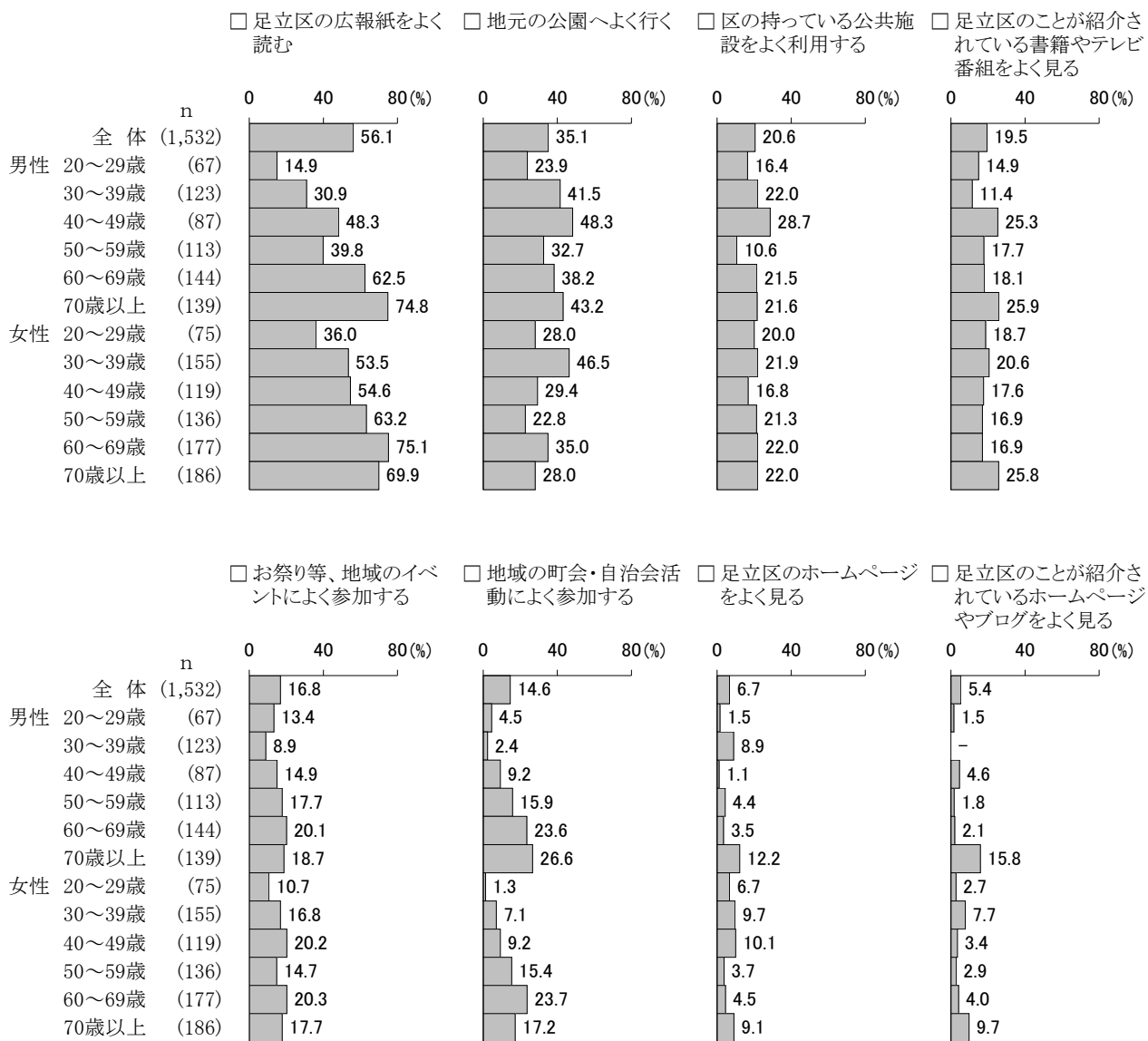
性別で見ると、女性では、「足立区の広報紙をよく読む」が61.9%と男性（48.8%）より高くなっている。

図2-2-2 性別 区の事業や施設との関わり（上位8位）



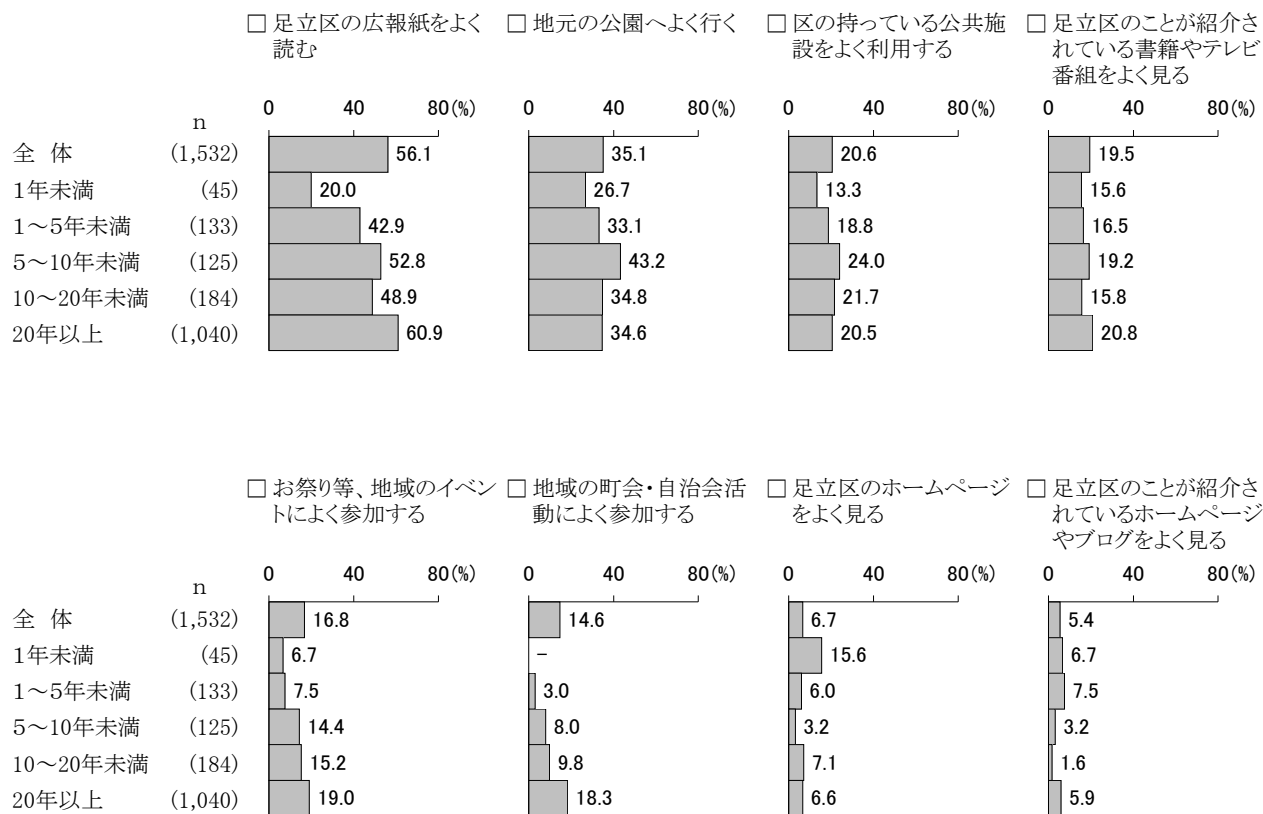
性・年代別でみると、男性では、40代で「地元の公園へよく行く」(48.3%)、「区の持っている公共施設をよく利用する」(28.7%)と、全年代中最も高くなっている。60代、70歳以上では、「足立区の広報紙をよく読む」が6割を超え、特に70歳以上では74.8%と高い値を示している。また、60代、70歳以上では「地域の町会・自治会活動によく参加する」が2割を超え、他の年代より高くなっている。女性では、30代で「地元の公園へよく行く」が46.5%と全年代中最も高くなっている。また、60代では「足立区の広報紙をよく読む」が75.1%と7割台半ばを占めている。

図2-2-3 性・年代別 区の事業や施設との関わり(上位8位)



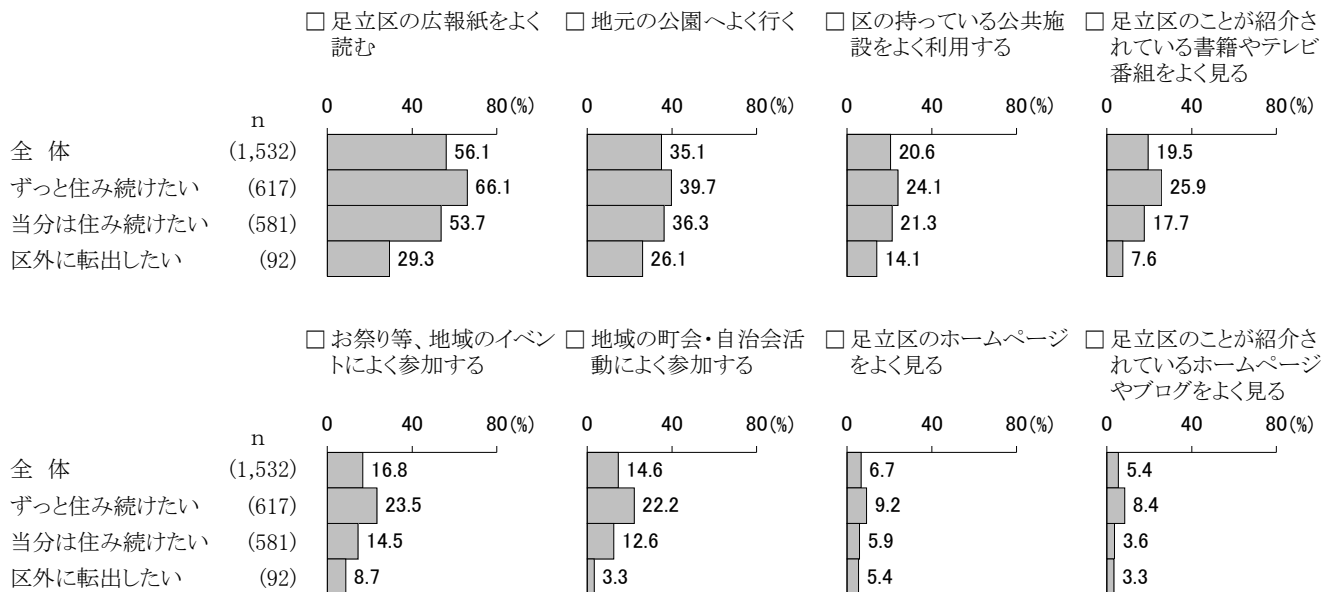
居住年数別でみると、5～10年未満では「地元の公園へよく行く」が43.2%と最も高くなっている。20年以上では、「足立区の広報紙をよく読む」が60.9%と6割を超えている。また、定住年数が長くなるにつれて、「お祭り等、地域のイベントによく参加する」や「地域の町会・自治会活動によく参加する」は高くなる傾向がある。

図2-2-4 居住年数別 区の事業や施設との関わり（上位8位）



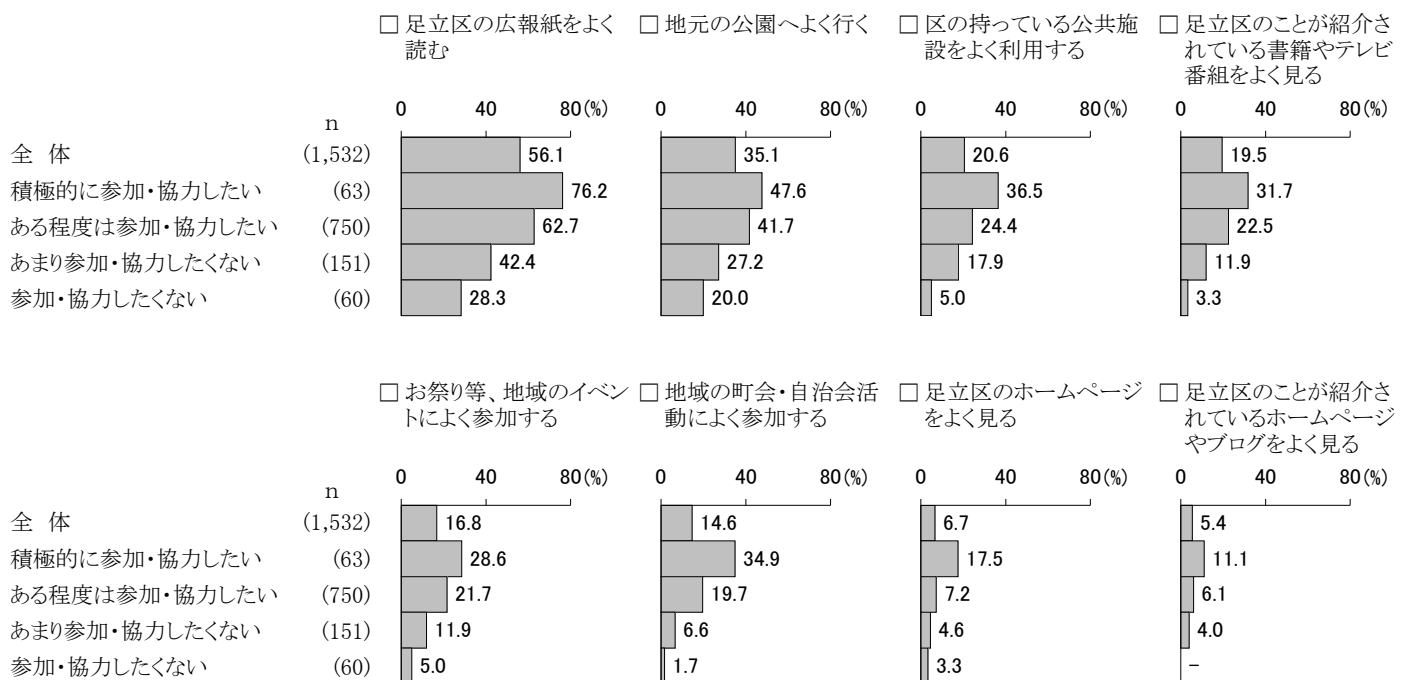
定住・移転意向別でみると、定住意向が高くなるにつれて、高くなる傾向がある。

図 2-2-5 定住・移転意向別 区の事業や施設との関わり（上位 8 位）



区政への参加・協力意向別でみると、区政への参加・協力を積極的な層ほど高い値を示す傾向がある。

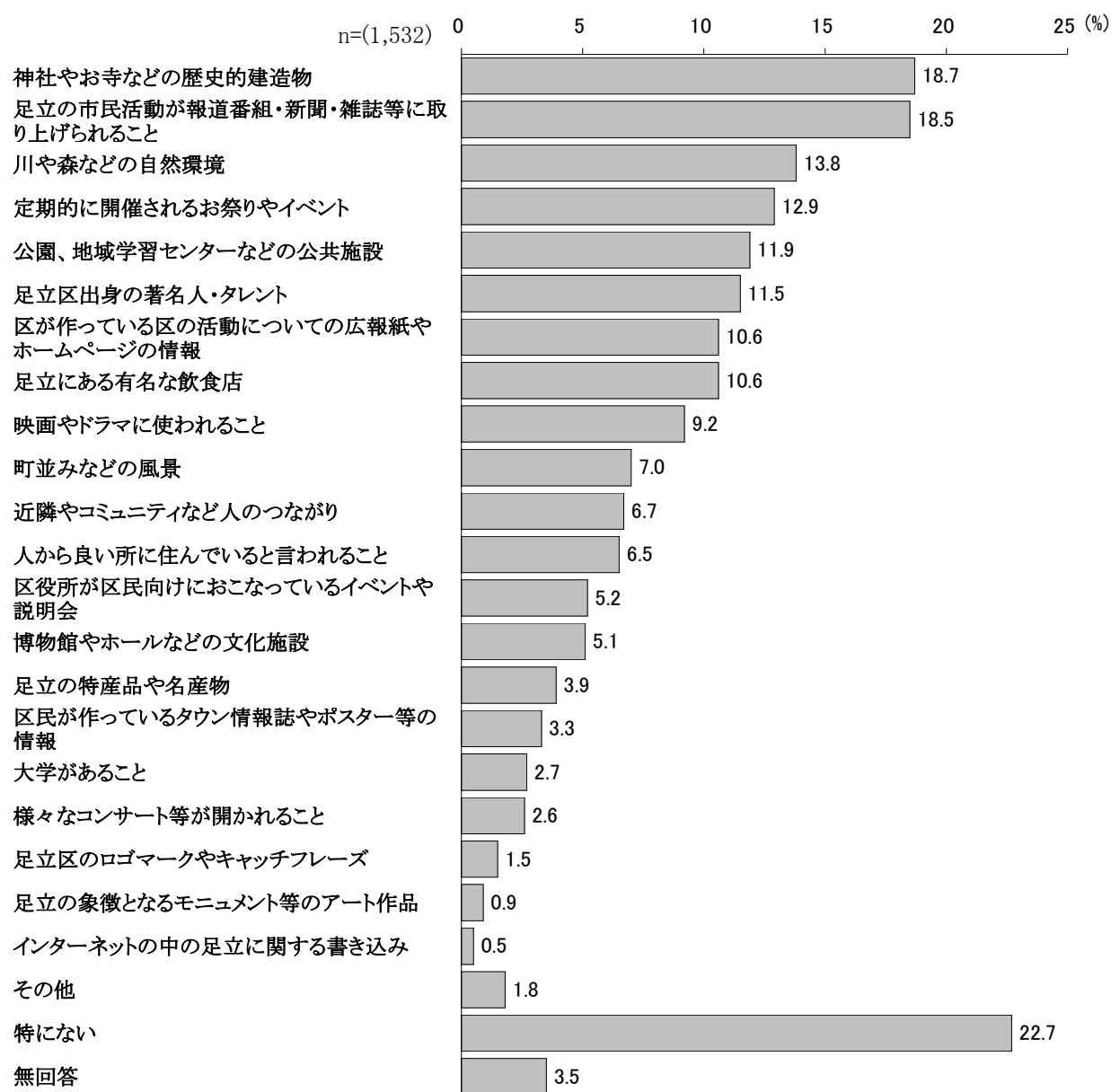
図 2-2-6 区政への参加・協力意向別 区の事業や施設との関わり（上位 8 位）



(3) 区に対する愛着や誇りに繋がるもの

- 「神社やお寺などの歴史的建造物」、「足立の市民活動が報道番組・新聞・雑誌等に取り上げられること」が2割弱

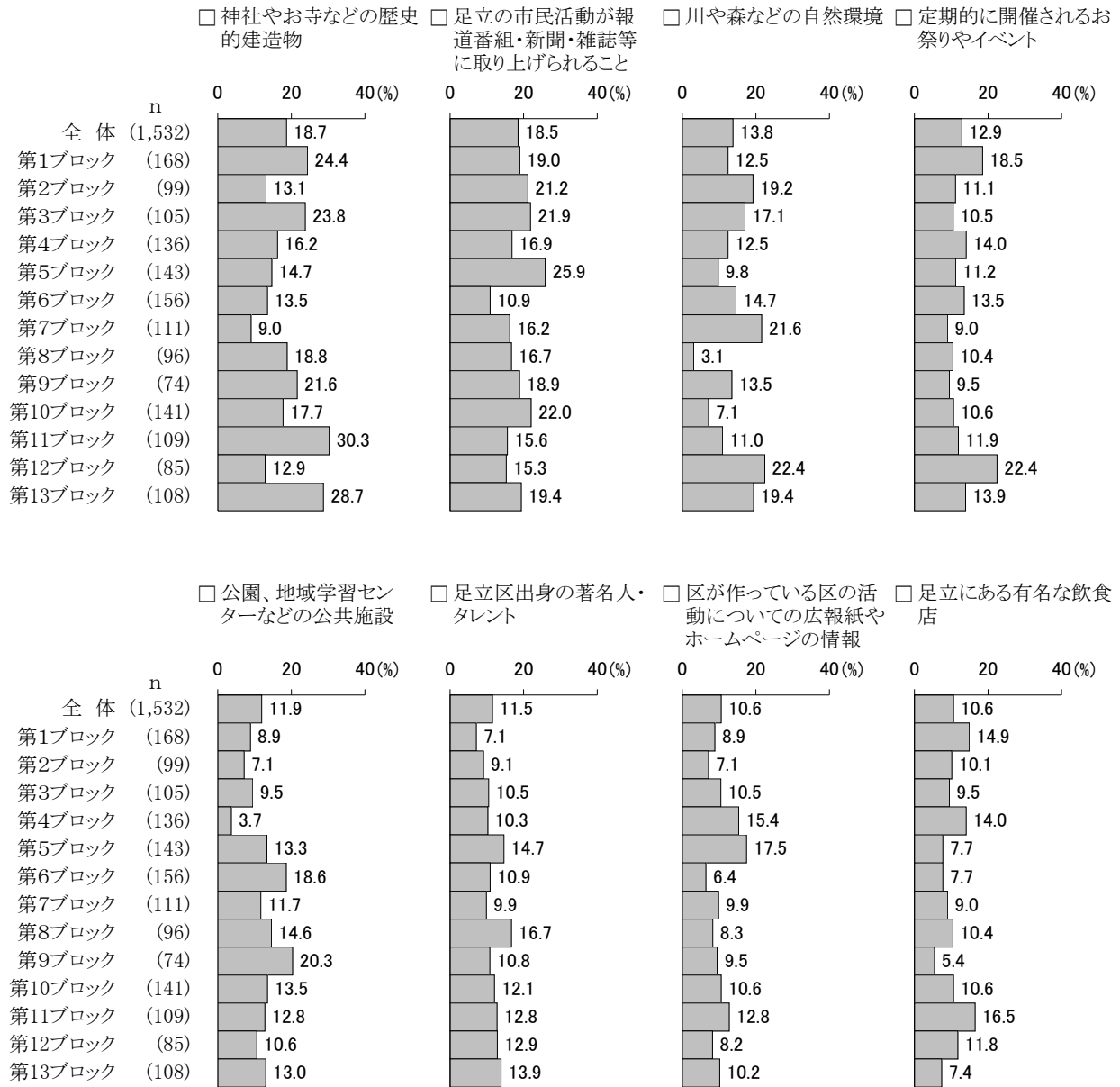
問8 次にあげるモノや事柄は、あなたにとって足立区に対する愛着や誇りに繋がっていますか。



区に対する愛着や誇りに繋がるものは、「神社やお寺などの歴史的建造物」(18.7%)が最も高く、ほか、「足立の市民活動が報道番組・新聞・雑誌等に取り上げられること」(18.5%)、「川や森などの自然環境」(13.8%)、「定期的に行われるお祭りやイベント」(12.9%)、「公園、地域学習センターなどの公共施設」(11.9%)、「足立区出身の著名人・タレント」(11.5%)、「区役所が作っている区の活動についての広報紙やホームページの情報」「足立にある有名な飲食店」(共に10.6%)が1割を超えている。

地域ブロック別でみると、第11ブロックで、「神社やお寺などの歴史的建造物」が30.3%と最も高くなっているほか、第1、第3、第13ブロックでも2割台半ばを示している。第2、第3、第7、第12、第13ブロックでは、「川や森などの自然環境」が2割前後を占めている。また、第12ブロックでは、「定期的に行われるお祭りやイベント」(22.4%)が最も高くなっている。

図2-3-1 地域ブロック別 区に対する愛着や誇りに繋がるもの(上位8位)

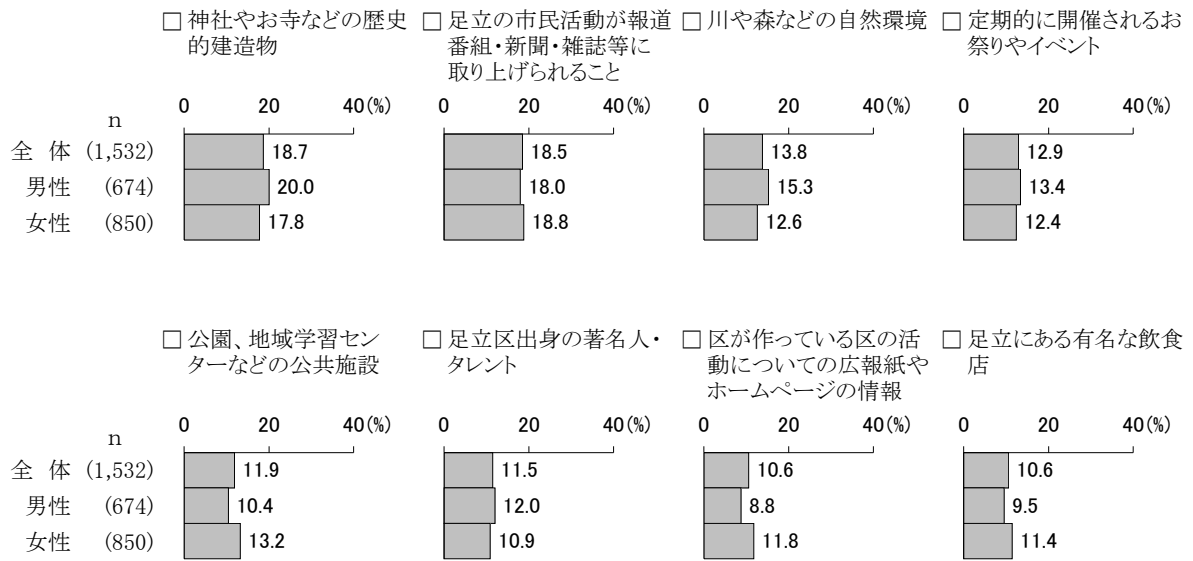


ブロック区分



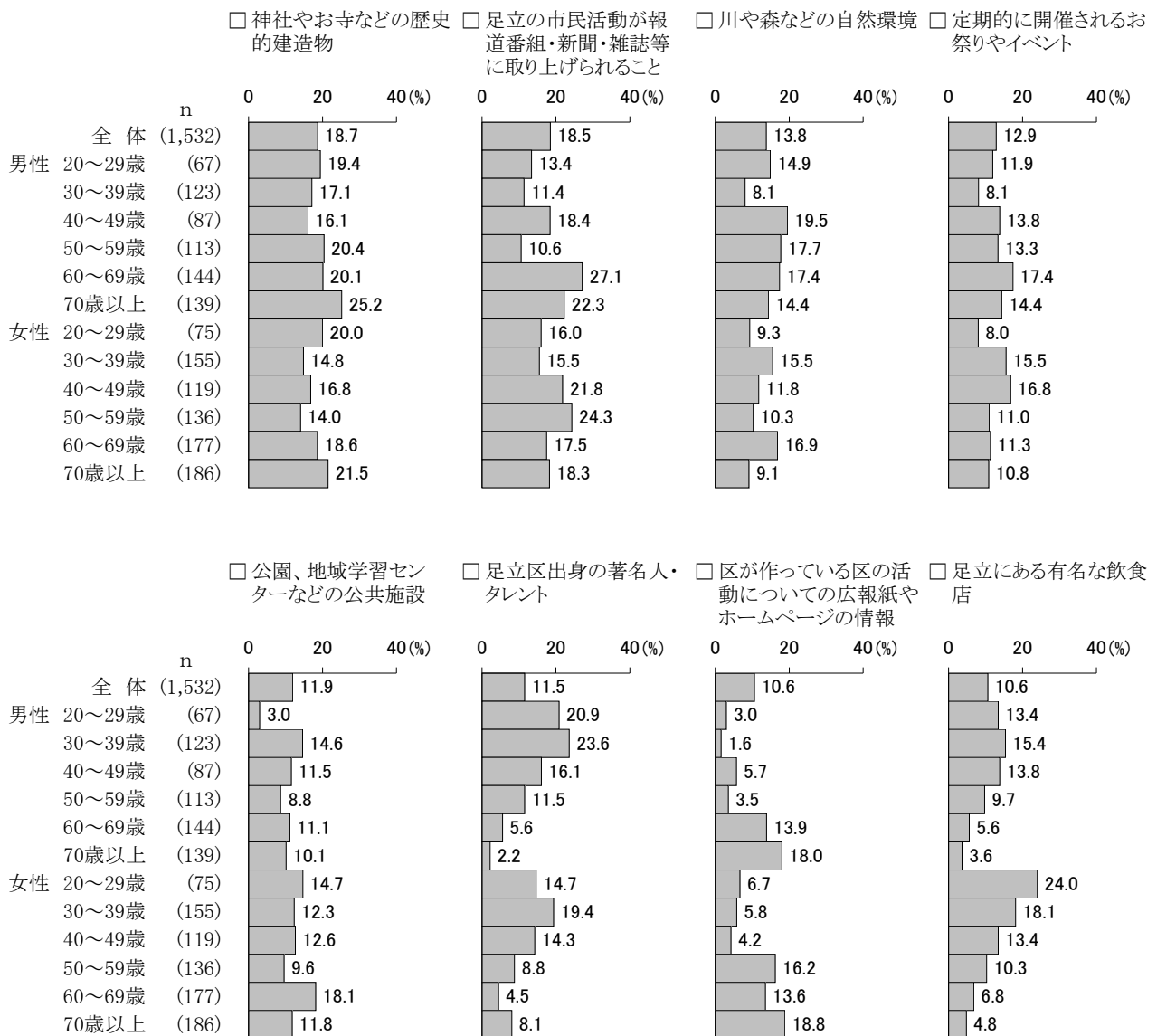
性別でみると、各項目で大きな男女差はみられない。

図 2-3-2 性別 区に対する愛着や誇りに繋がるもの（上位 8 位）



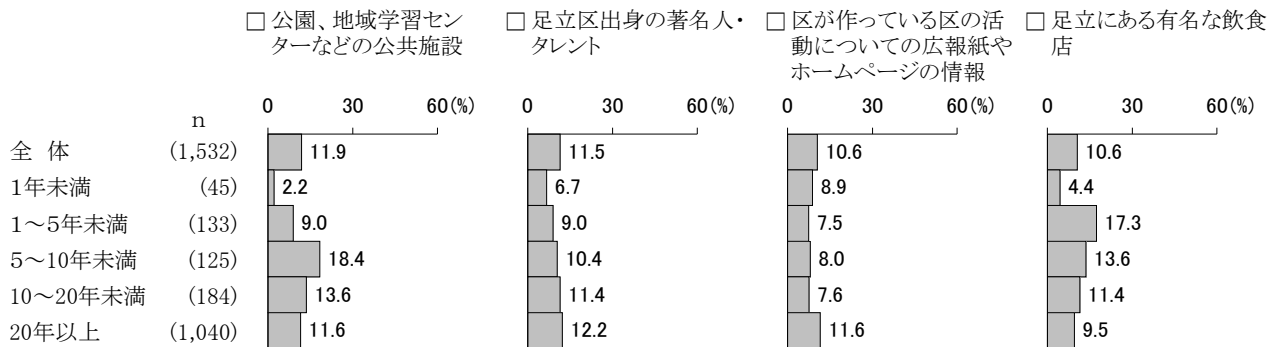
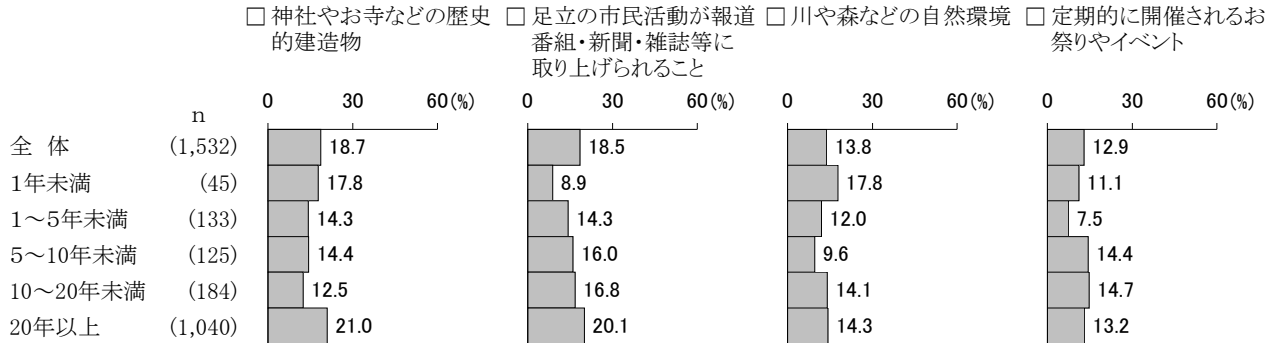
性・年代別でみると、男性では、70歳以上で「神社やお寺などの歴史的建造物」が25.2%と最も高くなっている。また、60代、70歳以上では、「足立の市民活動が報道番組・新聞・雑誌等に取り上げられること」が、いずれも2割を超えている。女性では、20代、30代で「足立にある有名な飲食店」がそれぞれ24.0%、18.1%と他の年代より高くなっている。また、50代では「足立の市民活動が報道番組・新聞・雑誌等に取り上げられること」が24.3%と最も高くなっている。

図2-3-3 性・年代別 区に対する愛着や誇りに繋がるもの（上位8位）



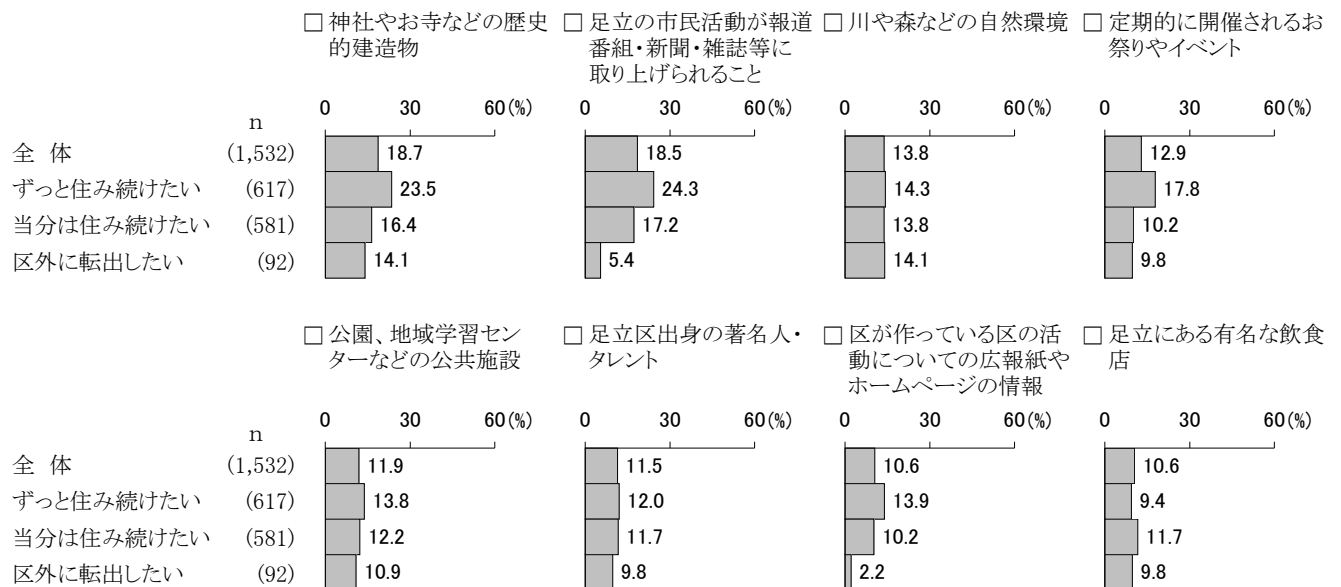
居住年数別でみると、20年以上では、「神社やお寺などの歴史的建造物」(21.0%)、「足立の市民活動が報道番組・新聞・雑誌等に取り上げられること」(20.1%)とも最も高くなっている。

図2-3-4 居住年数別 区に対する愛着や誇りに繋がるもの(上位8位)



定住・移転意向別でみると、「ずっと住みたい」層では、「神社やお寺などの歴史的建造物」(23.5%)、「足立の市民活動が報道番組・新聞・雑誌等に取り上げられること」(24.3%)とも最も高くなっている。

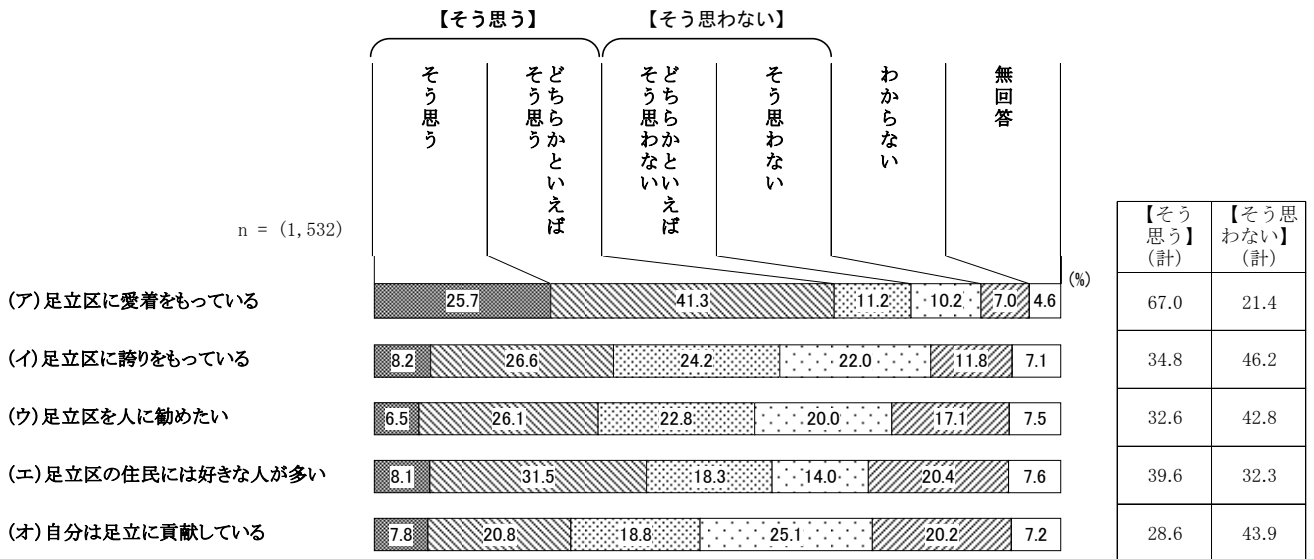
図2-3-5 定住・移転意向別 区に対する愛着や誇りに繋がるもの(上位8位)



(4) 区に対する気持ち

●【そう思う】は「足立区に愛着をもっている」が67.0%で最も高い

問9 あなたの足立区に対する気持ちとして、以下の項目についてどの程度あてはまりますか。(〇は(ア)～(オ)それぞれ1つずつ)



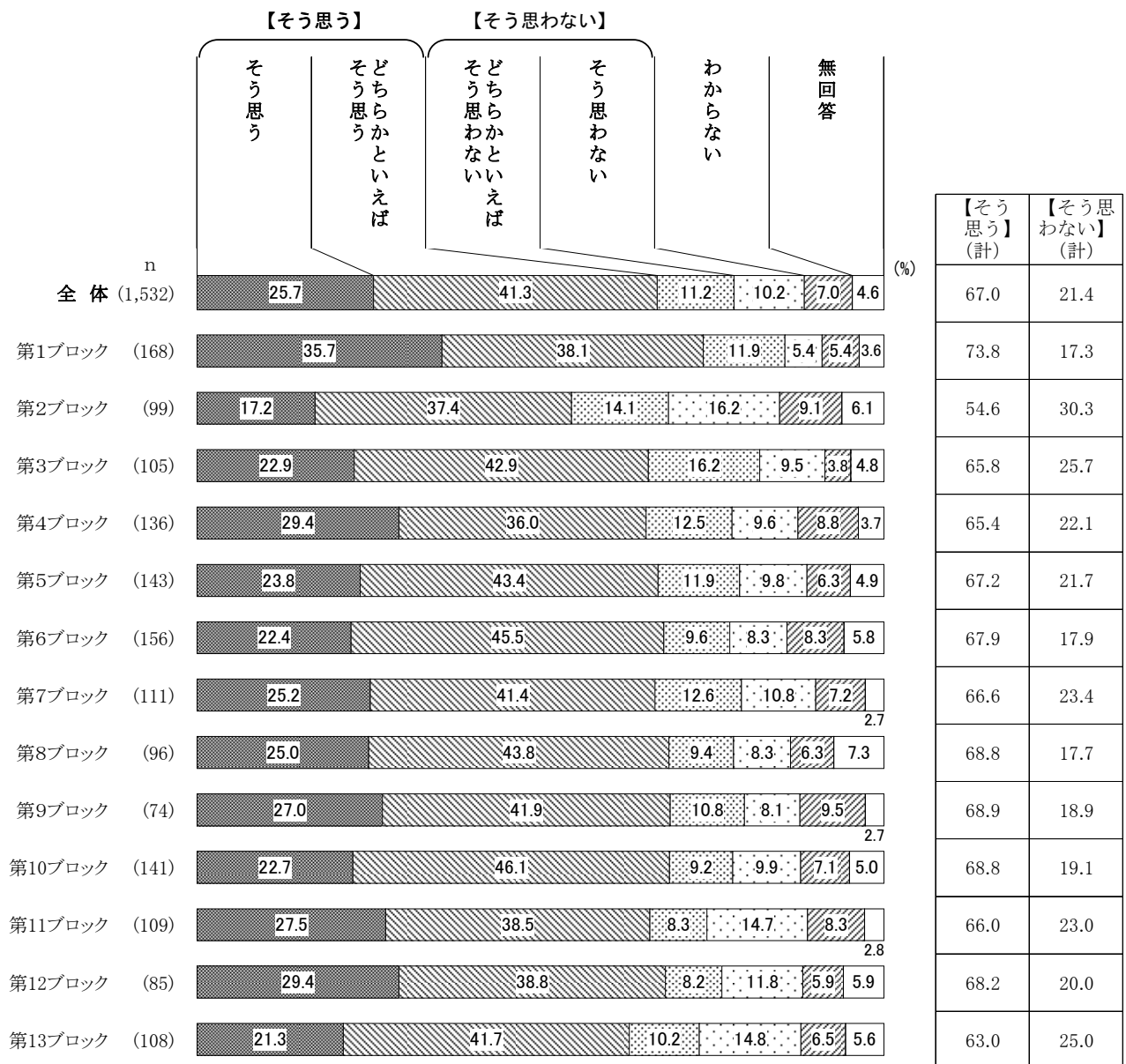
足立区に対する気持ちを、【そう思う】(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)の多い順でみると、〈足立区に愛着をもっている〉が67.0%で最も高く、以下、〈足立区の住民には好きな人が多い〉(39.6%)、〈足立区に誇りをもっている〉(34.8%)、〈足立区を人に勧めたい〉(32.6%)、〈自分は足立に貢献している〉(28.6%)の順が続いている。

地域ブロック別でみると、〈足立区に愛着をもっている〉は、第1ブロックで【そう思う】が73.8%と最も高くなっているのをはじめとして、多くの地域ブロックで6割を超えているが、第2ブロックは54.6%と、唯一6割を下回っている。

〈足立区に誇りをもっている〉は、第1ブロックで44.1%と最も高く、第9ブロックでも4割を超えている。

図2-4-1 地域ブロック別 区に対する気持ち

(ア) 足立区に愛着をもっている

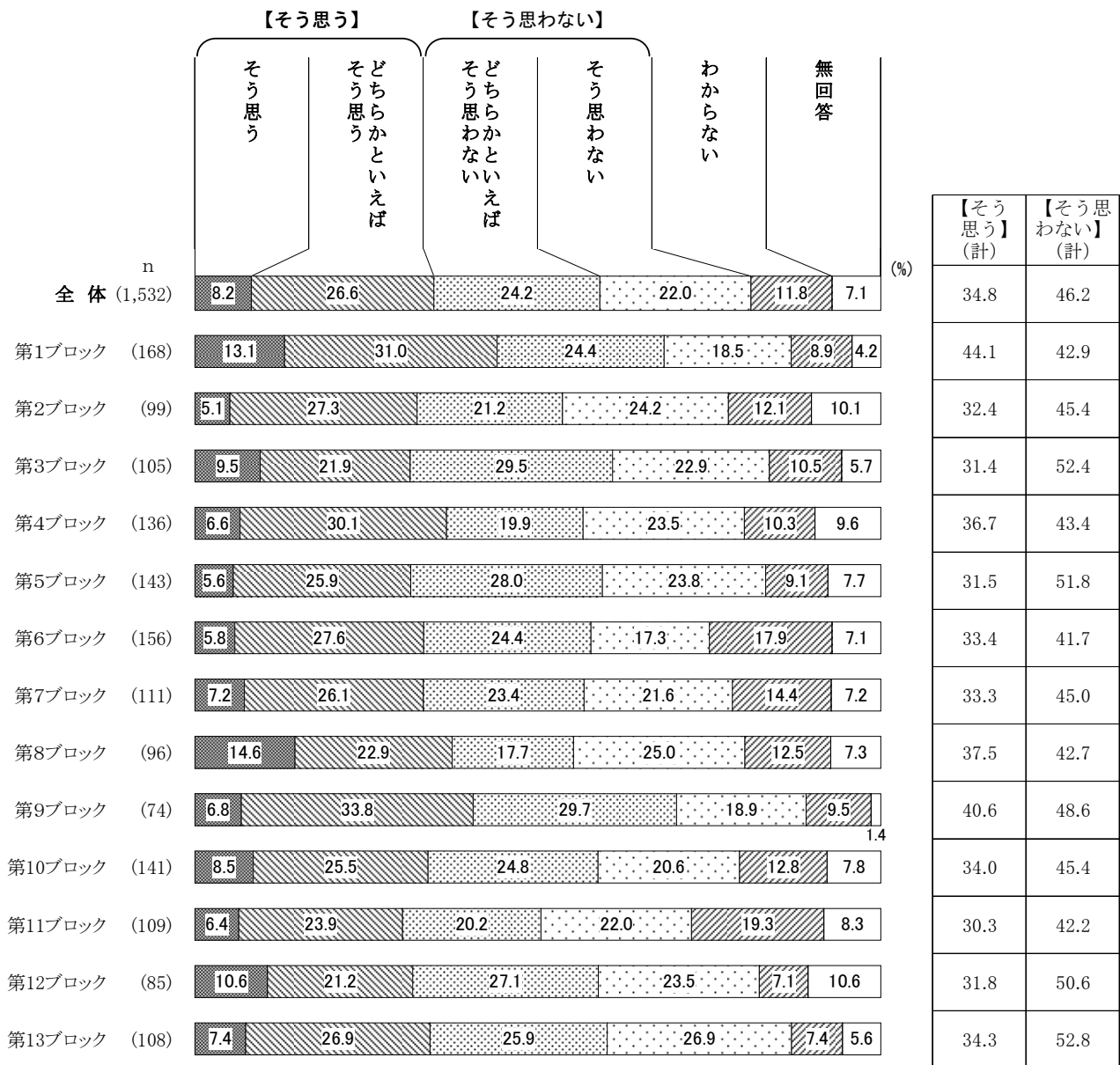


ブロック区分



図2-4-1 地域ブロック別 区に対する気持ち—つづき—

(イ) 足立区に誇りをもっている

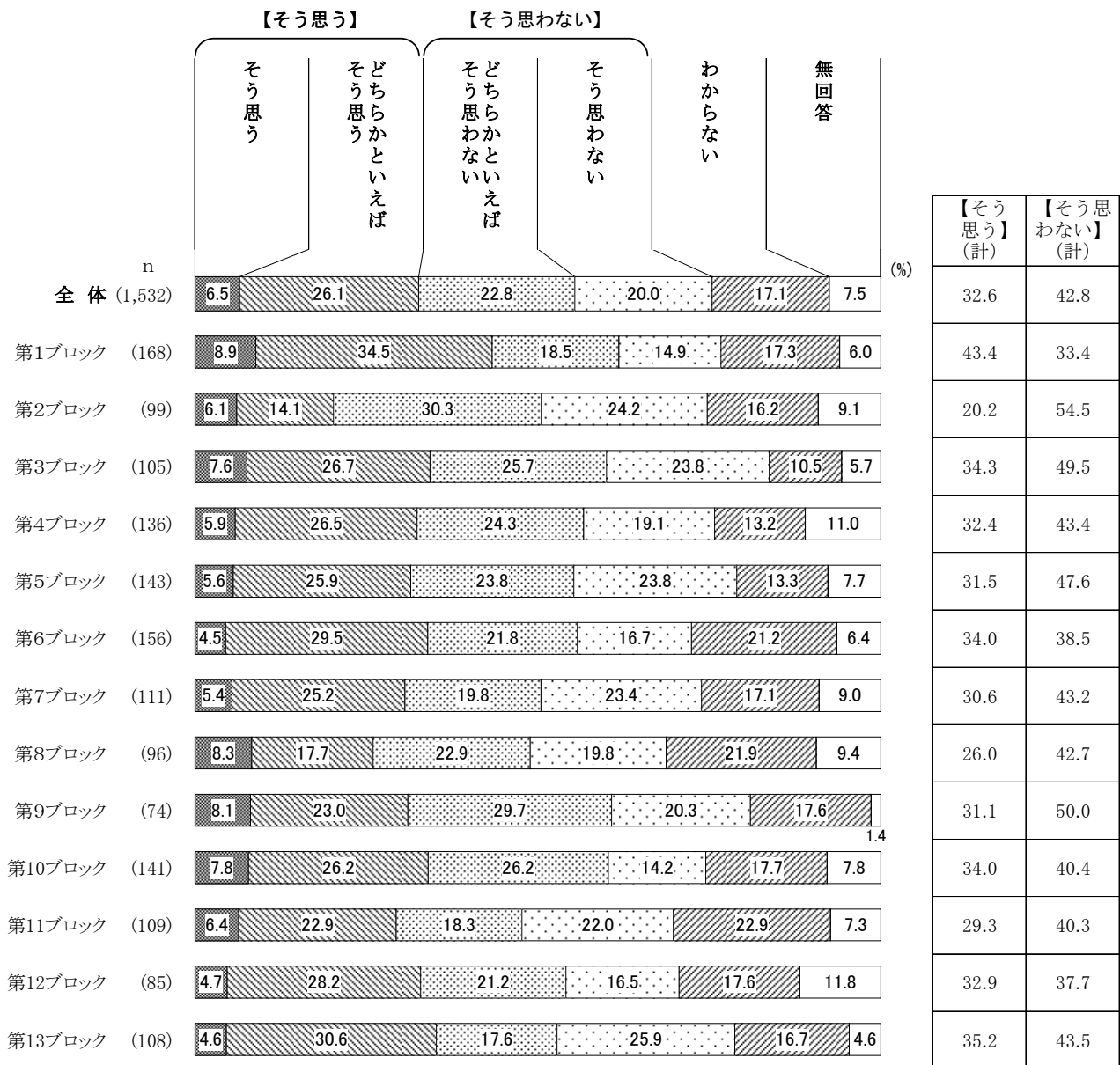


ブロック区分



図2-4-1 地域ブロック別 区に対する気持ち—つづき—

(ウ) 足立区を人に勧めたい



ブロック区分



図2-4-1 地域ブロック別 区に対する気持ち—つづき—

(エ) 足立区の住民には好きな人が多い

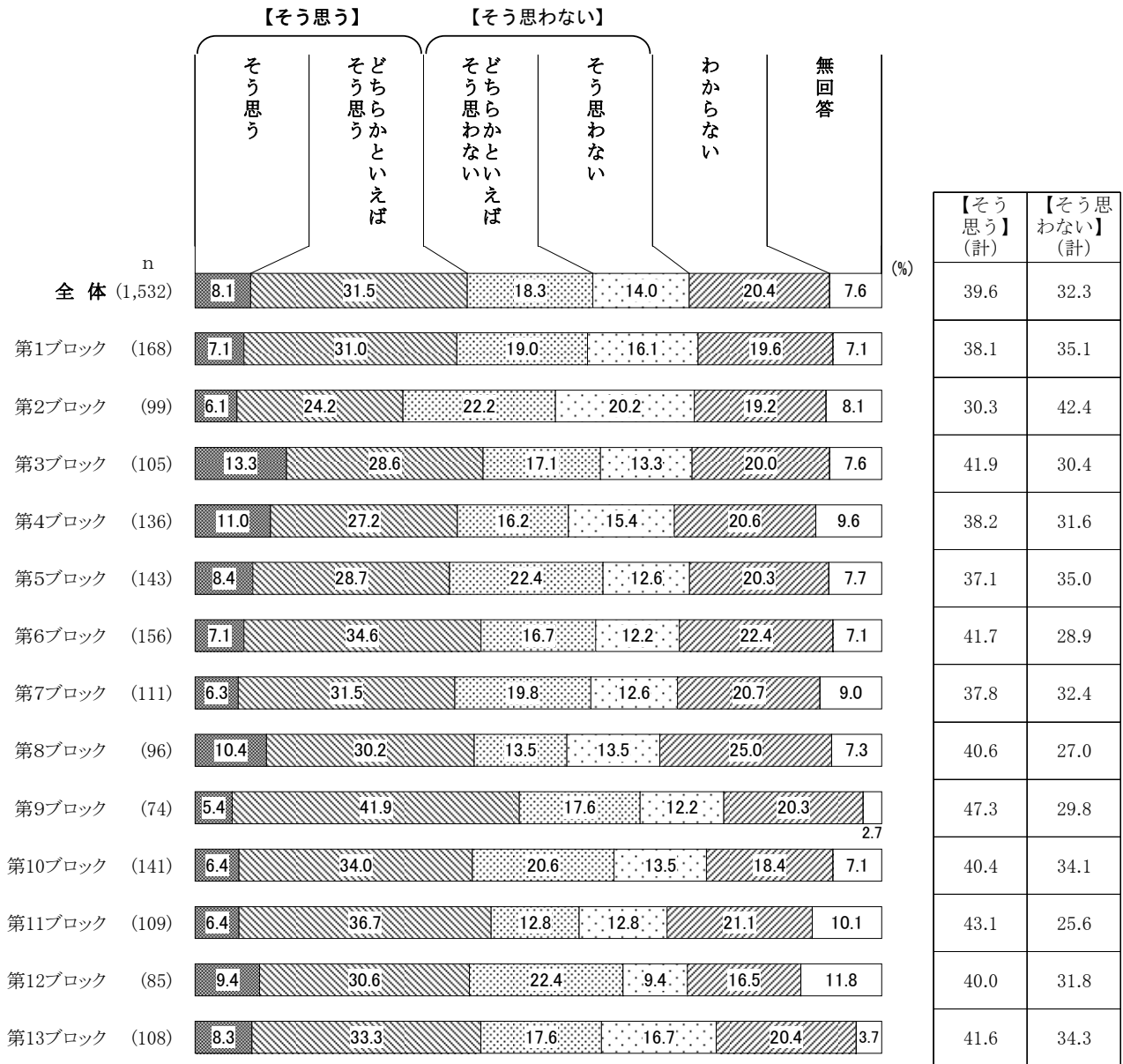
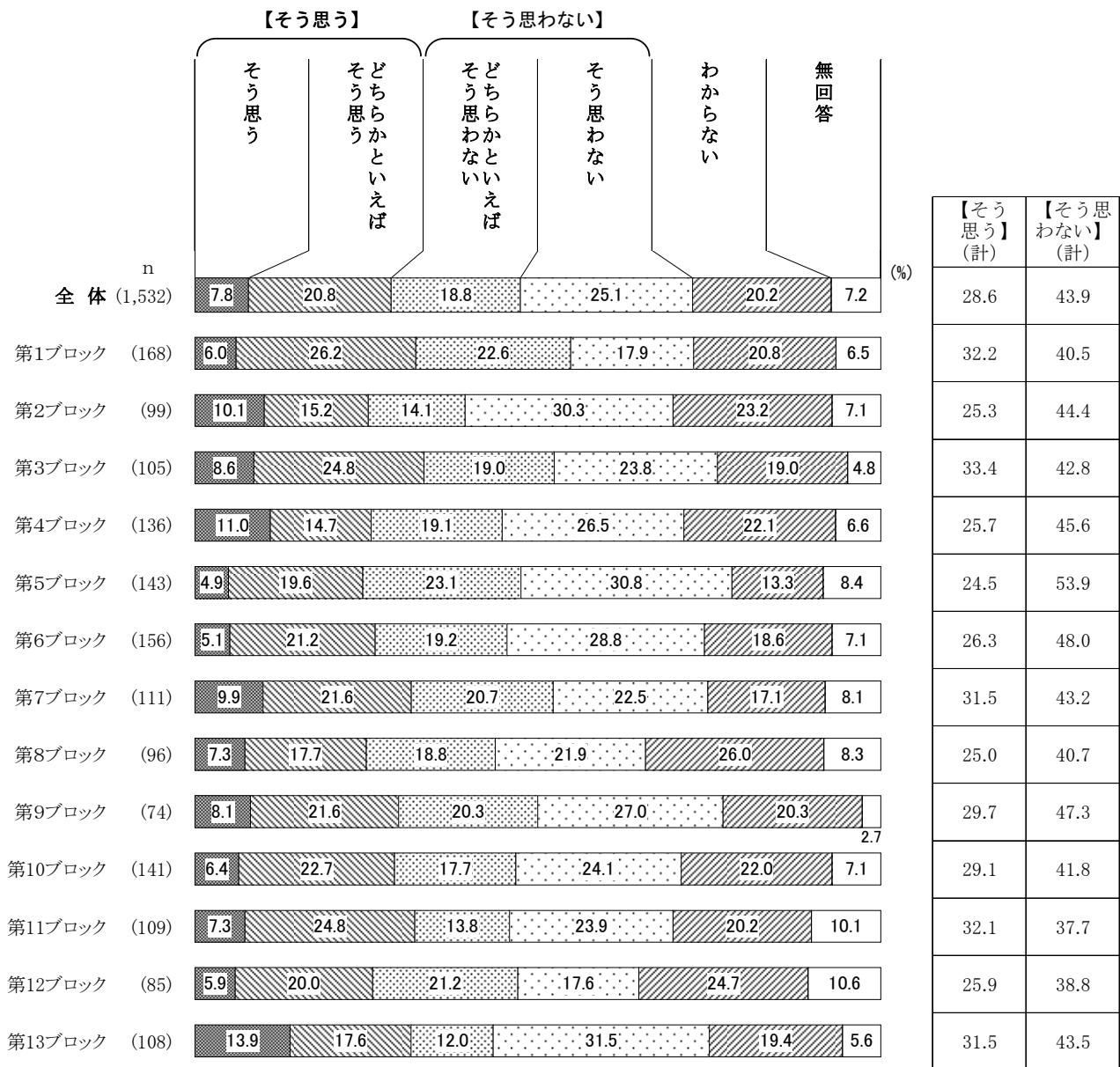


図2-4-1 地域ブロック別 区に対する気持ち—つづき—

(オ) 自分は足立に貢献している



ブロック区分

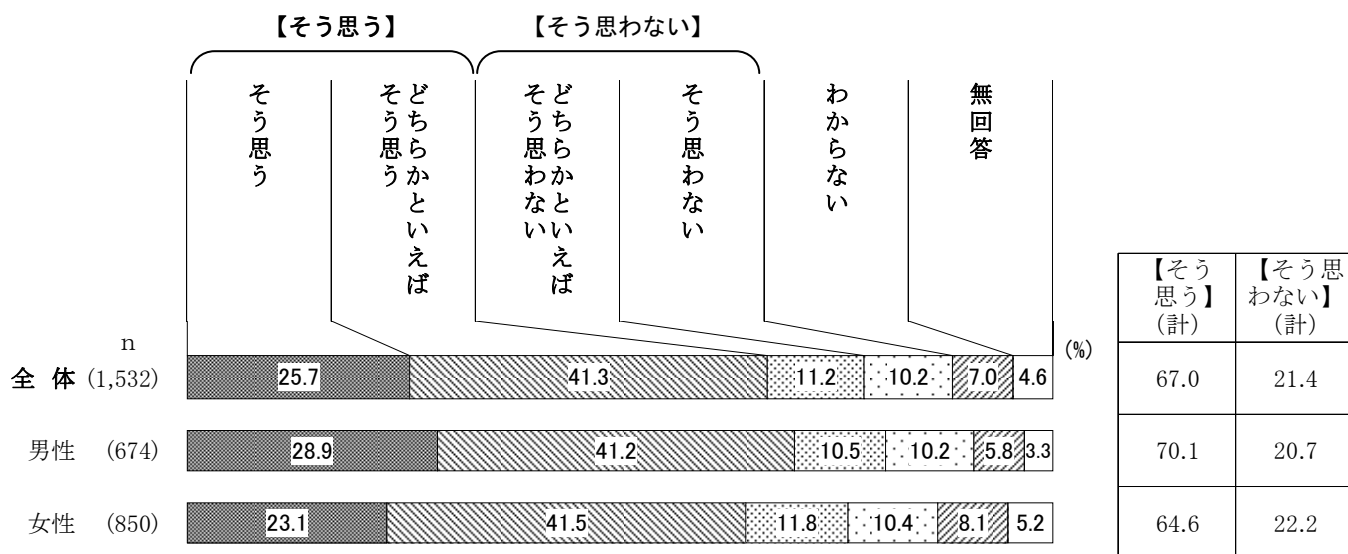


性別で見ると、〈足立区に愛着をもっている〉は、【そう思う】は男性が70.1%、女性が64.6%と男性のほうが高くなっている。

〈足立区に誇りをもっている〉は、【そう思う】は男性が37.1%、女性が33.3%で、こちらも男性のほうが高くなっている。

図2-4-2 性別 区に対する気持ち

(ア) 足立区に愛着をもっている



(イ) 足立区に誇りをもっている

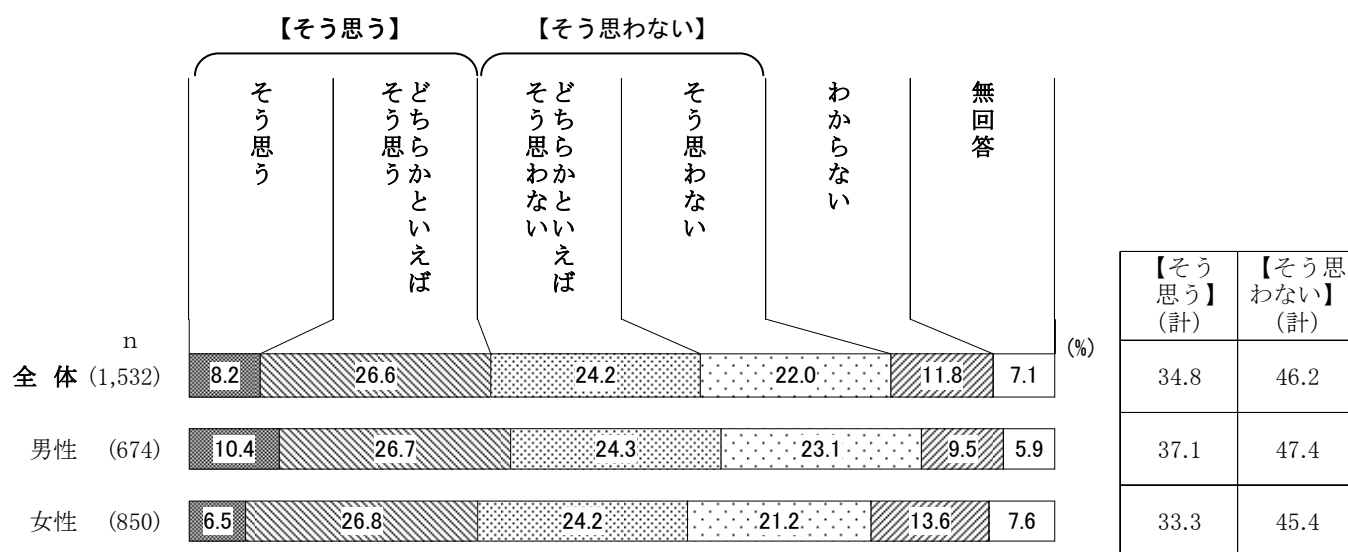
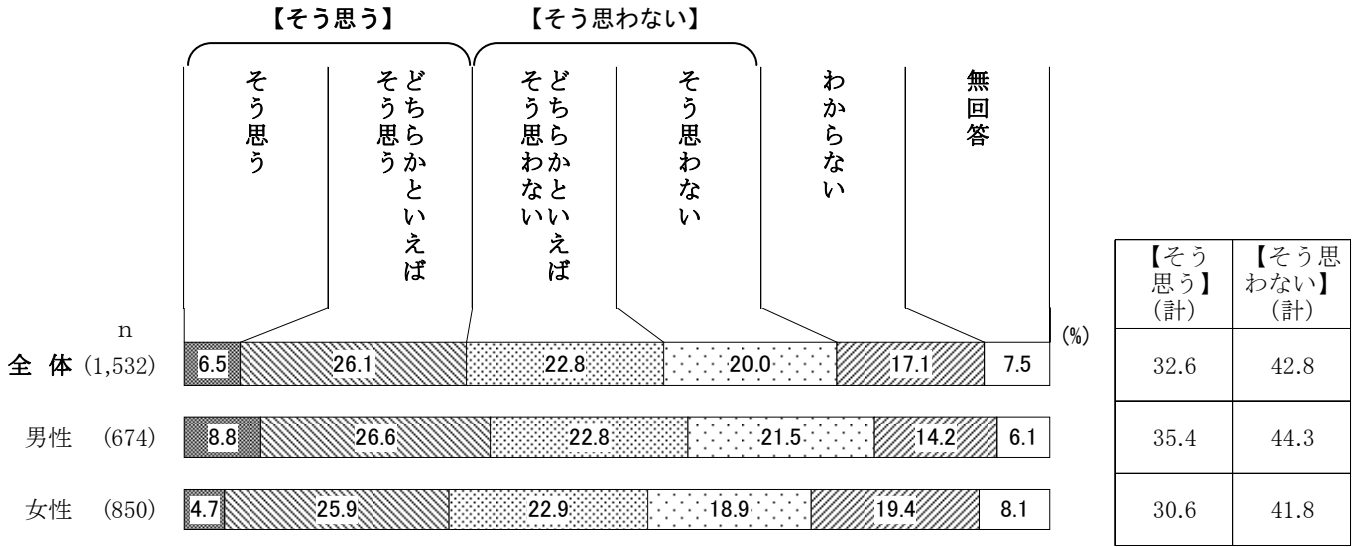
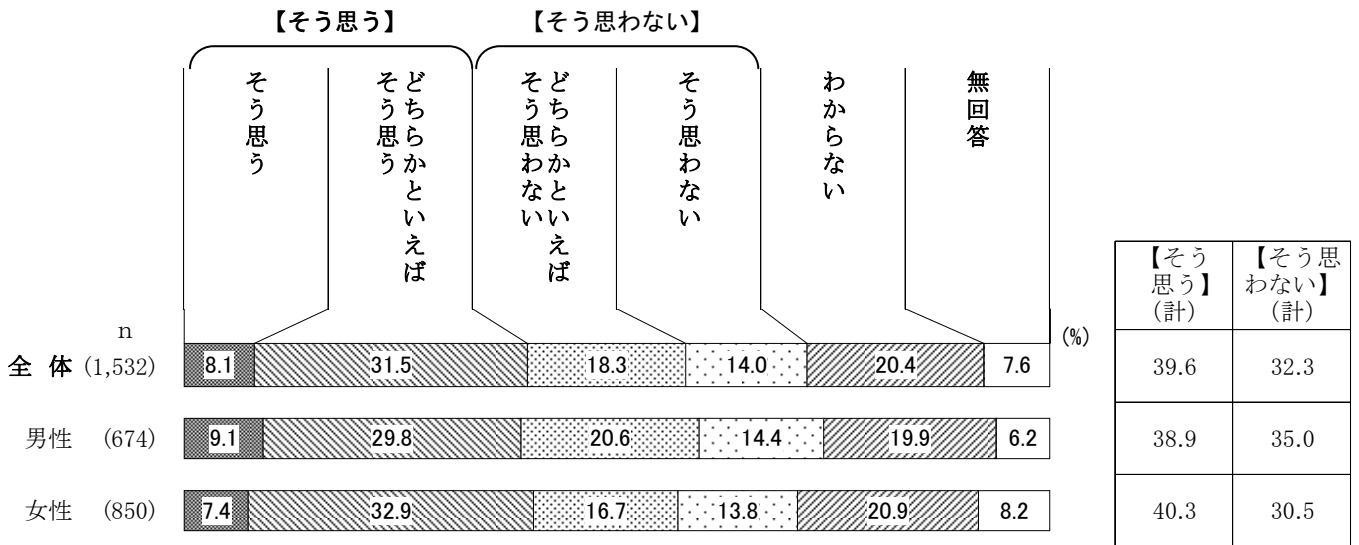


図 2-4-2 性別 区に対する気持ち一つづき

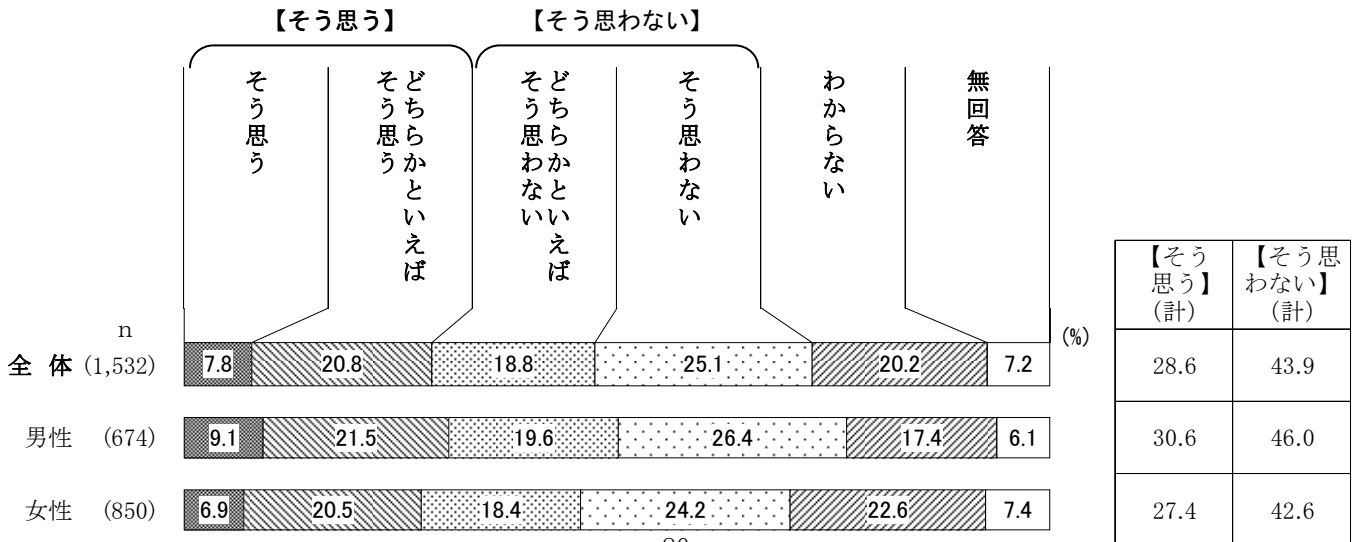
(ウ) 足立区を人に勧めたい



(エ) 足立区の住民には好きな人が多い



(オ) 自分は足立に貢献している



性・年代別でみると、〈足立区に愛着をもっている〉は、男性では40代以上の各年代で【そう思う】が7割を超えている。女性では、全年代で【そう思う】が6割を超えている。

〈足立区に誇りをもっている〉は、男性では60代、70歳以上で、それぞれ43.1%、47.5%と4割を超える高さを示している。女性では60代で41.3%と高くなっている。

図2-4-3 性・年代別 区に対する気持ち

(ア) 足立区に愛着をもっている

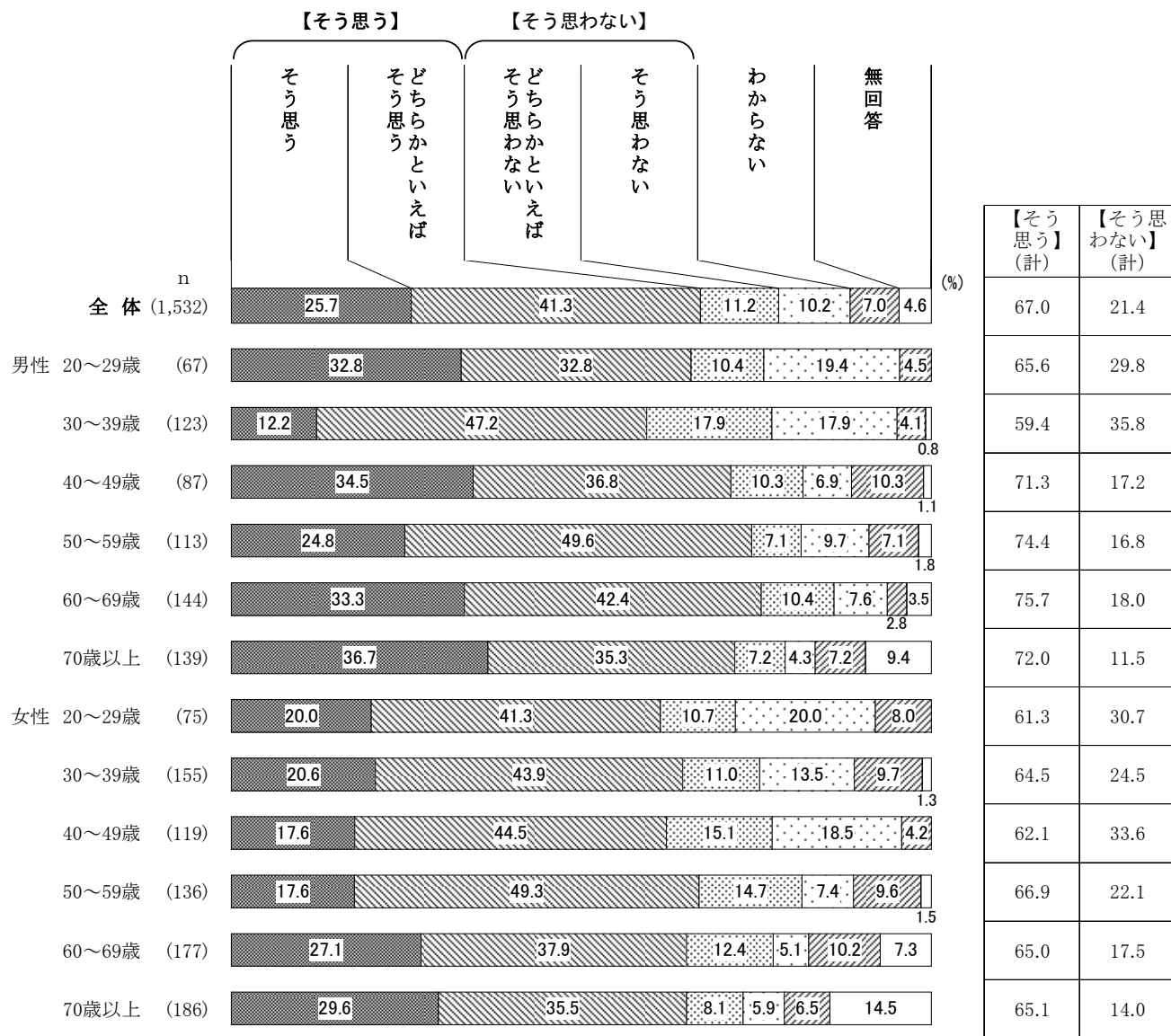


図2-4-3 性・年代別 区に対する気持ち—つづき—

(イ) 足立区に誇りをもっている

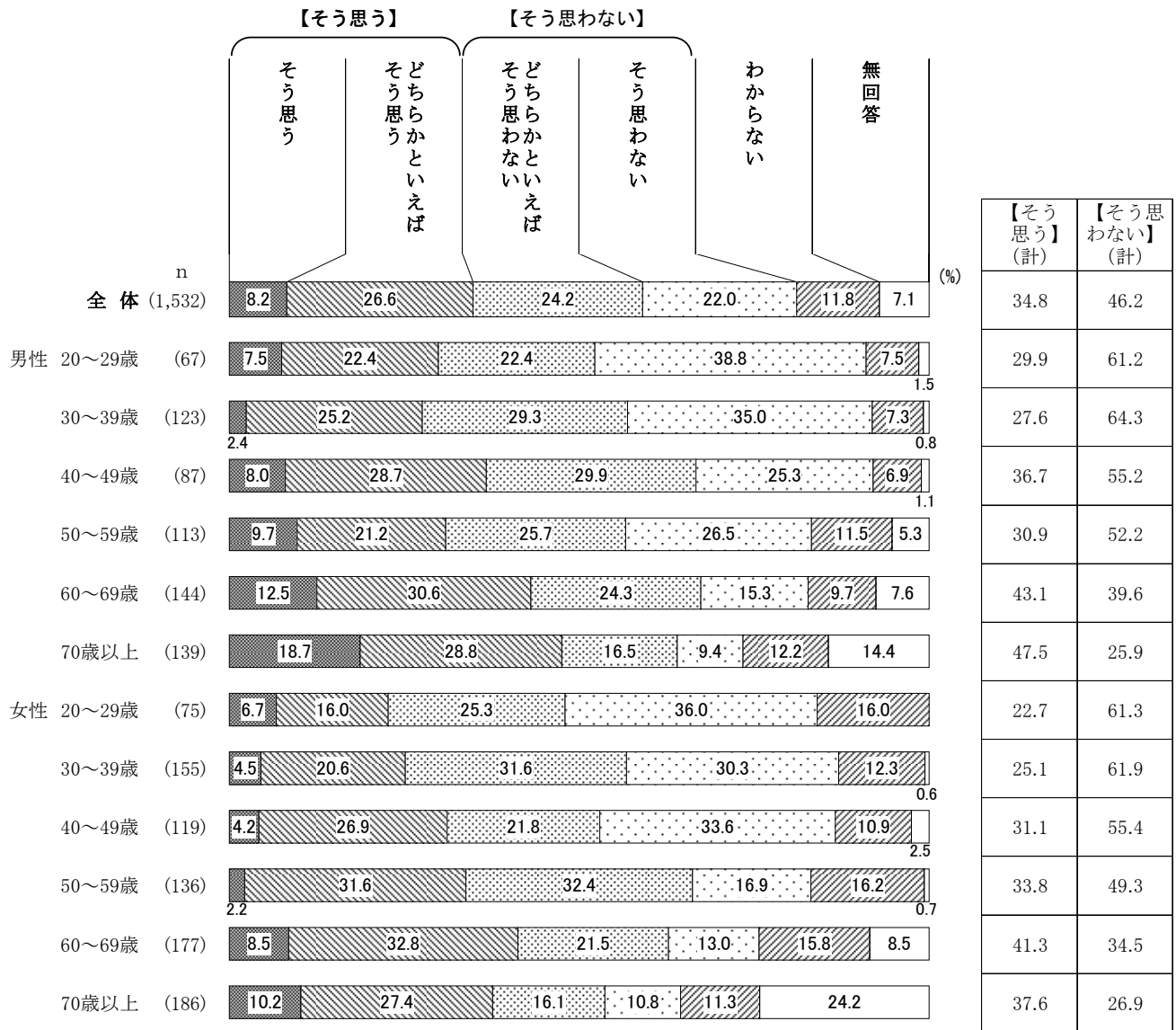


図2-4-3 性・年代別 区に対する気持ち一つづき

(ウ) 足立区を人に勧めたい

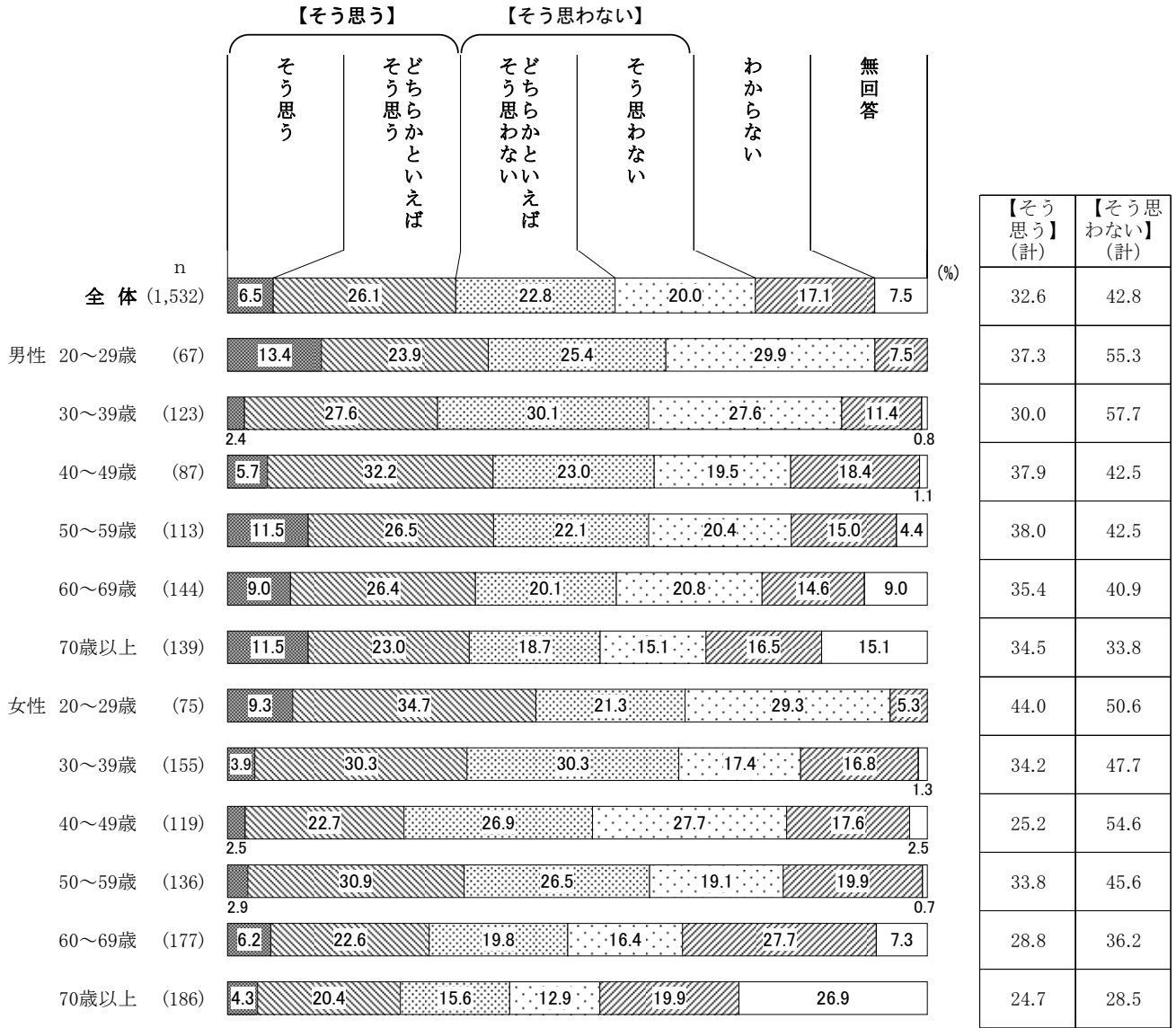


図2-4-3 性・年代別 区に対する気持ち一つづき

(エ) 足立区の住民には好きな人が多い

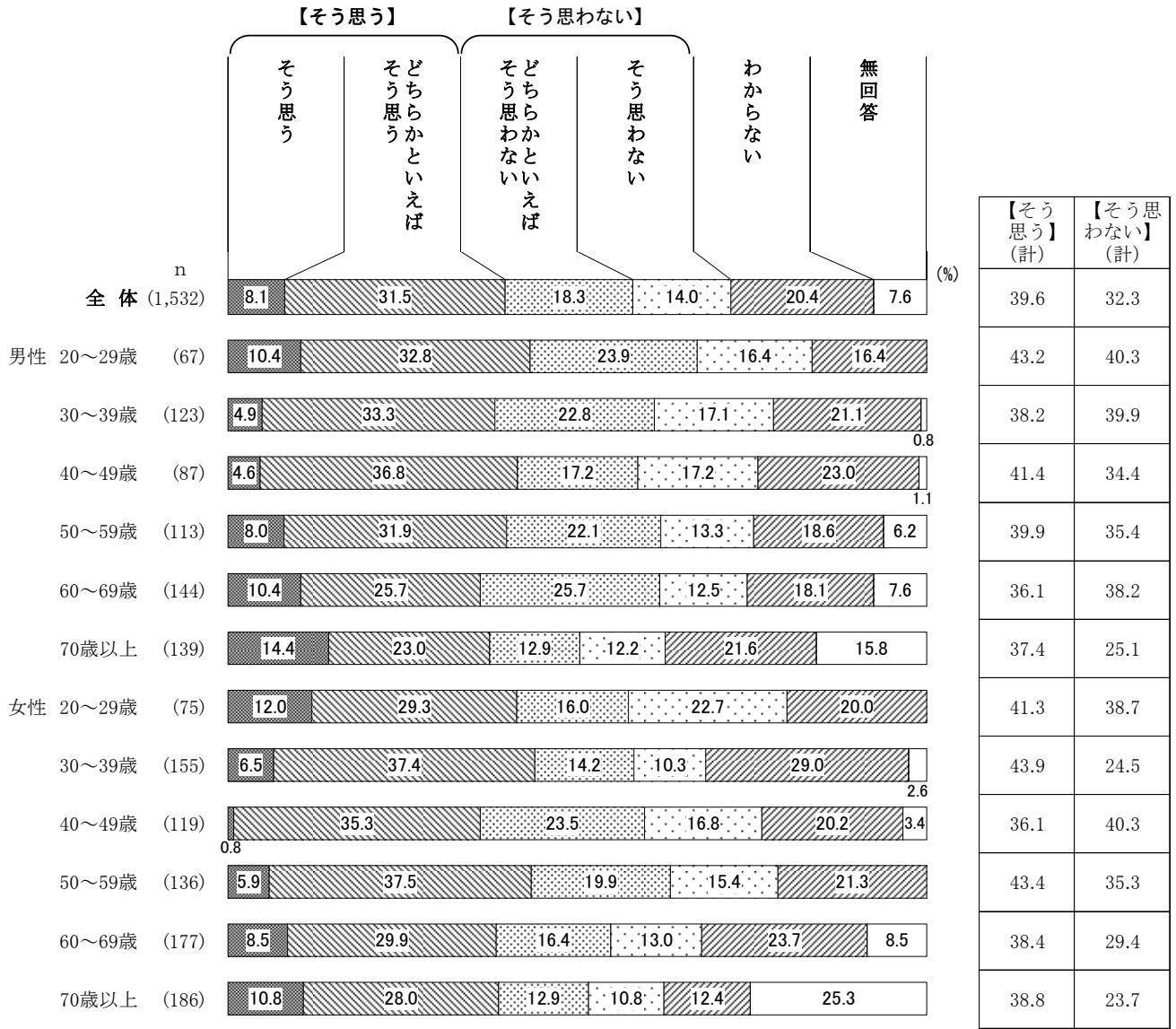
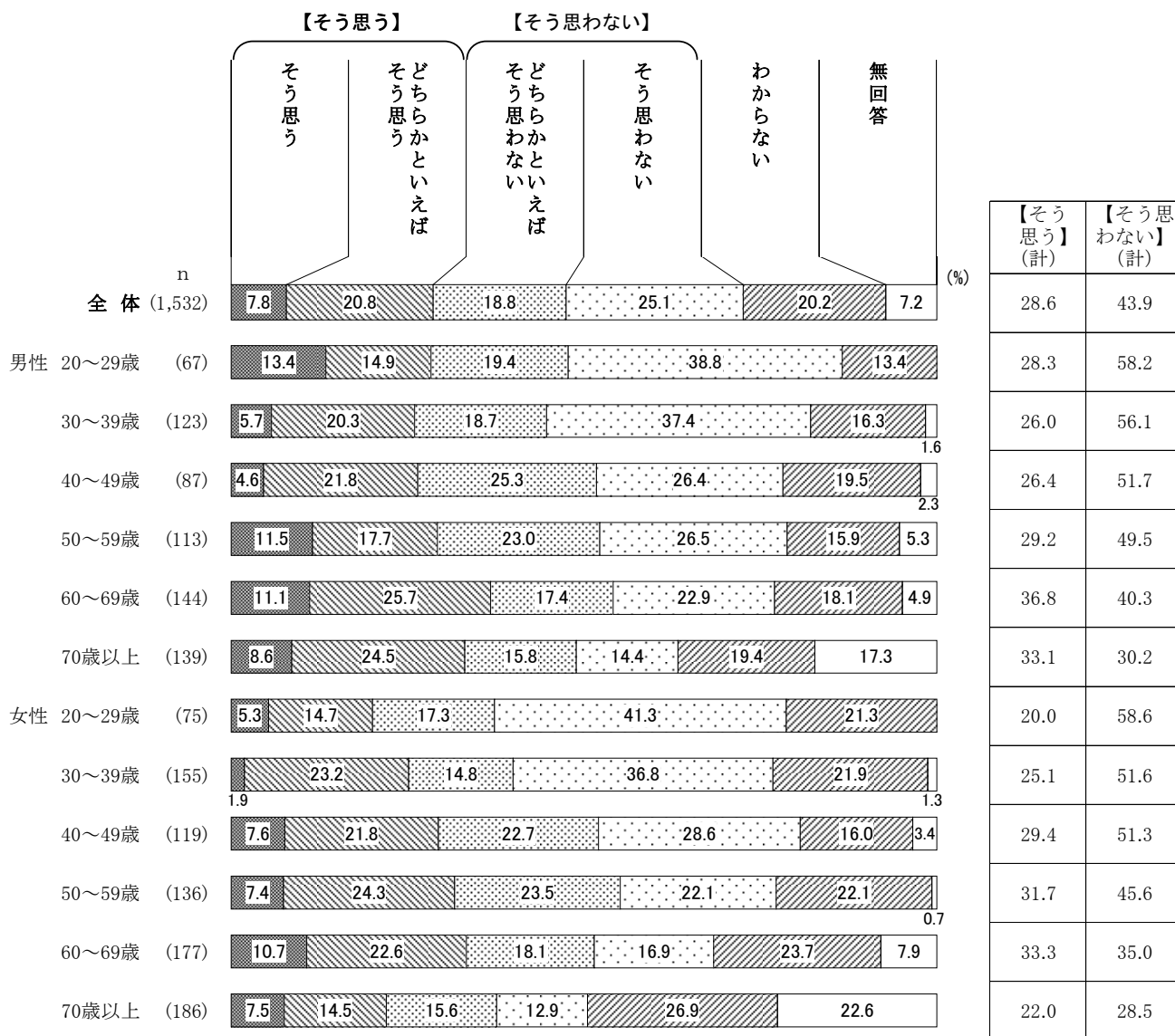


図2-4-3 性・年代別 区に対する気持ち一つづき

(オ) 自分は足立に貢献している

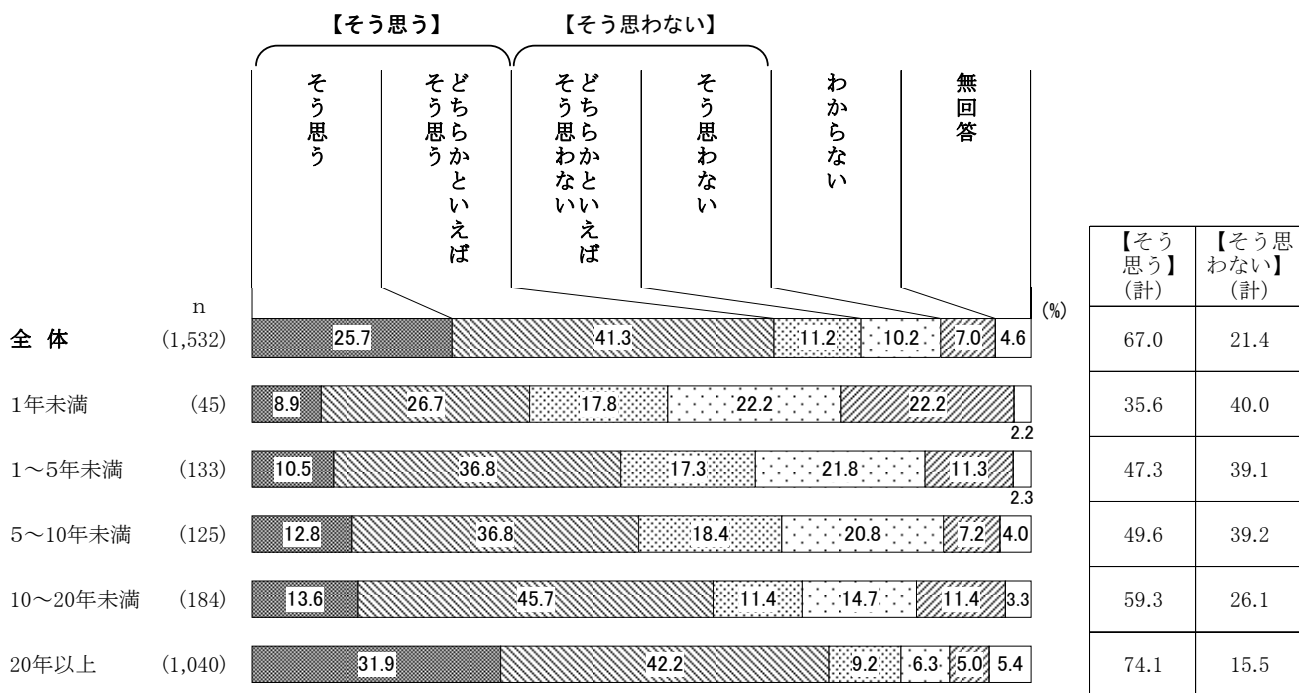


居住年数別でみると、〈足立区に愛着をもっている〉は、居住年数が長くなるにつれて、【**そう思う**】は高くなり、20年以上では74.1%に達している。

〈足立区に誇りをもっている〉では、20年以上で【**そう思う**】は40.2%と4割を超えている。

図 2-4-4 居住年数別 区に対する気持ち

(ア) 足立区に愛着をもっている



(イ) 足立区に誇りをもっている

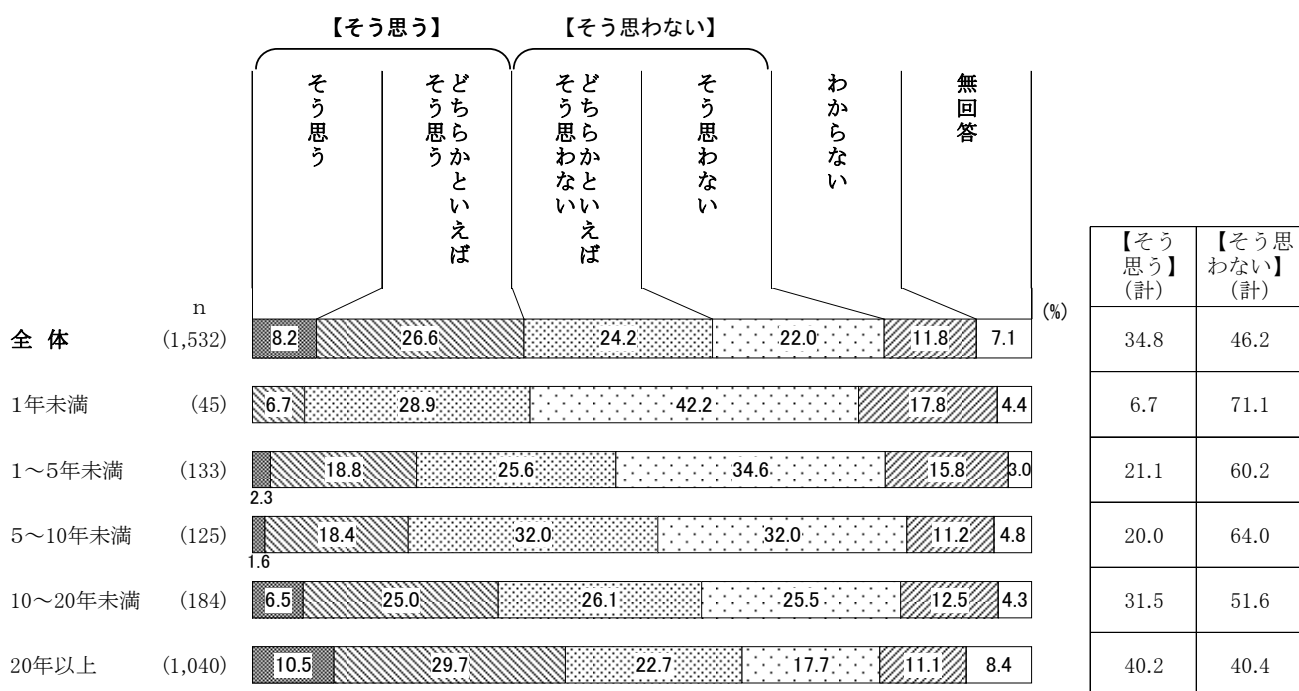
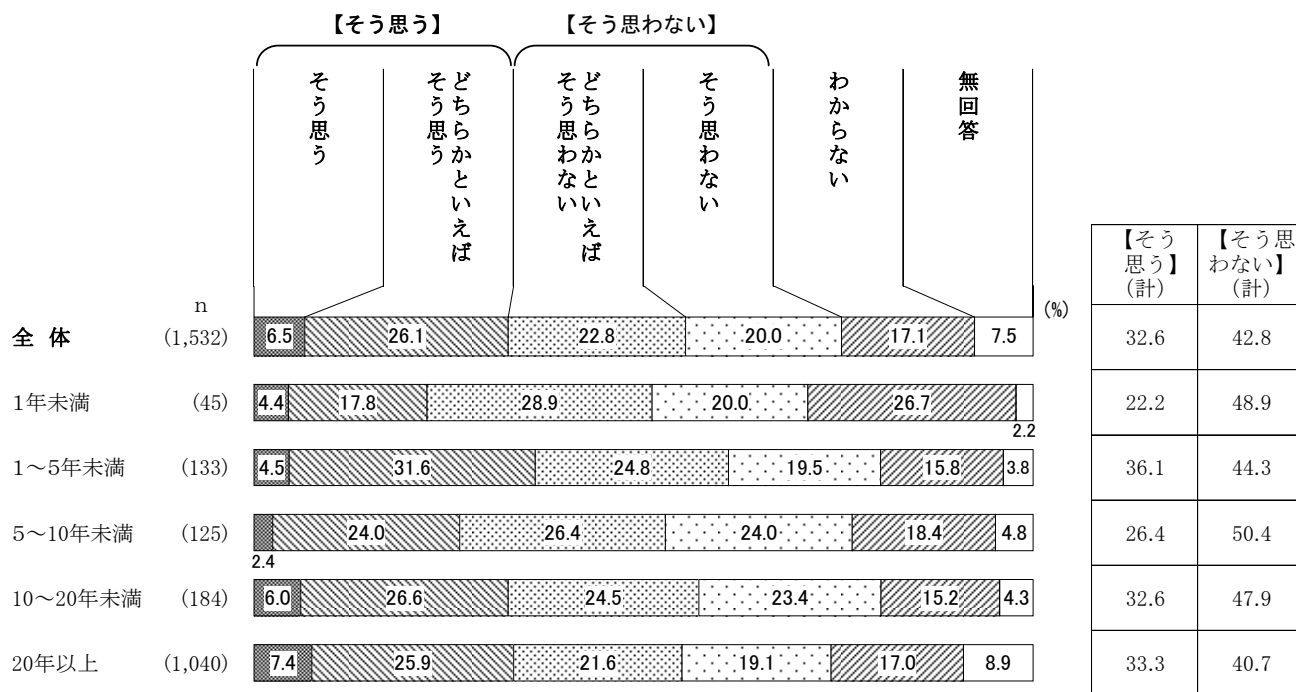


図2-4-4 居住年数別 区に対する気持ち一つづき

(ウ) 足立区を人に勧めたい



(エ) 足立区の住民には好きな人が多い

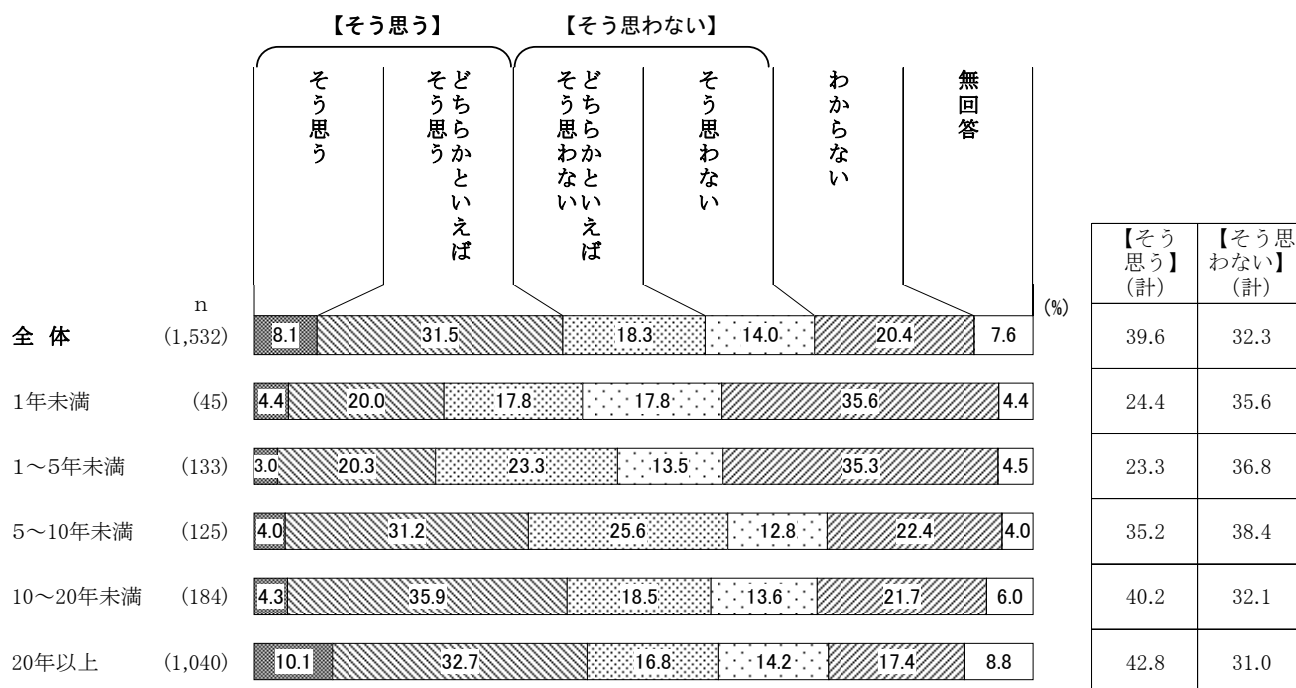
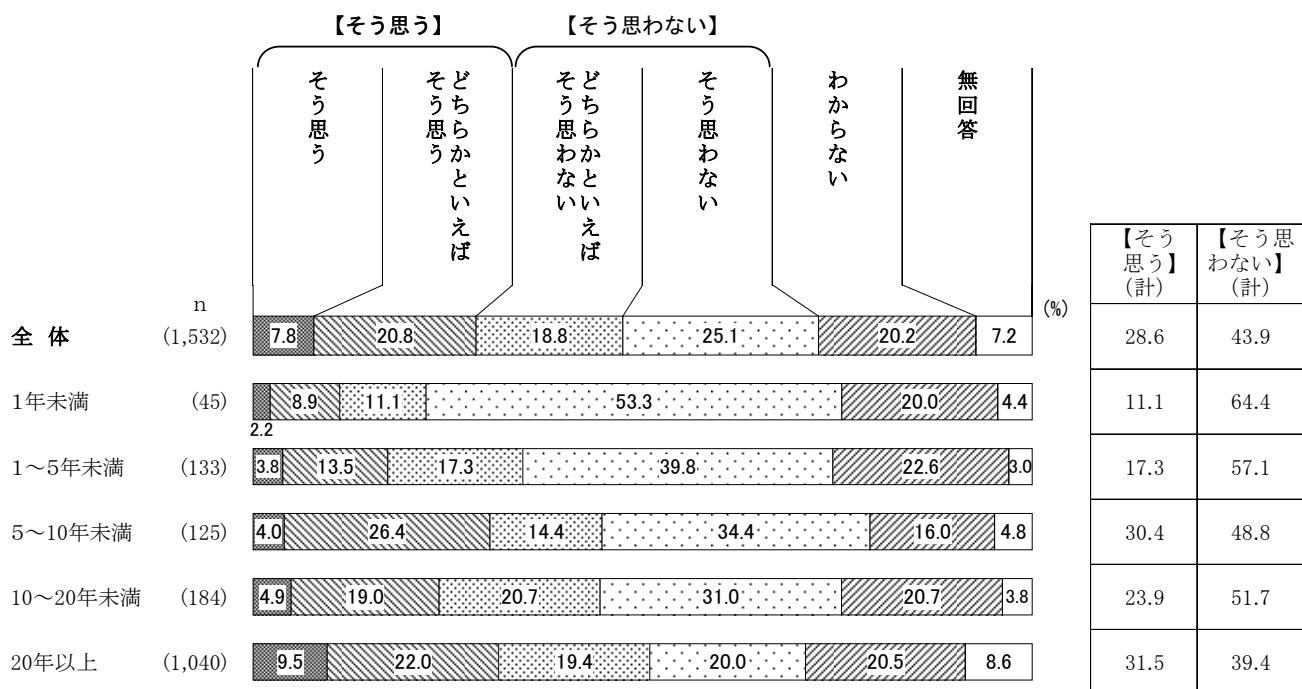


図2-4-4 居住年数別 区に対する気持ち一つづき

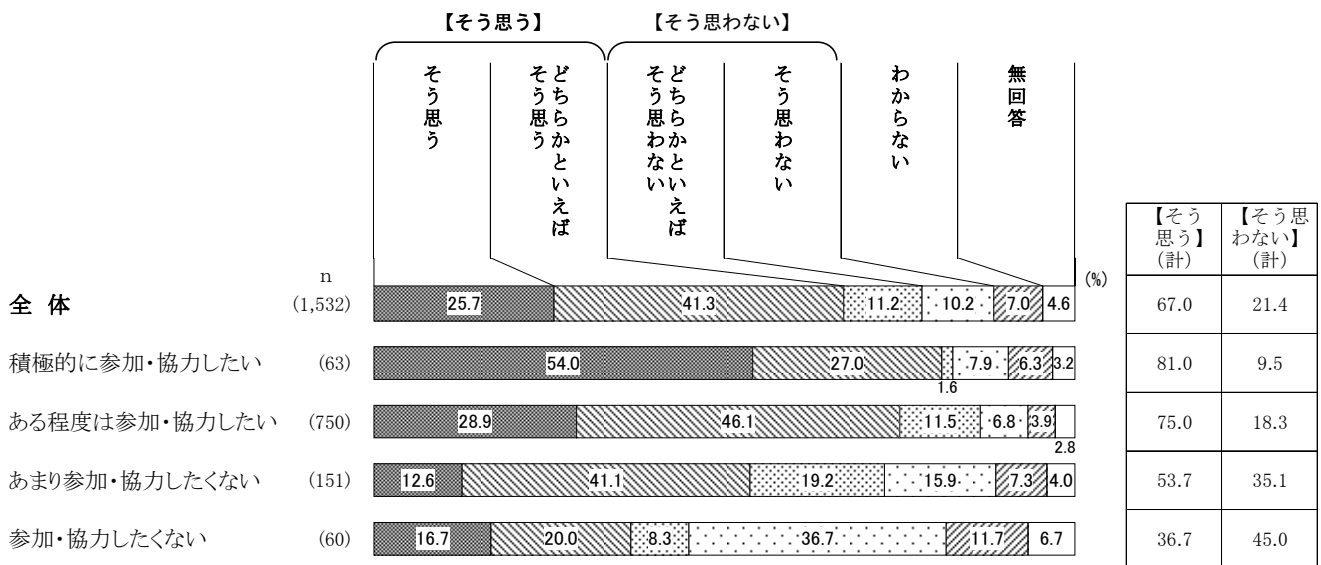
(オ) 自分は足立に貢献している



区政への参加・協力意向別でみると、〈足立区に愛着をもっている〉は、参加・協力意向が高くなるにつれて、【そう思う】は高くなり、“積極的に参加・協力したい”層では81.0%を占めている。〈足立区に誇りをもっている〉でも、同様に参加・協力意向が強くなるにつれて【そう思う】は高くなり、積極的に参加・協力したい層で54.0%を占めている。

図2-4-5 区政への参加・協力意向別 区に対する気持ち

(ア) 足立区に愛着をもっている



(イ) 足立区に誇りをもっている

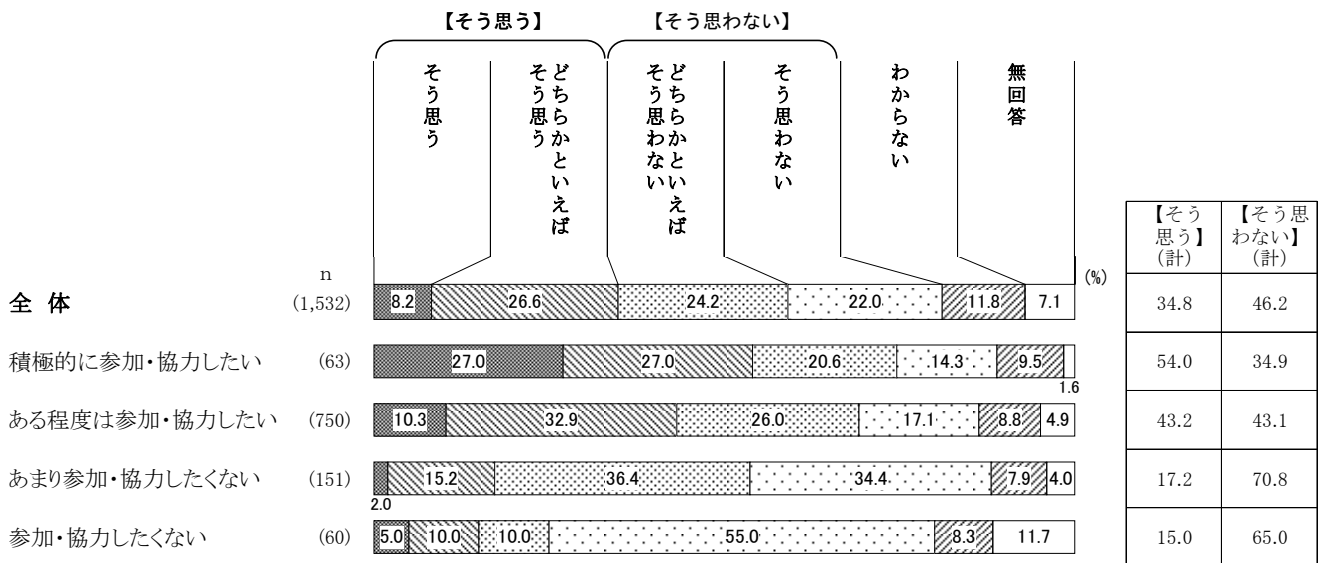
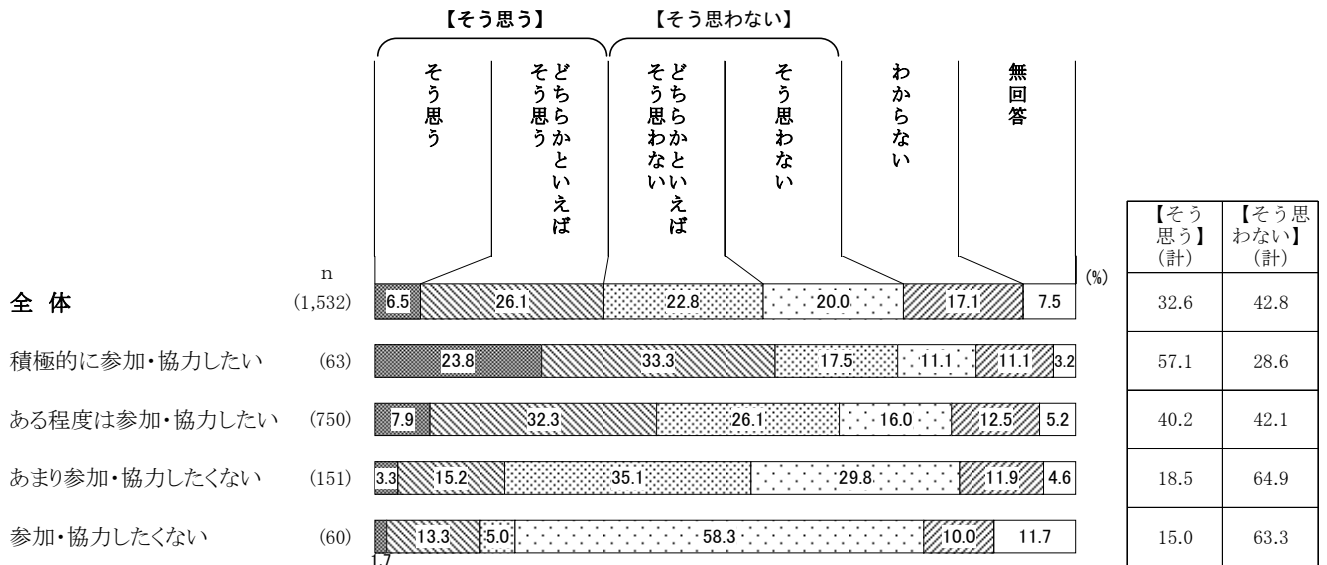
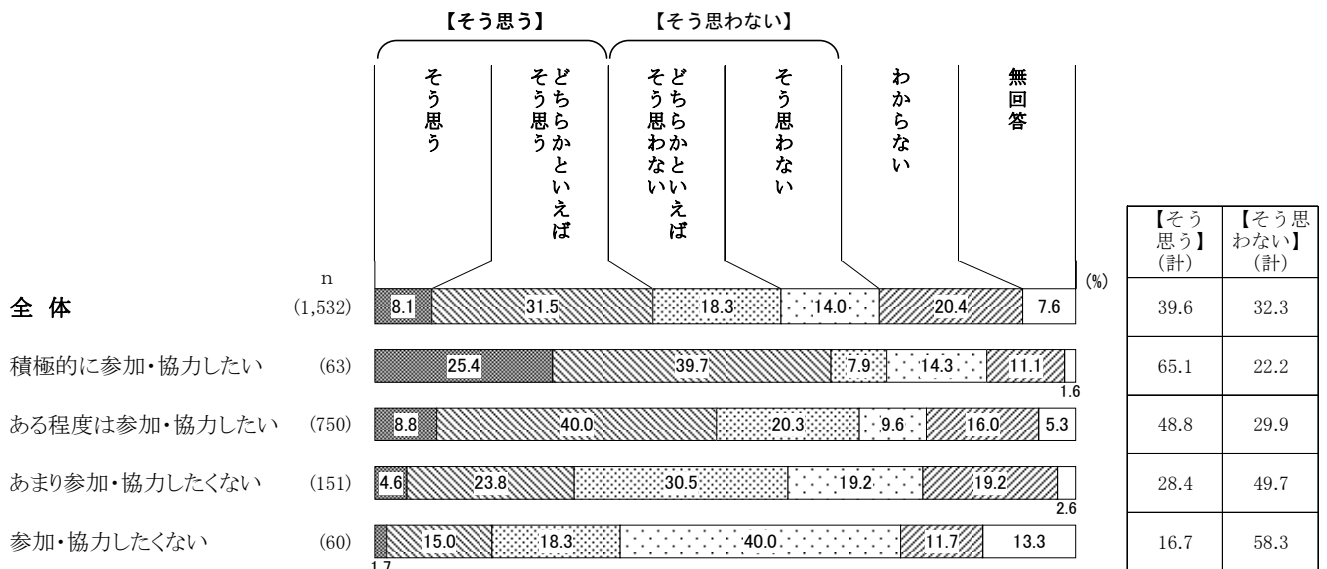


図 2-4-5 区政への参加・協力意向別 区に対する気持ち—つづき—

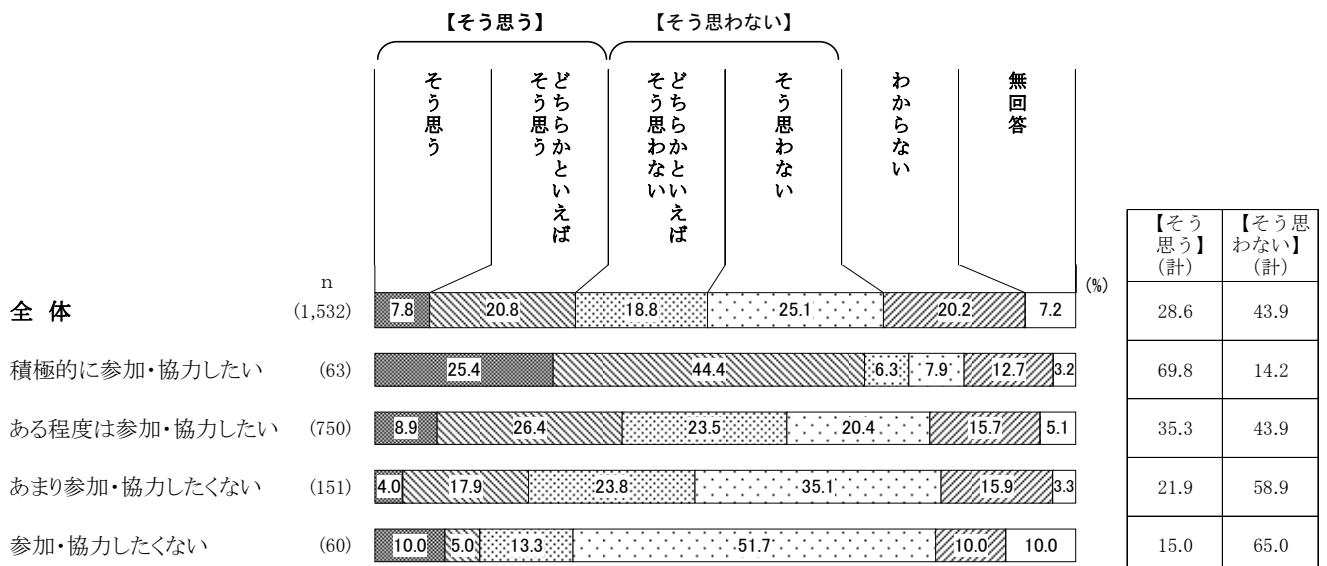
(ウ) 足立区を人に勧めたい



(エ) 足立区の住民には好きな人が多い



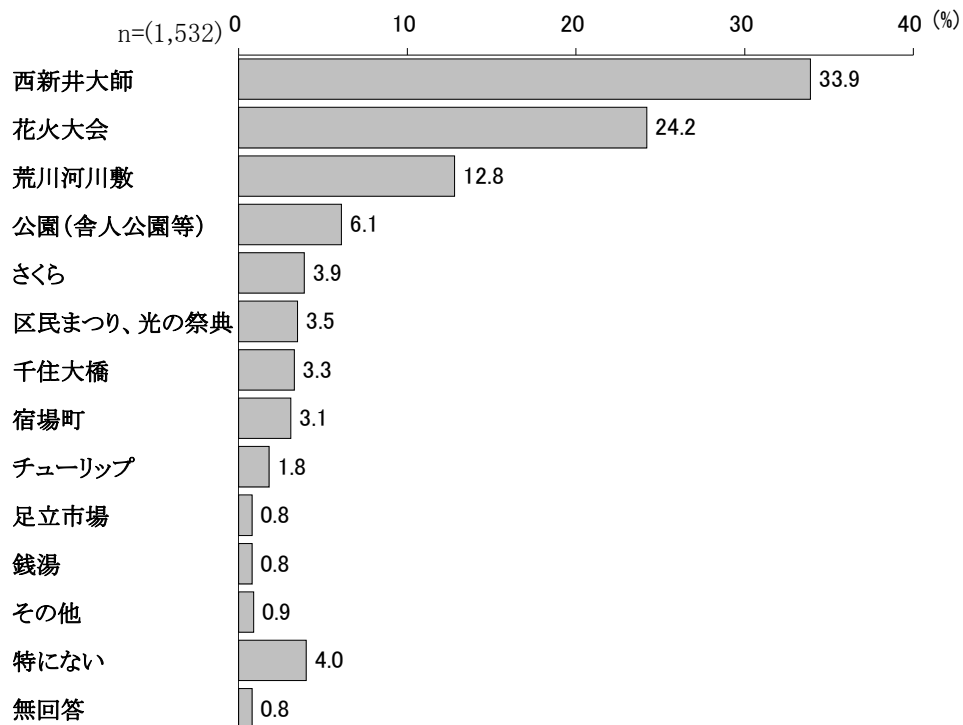
(オ) 自分は足立に貢献している



(5) 区のシンボル

●「西新井大師」が33.9%で最も高い

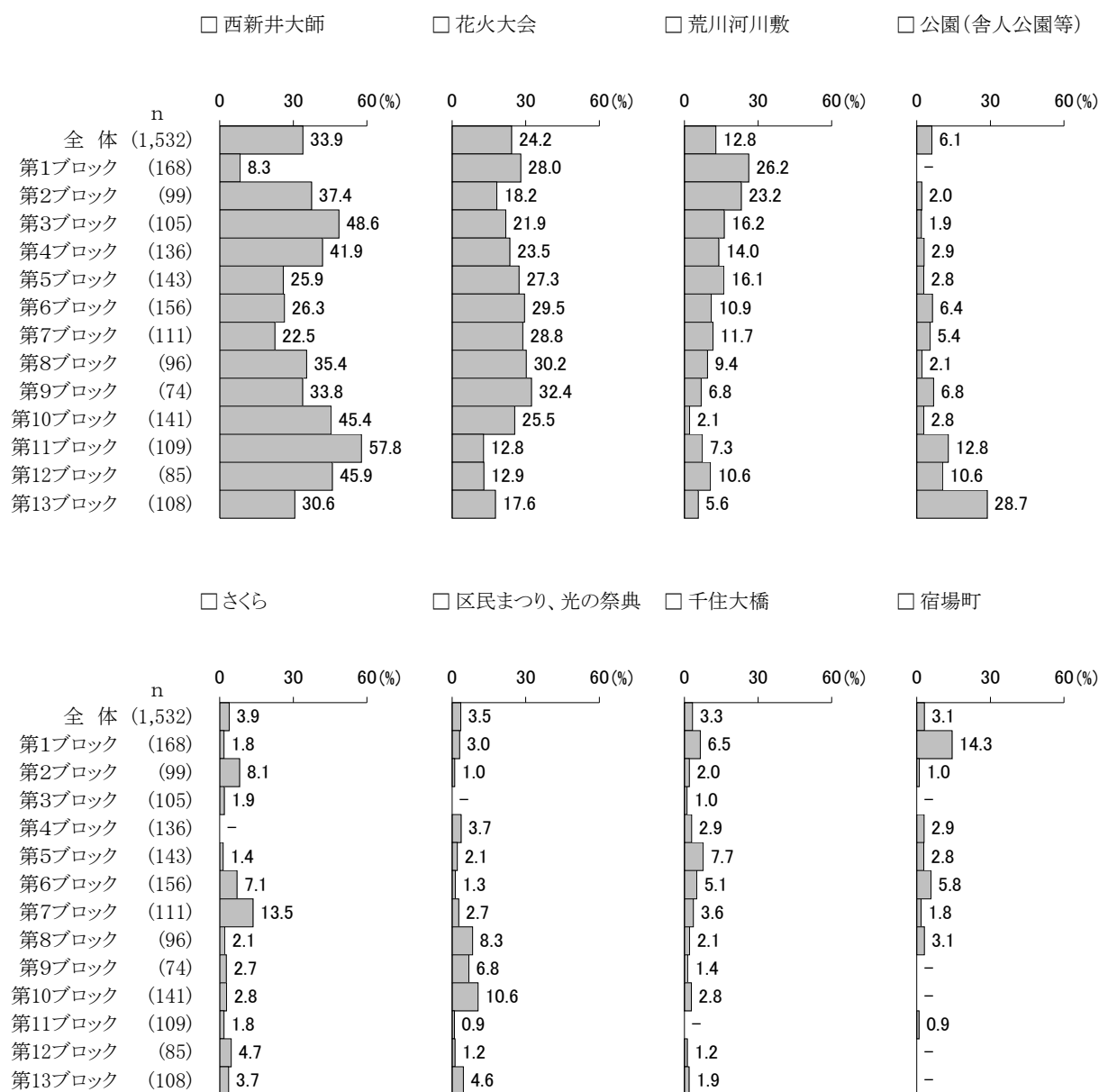
問10 あなたが、足立区のシンボルとして思い浮かべるものは何ですか。(〇は1つだけ)



区のシンボルとして思い浮かべるものは、「西新井大師」が33.9%で最も高く、以下、「花火大会」(24.2%)、「荒川河川敷」(12.8%)、「公園(舎人公園等)」(6.1%)の順で続いている。

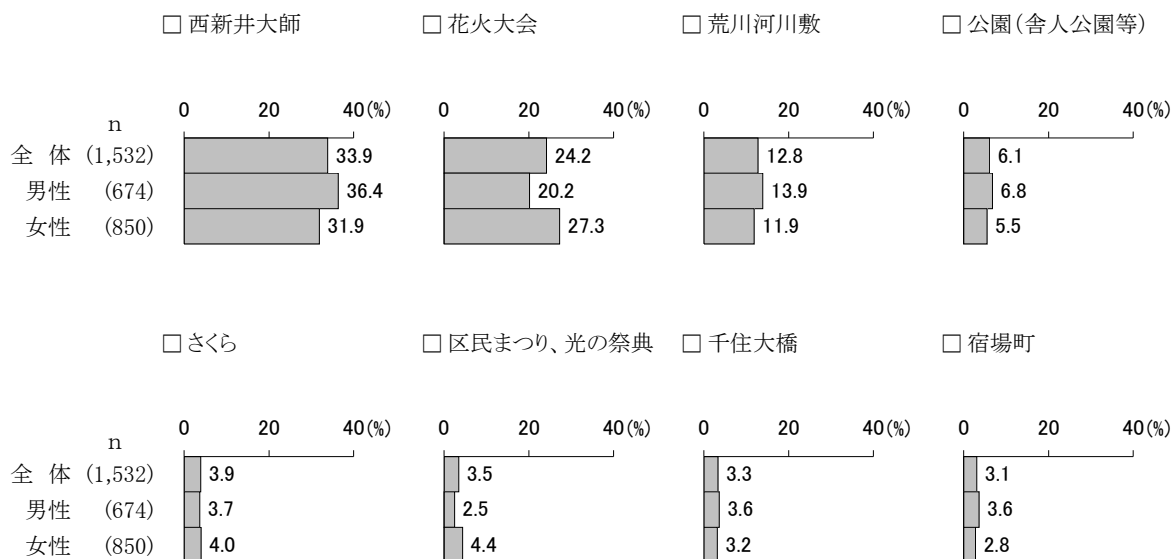
地域ブロック別でみると、第11ブロックでは「西新井大師」が57.8%を占め、最も高くなっているほか、第3、第4、第10、第12ブロックも4割を超えている。また、第1、第5、第6、第7、第8、第9ブロックでは、「花火大会」が3割前後を占め、他のブロックより高くなっている。さらに、第1、第2ブロックでは、「荒川河川敷」が、それぞれ26.2%、23.2%と他のブロックより高くなっている。

図2-5-1 地域ブロック別 区のシンボル（上位8位）



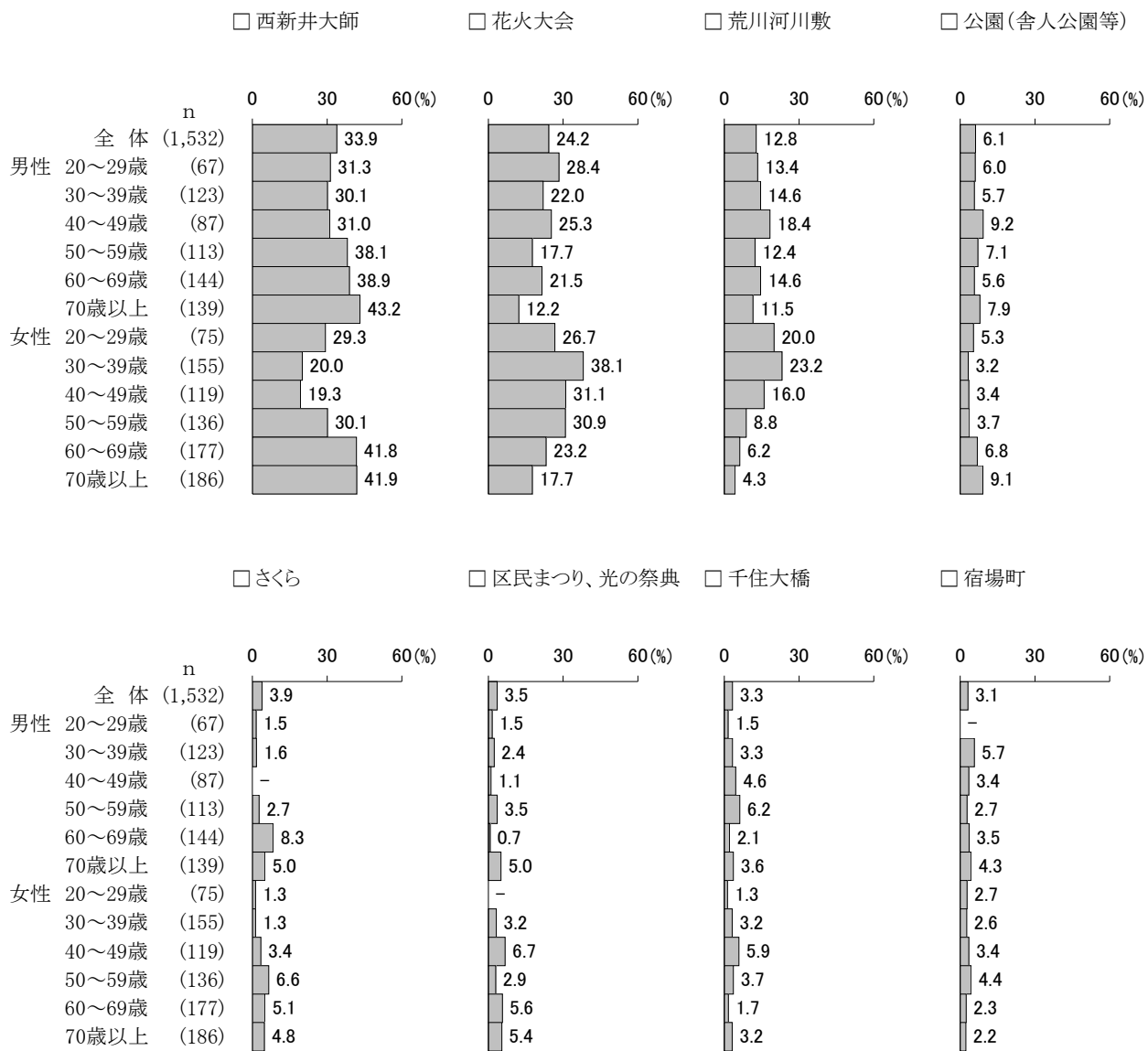
性別で見ると、男性では、「西新井大師」が36.4%と、女性（31.9%）より高くなっている。一方、女性では、「花火大会」が27.3%と男性（20.2%）より高くなっている。

図 2-5-2 性別 区のシンボル（上位8位）



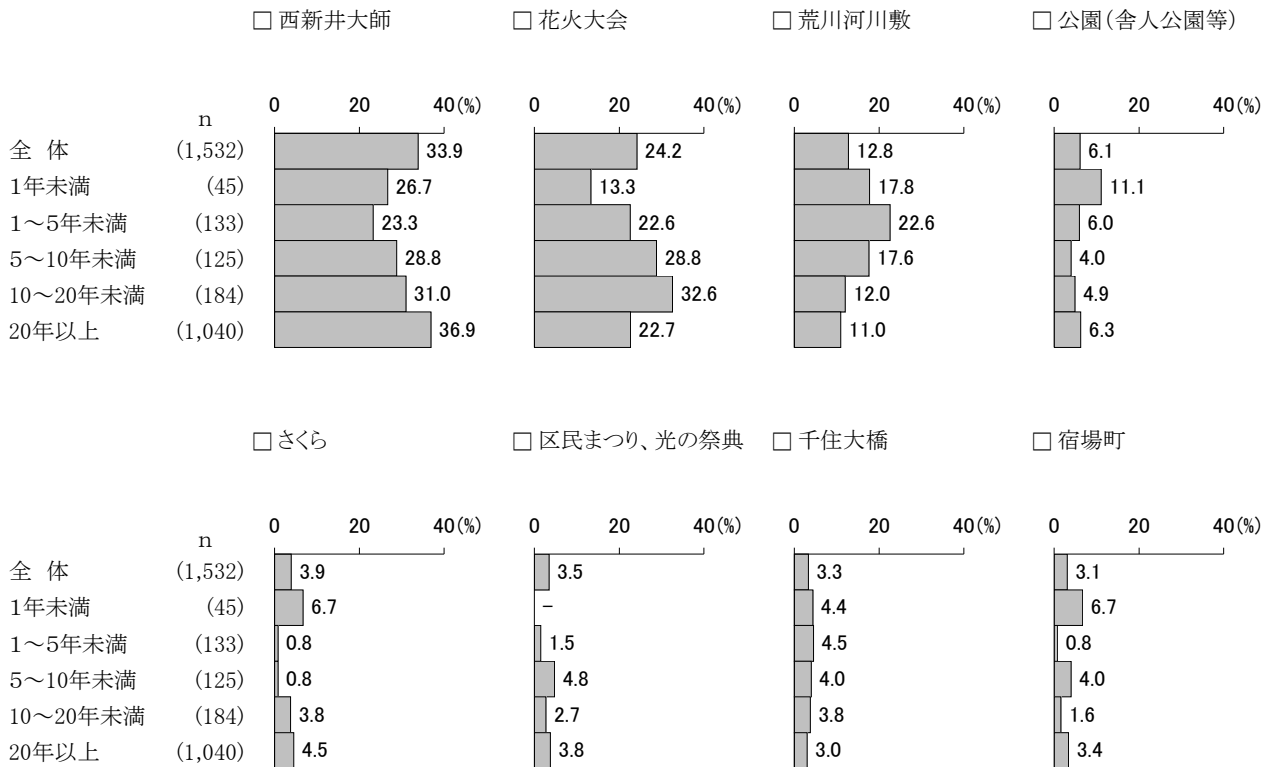
性・年代別でみると、男性では、20代で「花火大会」が28.4%で、全年代中最も高くなっている。また、50代以上では各年代とも「西新井大師」が4割前後を占めている。女性では、30代で「花火大会」が38.1%を占めているのははじめ、40代、50代でも3割を超えている。また、60代、70歳以上では「西新井大師」が4割を超えている。

図2-5-3 性・年代別 区のシンボル（上位8位）



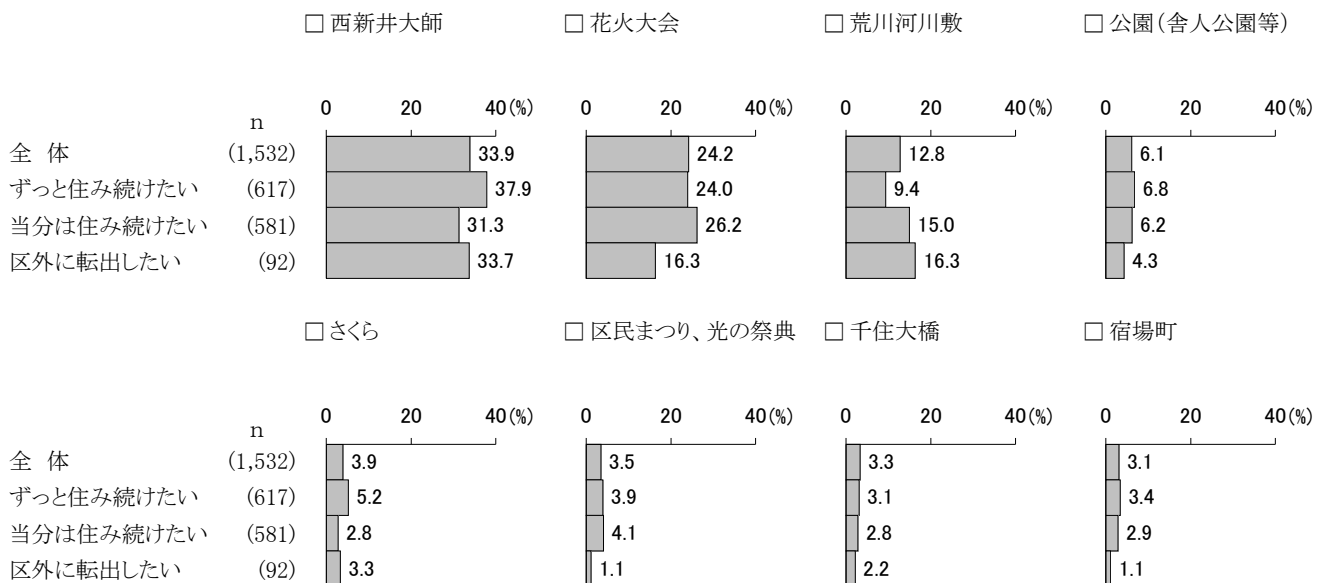
居住年数別でみると、20年以上では、「西新井大師」(36.9%)が、10～20年未満では「花火大会」(32.6%)が最も高くなっている。

図2-5-4 居住年数別 区のシンボル(上位8位)



定住・移転意向別でみると、「ずっと住みたい」層では、「西新井大師」が37.9%と他の層より高くなっている。

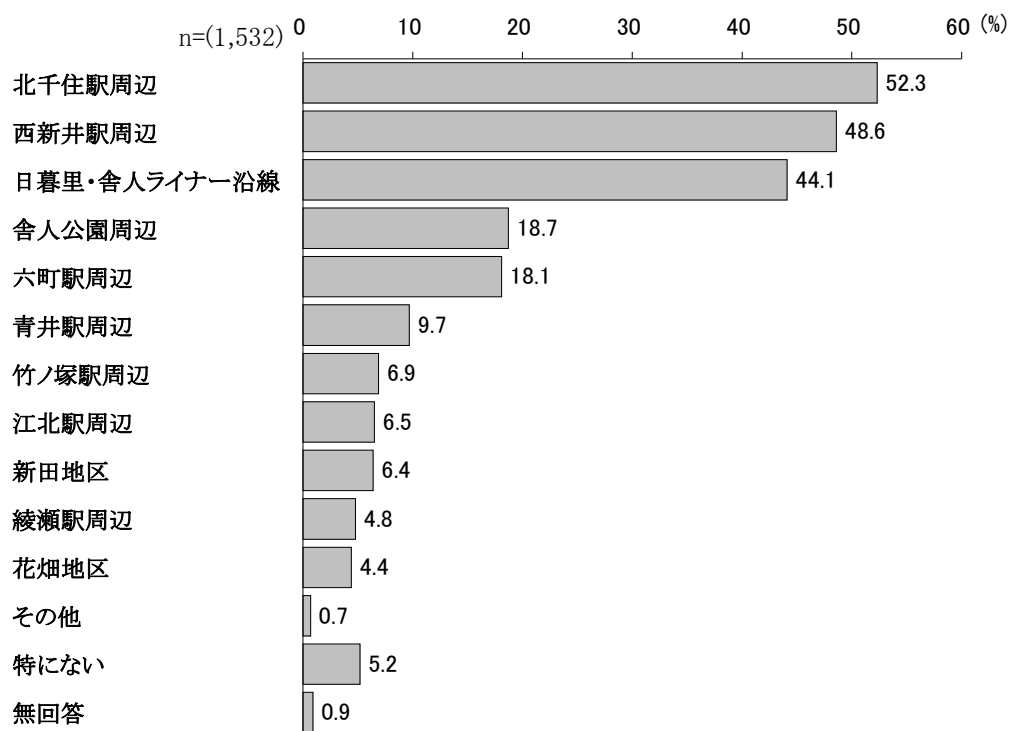
図2-5-5 定住・移転意向別 区のシンボル(上位8位)



(6) ここ数年で大きく変化した地域

●「北千住駅周辺」が52.3%で最も高い

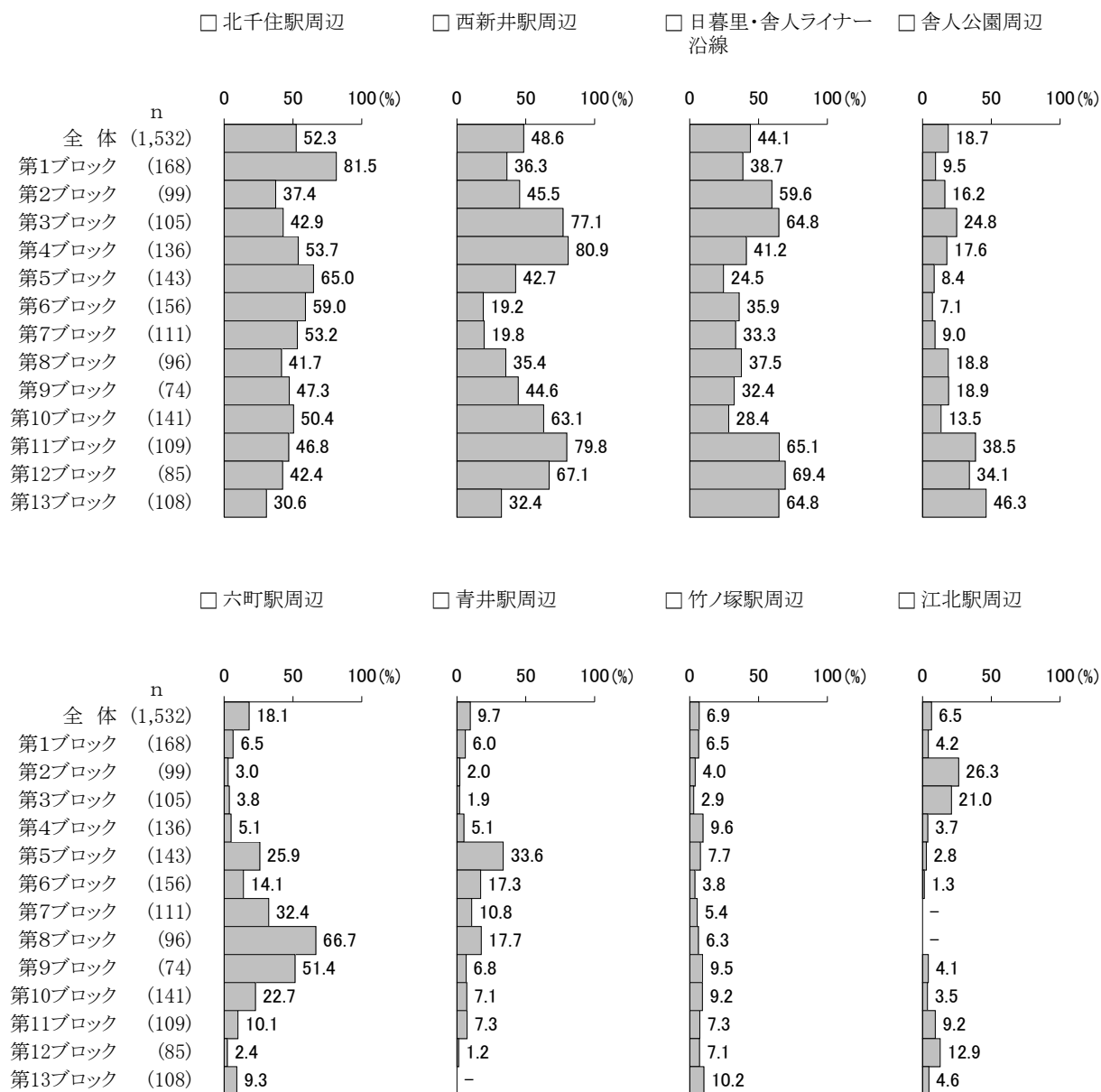
問11 ここ数年足立区のまちは大きく変化していますが、あなたはどの場所が大きく変わったと感じますか。(〇はあてはまるものすべて)



ここ数年区内で大きく変化したと感じる地域は、「北千住駅周辺」が52.3%で最も高く、以下、「西新井駅周辺」(48.6%)、「日暮里・舎人ライナー沿線」(44.1%)の順が続いている。

地域ブロック別でみると、第1ブロックでは、「北千住駅周辺」が81.5%と最も高く、第5ブロックでも65.0%を占めている。一方、第3、第4、第11ブロックでは、「西新井駅周辺」が8割前後を示し、他のブロックより高くなっている。また、第3、第11、第12、第13ブロックでは、「日暮里・舎人ライナー沿線」が6割台半ばから7割近くを占めている。第8、第9ブロックでは、「六町駅周辺」が、それぞれ66.7%、51.4%と5割を超えている。

図2-6-1 地域ブロック別 ここ数年で大きく変化した地域（上位8位）

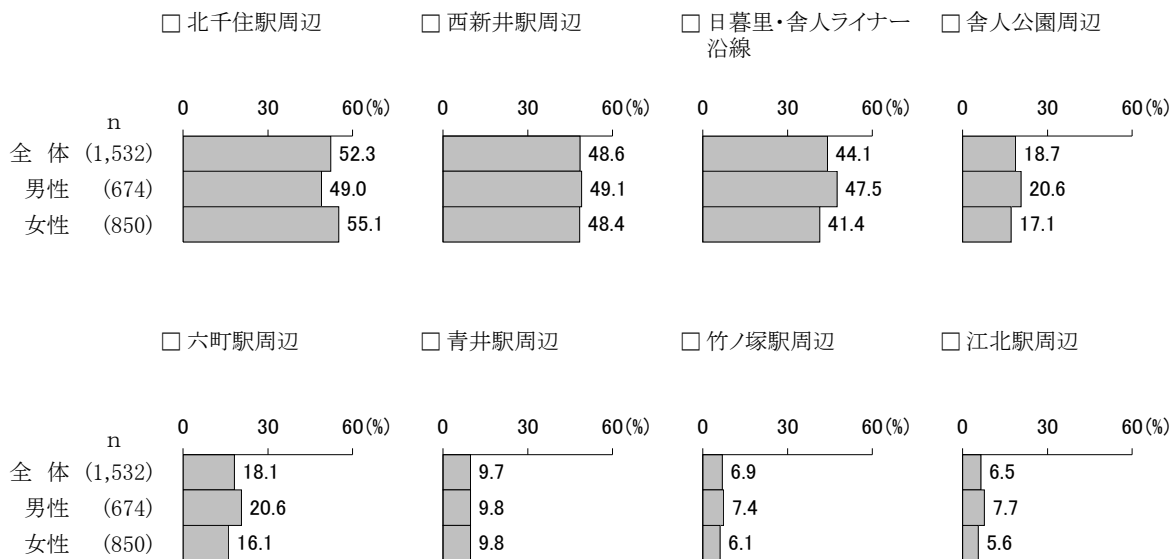


ブロック区分



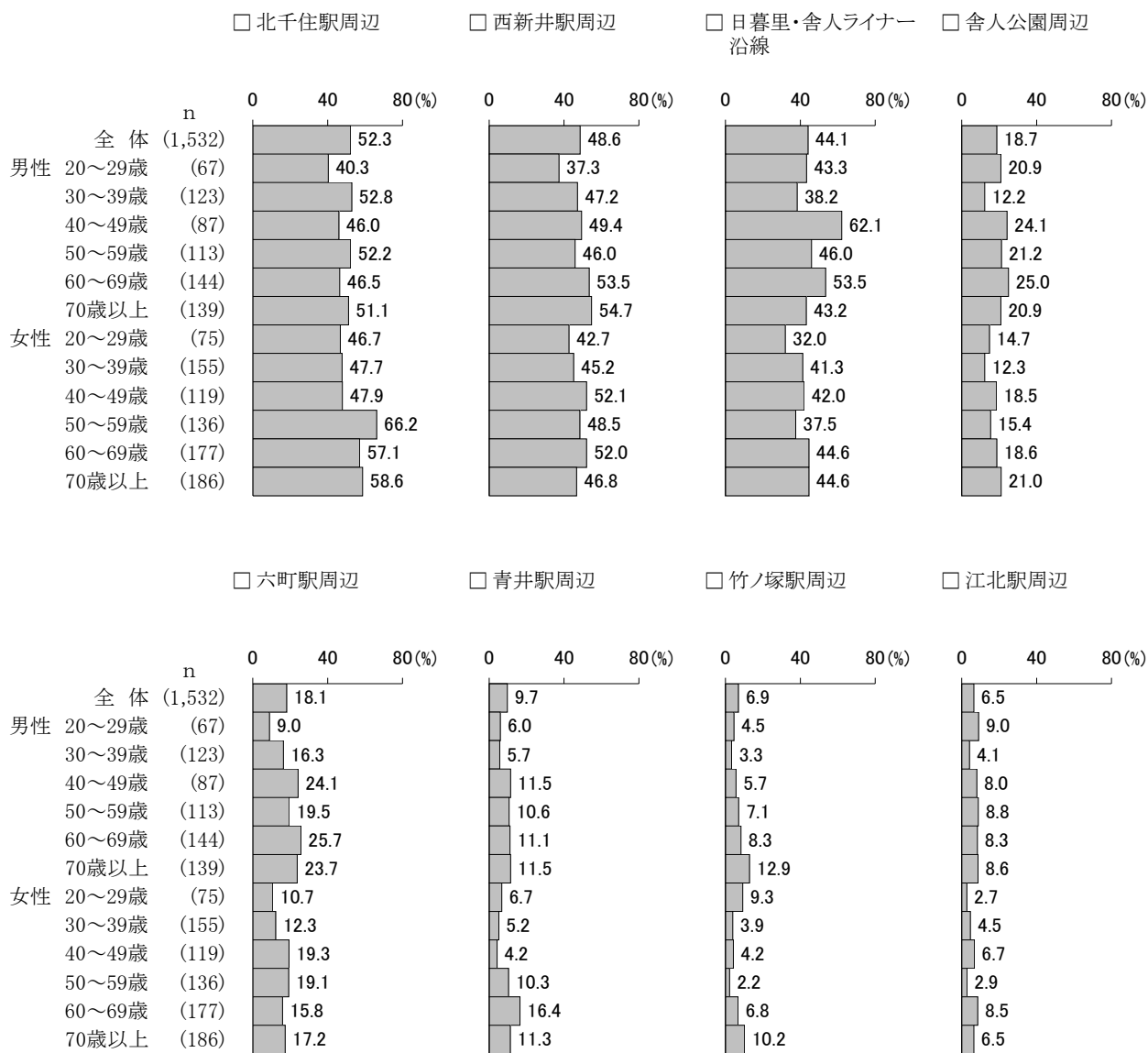
性別で見ると、男性では、「日暮里・舎人ライナー沿線」が47.5%と女性（41.4%）より高くなっている。一方、女性では、「北千住駅周辺」が55.1%と男性（49.0%）を上回っている。

図2-6-2 性別 ここ数年で大きく変化した地域（上位8位）



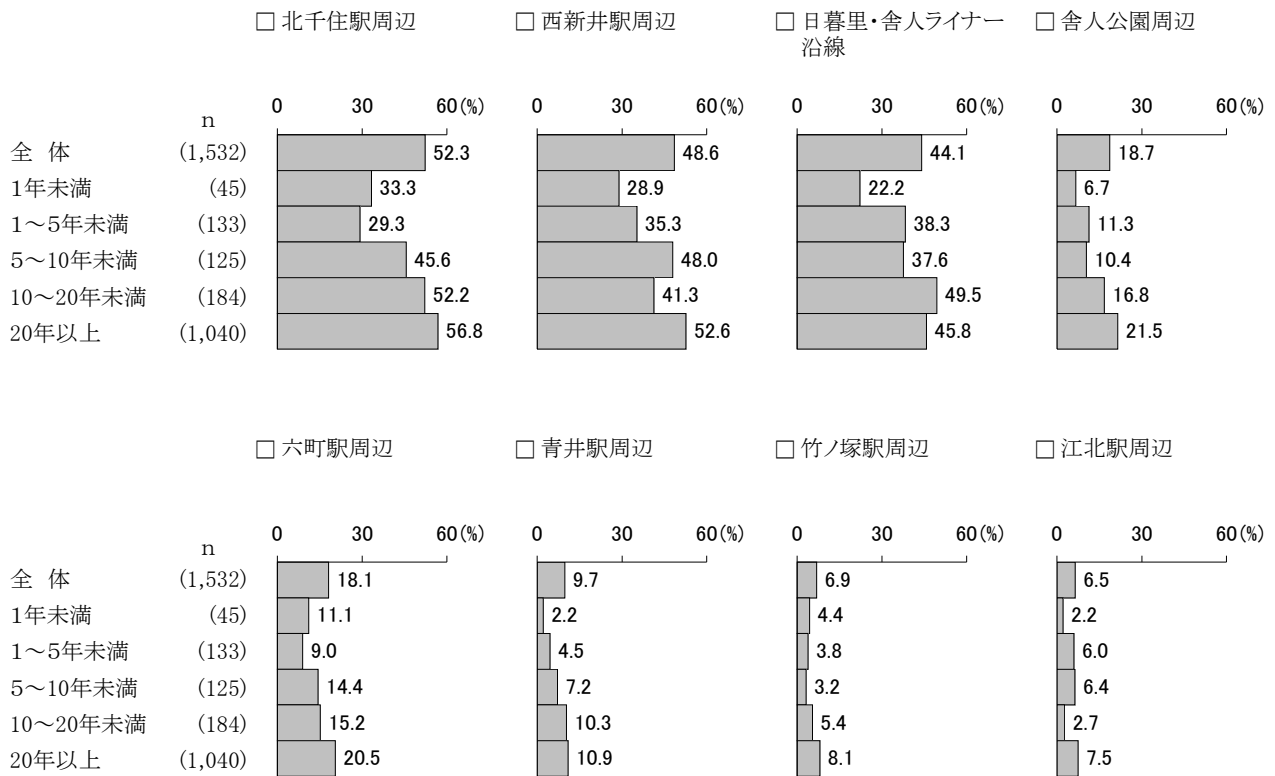
性・年代別でみると、男性では、30代、50代、70歳以上で「北千住駅周辺」が5割を超えている。また、40代では、「日暮里・舎人ライナー沿線」が62.1%と全年代中最も高くなっている。女性では、40代、60代で「西新井駅周辺」が、それぞれ52.1%、52.0%と他の年代より高くなっている。また、50代では、「北千住駅周辺」が66.2%と全年代中最も高くなっている。

図2-6-3 性・年代別 ここ数年で大きく変化した地域（上位8位）



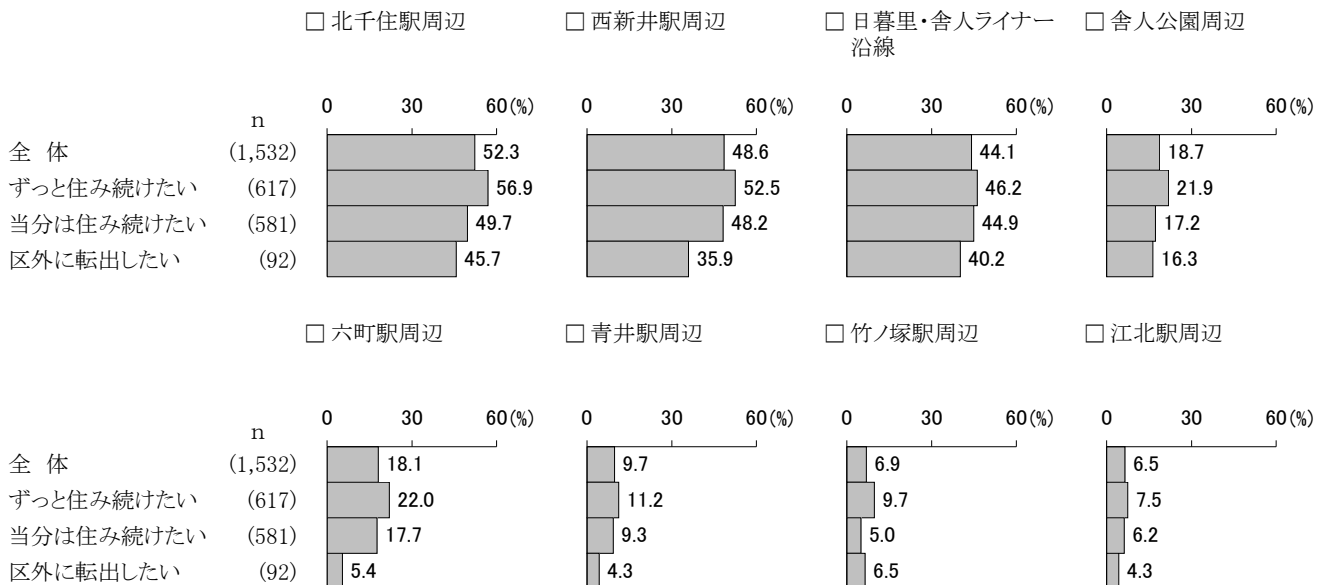
居住年数別でみると、上位8項目のうち20年以上の層は、「日暮里・舎人ライナー沿線」を除き、すべての地域で、他の層より高くなっている。

図2-6-4 居住年数別 ここ数年で大きく変化した地域（上位8位）



定住・移転意向別でみると、「ずっと住み続けたい」層では、「北千住駅周辺」が56.9%と他の層より高くなっている。

図2-6-5 定住・移転意向別 ここ数年で大きく変化した地域（上位8位）



3 日常の区民生活

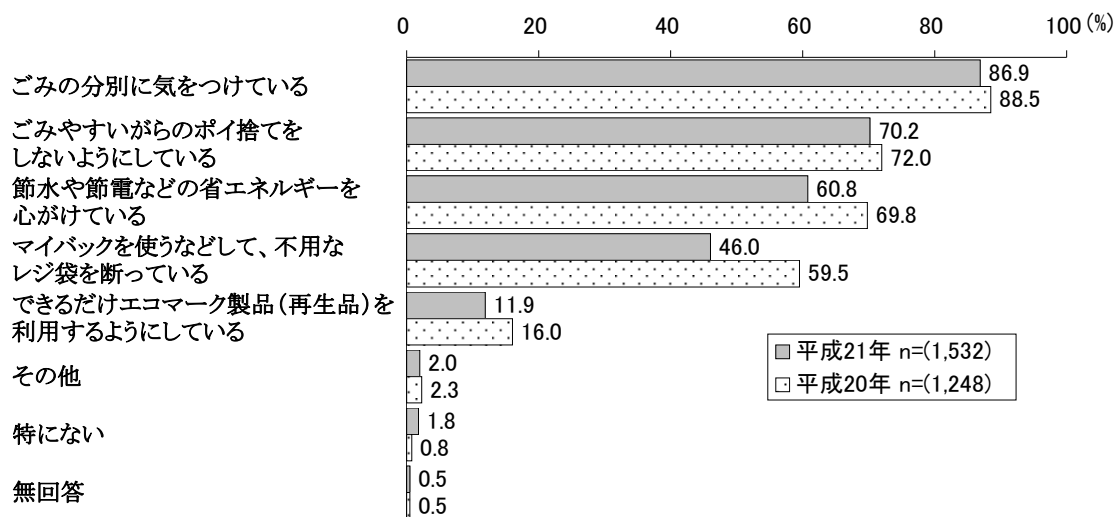
-
- (1) 環境のために心がけていること
 - (2) 災害に備えていること
 - (3) 「洪水などによる浸水被害」に備え意識していること
 - (4) 日頃の防犯対策
 - (5) 防犯対策を始めた動機
 - (6) 保健と医療
 - (7) 高齢者福祉施策の認知状況
 - (8) クーリング・オフ制度の認知状況
 - (9) クーリング・オフ制度の認知内容
 - (10) 地域活動の参加状況
 - (11) 地域活動への参加意向
-

3 日常の区民生活

(1) 環境のために心がけていること

- 「ごみの分別に気をつけている」が最も高く86.9%

問12 あなたが環境のために心がけていることは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

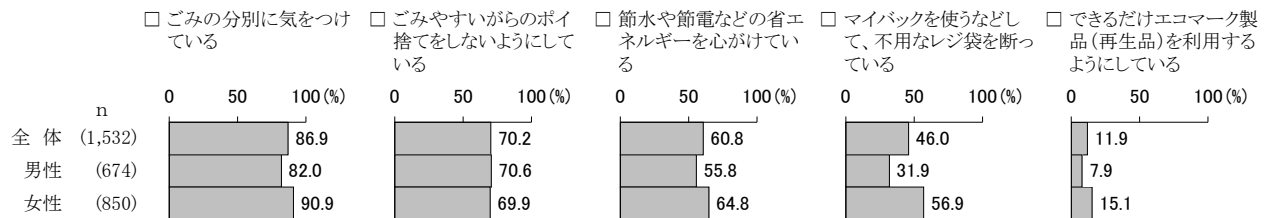


環境のために心がけていることは、「ごみの分別に気をつけている」が86.9%で最も高く、以下、「ごみやすいがらのポイ捨てをしないようにしている」(70.2%)、「節水や節電などの省エネルギーを心がけている」(60.8%)、「マイバックを使うなどして、不用なレジ袋を断っている」(46.0%)の順で続いている。

前回の調査結果と比較すると、「節水や節電などの省エネルギーを心がけている」は、前回の69.8%から9.0ポイント低下している。

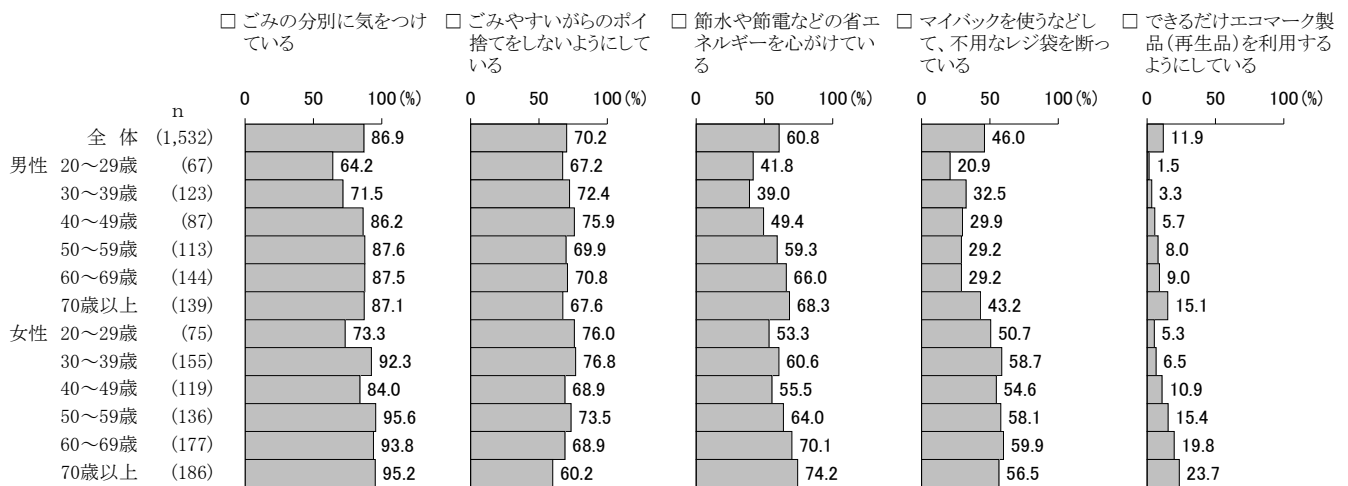
性別でみると、女性では、「マイバックを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」が56.9%と、男性（31.9%）より高くなっているほか、「ごみの分別に気をつけている」が90.9%、「節水や節電などの省エネルギーを心がけている」が64.8%と、いずれも男性を上回っている。

図3-1-1 性別 環境のために心がけていること



性・年代別でみると、女性では、20代、40代を除く各年代で「ごみの分別に気をつけている」が9割を超えている。また、20代、30代で「ごみやすいがらのポイ捨てをしないようにしている」が、それぞれ76.0%、76.8%を示しているほか、60代以上では、「節水や節電などの省エネルギーを心がけている」が7割を超えるなど、多くの年代で、男性より割合が高くなる傾向にある。

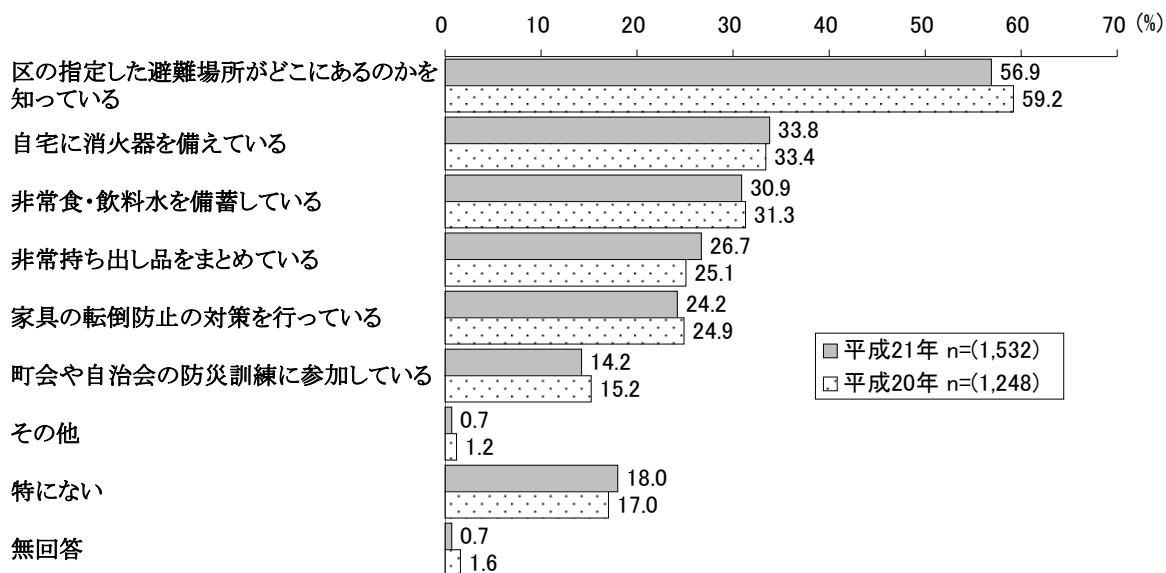
図3-1-2 性・年代別 環境のために心がけていること



(2) 災害に備えていること

- 「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている」が最も高く56.9%

問13 あなたが大地震などの災害に備えていることは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

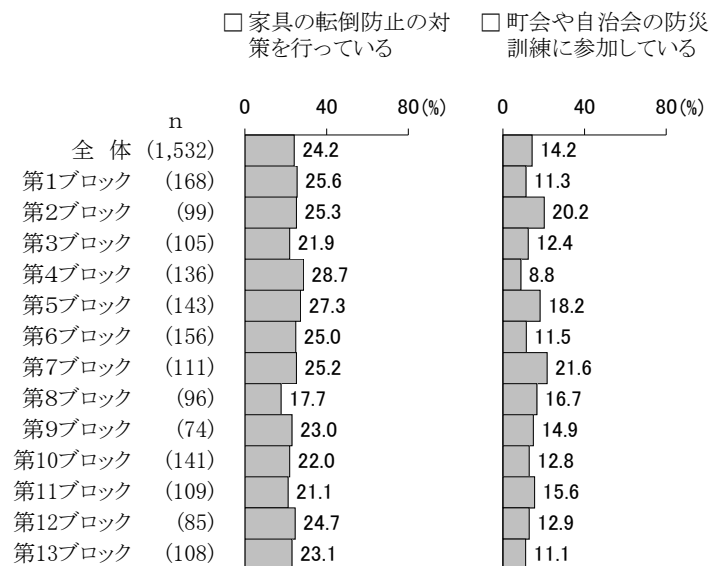
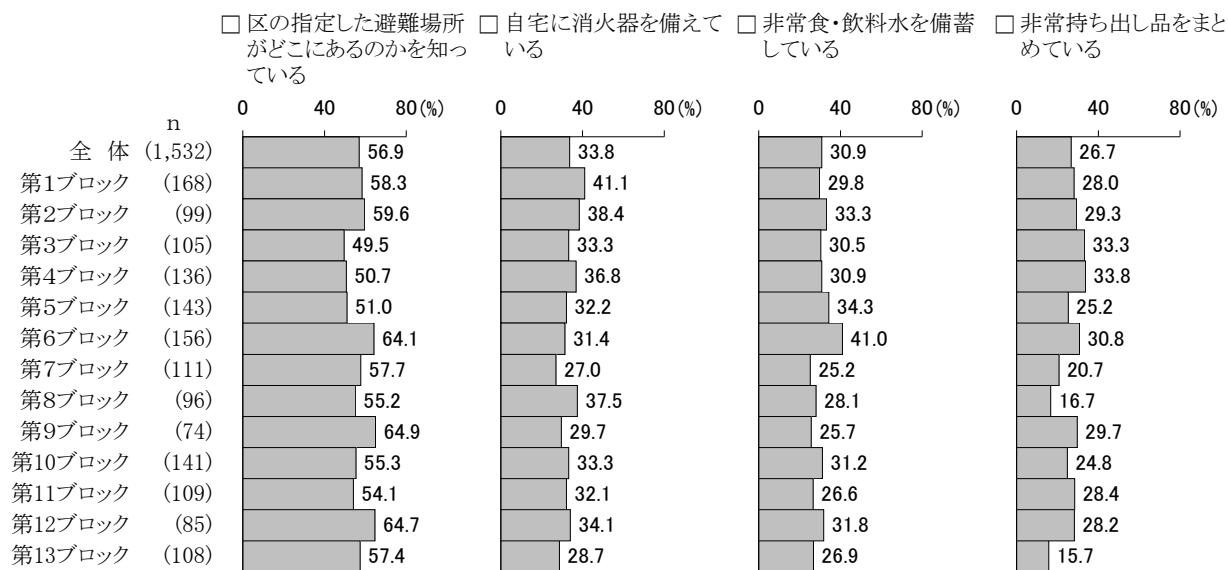


大地震などの災害に備えていることは、「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている」が56.9%で最も高く、以下、「自宅に消火器を備えている」(33.8%)、「非常食・飲料水を備蓄している」(30.9%)、「非常持ち出し品をまとめている」(26.7%)、「家具の転倒防止の対策を行っている」(24.2%)の順で続いている。

前回の調査結果と比較すると、各項目とも大きな変化はない。

地域ブロック別でみると、第6、第9、第12ブロックでは、「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている」が、いずれも6割台半ばを占めて、他のブロックより高くなっている。一方、第3、第4、第5ブロックでは、「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている」は5割前後とやや低くなっている。また、第1、第2、第8ブロックでは、「自宅に消火器を備えている」が4割前後を占めているほか、第6ブロックでは、「非常食・飲料水を備蓄している」が41.0%と最も高くなっている。

図3-2-1 地域ブロック別 災害に備えていること

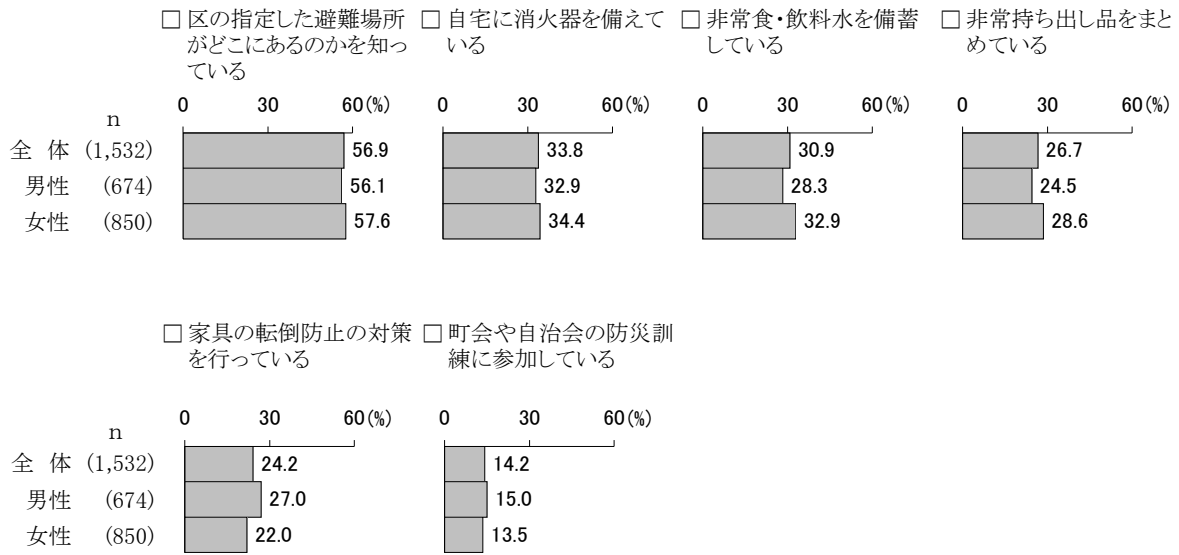


ブロック区分



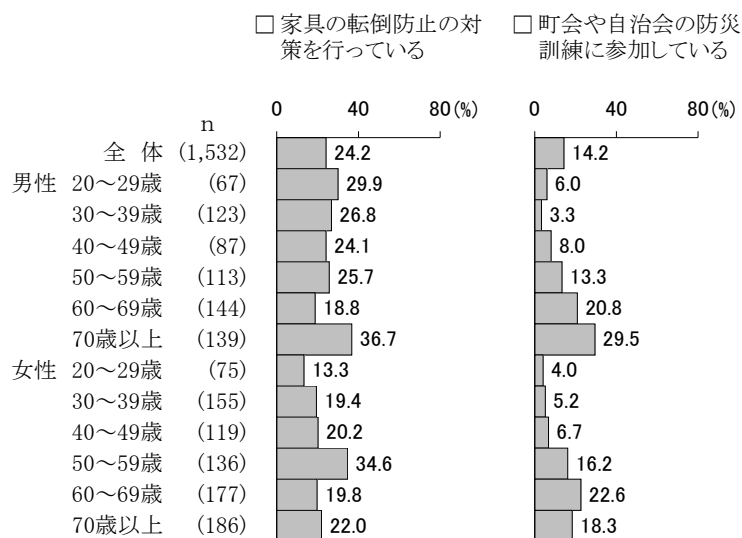
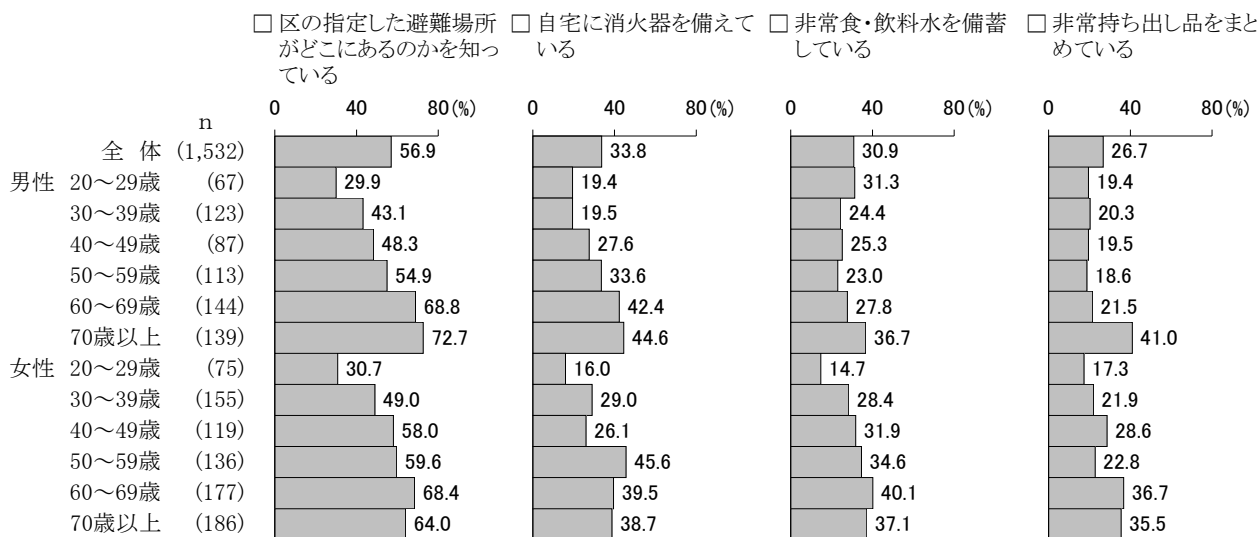
性別でみると、各項目とも大きな男女差はない。

図 3-2-2 性別 災害に備えていること



性・年代別でみると、男女とも年齢が高くなるにつれて、「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている」が増加する傾向がある。また、男女とも、60代、70代では「町会や自治会の防災訓練に参加している」が2割前後の値を示し、他の年代より高くなっている。

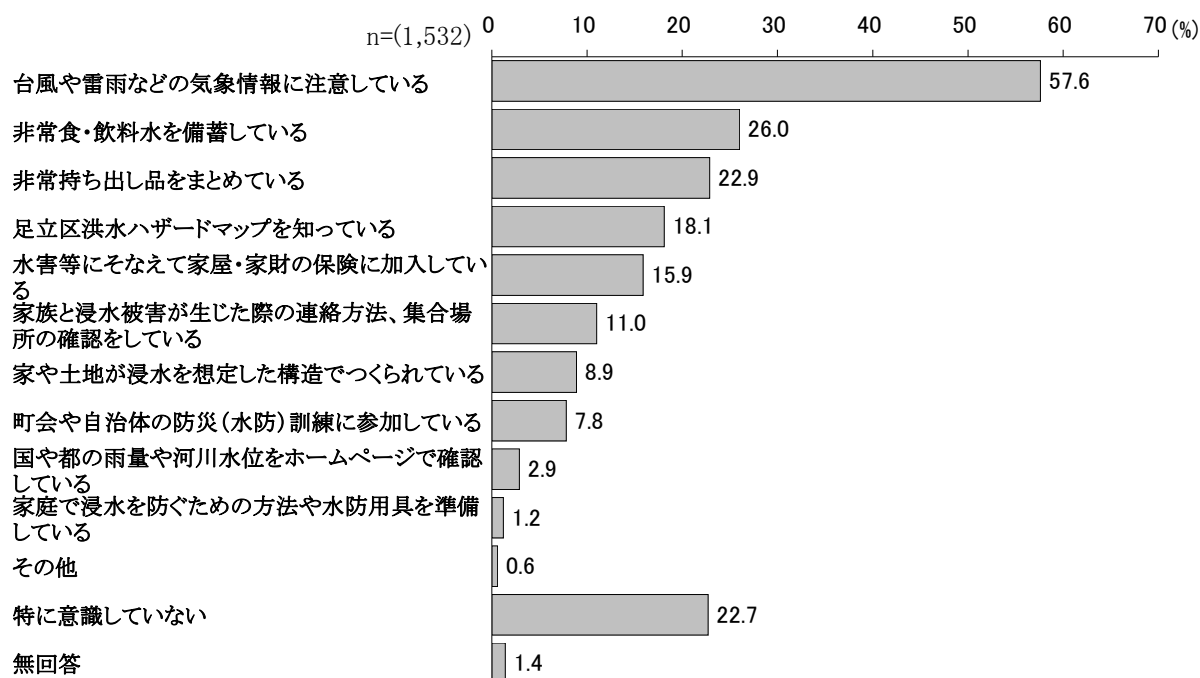
図3-2-3 性・年代別 災害に備えていること



(3) 「洪水などによる浸水被害」に備え意識していること

- 「台風や雷雨などの気象情報に注意している」が最も高く57.6%

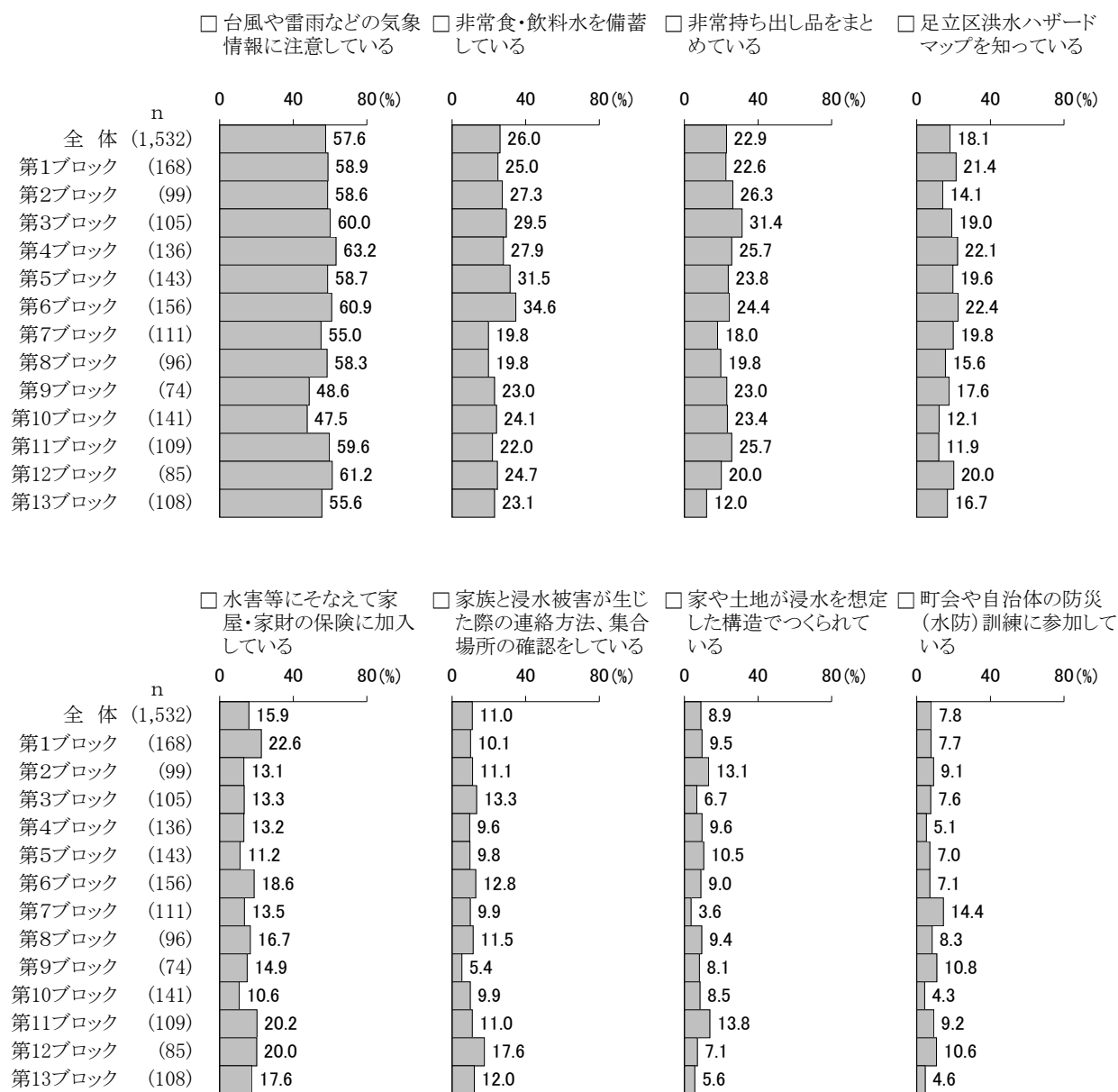
問14 あなたが「洪水などによる浸水被害」に備え意識していることはありますか。(○はあてはまるものすべて)



洪水などによる浸水被害に備え意識していることは、「台風や雷雨などの気象情報に注意している」が57.6%で最も高く、以下、「非常食・飲料水を備蓄している」(26.0%)、「非常持ち出し品をまとめている」(22.9%)、「足立区洪水ハザードマップを知っている」(18.1%)、「水害等にそなえて家屋・家財の保険に加入している」(15.9%)の順で続いている。

地域ブロック別でみると、全体として、「台風や雷雨などの気象情報に注意している」が高くなっているが、第9、第10ブロックでは5割以下と、他のブロックより低くなっている。また、第3ブロックでは「非常持ち出し品をまとめている」(31.4%)が、第6ブロックでは「非常食・飲料水を備蓄している」(34.6%)が、全地域ブロック中で最も高くなっている。

図3-3-1 地域ブロック別 「洪水などによる浸水被害」に備え意識していること(上位8位)

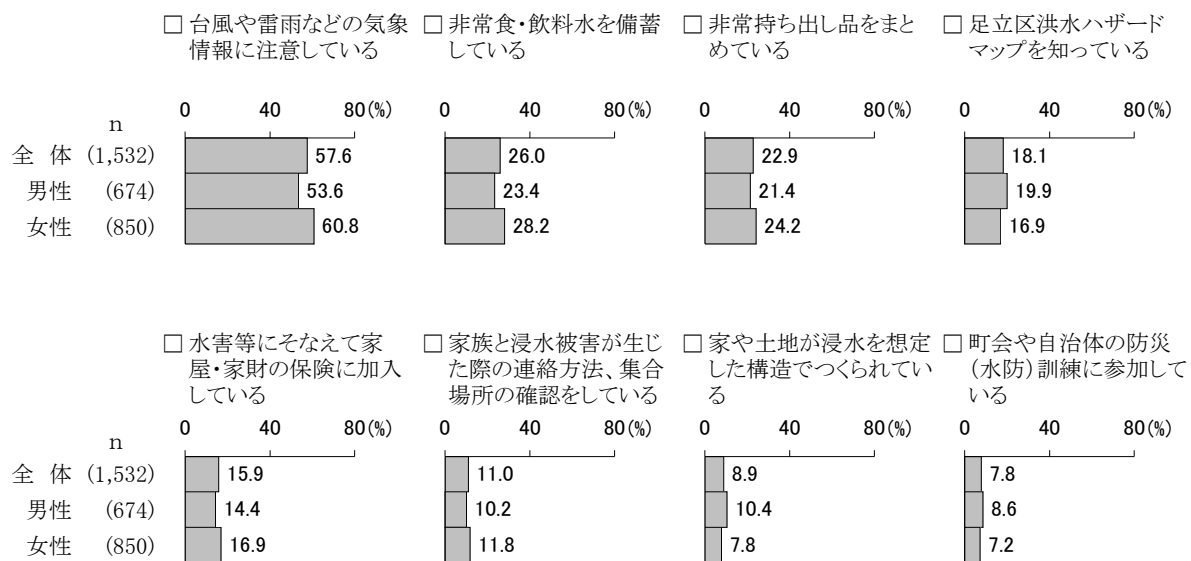


ブロック区分



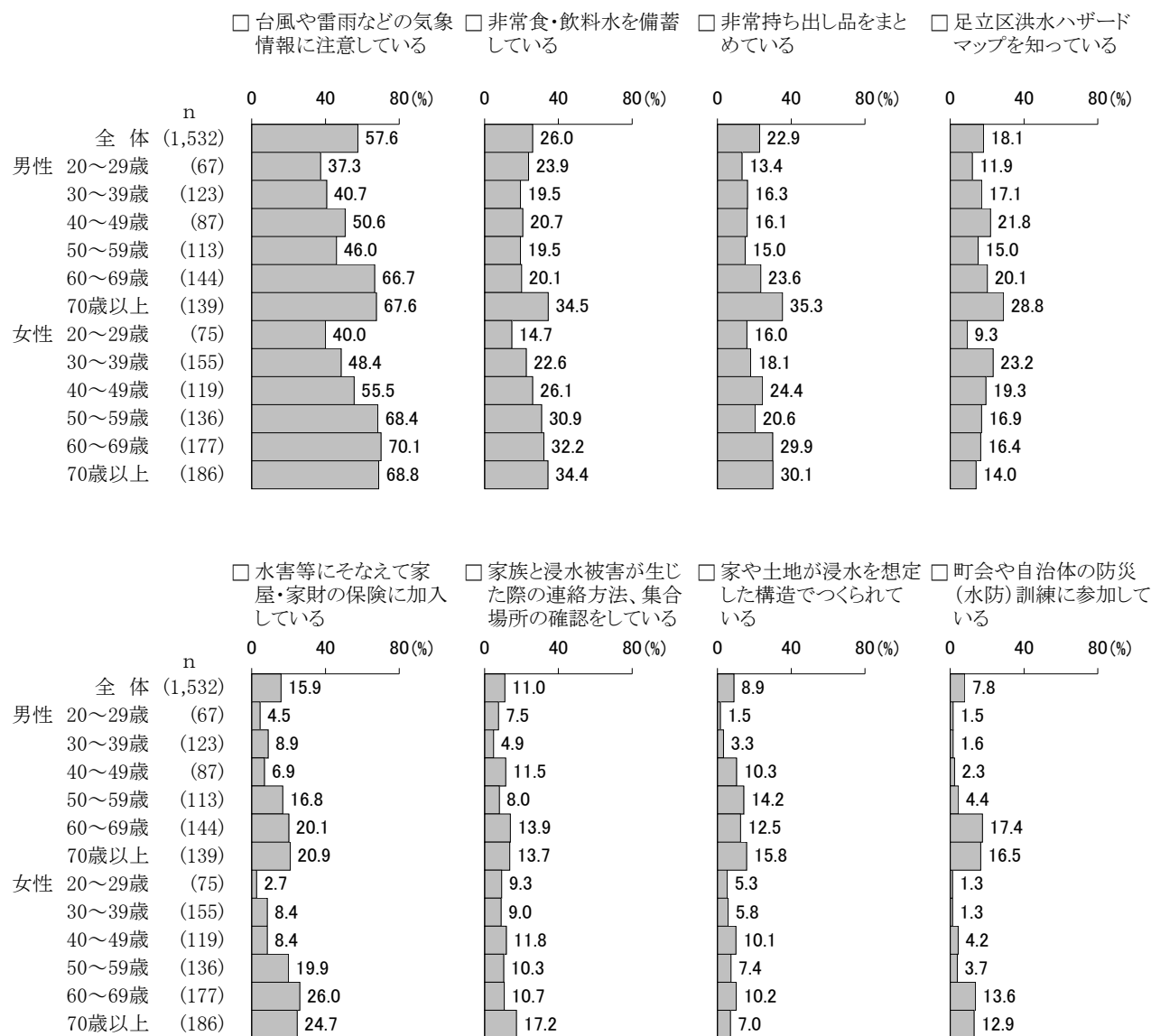
性別でみると、女性では、「台風や雷雨などの気象情報に注意している」が60.8%と、男性(53.6%)より高くなっている。

図3-3-2 性別 「洪水などによる浸水被害」に備え意識していること（上位8位）



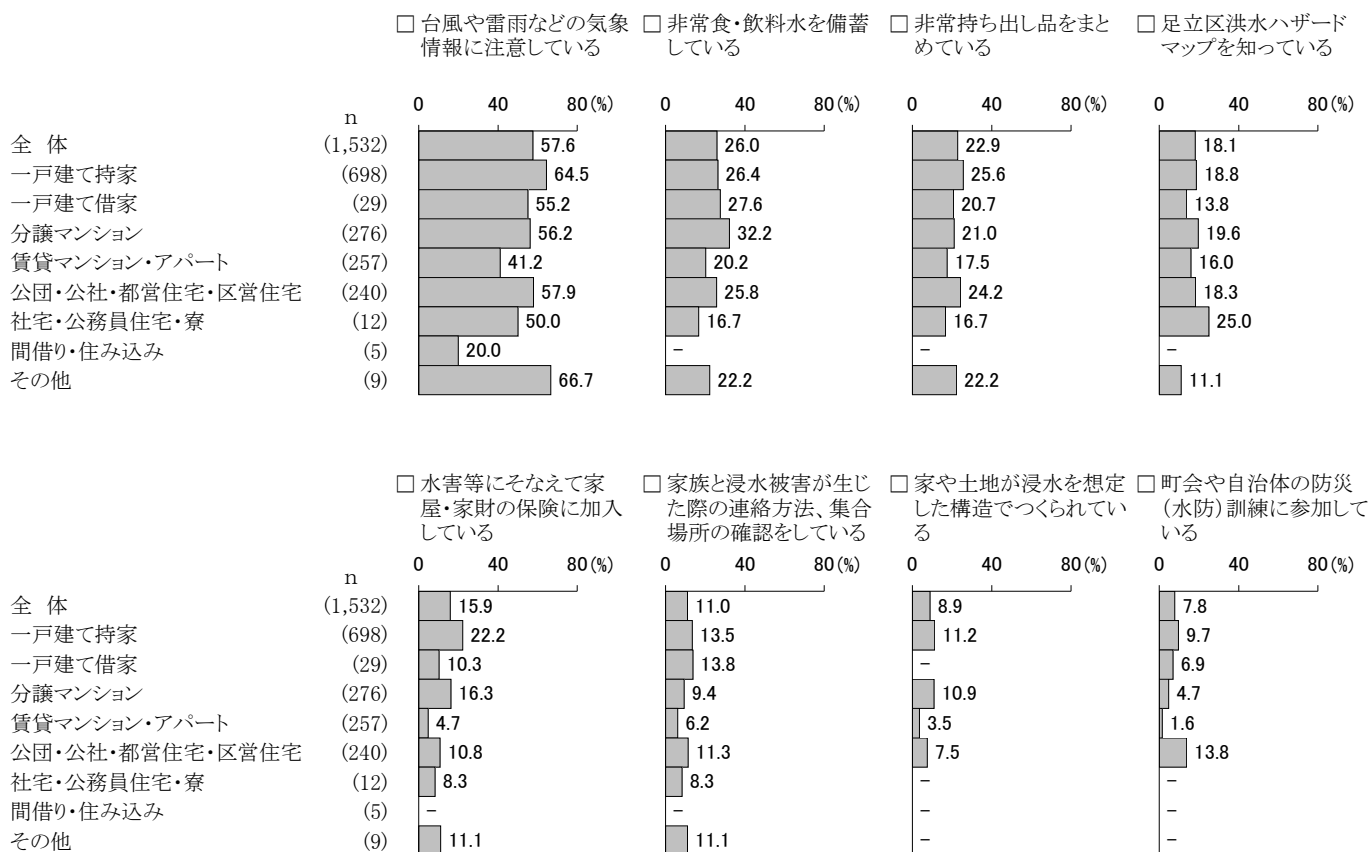
性・年代別でみると、男性の60代以上、女性の50代以上で「台風や雷雨などの気象情報に注意している」が7割前後を占めている。また、男性の70歳以上、女性の50代以上で、「非常食・飲料水を備蓄している」が3割を超えている。

図3-3-3 性・年代別 「洪水などによる浸水被害」に備え意識していること（上位8位）



住居形態別で見ると、一戸建て持家では、「台風や雷雨などの気象情報に注意している」が64.5%を占めているほか、「非常持ち出し品をまとめている」(25.6%)、「水害等にそなえて家屋・家財の保険に加入している」(22.2%)、「家や土地が浸水を想定した構造でつくられている」(11.2%)と、いずれも全住居形態中最も高くなっている。

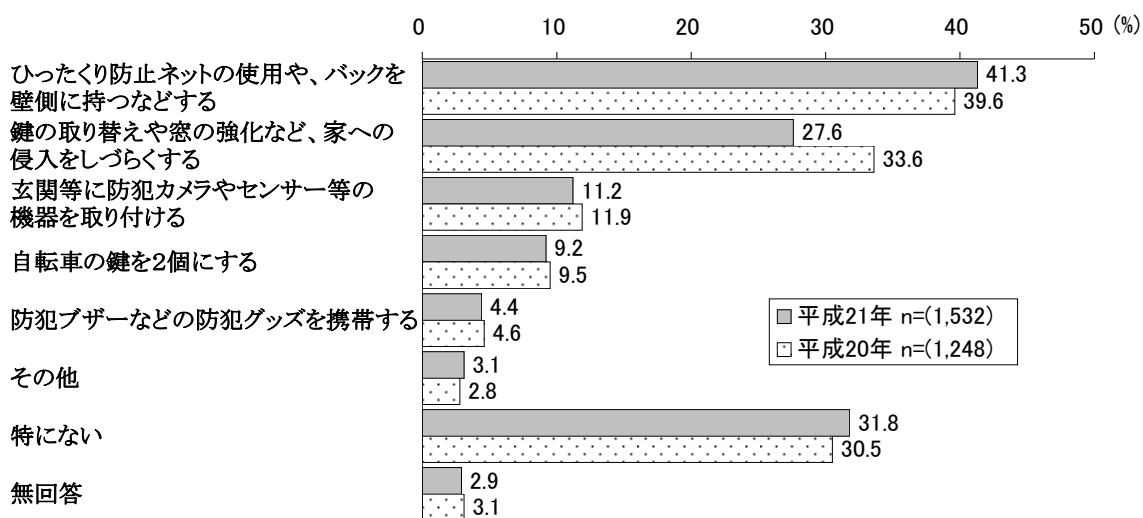
図3-3-4 住居形態別 「洪水などによる浸水被害」に備え意識していること（上位8位）



(4) 日頃の防犯対策

●「ひったくり防止ネットの使用や、バックを壁側に持つなどする」が最も高く41.3%

問15 あなたが日頃している防犯対策は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

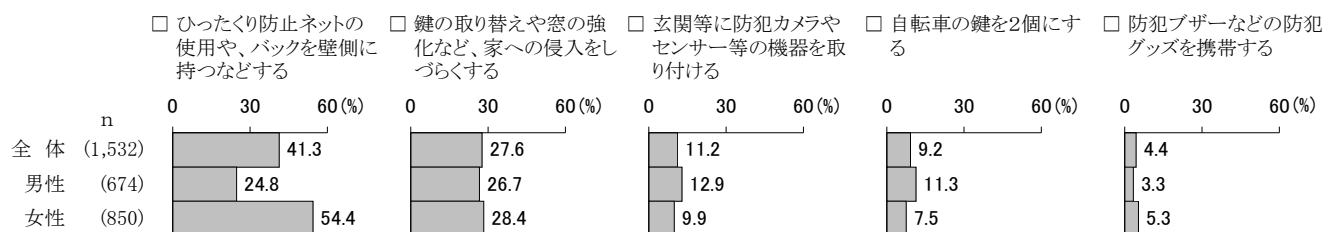


日頃の防犯対策としては、「ひったくり防止ネットの使用や、バックを壁側に持つなどする」が41.3%で最も高く、これに「鍵の取り替えや窓の強化など、家への侵入をしづらくする」が27.6%で次いでいる。

前回の調査結果と比較すると、「鍵の取り替えや窓の強化など、家への侵入をしづらくする」は、前回の33.6%から6.0ポイント低下している。

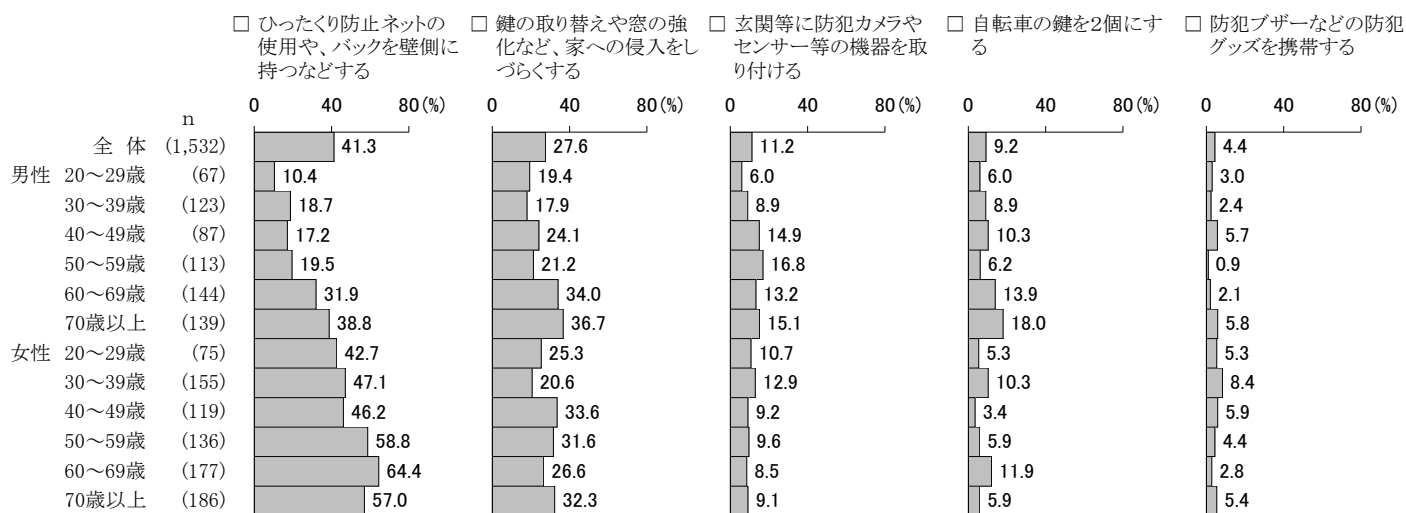
性別で見ると、女性では、「ひったくり防止ネットの使用や、バックを壁側に持つなどする」が54.4%と、男性（24.8%）を倍以上上回っている。

図3-4-1 性別 日頃の防犯対策



性・年代別で見ると、女性では、全年代にわたって、「ひったくり防止ネットの使用や、バックを壁側に持つなどする」が男性を上回り、特に60代では64.4%を占めている。また、60代以上の男性、40代、50代、70歳以上の女性では「鍵の取り替えや窓の強化など、家への侵入をしづらくする」が3割を超えている。

図3-4-2 性・年代別 日頃の防犯対策

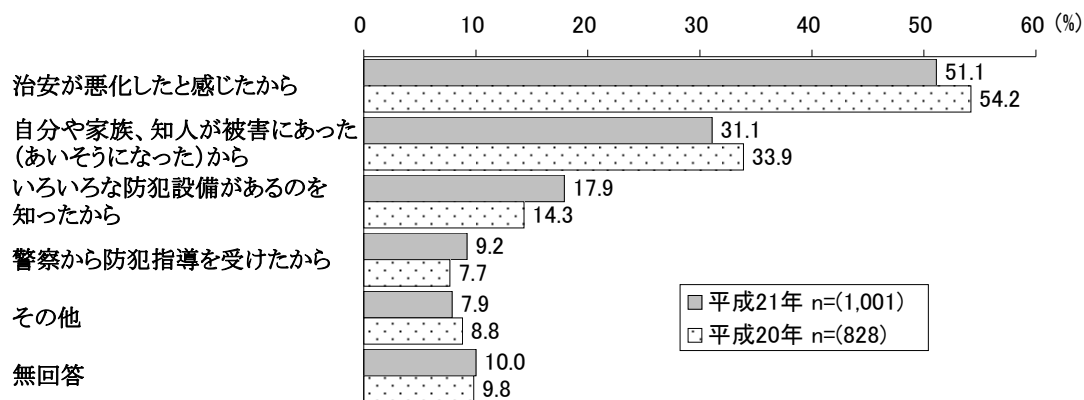


(5) 防犯対策を始めた動機

- 「治安が悪化したと感じたから」が最も高く51.1%

(問15で1～6をお答えの方に)

問15—1 防犯対策を始めたきっかけは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

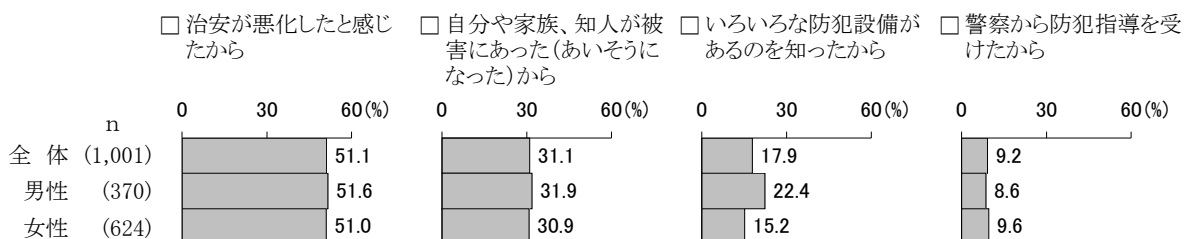


日頃から防犯対策を行っている人に、そのきっかけをきいたところ、「治安が悪化したと感じたから」が51.1%で最も高く、以下、「自分や家族、知人が被害にあった(あいそうになった)から」(31.1%)、「いろいろな防犯設備があるのを知ったから」(17.9%)の順で続いている。

前回の調査結果と比較すると、「治安が悪化したと感じたから」は、前回の54.2%から3.1ポイント低下している。一方、「いろいろな防犯設備があるのを知ったから」は今回17.9%で、前回の14.3%から3.6ポイント増加している。

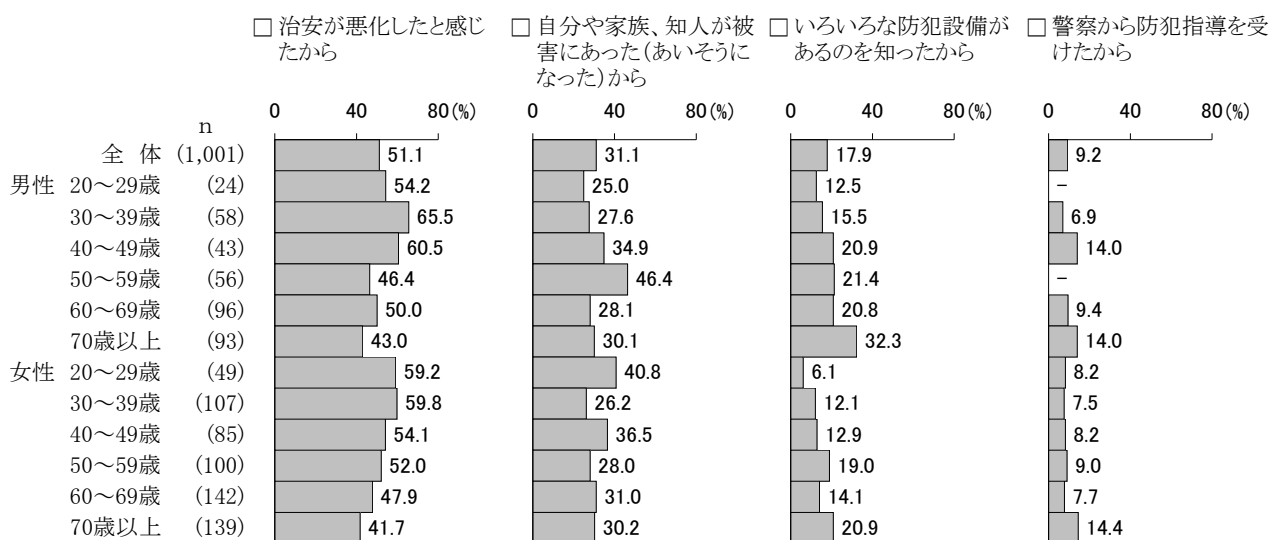
性別でみると、男性では、「いろいろな防犯設備があるのを知ったから」が22.4%と、女性(15.2%)より高くなっている。

図3-5-1 性別 防犯対策を始めた動機



性・年代別でみると、男性では、30代、40代で「治安が悪化したと感じたから」が、それぞれ65.5%、60.5%と他の年代より高くなっている。また、50代では、「自分や家族、知人が被害にあった(あいそうになった)から」が46.4%で最も高くなっている。女性では、20代から50代で「治安が悪化したと感じたから」が5割を超えている。また、20代では、「自分や家族、知人が被害にあった(あいそうになった)から」が40.8%と、最も高くなっている。

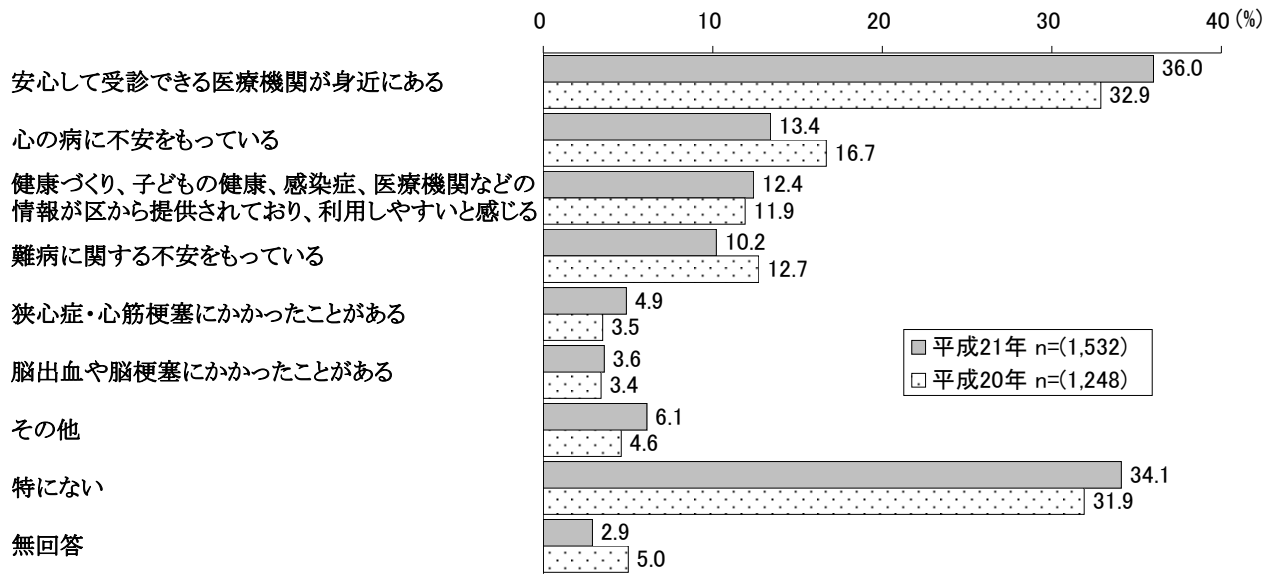
図3-5-2 性・年代別 防犯対策を始めた動機



(6) 保健と医療

●「安心して受診できる医療機関が身近にある」が最も高く36.0%

問16 保健と医療などについておうかがいします。(〇はあてはまるものすべて)

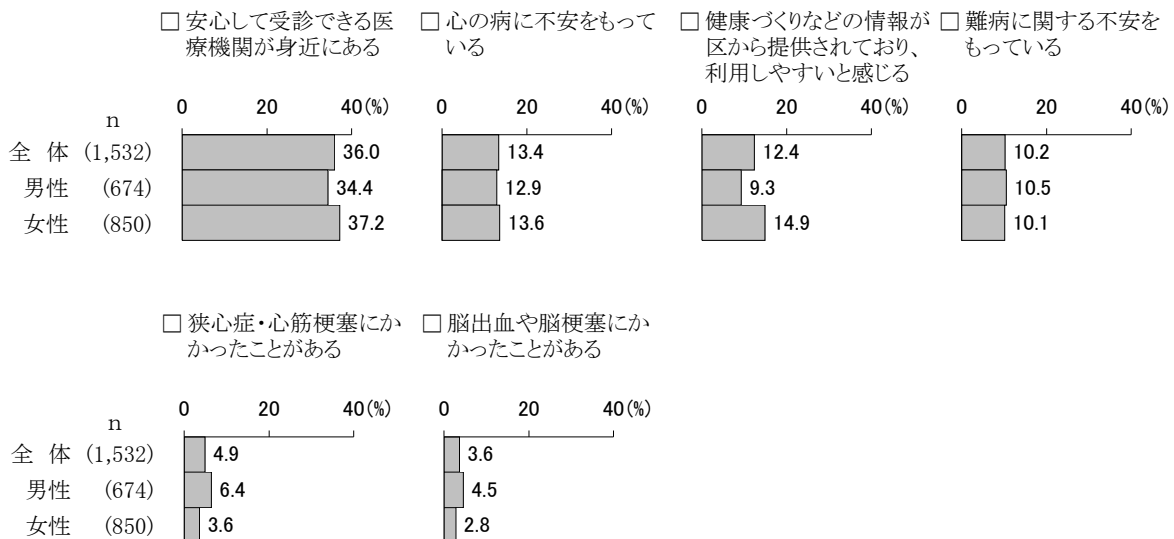


保健と医療については、「安心して受診できる医療機関が身近にある」が36.0%で最も高く、以下「心の病に不安をもっている」(13.4%)、「健康づくり、子どもの健康、感染症、医療機関などの情報が区から提供されており、利用しやすいと感じる」(12.4%)の順で続いている。

前回の調査結果と比較すると、「安心して受診できる医療機関が身近にある」は、前回の32.9%から3.1ポイント上昇している。

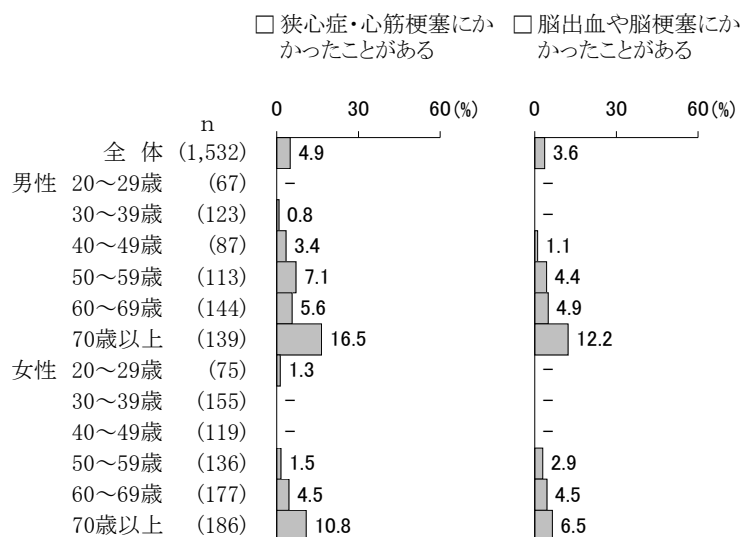
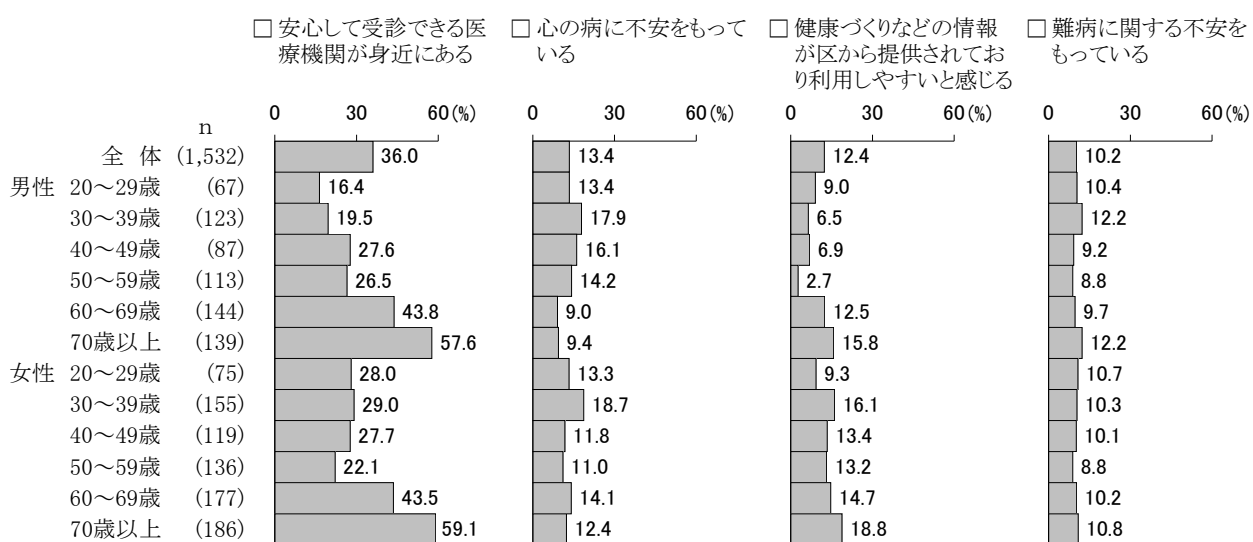
性別でみると、女性では、「健康づくり、子どもの健康、感染症、医療機関などの情報が区から提供されており、利用しやすいと感じる」が14.9%と、男性(9.3%)を上回っている。

図3-6-1 性別 保健と医療



性・年代別でみると、男性では、年齢が高くなるにつれて、「安心して受診できる医療機関が身近にある」が増加し、60代では43.8%、70歳以上では57.6%となっている。また、女性でも60代、70歳以上では、「安心して受診できる医療機関が身近にある」が、それぞれ43.5%、59.1%と高くなっている。また、30代では、「心の病に不安をもっている」は男性が17.9%、女性が18.7%となっており、他の年代に比べてやや高くなっている。

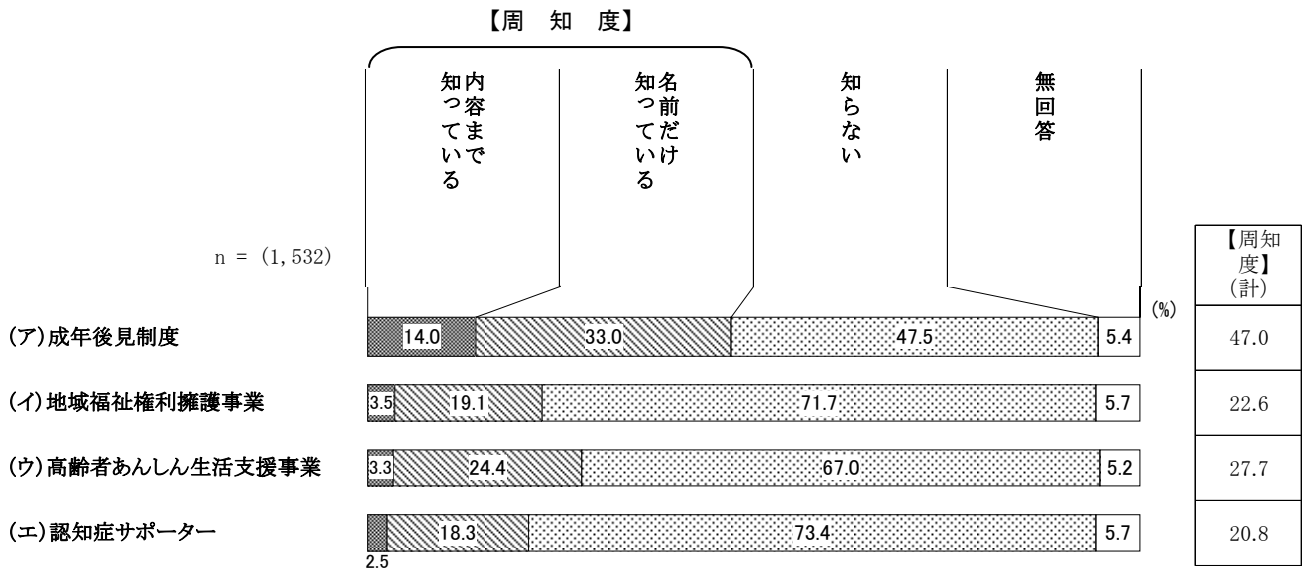
図3-6-2 性・年代別 保健と医療



(7) 高齢者福祉施策の認知状況

●【周知度】は〈成年後見制度〉が最も高く47.0%

問17 高齢者の権利擁護に関して、区及び社会福祉協議会等が行っている次の取り組みについて知っていますか。(〇は(ア)～(エ)それぞれ1つずつ)



区及び社会福祉協議会で実施している高齢者の権利擁護のための取り組みの【周知度】(「内容まで知っている」と「名前だけ知っている」の合計)を多い順にみると、〈成年後見制度〉が47.0%で最も高く、以下、〈高齢者あんしん生活支援事業〉(27.7%)、〈地域福祉権利擁護事業〉(22.6%)、〈認知症サポーター〉(20.8%)の順で続いている。

性別でみると、各事業の周知度に、大きな男女差はない。

図3-7-1 性別 高齢者福祉施策の認知状況

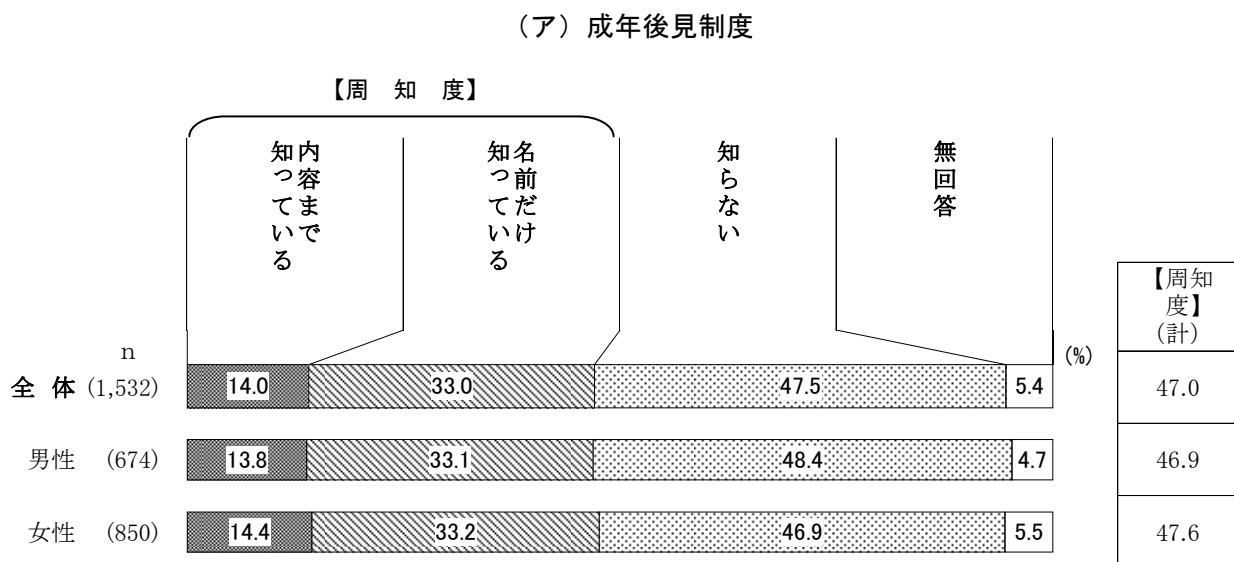
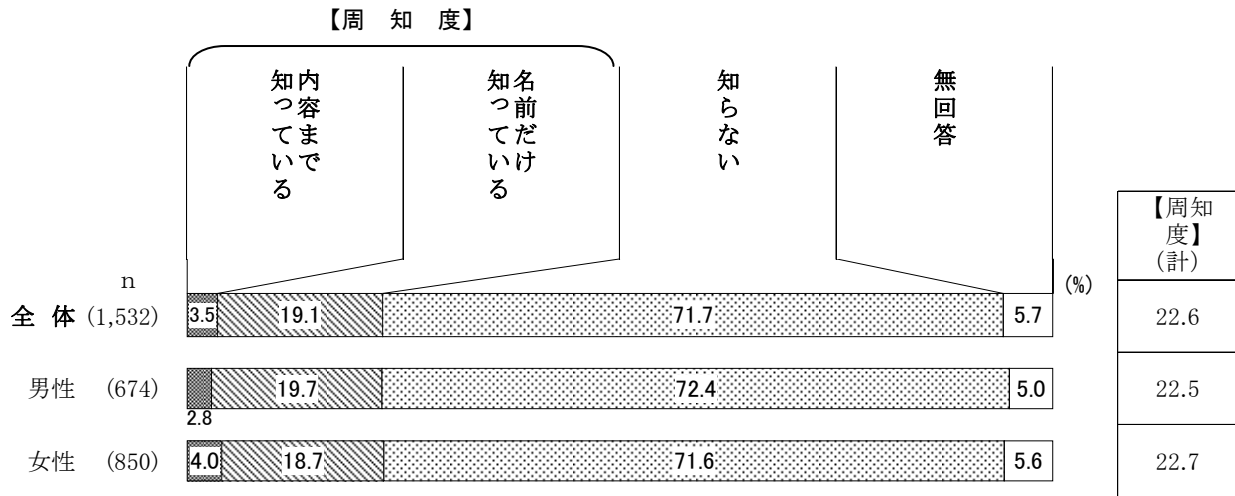
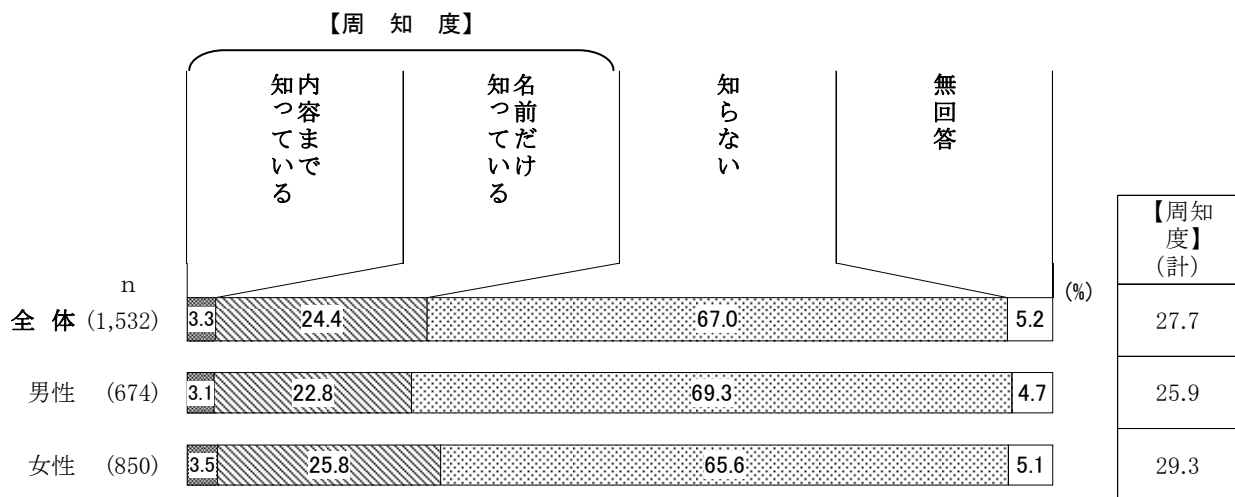


図3-7-1 性別 高齢者福祉施策の認知状況—つづき—

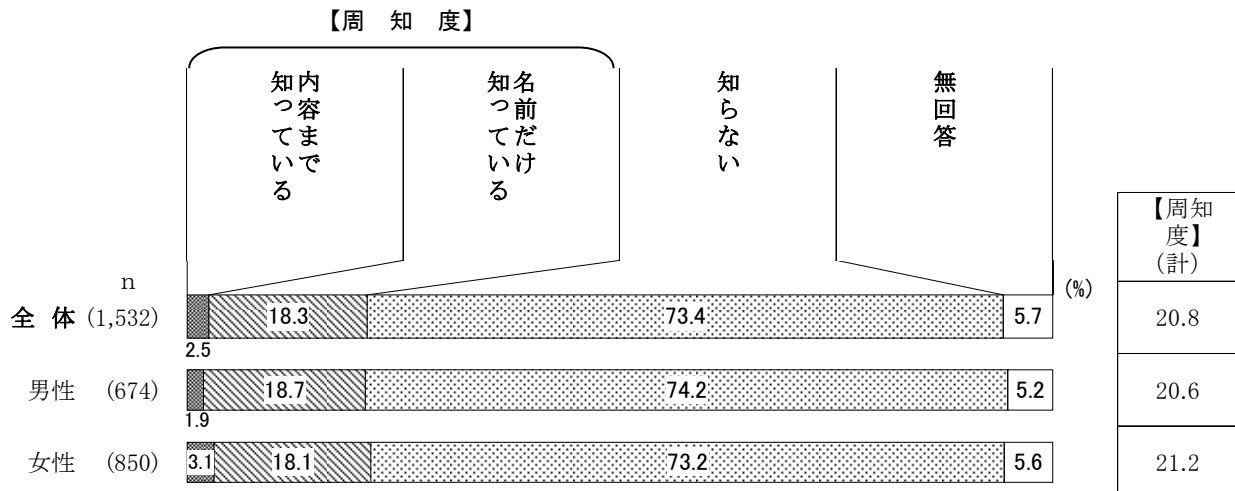
(イ) 地域福祉権利擁護事業



(ウ) 高齢者あんしん生活支援事業



(エ) 認知症サポーター



性・年代別でみると、〈成年後見制度〉については、男性の60代、70歳以上、女性の50代、60代、70歳以上では【周知度】が5割を超えている。また、〈地域福祉権利擁護事業〉については、60代、70歳以上では男女とも【周知度】が3割前後を占めている。

図3-7-2 性・年代別 高齢者福祉施策の認知状況

(ア) 成年後見制度

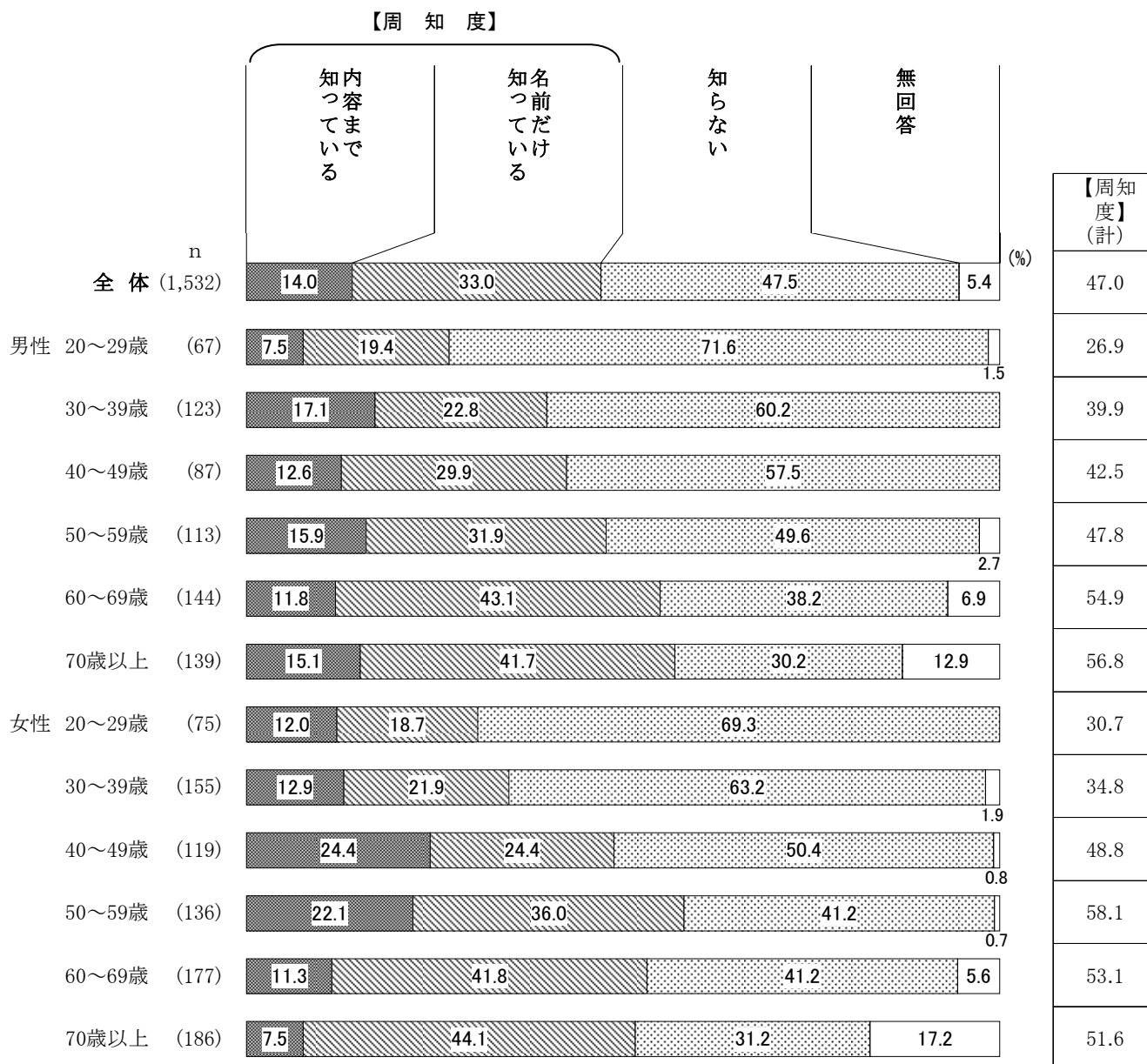


図3-7-2 性・年代別 高齢者福祉施策の認知状況—つづき—

(イ) 地域福祉権利擁護事業

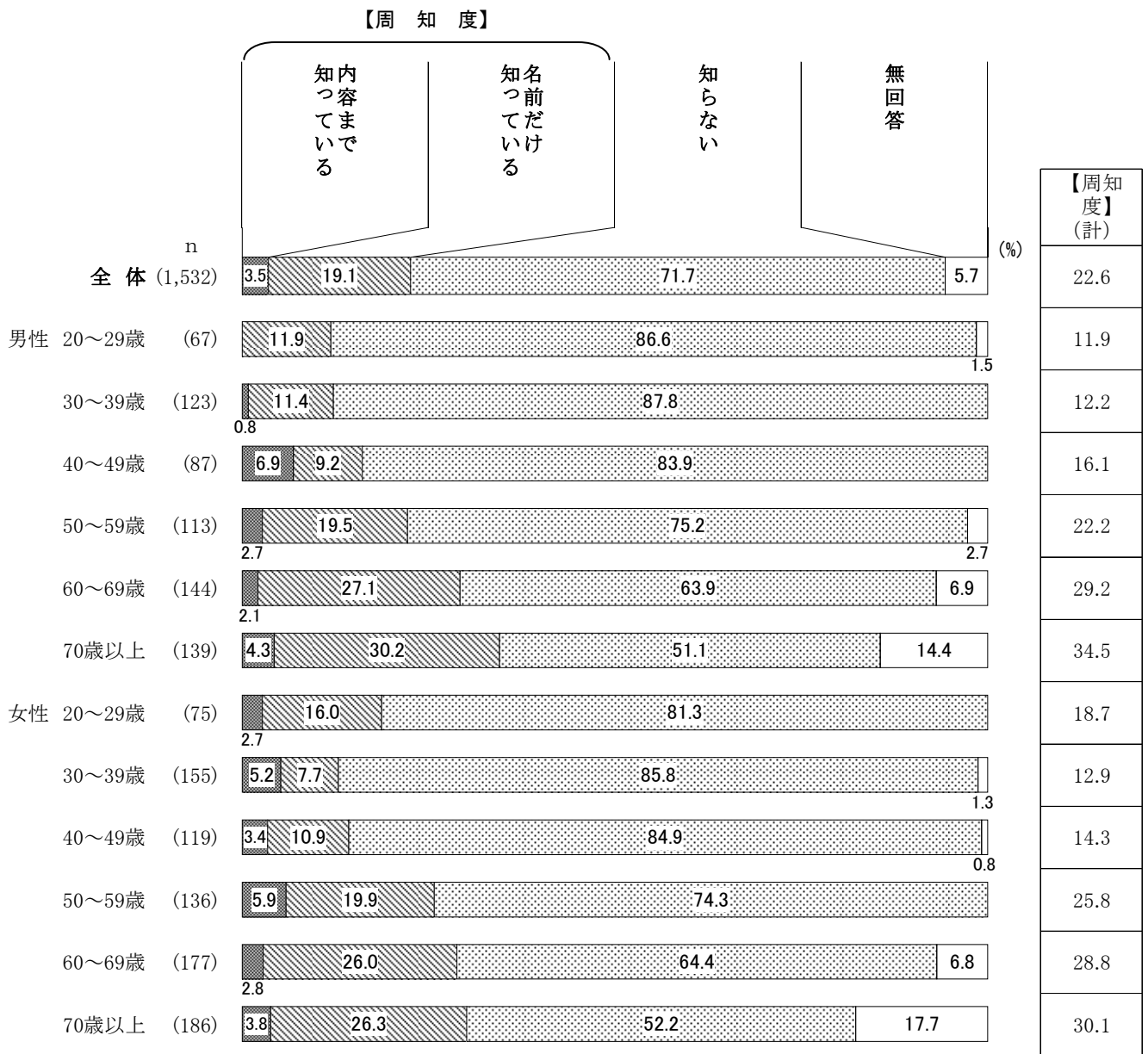


図3-7-2 性・年代別 高齢者福祉施策の認知状況—つづき—

(ウ) 高齢者あんしん生活支援事業

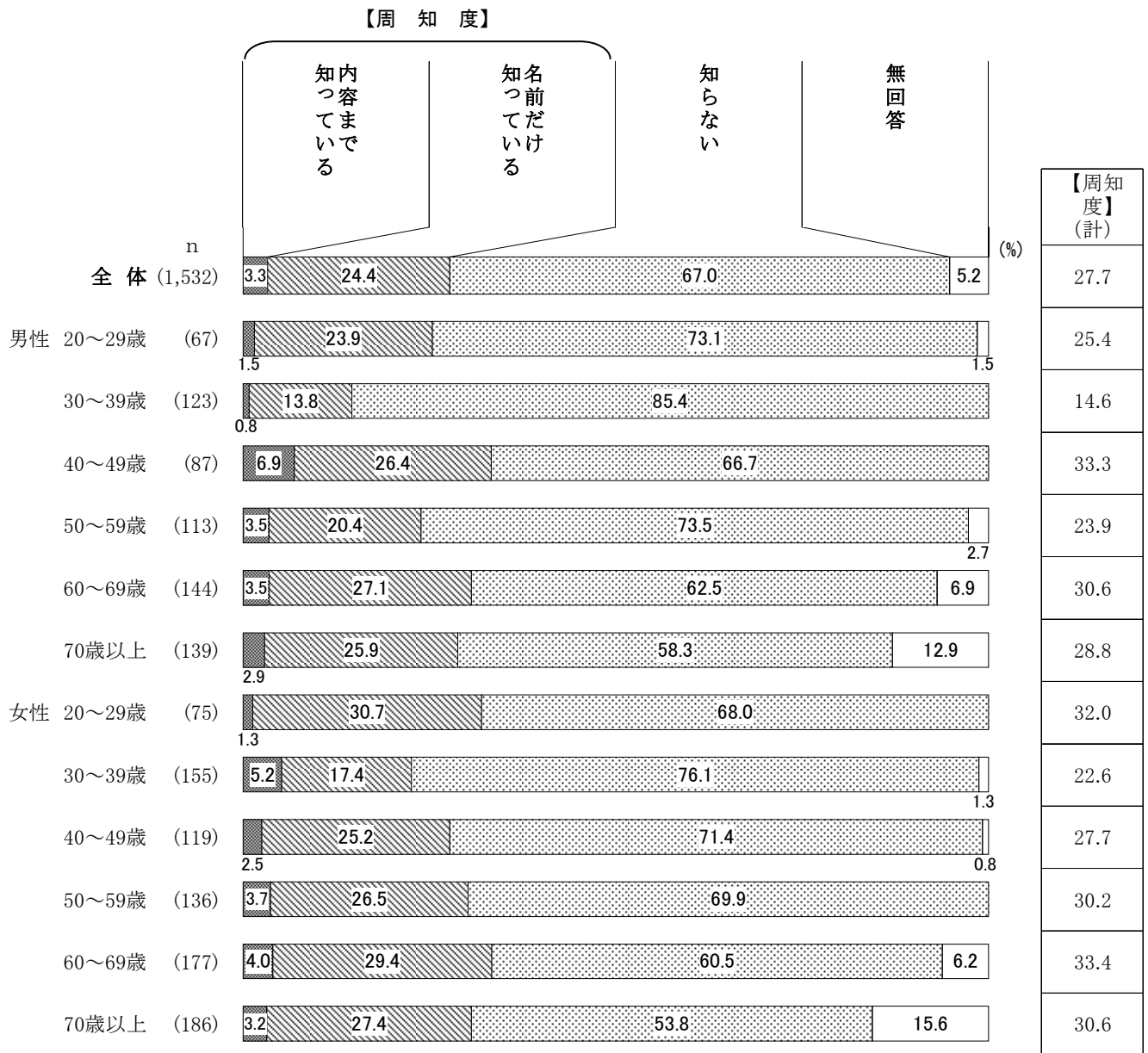
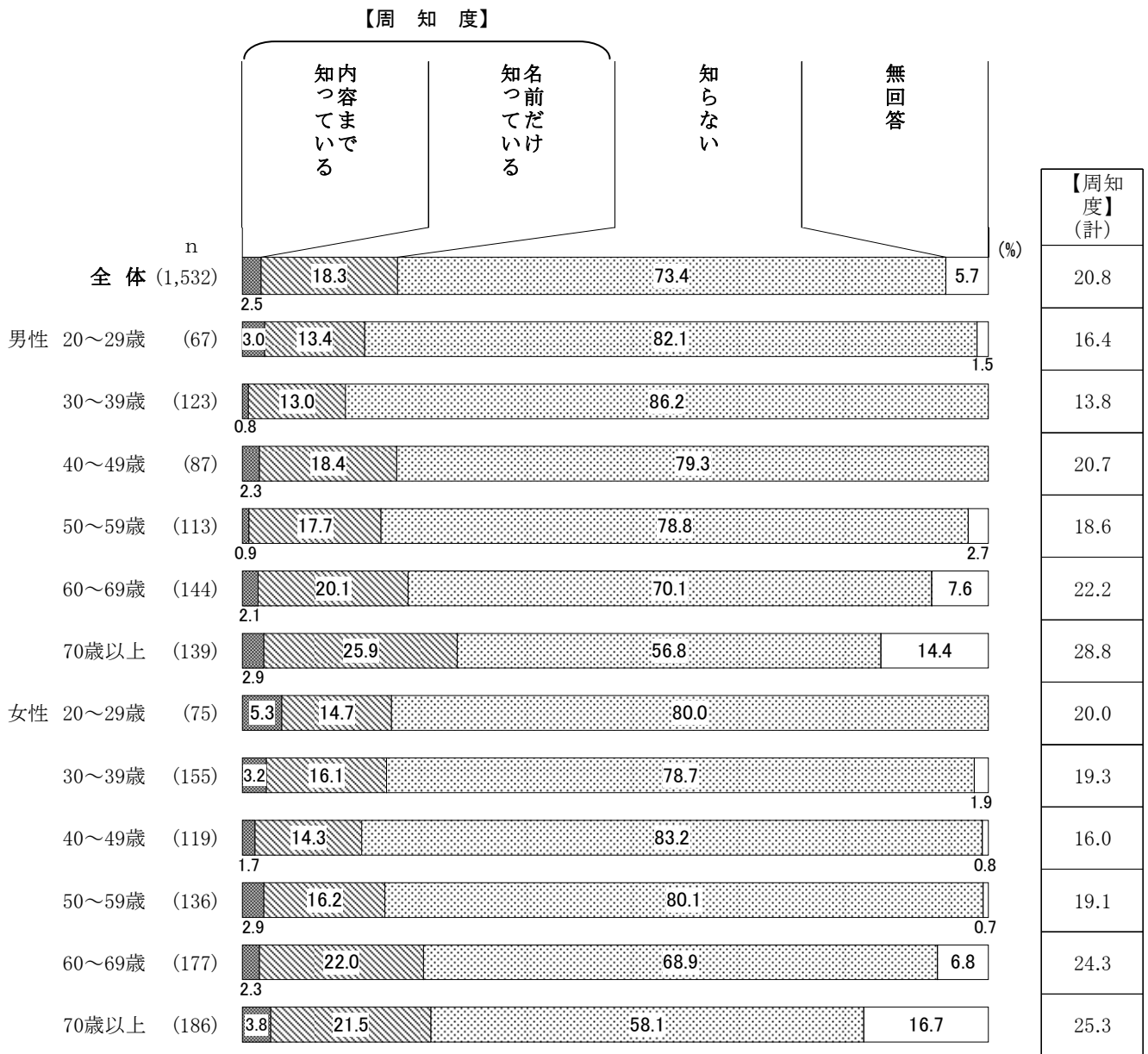


図3-7-2 性・年代別 高齢者福祉施策の認知状況—つづき—

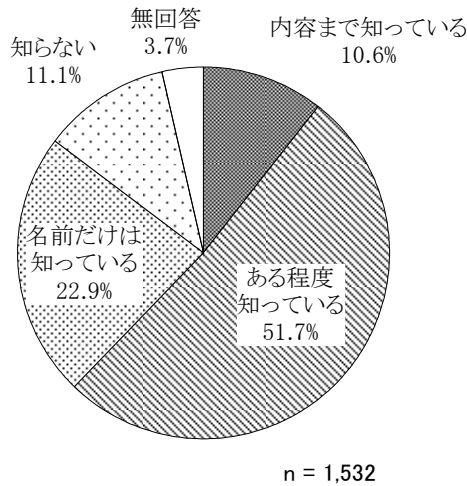
(エ) 認知症サポーター



(8) クーリング・オフ制度の認知状況

●【周知度】は8割台半ば

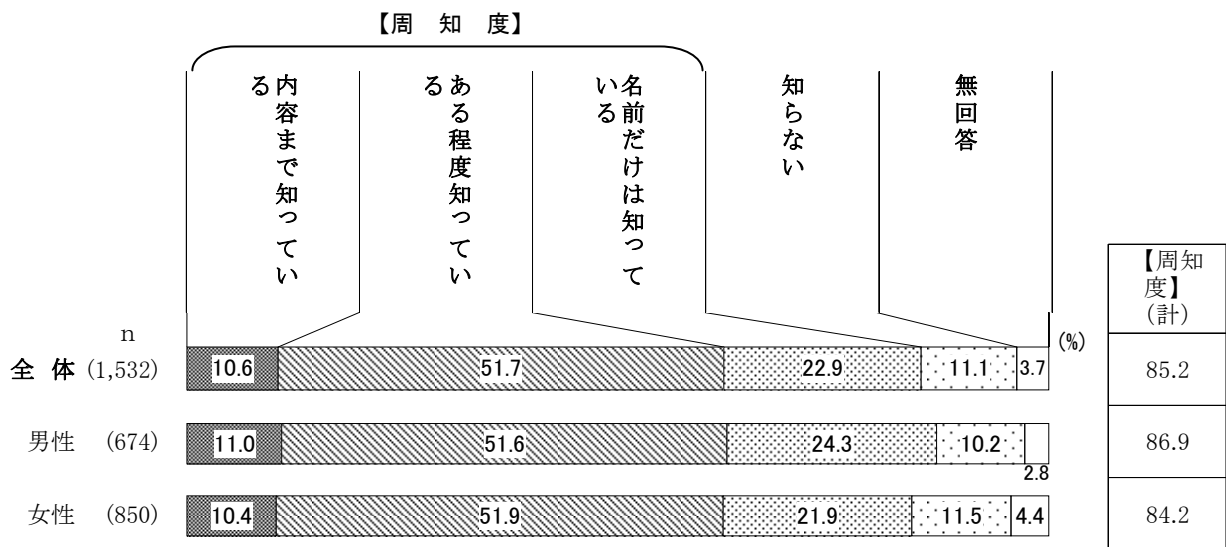
問18 消費者トラブルから消費者を守る制度に『クーリング・オフ』がありますが、この制度について知っていますか。(○は1つだけ)



クーリング・オフ制度について、「内容まで知っている」は10.6%で、これに「ある程度知っている」(51.7%)、「名前だけは知っている」(22.9%)を合わせた【周知度】は85.2%を占めている。一方、「知らない」は11.1%である。

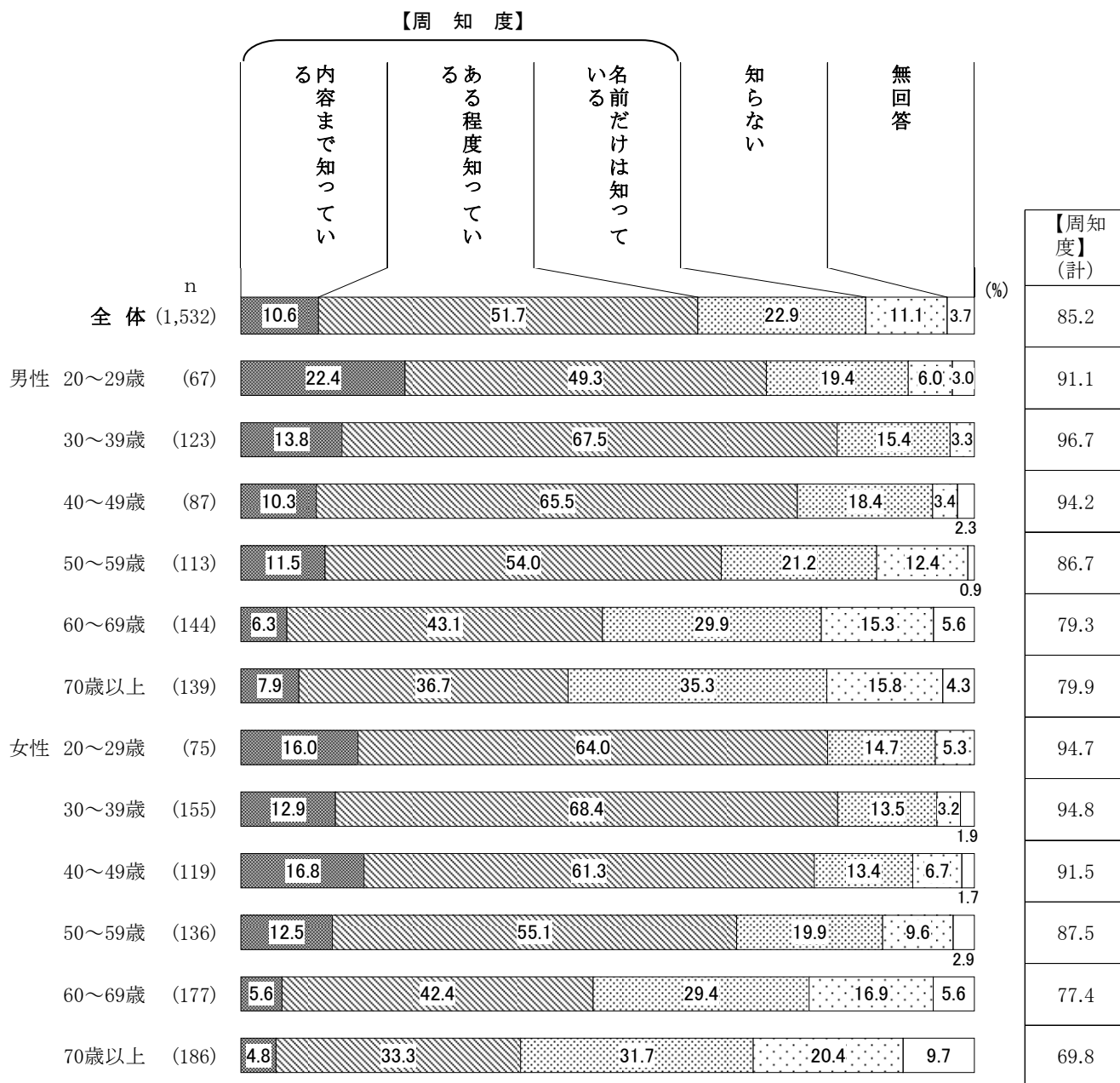
性別でみると、【周知度】は男性が86.9%、女性が84.2%である。

図3-8-1 性別 クーリング・オフ制度の認知状況



性・年代別で見ると、男性では、全年代にわたって【周知度】が高いが、なかでも20代では「内容まで知っている」が22.4%を占めている。また、30代、40代では「ある程度知っている」が7割近くを示している。女性でも、全年代にわたって【周知度】は高く、特に20代から40代では、「ある程度知っている」が6割を超えている。

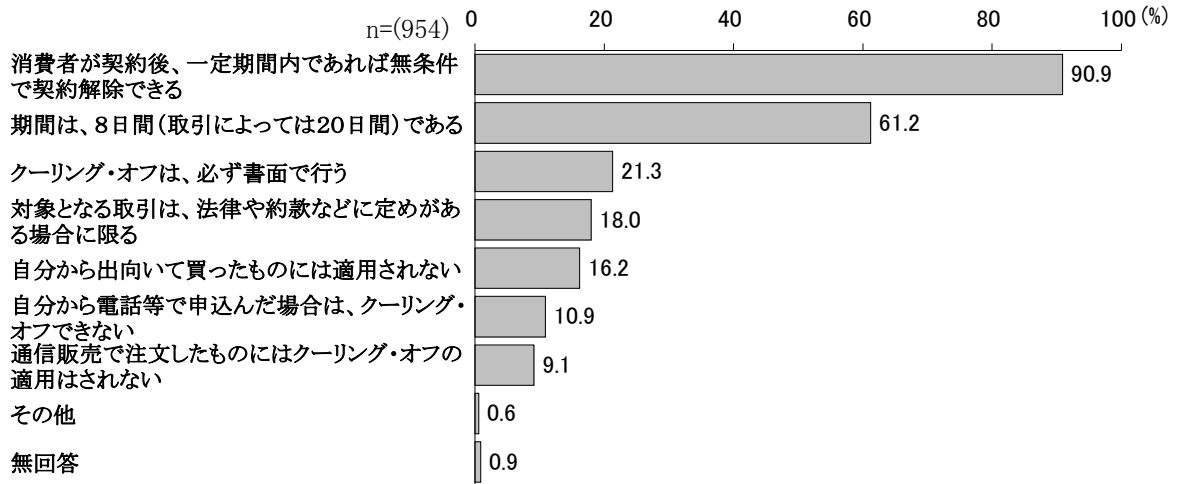
図3-8-2 性・年代別 クーリング・オフ制度の認知状況



(9) クーリング・オフ制度の認知内容

- 「クーリング・オフ制度とは、消費者が契約してしまった後に、一定期間内であれば無条件で契約を解除できる」が9割強で最も高い

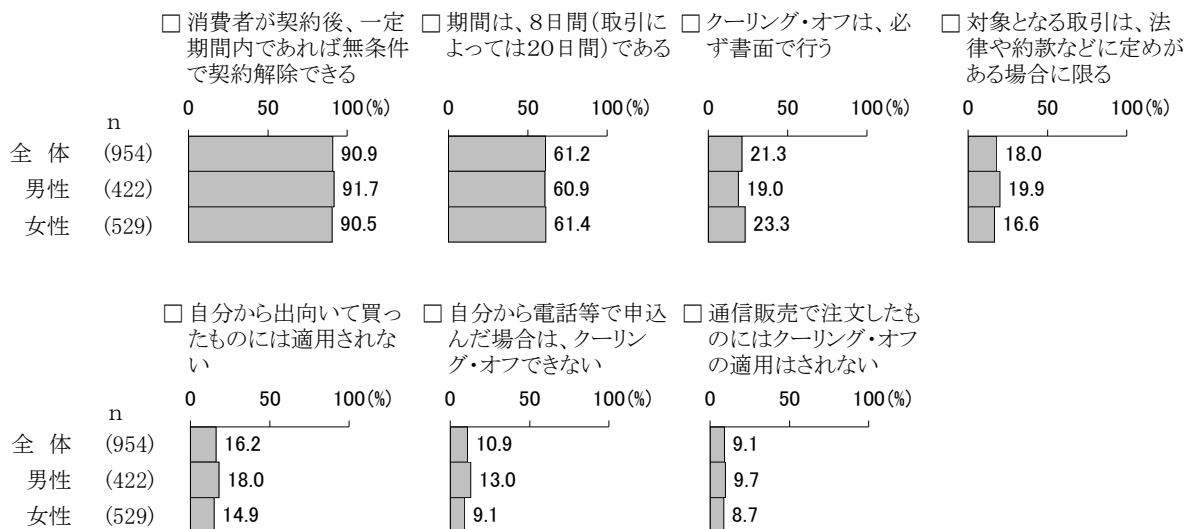
(問18で「1. 内容まで知っている」か「2. ある程度知っている」とお答えの方に)
 問18-1 知っている内容をお選びください。(〇はあてはまるものすべて)



クーリング・オフ制度を「内容まで」、あるいは「ある程度」知っているという人に、知っている内容をきいたところ、「クーリング・オフ制度とは、消費者が契約してしまった後に、一定期間内であれば無条件で契約を解除できる」が90.9%で最も高く、これに「クーリング・オフ期間は、8日間（取引によっては20日間）である」が61.2%で次いでいる。

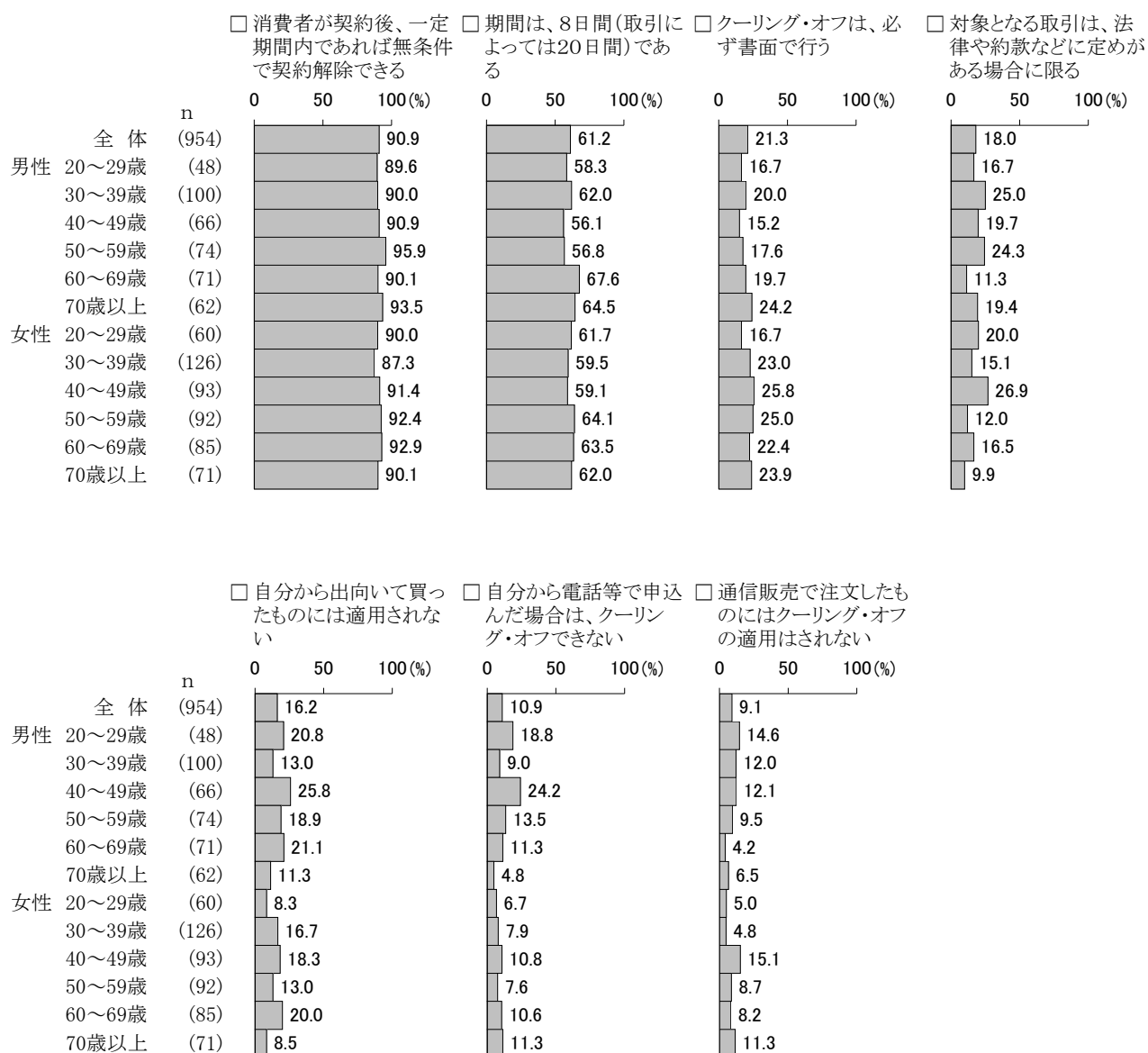
性別でみると、各項目で大きな男女差はない。

図3-9-1 性別 クーリング・オフ制度の認知内容



性・年代別でみると、男女各年代にわたって、「クーリング・オフ制度とは、消費者が契約してしまった後に、一定期間内であれば無条件で契約を解除できる」と「クーリング・オフ期間は、8日間（取引によっては20日間）である」の周知度は極めて高くなっている。また、男性では、30代、50代で「クーリング・オフできる取引は、法律や約款などに定めがある場合に限る」が、それぞれ25.0%、24.3%と2割台半ばを占め、他の年代よりやや多くなっている。女性では、40代で「クーリング・オフできる取引は、法律や約款などに定めがある場合に限る」が26.9%と最も高くなっている。

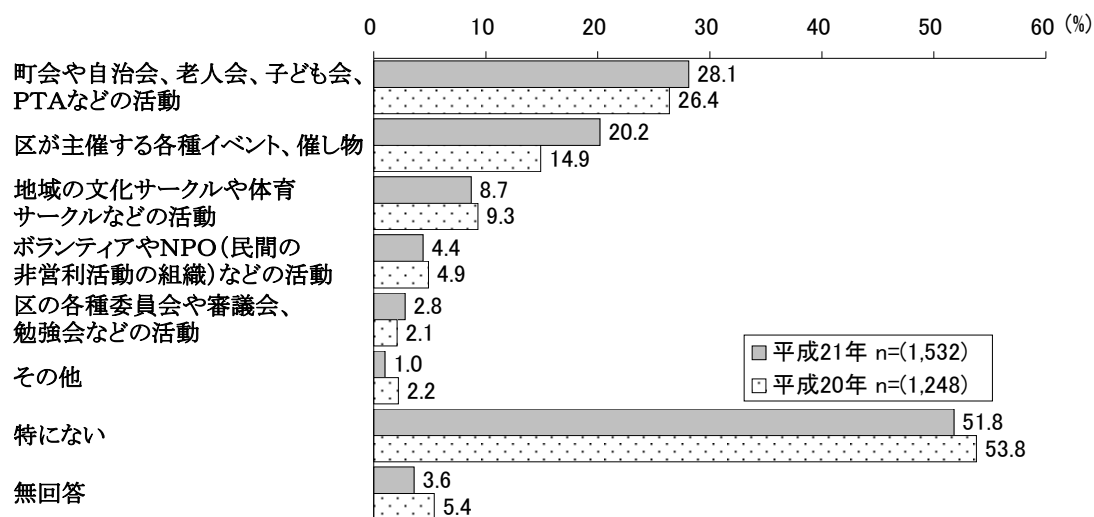
図3-9-2 性・年代別 クーリング・オフ制度の認知内容



(10) 地域活動の参加状況

- 「町会や自治会、老人会、子ども会、PTAなどの活動」が最も高く28.1%

問19 次にあげる区民と区に関わる活動の中で、あなたがこの1年間のうちに参加されたものは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

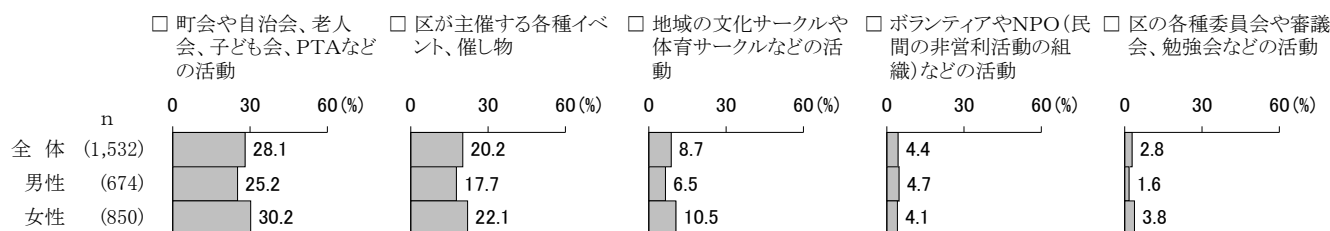


区民と区に関わる活動への参加状況は、「町会や自治会、老人会、子ども会、PTAなどの活動」が28.1%で最も高く、これに「区が主催する各種イベント、催し物」が20.2%で次いでいる。

前回の調査結果と比較すると、「区が主催する各種イベント、催し物」は今回20.2%と前回の14.9%から5.3ポイント上昇している。

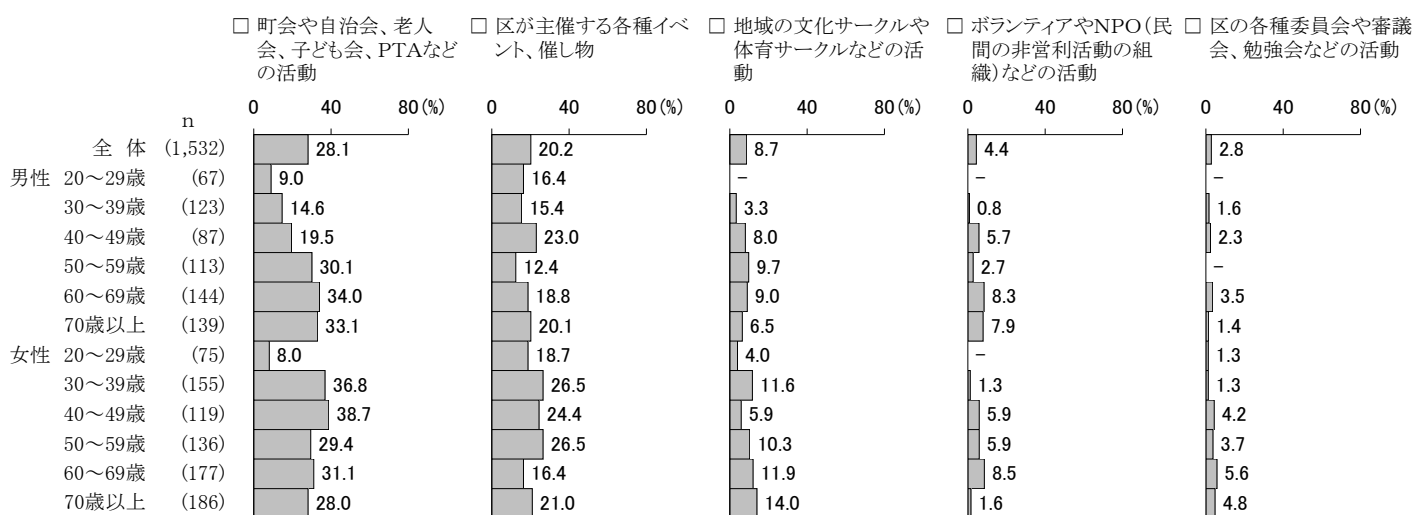
性別でみると、女性では、「町会や自治会、老人会、子ども会、PTAなどの活動」が30.2%と、男性（25.2%）より高くなっているほか、「区が主催する各種イベント、催し物」も22.1%と、男性（17.7%）を上回っている。

図3-10-1 性別 地域活動の参加状況



性・年代別でみると、男性では、「町会や自治会、老人会、子ども会、PTAなどの活動」は、50代以上で3割を超えている。女性では、30代、40代で「町会や自治会、老人会、子ども会、PTAなどの活動」が、それぞれ36.8%、38.7%と他の年代より高くなっている。また、30代から50代では、「区が主催する各種イベント、催し物」も2割台半ばを占めている。

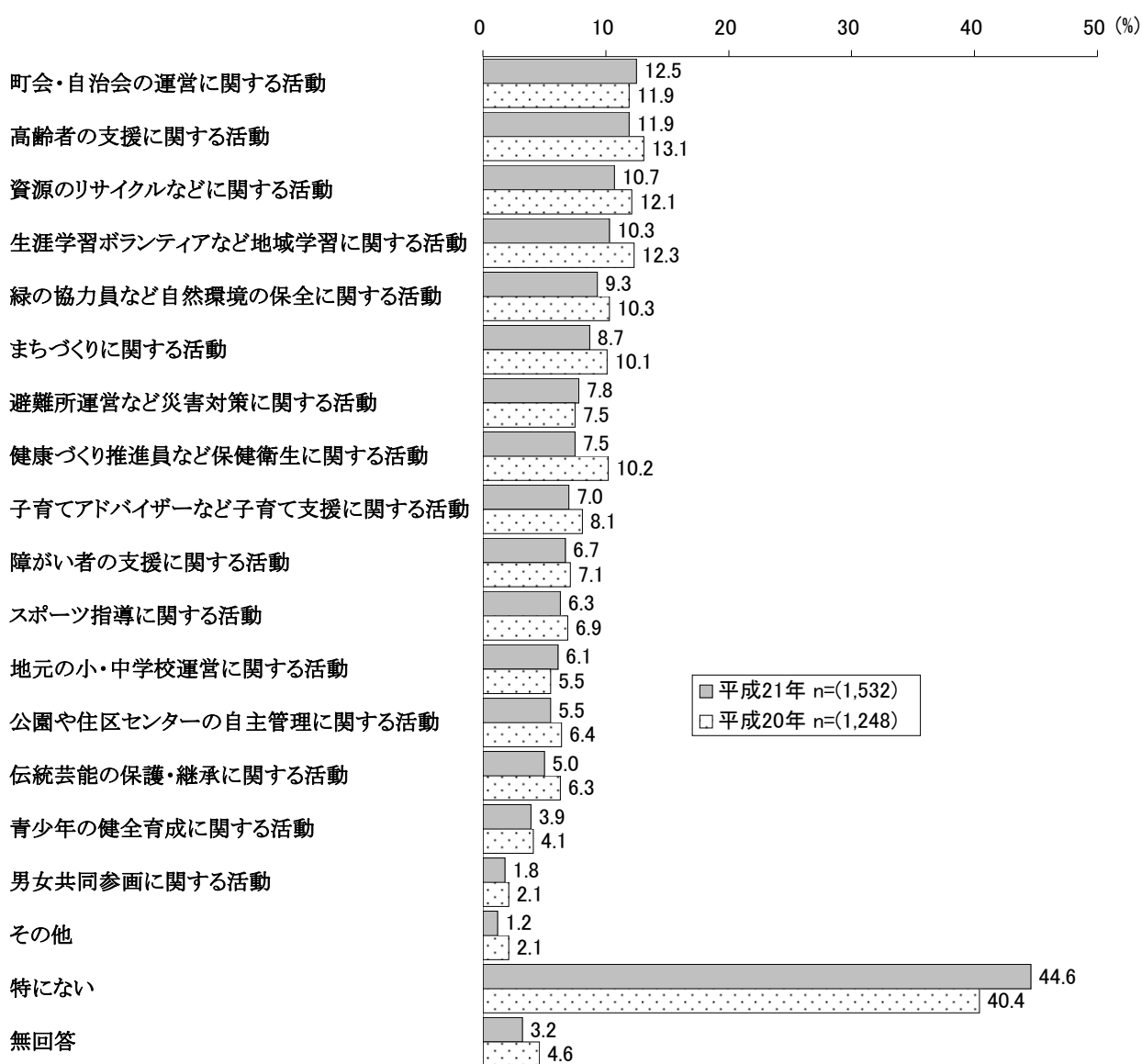
図3-10-2 性・年代別 地域活動の参加状況



(11) 地域活動への参加意向

●「町会・自治会の運営に関する活動」が最も高く12.5%

問20 では今後、あなたが参加したいと思うものはどれですか。(○はあてはまるものすべて)

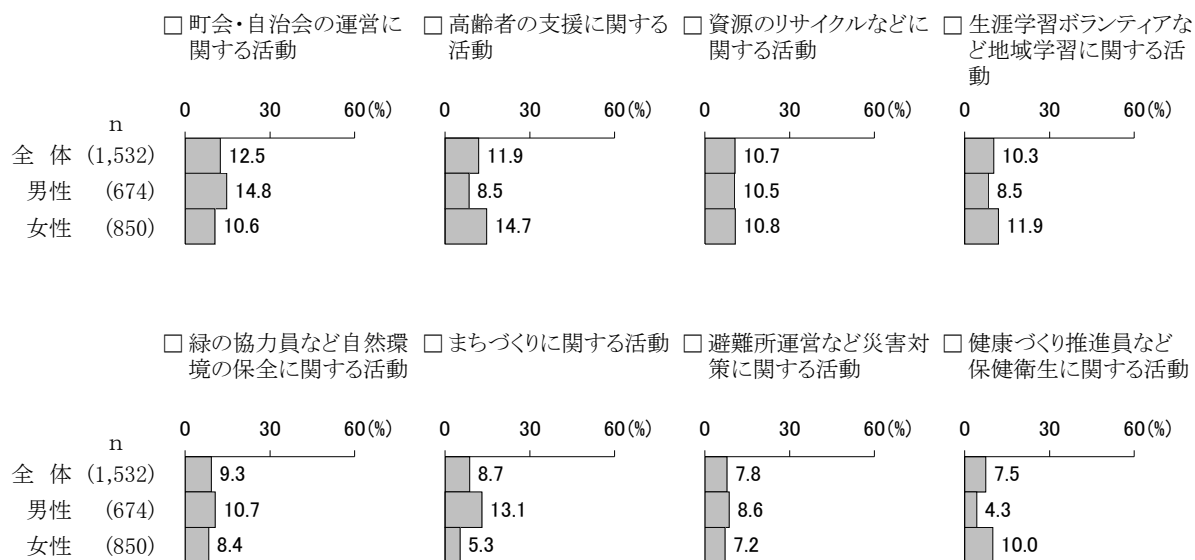


今後参加したいと思う活動は、「町会・自治会の運営に関する活動」(12.5%)、「高齢者の支援に関する活動」(11.9%)、「資源のリサイクルなどに関する活動」(10.7%)、「生涯学習ボランティアなど地域学習に関する活動」(10.3%)の順に高く、いずれも1割を超えている。

前回の調査結果と比較すると、上位項目はほぼ横這いで推移している。

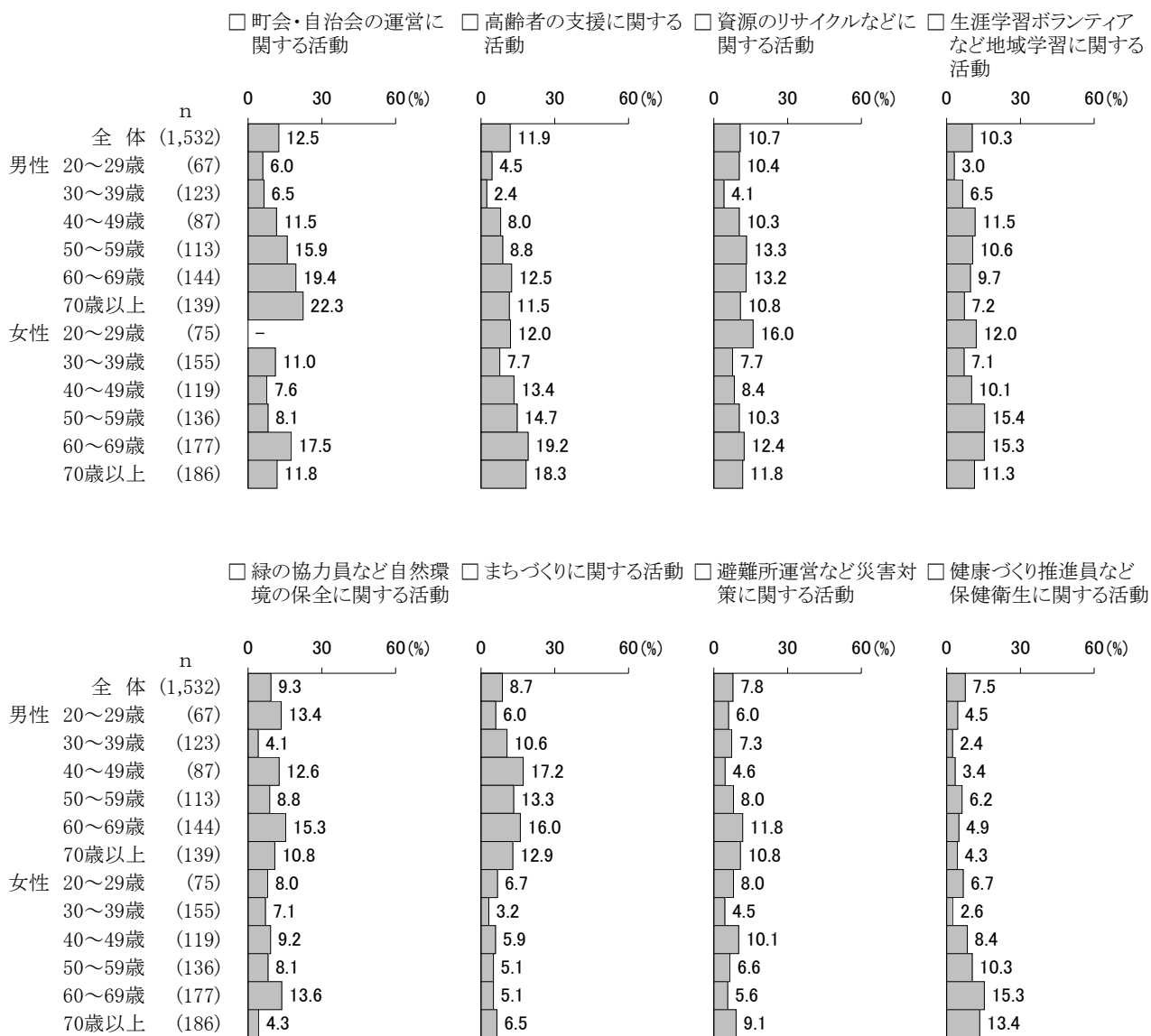
性別で見ると、男性では、「町会・自治会の運営に関する活動」が14.8%と、女性（10.6%）よりやや高くなっている。一方、女性では、「高齢者の支援に関する活動」が14.7%と、男性（8.5%）を上回っている。

図3-11-1 性別 地域活動への参加意向（上位8位）



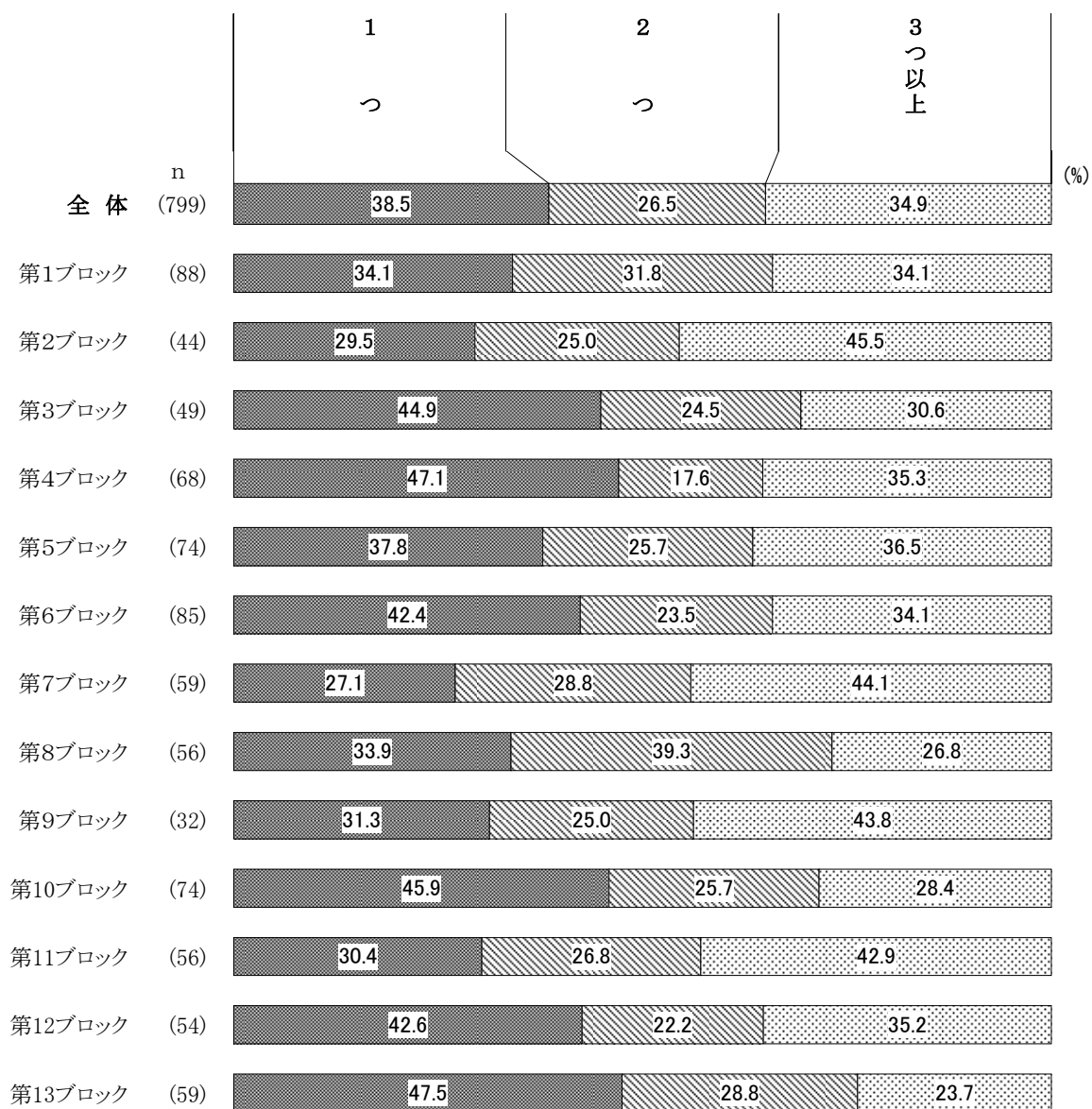
性・年代別でみると、男性では、「町会・自治会の運営に関する活動」は、60代、70歳以上で2割前後を占め、他の年代より高くなっている。女性では、60代で「町会・自治会の運営に関する活動」が17.5%と最も高くなっている。また、60代、70歳以上では、「高齢者の支援に関する活動」が2割近くを占め、他の年代よりやや高くなっている。

図3-11-2 性・年代別 地域活動への参加意向（上位8位）



参加したいと思う項目の数を地域ブロック別でみると、第8ブロックでは、「2つ」が39.3%と全ブロック中、最も高くなっているほか、第1、第7、第13ブロックでも3割前後を占めている。一方、第3、第4、第6、第10、第12、第13ブロックでは、「1つ」が4割を超えている。

図3-11-3 地域ブロック別 区民と区に関わる活動の中で参加したいと思う項目の数

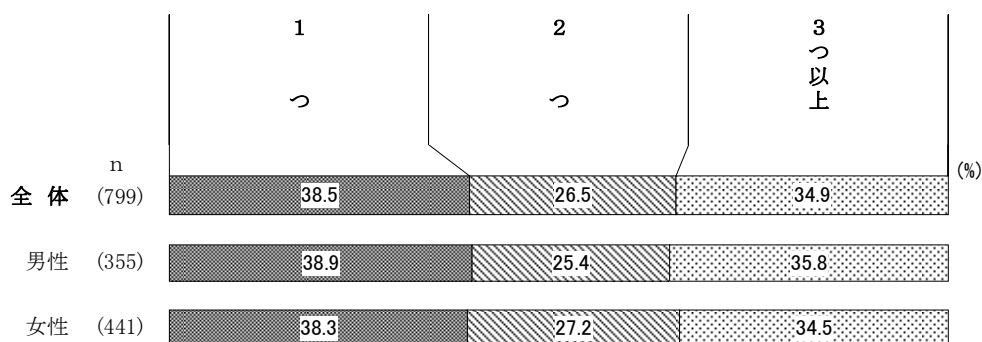


ブロック区分



性別でみると、男女差はほとんどない。

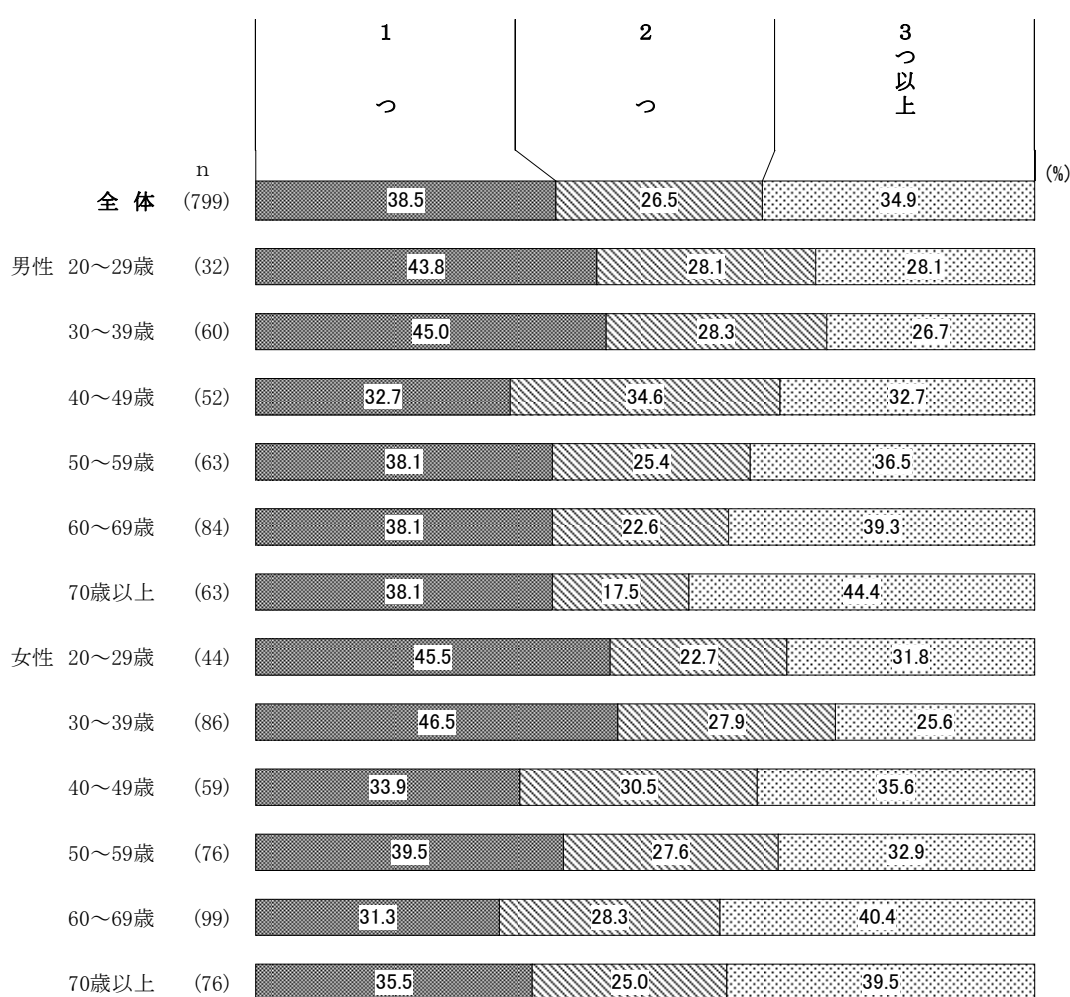
図 3-11-4 性別 区民と区に関わる活動の中で参加したいと思う項目の数



性・年代別でみると、男性の場合、20代、30代では、「1つ」が、それぞれ43.8%、45.0%と、4割を超えている。70歳以上では、「3つ以上」が44.4%と、他の年代より高くなっている。

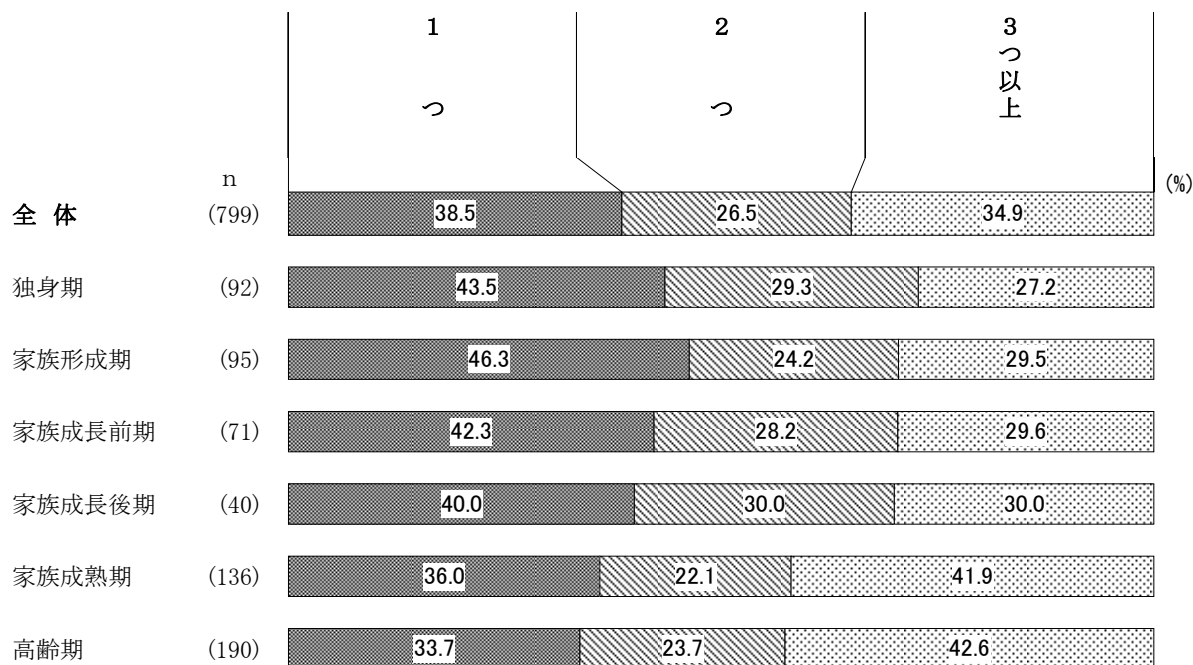
女性の場合、20代、30代では、「1つ」が、それぞれ45.5%、46.5%と4割台半ばを占めている。また、60代、70歳以上では、「3つ以上」が、それぞれ40.4%、39.5%と4割前後を占め、他の年代より高くなっている。

図 3-11-5 性・年代別 区民と区に関わる活動の中で参加したいと思う項目の数



ライフステージ別でみると、ステージが進むにつれて、「1つ」が減少する傾向があり、家族成熟期、高齢期では、「3つ以上」が、それぞれ41.9%、42.6%と4割を超えている。

図3-11-6 ライフステージ別 区民と区に関わる活動の中で参加したいと思う項目の数



4 区 政

-
- (1) 以前と比べてよくなったと思う区の取り組みと、
今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み
 - (2) 区政に対する満足度
 - (3) 区政への参加
 - (4) 区の取り組みについての評価・印象
 - (5) 区政への区民の意見の反映
 - (6) 区政への区民の意見の反映についての評価
 - (7) 区政へ意見を言うことができる場の利用
 - (8) 区政へ意見を言うことができる場を利用しようと思わない理由
 - (9) 人権についての関心
 - (10) 男女の地位の平等観
-

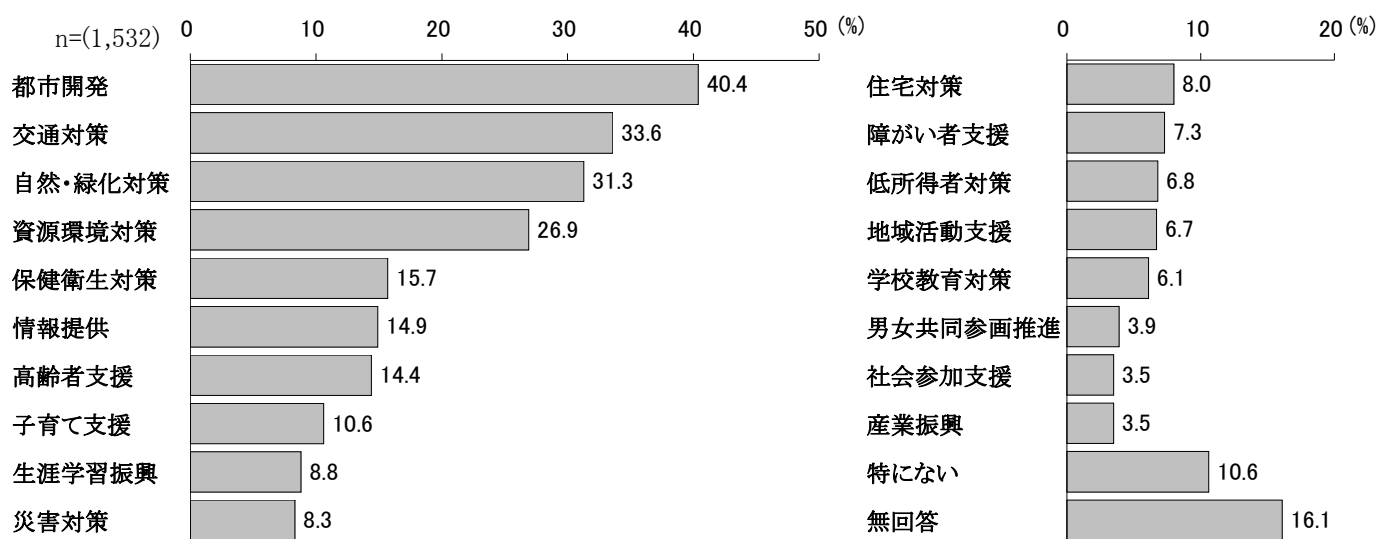
4 区 政

(1) 以前と比べてよくなったと思う区の取り組みと、今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み

- よくなった取り組みは「都市開発」が最も高く40.4%、今後力をいれてほしい区の取り組みは「高齢者支援」が最も高く38.3%

問21 あなたが以前と比べてよくなったと思う区の取り組みと、今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みを、下の表からお選びください。

①以前と比べてよくなったと思う区の取り組み



以前と比べてよくなったと思う区の取り組みは、「都市開発」が40.4%で最も高く、以下、「交通対策」(33.6%)、「自然・緑化対策」(31.3%)、「資源環境対策」(26.9%)の順で続いている。

区の取り組み	内 容	区の取り組み	内 容
都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	災害対策	防災活動の充実、都市の不燃化など
交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	住宅対策	良質な住宅の供給支援など
自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など	障がい者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など
資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど	低所得者対策	生活の援助や自立支援など
保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など	地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など	学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など
高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど
子育て支援	保育サービスや子育て相談の充実など	社会参加支援	NPOやボランティアの育成や支援など
生涯学習振興	文化・スポーツ活動の支援、施設の充実など	産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など

地域ブロック別で見ると、全ブロック中10ブロックで、「都市開発」が第1位を占めているが、第7、第13ブロックでは「自然・緑化対策」が、第9ブロックでは「交通対策」が、それぞれ第1位となっている。

表4-1-1 地域ブロック別 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 n=1,532	都市開発 40.4	交通対策 33.6	自然・緑化対策 31.3	資源環境対策 26.9	保健衛生対策 15.7
第1ブロック n=168	都市開発 42.9	交通対策 33.3	自然・緑化対策 25.6	資源環境対策 24.4	情報提供 17.9
第2ブロック n=99	都市開発 46.5	自然・緑化対策 37.4	交通対策 33.3	資源環境対策 21.2	情報提供 17.2
第3ブロック n=105	都市開発 49.5	交通対策 44.8	自然・緑化対策 31.4	資源環境対策 20.0	保健衛生対策 19.0
第4ブロック n=136	都市開発 40.4	交通対策 36.8	自然・緑化対策 29.4	資源環境対策 28.7	高齢者支援 19.1
第5ブロック n=143	都市開発 39.9	資源環境対策 36.4	交通対策 29.4	自然・緑化対策 26.6	高齢者支援／保健衛生対策 18.2
第6ブロック n=156	都市開発 30.8	自然・緑化対策 29.5	交通対策／資源環境対策 25.6		保健衛生対策 14.1
第7ブロック n=111	自然・緑化対策 32.4	都市開発 30.6	交通対策 27.9	資源環境対策 21.6	高齢者支援 17.1
第8ブロック n=96	都市開発 41.7	交通対策 33.3	自然・緑化対策 29.2	資源環境対策 25.0	保健衛生対策／情報提供 18.8
第9ブロック n=74	交通対策 40.5	都市開発／自然・緑化対策 36.5		資源環境対策 35.1	保健衛生対策 28.4
第10ブロック n=141	都市開発 44.7	資源環境対策 28.4	交通対策／自然・緑化対策 27.7		保健衛生対策 18.4
第11ブロック n=109	都市開発 48.6	交通対策 36.7	自然・緑化対策 33.0	資源環境対策 31.2	情報提供 18.3
第12ブロック n=85	都市開発 43.5	交通対策 41.2	自然・緑化対策 37.6	資源環境対策 29.4	情報提供 17.6
第13ブロック n=108	自然・緑化対策 40.7	交通対策 36.1	都市開発 32.4	資源環境対策 23.1	保健衛生対策 13.0

ブロック区分



性別でみると、男女とも「都市開発」が第1位となっている。

性・年代別でみると、男性では、20代から60代では「都市開発」が第1位を占めているが、70歳以上では「自然・緑化対策」が最も高くなっている。

女性では、20代から60代では「都市開発」が第1位を占めているが、70歳以上では「資源環境対策」が最も高くなっている。

表4-1-2 性別、性・年代別 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 n=1,532	都市開発 40.4	交通対策 33.6	自然・緑化対策 31.3	資源環境対策 26.9	保健衛生対策 15.7
男性 n=674	都市開発 42.9	交通対策 37.7	自然・緑化対策 34.1	資源環境対策 23.4	保健衛生対策 15.4
女性 n=850	都市開発 38.7	交通対策 30.4	資源環境対策 29.9	自然・緑化対策 29.2	保健衛生対策 16.0
男性 20～29歳 n=67	都市開発 43.3	交通対策 41.8	自然・緑化対策 31.3	資源環境対策 17.9	情報提供 14.9
30～39歳 n=123	都市開発 51.2	交通対策 33.3	自然・緑化対策 24.4	資源環境対策 17.1	情報提供 13.0
40～49歳 n=87	都市開発 56.3	交通対策 49.4	自然・緑化対策 42.5	資源環境対策 23.0	子育て支援／情報提供 14.9
50～59歳 n=113	都市開発 39.8	交通対策／自然・緑化対策 36.3		資源環境対策 24.8	保健衛生対策 13.3
60～69歳 n=144	都市開発 41.0	交通対策 37.5	自然・緑化対策 35.4	資源環境対策 29.9	保健衛生対策 18.1
70歳以上 n=139	自然・緑化対策 36.0	交通対策 33.1	都市開発 30.9	保健衛生対策 29.5	高齢者支援 25.9
女性 20～29歳 n=75	都市開発 52.0	交通対策 32.0	自然・緑化対策 21.3	資源環境対策 12.0	子育て支援／情報提供 8.0
30～39歳 n=155	都市開発 43.9	交通対策 29.7	自然・緑化対策 26.5	資源環境対策 23.9	子育て支援 20.6
40～49歳 n=119	都市開発 39.5	資源環境対策 31.9	交通対策 30.3	自然・緑化対策 26.9	情報提供 26.1
50～59歳 n=136	都市開発 39.0	資源環境対策 33.8	自然・緑化対策 31.6	交通対策 29.4	子育て支援 15.4
60～69歳 n=177	都市開発 40.7	自然・緑化対策 39.0	資源環境対策 37.3	交通対策 31.6	保健衛生対策 27.1
70歳以上 n=186	資源環境対策 30.6	交通対策 29.6	高齢者支援 28.5	都市開発 26.3	自然・緑化対策 24.7

ライフステージ別でみると、すべてのステージで、「都市開発」が第1位となっている。

表4-1-3 ライフステージ別 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 n=1,532	都市開発 40.4	交通対策 33.6	自然・緑化対策 31.3	資源環境対策 26.9	保健衛生対策 15.7
独身期 n=179	都市開発 53.1	交通対策 42.5	自然・緑化対策 26.8	資源環境対策 17.9	情報提供 15.1
家族形成期 n=177	都市開発 39.5	交通対策 28.2	自然・緑化対策 22.6	子育て支援 20.3	資源環境対策 18.1
家族成長前期 n=117	都市開発 57.3	自然・緑化対策 36.8	交通対策 35.0	資源環境対策 28.2	子育て支援 21.4
家族成長後期 n=77	都市開発 42.9	資源環境対策 37.7	交通対策 31.2	自然・緑化対策 28.6	子育て支援 20.8
家族成熟期 n=234	都市開発 40.2	自然・緑化対策 38.0	交通対策 34.6	資源環境対策 28.6	保健衛生対策 15.8
高齢期 n=369	都市開発 35.2	交通対策 34.1	自然・緑化対策 33.3	資源環境対策 33.1	保健衛生対策 27.6

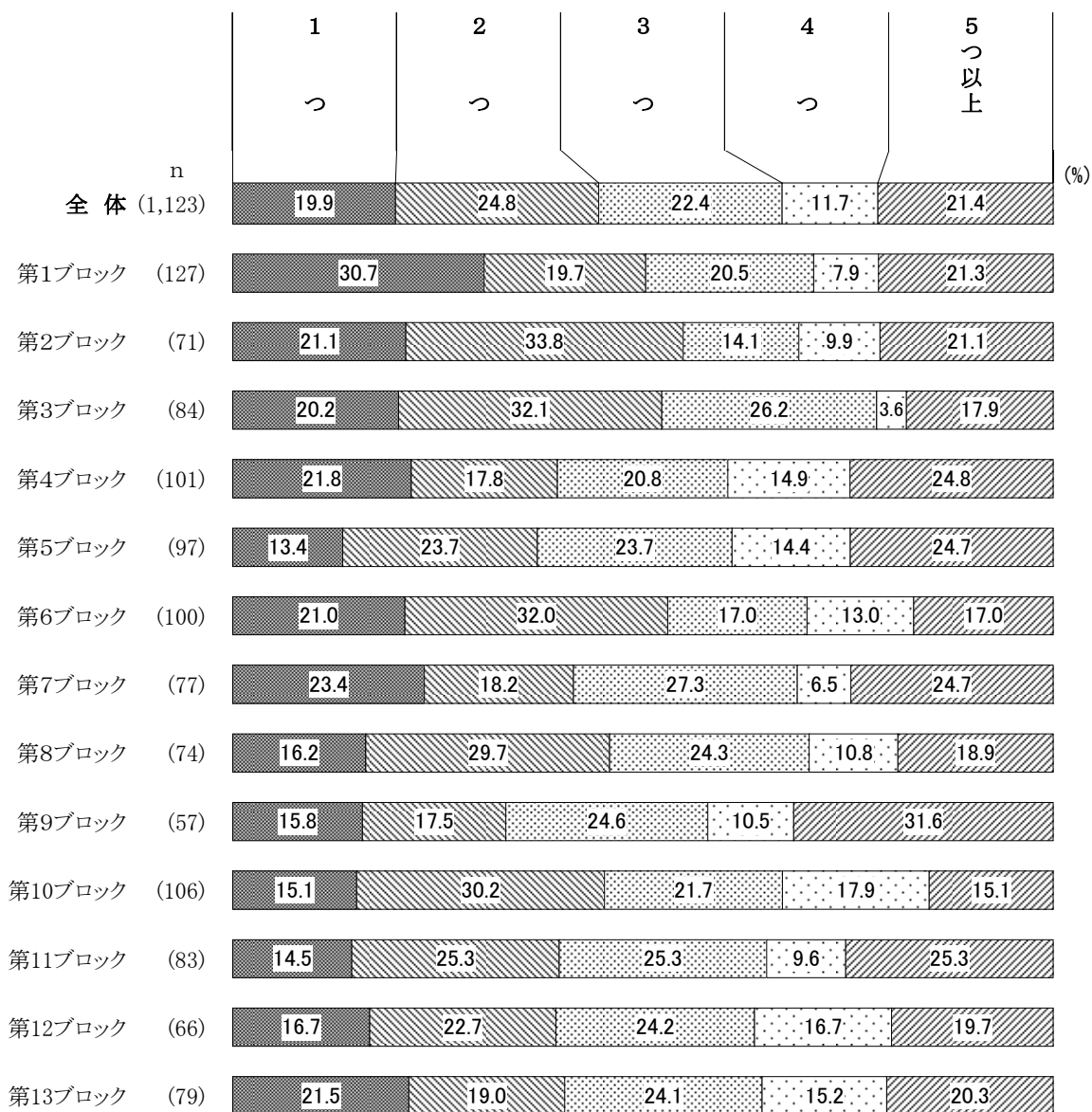
前回の調査結果と比べると、前回第3位であった「都市開発」(30.0%)が、今回40.4%と10.4ポイント上昇して、第1位になっている。また、「交通対策」は今回順位を下げたものの、ポイントは若干上がっている。

表4-1-4 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み 上位5項目の推移

	平成21年の上位		平成20年の上位		平成21年と 平成20年の差
	順位	%	順位	%	
都市開発	第1位	40.4	第3位	30.0	+10.4
交通対策	第2位	33.6	第1位	31.9	+1.7
自然・緑化対策	第3位	31.3	第4位	28.6	+2.7
資源環境対策	第4位	26.9	第2位	30.1	-3.2
保健衛生対策	第5位	15.7	第6位	15.0	+0.7

地域ブロック別でみると、第7ブロックでは、「3つ」が27.3%と全ブロック中最も高くなっている。また、第2、第3、第6、第8、第10ブロックでは、「2つ」が、いずれも3割前後を占めている。

図4-1-1 地域ブロック別 区の取り組みがよくなったと思う項目の数

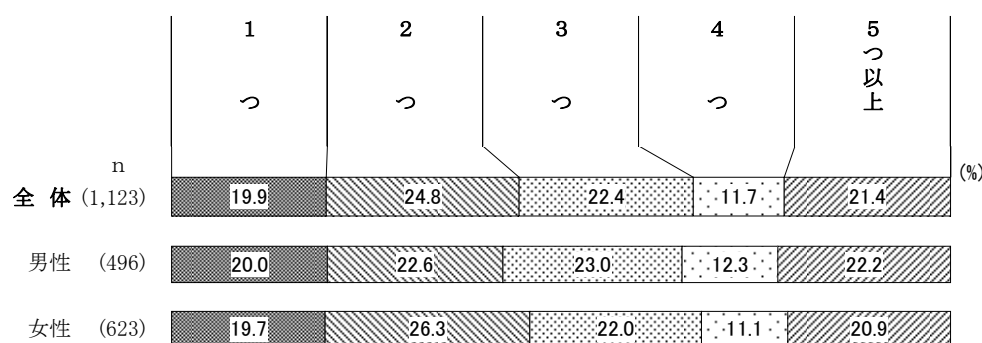


ブロック区分



性別でみると、男女差はほとんどない。

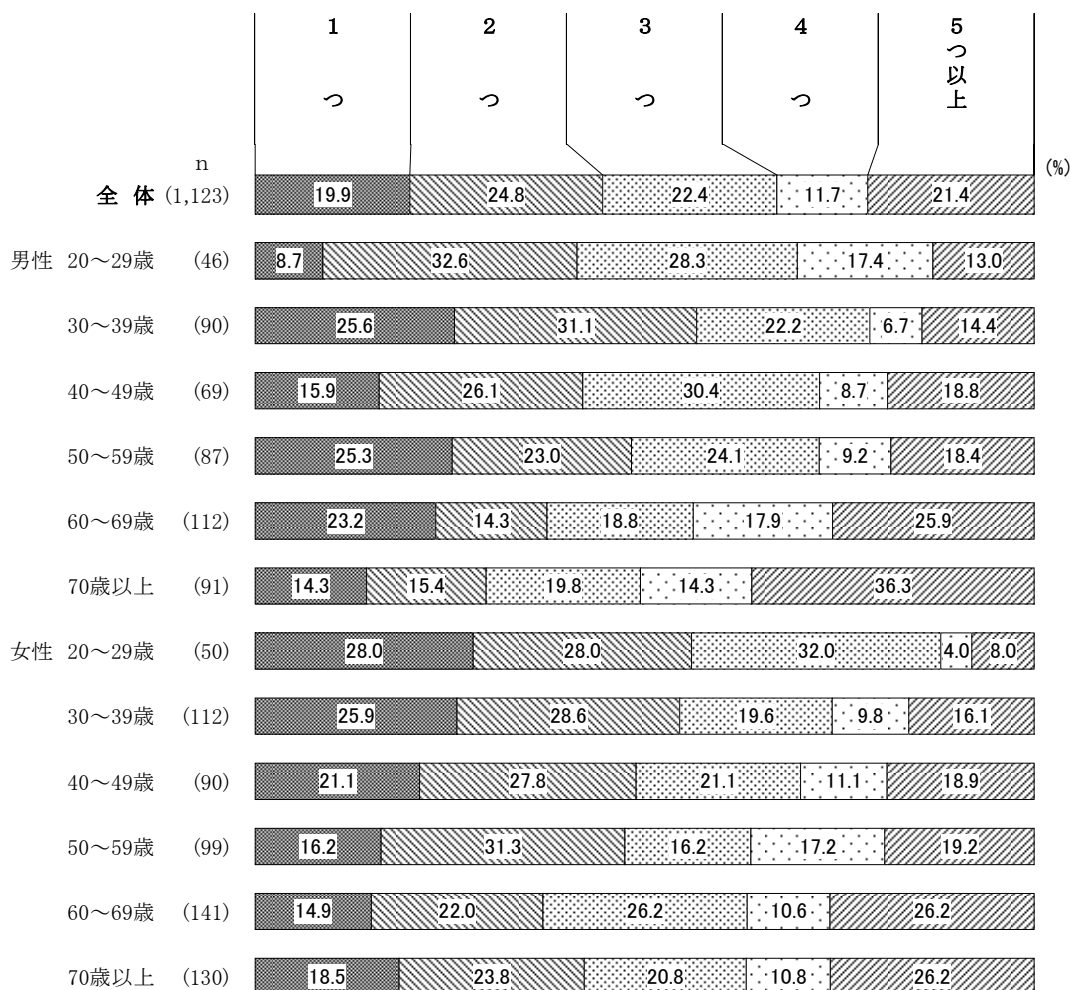
図4-1-2 性別 区の取り組みがよくなったと思う項目の数



性・年代別でみると、男性の場合、20代、30代では「2つ」が、40代では「3つ」が、3割を超えている。70歳以上になると、「5つ以上」が36.3%と高くなっている。

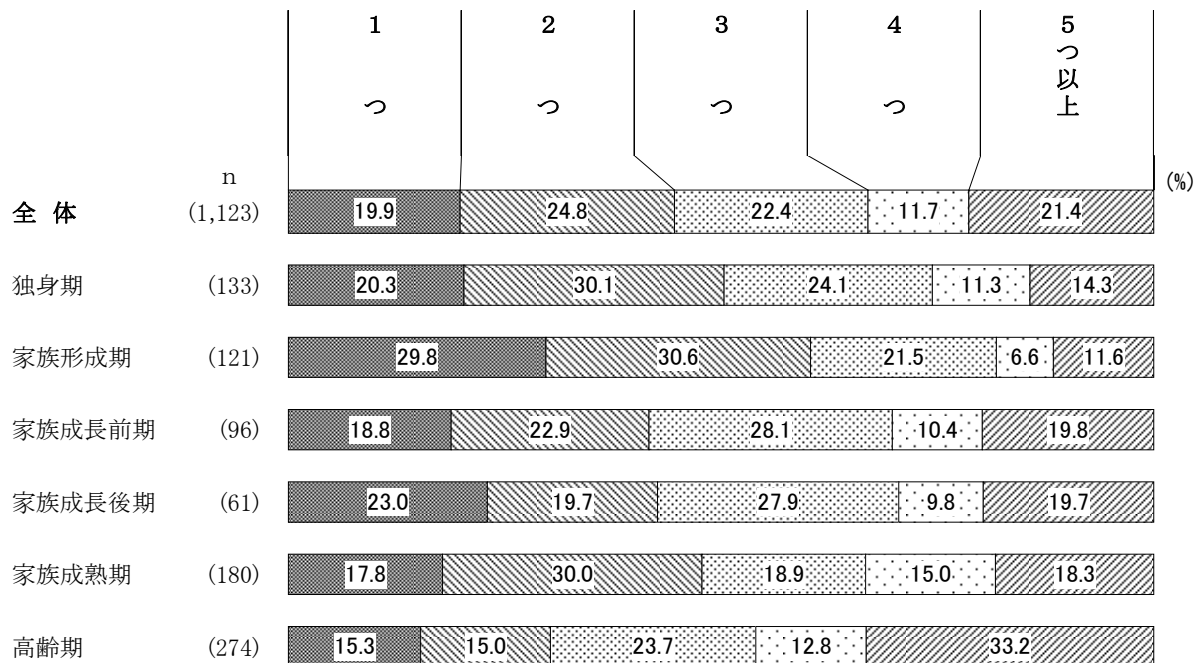
女性の場合、20代から50代では「2つ」が3割前後を占めている。60代、70歳以上では「5つ以上」が、ともに26.2%と、他の年代より高くなっている。

図4-1-3 性・年代別 区の取り組みがよくなったと思う項目の数

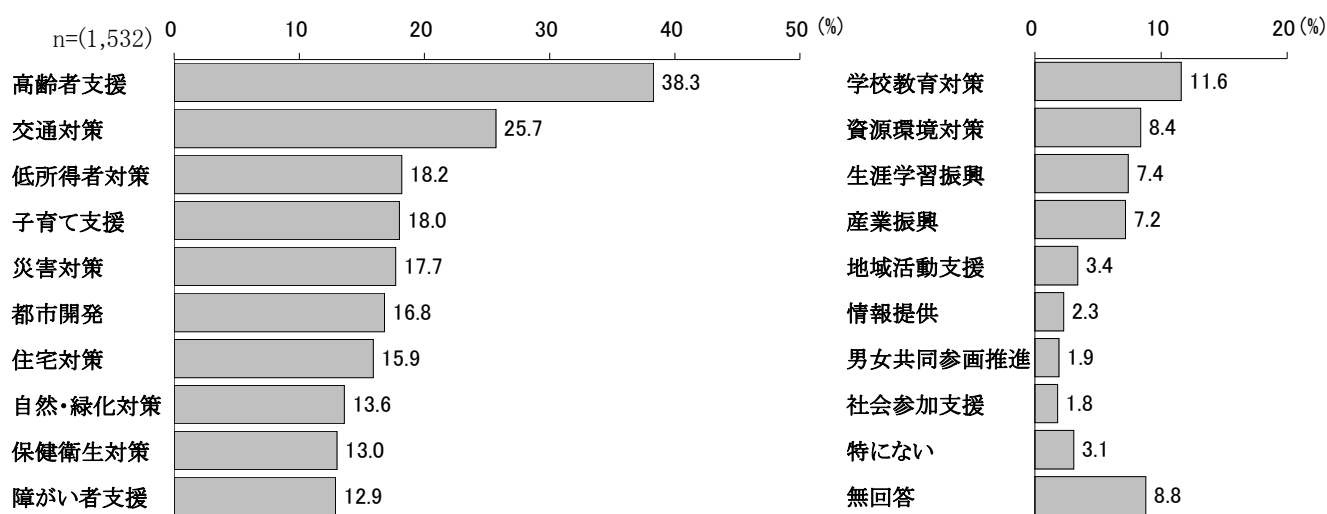


ライフステージ別でみると、独身期、家族形成期、家族成熟期では「2つ」が約3割で、家族成長前期、家族成長後期では「3つ」が3割近くを占めている。また、高齢期では、「5つ以上」が33.2%と高くなっている。

図4-1-4 ライフステージ別 区の取り組みがよくなったと思う項目の数



②今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み



今後、特に力を入れてほしいと思う区の取り組みは、「高齢者支援」が38.3%で最も高く、以下、「交通対策」(25.7%)、「低所得者対策」(18.2%)、「子育て支援」(18.0%)の順で続いている。

区の取り組み	内 容	区の取り組み	内 容
高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など
交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど
低所得者対策	生活の援助や自立支援など	災害対策	防災活動の充実、都市の不燃化など
子育て支援	保育サービスや子育て相談の充実など	生涯学習振興	文化・スポーツ活動の支援、施設の充実など
都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
住宅対策	良質な住宅の供給支援など	地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など	情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など
保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など	男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど
障がい者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など	社会参加支援	NPOやボランティアの育成や支援など

地域ブロック別でみると、全13ブロック中11ブロックで「高齢者支援」が第1位となっているが、第2、第7ブロックでは「交通対策」が最も高くなっている。

表4-1-5 地域ブロック別 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 n=1,532	高齢者支援 38.3	交通対策 25.7	低所得者対策 18.2	子育て支援 18.0	災害対策 17.7
第1ブロック n=168	高齢者支援 35.1	子育て支援 23.2	交通対策 21.4	自然・緑化対策 17.3	災害対策 16.7
第2ブロック n=99	交通対策 35.4	高齢者支援 28.3	都市開発／自然・緑化対策／子育て支援		18.2
第3ブロック n=105	高齢者支援 39.0	交通対策 26.7	都市開発 20.0	住宅対策／低所得者対策 18.1	
第4ブロック n=136	高齢者支援 34.6	交通対策 24.3	子育て支援 19.1	自然・緑化対策／低所得者対策 17.6	
第5ブロック n=143	高齢者支援 47.6	交通対策 26.6	都市開発 20.3	災害対策 19.6	住宅対策 18.2
第6ブロック n=156	高齢者支援 34.0	災害対策 21.8	都市開発 18.6	交通対策 17.9	住宅対策 15.4
第7ブロック n=111	交通対策 37.8	高齢者支援 31.5	低所得者対策 21.6	都市開発／子育て支援 19.8	
第8ブロック n=96	高齢者支援 41.7	低所得者対策 26.0	災害対策 22.9	交通対策 19.8	子育て支援 19.8
第9ブロック n=74	高齢者支援 51.4	交通対策 24.3	低所得者対策 18.9	災害対策／子育て支援 17.6	
第10ブロック n=141	高齢者支援 44.7	低所得者対策 23.4	住宅対策 22.7	交通対策 19.9	保健衛生対策 19.1
第11ブロック n=109	高齢者支援 35.8	交通対策 28.4	子育て支援 22.9	都市開発／住宅対策 18.3	
第12ブロック n=85	高齢者支援 41.2	交通対策 32.9	災害対策／低所得者対策 21.2		障がい者支援 16.5
第13ブロック n=108	高齢者支援 37.0	交通対策 26.9	子育て支援 20.4	住宅対策／低所得者対策 19.4	

ブロック区分



性別でみると、男女とも第1位は「高齢者支援」となっている。

性・年代別でみると、男性では、20代で「都市開発」、30代で「子育て支援」、40代で「交通対策」が第1位を占めているが、50代以上では「高齢者支援」が最も高くなっている。

女性では、20代、30代で「子育て支援」が、40代以上では「高齢者支援」が第1位となっている。

表4-1-6 性別、性・年代別 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 n=1,532	高齢者支援 38.3	交通対策 25.7	低所得者対策 18.2	子育て支援 18.0	災害対策 17.7
男性 n=674	高齢者支援 36.9	交通対策 28.8	災害対策 19.7	低所得者対策 19.3	都市開発 18.4
女性 n=850	高齢者支援 39.5	交通対策 23.4	子育て支援 19.2	低所得者対策 17.5	災害対策 16.2
男性 20～29歳 n=67	都市開発 35.8	交通対策 34.3	災害対策 25.4	低所得者対策／子育て支援 19.4	
30～39歳 n=123	子育て支援 35.8	交通対策 30.9	災害対策 26.0	都市開発 25.2	低所得者対策 22.0
40～49歳 n=87	交通対策 36.8	高齢者支援 31.0	都市開発 23.0	子育て支援 21.8	災害対策 19.5
50～59歳 n=113	高齢者支援 39.8	交通対策 30.1	都市開発 18.6	住宅対策／自然・緑化対策 18.6	
60～69歳 n=144	高齢者支援 55.6	低所得者対策 23.6	交通対策 20.8	災害対策 18.1	自然・緑化対策 17.4
70歳以上 n=139	高齢者支援 48.2	交通対策 26.6	低所得者対策 18.0	災害対策 16.5	保健衛生対策 15.8
女性 20～29歳 n=75	子育て支援 40.0	交通対策 25.3	学校教育対策 24.0	住宅対策 22.7	自然・緑化対策 21.3
30～39歳 n=155	子育て支援 43.9	交通対策 29.0	学校教育対策 22.6	都市開発 20.6	高齢者支援 18.7
40～49歳 n=119	高齢者支援 27.7	交通対策 21.8	子育て支援 21.0	学校教育対策 20.2	低所得者対策 19.3
50～59歳 n=136	高齢者支援 52.2	住宅対策／交通対策 21.3		都市開発 20.6	災害対策／保健衛生対策 17.6
60～69歳 n=177	高齢者支援 54.2	低所得者対策 22.0	交通対策 20.9	障がい者支援 19.8	保健衛生対策 18.6
70歳以上 n=186	高齢者支援 49.5	交通対策 23.1	低所得者対策 21.5	保健衛生対策 16.1	災害対策 14.5

ライフステージ別で見ると、独身期では「交通対策」、家族形成期では「子育て支援」、家族成長前期では「学校教育対策」が、第1位を占めているが、家族成長後期以降では「高齢者支援」が最も高くなっている。

表4-1-7 ライフステージ別 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 n=1,532	高齢者支援 38.3	交通対策 25.7	低所得者対策 18.2	子育て支援 18.0	災害対策 17.7
独身期 n=179	交通対策 30.2	都市開発 27.9	災害対策 22.9	低所得者対策 22.3	高齢者支援 21.2
家族形成期 n=177	子育て支援 58.2	交通対策 26.6	学校教育対策 23.7	都市開発 22.6	自然・緑化対策 22.0
家族成長前期 n=117	学校教育対策 42.7	子育て支援 39.3	交通対策 30.8	都市開発／災害対策 16.2	
家族成長後期 n=77	高齢者支援 37.7	交通対策 29.9	災害対策 26.0	都市開発 23.4	障がい者支援 19.5
家族成熟期 n=234	高齢者支援 50.4	交通対策 27.8	災害対策 20.5	住宅対策／低所得者対策 19.2	
高齢期 n=369	高齢者支援 53.1	交通対策 22.5	低所得者対策 22.2	保健衛生対策 16.3	障がい者支援 15.2

前回の調査結果と比較すると、今回も前回同様、第1位は「高齢者支援」、第2位は「交通対策」となっているが、前回第6位であった「低所得者対策」(15.2%)が、今回18.2%と3ポイント増加し、第3位となっている。

性別でみると、男女とも、「低所得者対策」の順位が上昇している。

表4-1-8 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み 上位5項目の推移

〈全 体〉

	平成21年の上位		平成20年の上位		平成21年と 平成20年の差
	順位	%	順位	%	
高齢者支援	第1位	38.3	第1位	39.4	-1.1
交通対策	第2位	25.7	第2位	24.5	+1.2
低所得者対策	第3位	18.2	第6位	15.2	+3.0
子育て支援	第4位	18.0	第5位	17.0	+1.0
災害対策	第5位	17.7	第3位	21.2	-3.5

〈男 性〉

	平成21年の上位		平成20年の上位		平成21年と 平成20年の差
	順位	%	順位	%	
高齢者支援	第1位	36.9	第1位	37.1	-0.2
交通対策	第2位	28.8	第2位	26.5	+2.3
災害対策	第3位	19.7	第4位	19.9	-0.2
低所得者対策	第4位	19.3	第7位	14.5	+4.8
都市開発	第5位	18.4	第5位	16.3	+2.1

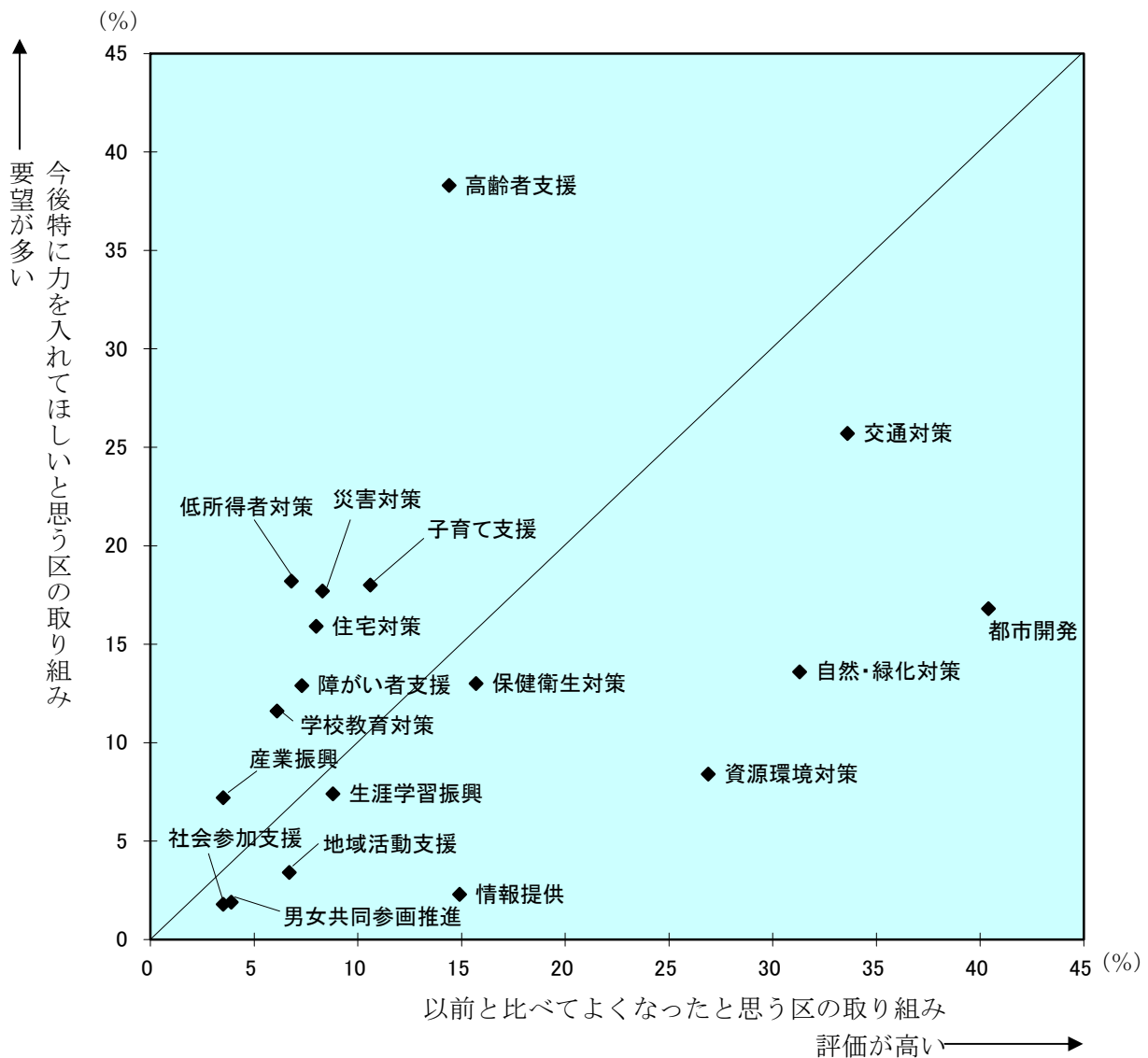
〈女 性〉

	平成21年の上位		平成20年の上位		平成21年と 平成20年の差
	順位	%	順位	%	
高齢者支援	第1位	39.5	第1位	41.2	-1.7
交通対策	第2位	23.4	第2位	23.5	-0.1
子育て支援	第3位	19.2	第4位	17.0	+2.2
低所得者対策	第4位	17.5	第6位	15.5	+2.0
災害対策	第5位	16.2	第3位	22.3	-6.1

問21の「以前と比べてよくなったと思う区の取り組み」と問22の「今後力を入れてほしいと思う取り組み」を比較すると、図のとおりである。

評価が20%を下回り、要望が20%を超える項目は「高齢者支援」である。また、評価が20%を超えて高く、要望が20%以下の項目は「都市開発」「自然・緑化対策」「資源環境対策」であり、評価が20%を超えて高いが、要望も20%を超えている項目は、「交通対策」である。

図4-1-5 「以前と比べてよくなったと思う区の取り組み」と「今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み」の比較



【参考】今後力を入れてほしいと思う区の実施の推移

(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)

問 あなたが、今後特に力を入れてほしいと思う区の実施を、下の表からお選びください。

(○は3つまで)

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成21年 n=1,532	高齢者支援 38.3	交通対策 25.7	低所得者対策 18.2	子育て支援 18.0	災害対策 17.7
平成20年 n=1,248	高齢者支援 39.4	交通対策 24.5	災害対策 21.2	自然・緑化対策 18.1	子育て支援 17.0
平成19年 n=1,475	高齢者支援 39.1	交通対策 29.2	災害対策 22.2	自然・緑化対策 22.1	都市開発 19.9
平成18年 n=1,383	高齢者支援 34.8	交通対策 27.6	災害対策 20.2	自然・緑化対策 18.9	子育て支援 17.9
平成17年 n=1,486	高齢者支援 34.1	交通対策 30.0	災害対策 28.3	子育て支援 21.7	自然・緑化対策 18.7
平成16年 n=1,497	高齢者支援 38.5	交通対策 31.1	子育て支援 21.2	自然・緑化対策 19.6	都市開発 16.8
平成15年 n=1,890	交通対策 33.9	高齢者支援 33.1	自然・緑化対策 20.6	都市開発 20.0	子育て支援 19.8
平成14年 n=1,808	高齢者支援 36.6	交通対策 33.4	都市開発 20.4	資源環境対策 19.1	自然・緑化対策 18.0
平成13年 n=1,907	高齢者支援 35.9	交通対策 29.1	都市開発 16.9	子育て支援 16.8	住宅対策 16.7

(平成12年まで 訪問面接法)

問 区で最も力を入れてやってほしい対策を、この中から2つまでお答えください。

(○は2つまで)

(%)

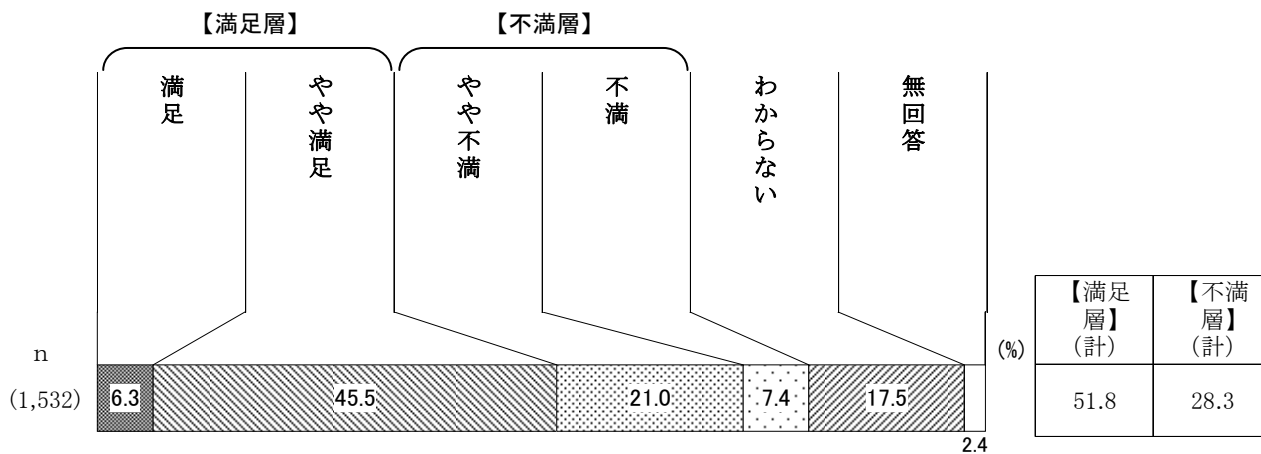
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成12年 n=1,420	高齢者福祉 37.7	保健医療の充実 16.9	ごみ・リサイクル 対策 16.2	交通網の整備 10.7	幼児・児童福祉 9.5
平成11年 n=1,503	高齢者福祉 45.4	保健医療の充実 17.2	ごみ・リサイクル 対策 15.0	幼児・児童福祉 10.4	交通網の整備 9.8
平成10年 n=1,497	高齢者福祉 39.3	保健医療の充実 19.9	交通網の整備 12.6	住宅対策 10.8	道路の整備 9.2
平成9年 n=1,533	高齢者福祉 42.3	保健医療の充実 23.7	交通網の整備 12.2	防災対策 10.8	住宅対策 8.8
平成8年 n=1,512	高齢者福祉 43.9	保健医療の充実 20.0	ごみ・リサイクル 対策 16.5	交通網の整備 14.1	住宅対策 14.0
平成7年 n=1,500	高齢者福祉 36.9	ごみ・リサイクル 対策 16.3	防災対策 15.1	交通網の整備 13.0	住宅対策 12.1
平成6年 n=1,549	高齢者福祉 41.8	ごみ・リサイクル 対策 17.0	住宅対策 15.2	交通網の整備 14.3	保健医療の充実 13.2

(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法(平成12年までは訪問面接法、13年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

(2) 区政に対する満足度

●【満足層】は51.8%、【不満層】は28.3%

問22 あなたは、現在の足立区政に満足していますか。(○は1つだけ)



現在の足立区政への満足度は、「満足」が6.3%で、これに「やや満足」(45.5%)を合わせた【満足層】は51.8%である。一方、「やや不満」(21.0%)と「不満」(7.4%)を合わせた【不満層】は28.3%である。

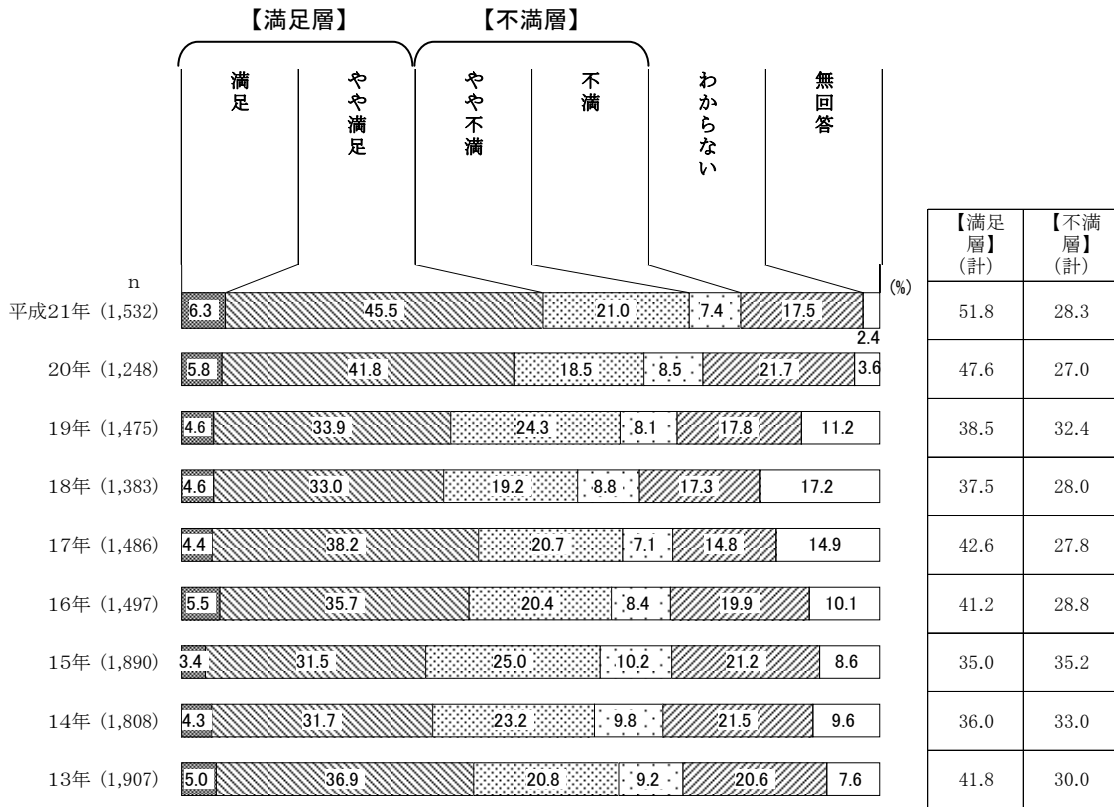
前回調査結果と比較すると、【満足層】は、前回の47.6%から4.2ポイント上昇している。一方、【不満層】も、前回の27.0%から1.3ポイント微増している。

区政に対する満足度を経年でみると、ここ数年【満足層】は増加傾向にある。

図 4-2-1 経年変化 区政に対する満足度

(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)

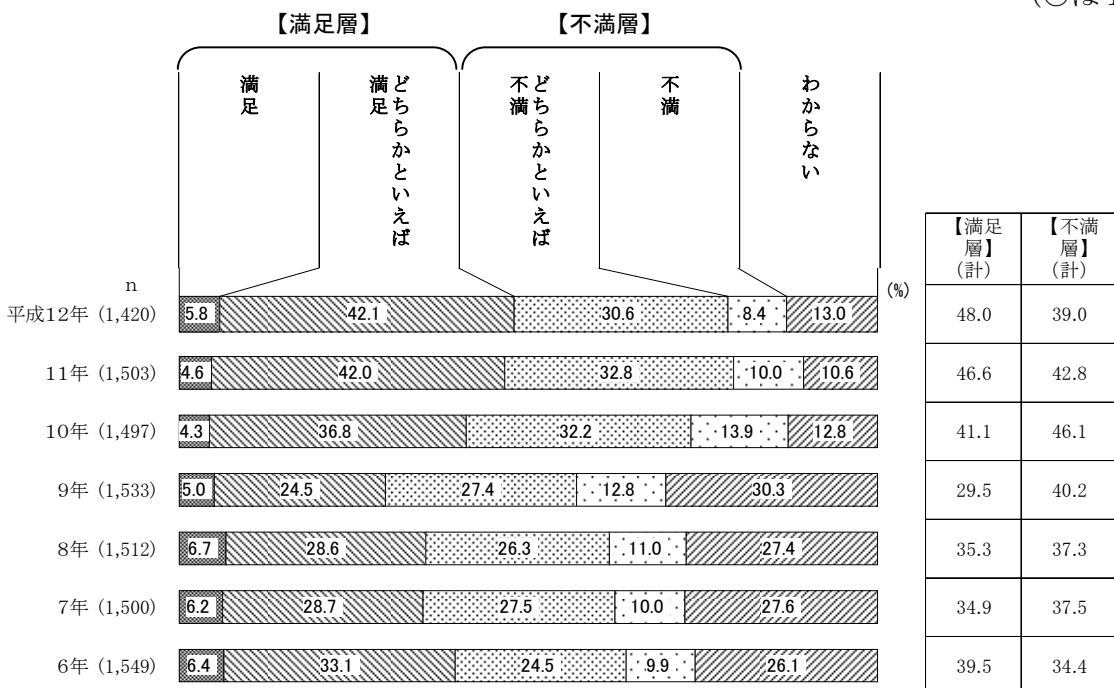
問 あなたは、現在の足立区政に満足していますか。(〇は1つ)



(平成12年まで 訪問面接法)

問 あなたは、現在の足立区政に満足していますか。この中から1つお答えください。

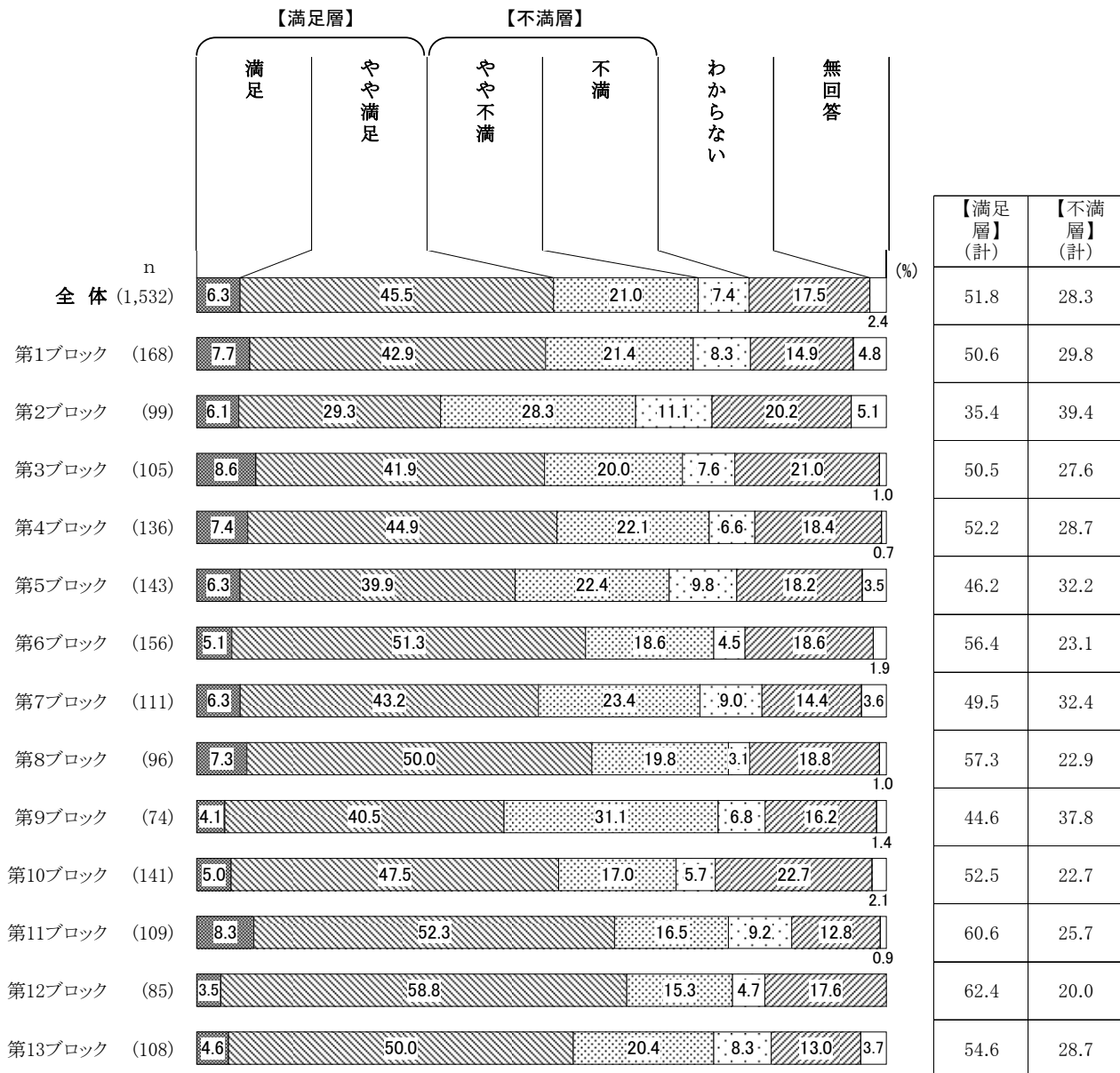
(〇は1つ)



(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法(平成12年までは訪問面接法、13年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

地域ブロック別でみると、第11、第12ブロックでは、【満足層】が、それぞれ60.6%、62.4%と6割を超え、他のブロックより高くなっている。一方、第2、第9ブロックでは、【不満層】が、それぞれ39.4%、37.8%と4割近くを占めている。

図4-2-2 地域ブロック別 区政に対する満足度

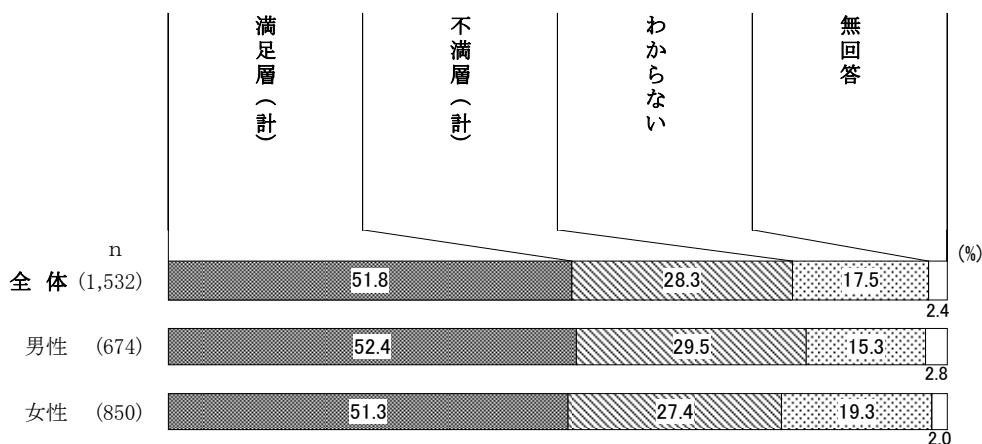


ブロック区分



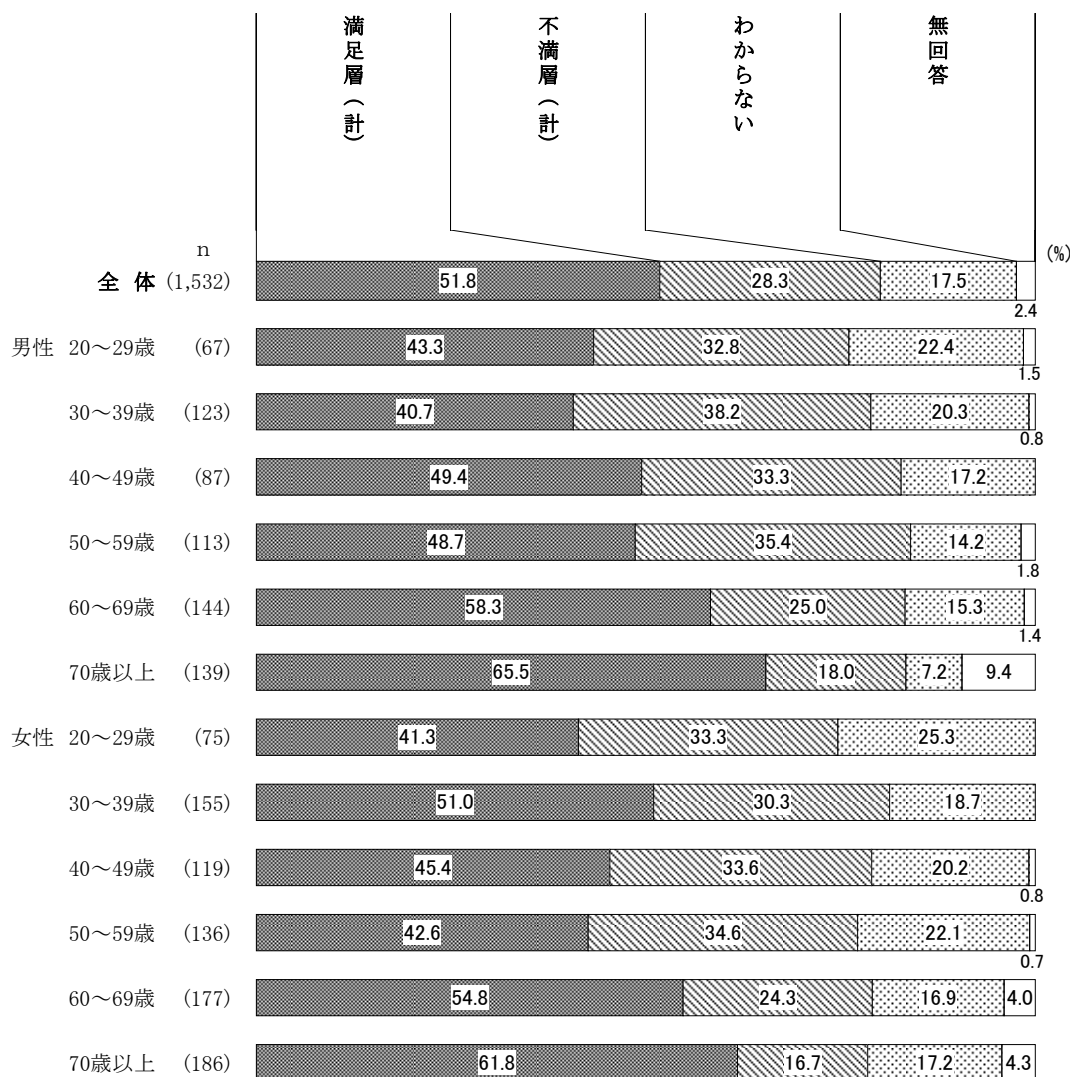
性別でみると、【満足層】は男性が52.4%、女性が51.3%となっている。

図 4-2-3 性別 区政に対する満足度



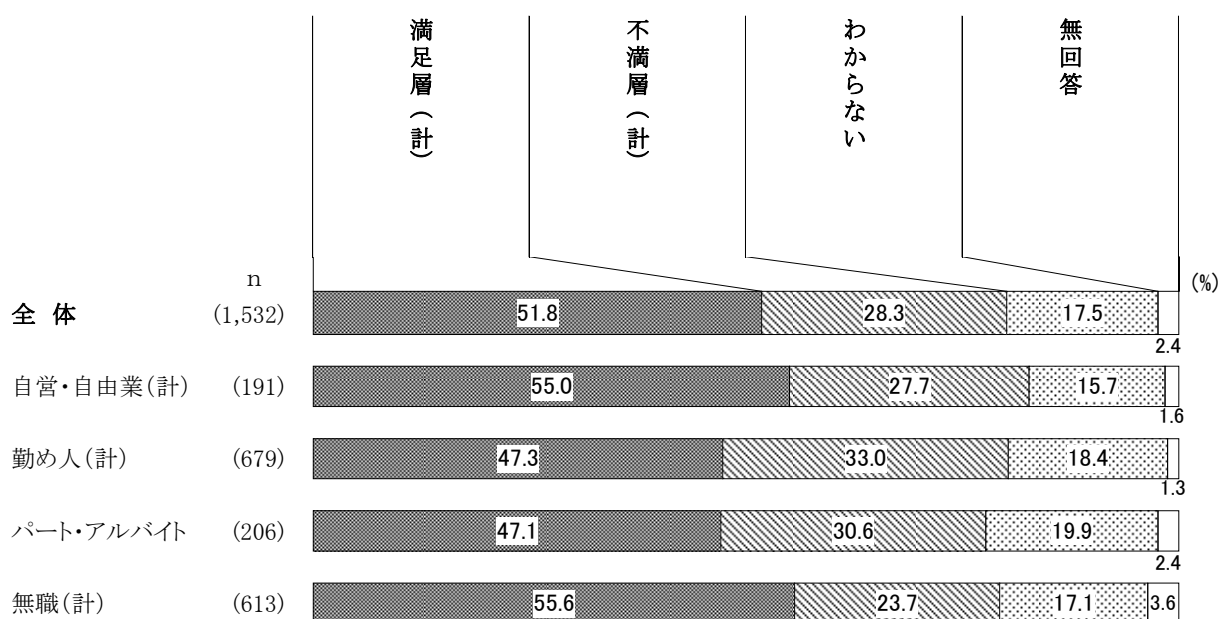
性・年代別でみると、男女とも若い層では、【不満層】が多く、60代、70歳以上では【満足層】が多い傾向がある。60代、70歳以上の【満足層】は男性で6割前後、女性で5割台半ばを超えている。

図 4-2-4 性・年代別 区政に対する満足度



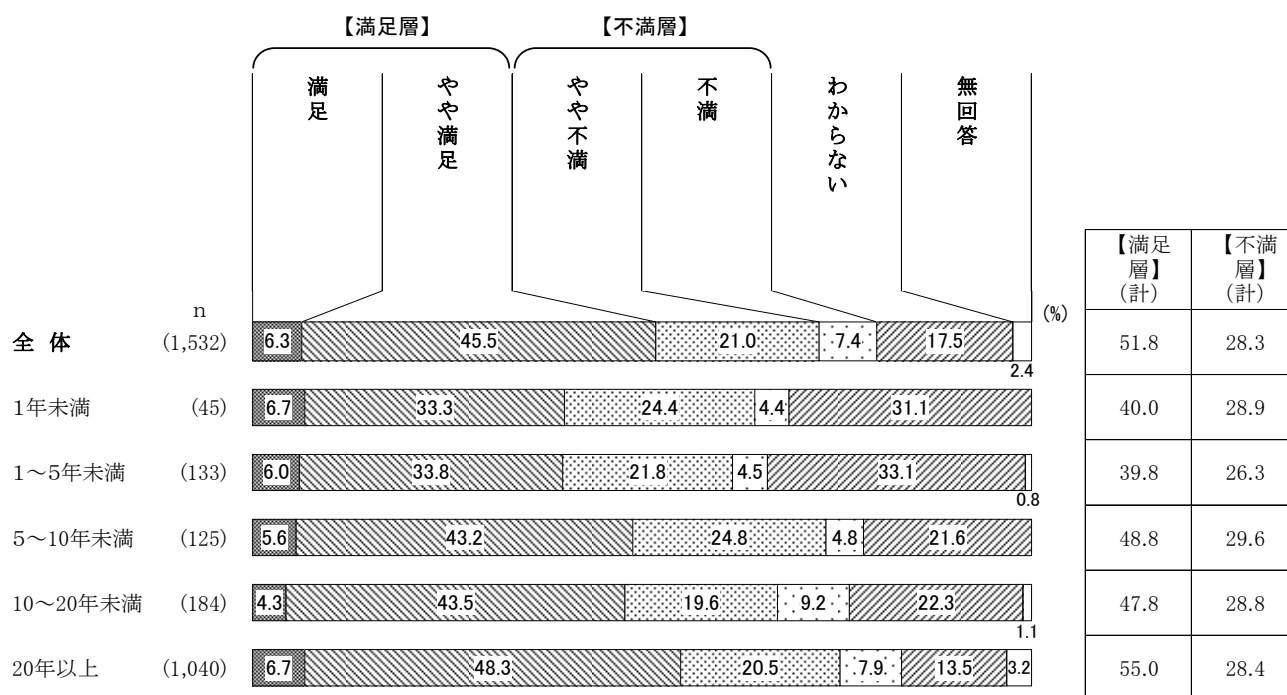
職業別でみると、勤め人、パート・アルバイトでは、他の層に比べて【満足層】がやや低く、【不満層】がやや高くなっている。

図 4-2-5 職業別 区政に対する満足度



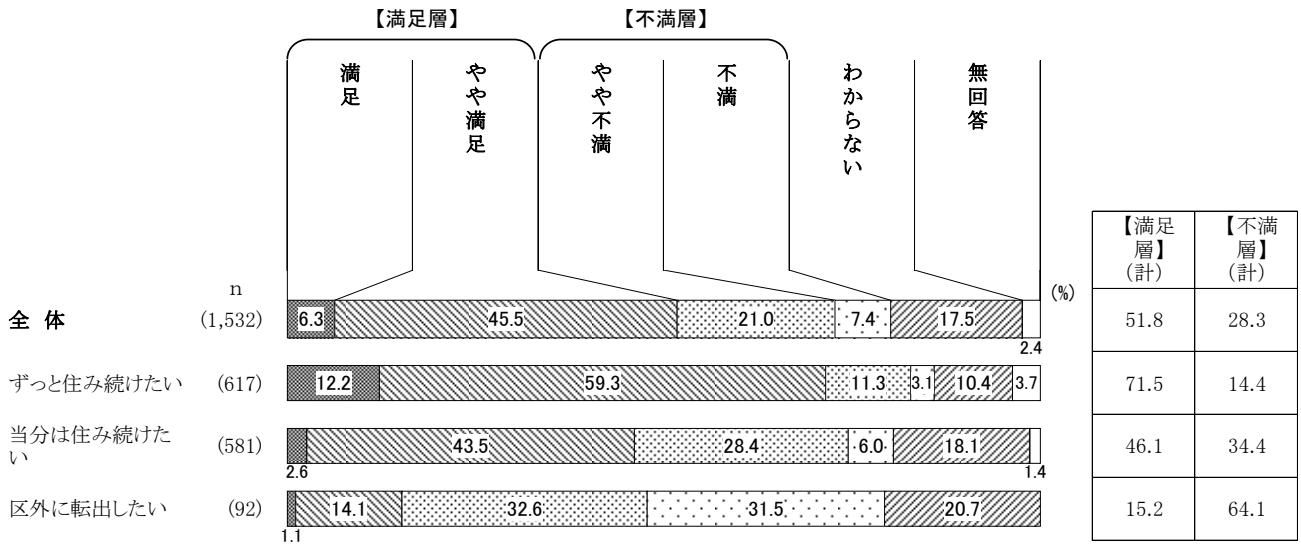
居住年数別でみると、居住年数の長い層ほど、【満足層】が高くなる傾向があり、20年以上の層では55.0%を占めている。

図 4-2-6 居住年数別 区政に対する満足度



定住・移転意向別でみると、“ずっと住み続けたい”層では、【満足層】が71.5%と7割を超えている。一方、“区外に転出したい”という層では、【不満層】が64.1%を占めている。

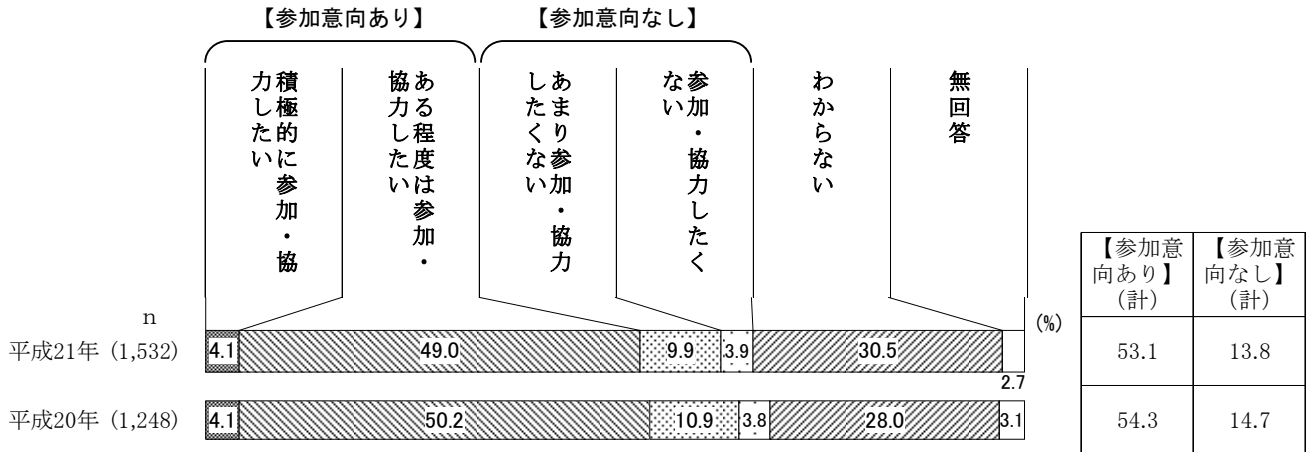
図4-2-7 定住・移転意向別 区政に対する満足度



(3) 区政への参加

●区政に参加・協力したいと考えている人は53.1%

問23 あなたは、区政への参加・協力についてどのようにお考えですか。(○は1つだけ)

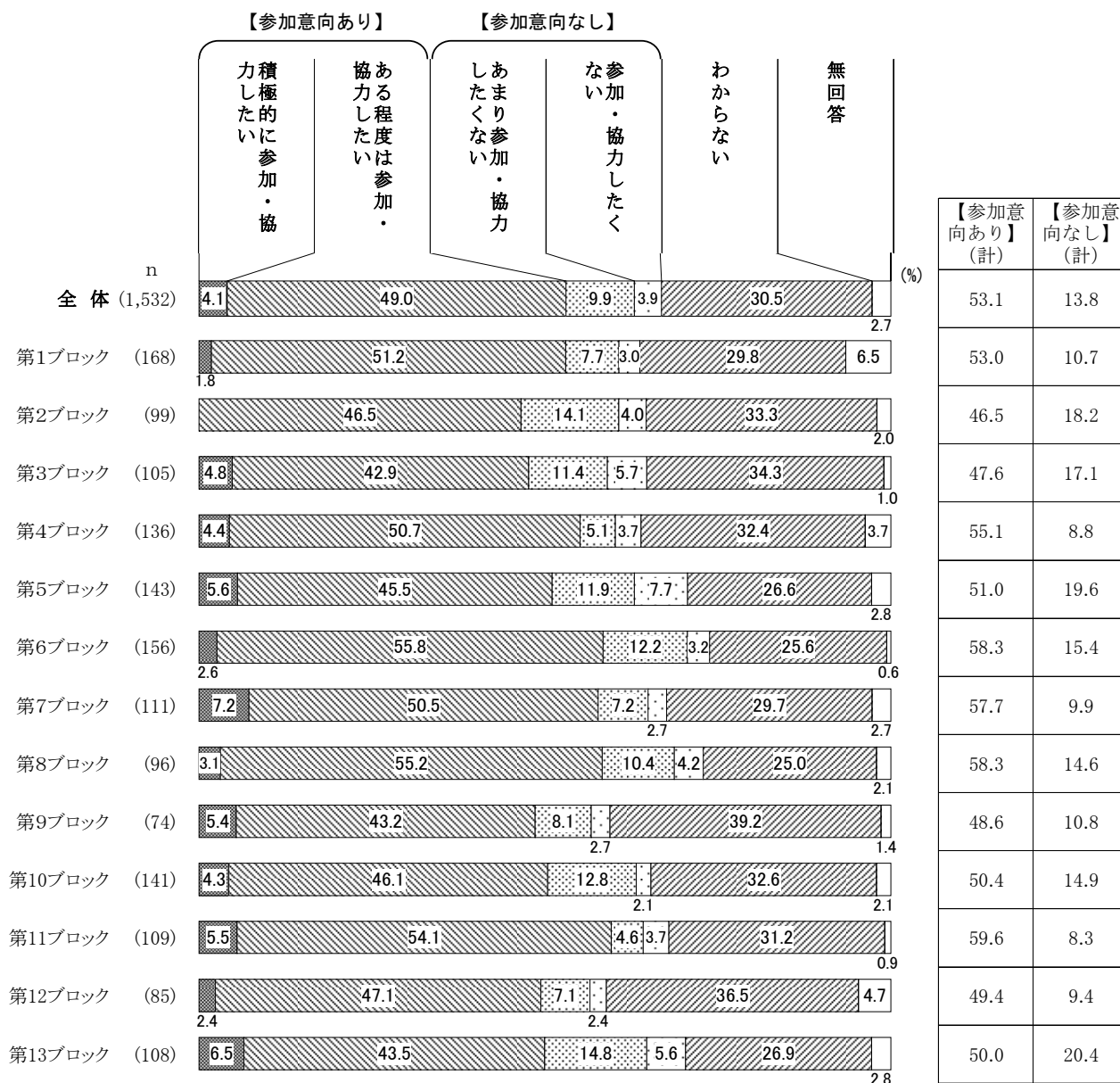


区政への参加・協力意向をみると、「積極的に参加・協力したい」は4.1%で、これに「ある程度は参加・協力したい」(49.0%)を合わせた【参加意向あり】は53.1%を占めている。一方、「あまり参加・協力したくない」(9.9%)と「参加・協力したくない」(3.9%)を合わせた【参加意向なし】は13.8%である。

前回の調査結果と比較すると、【参加意向あり】は、前回の54.3%から1.2ポイント低下している。

地域ブロック別でみると、第6、第7、第8、第11ブロックでは、【参加意向あり】が、いずれも6割近くを占め、他のブロックより高くなっている。

図4-3-1 地域ブロック別 区政への参加

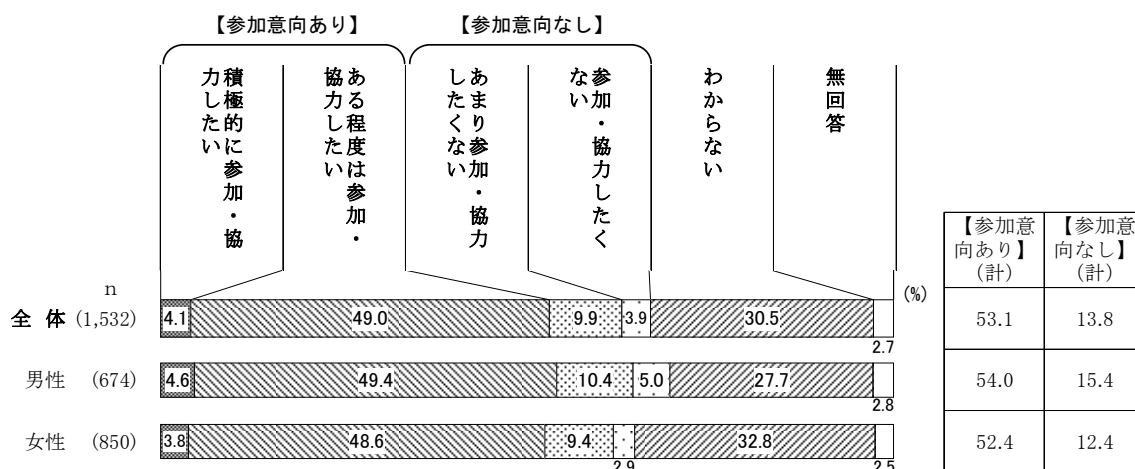


ブロック区分



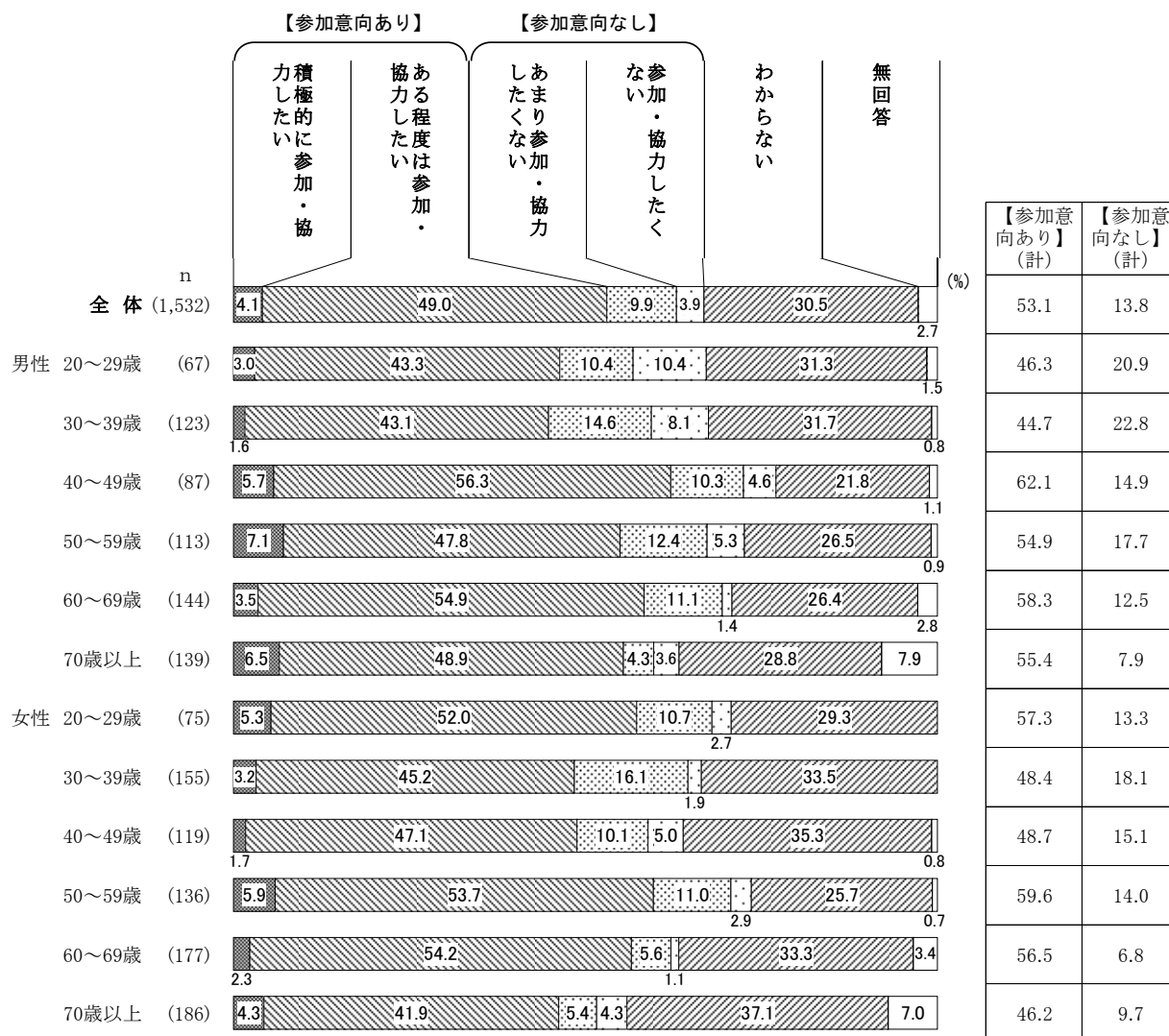
性別でみると、【参加意向あり】は男性が54.0%、女性が52.4%となっている。

図4-3-2 性別 区政への参加



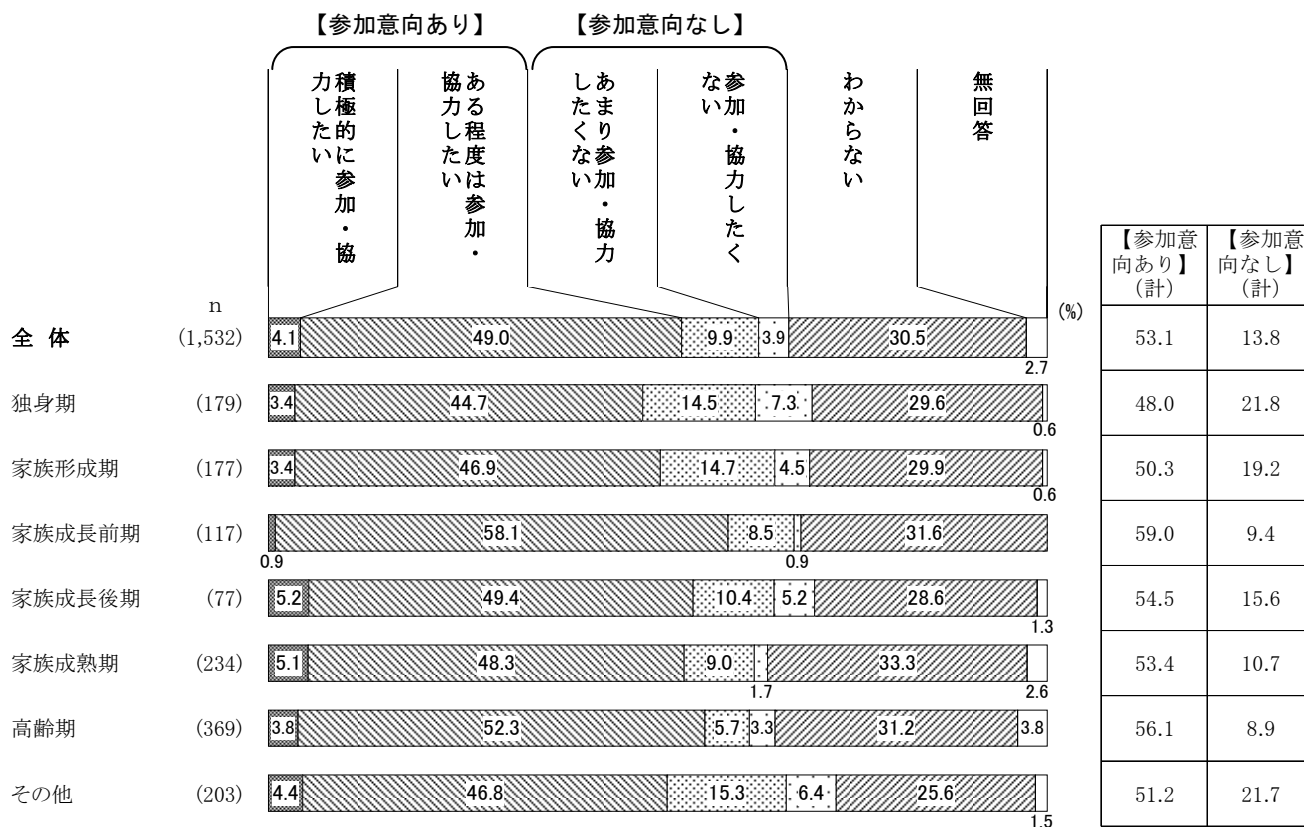
性・年代別でみると、男性では、40代で【参加意向あり】が62.1%を占めているほか、60代でも6割近くを占めている。女性では、50代で【参加意向あり】が59.6%を占めているほか、20代、60代でも6割近くを占めている。

図4-3-3 性・年代別 区政への参加



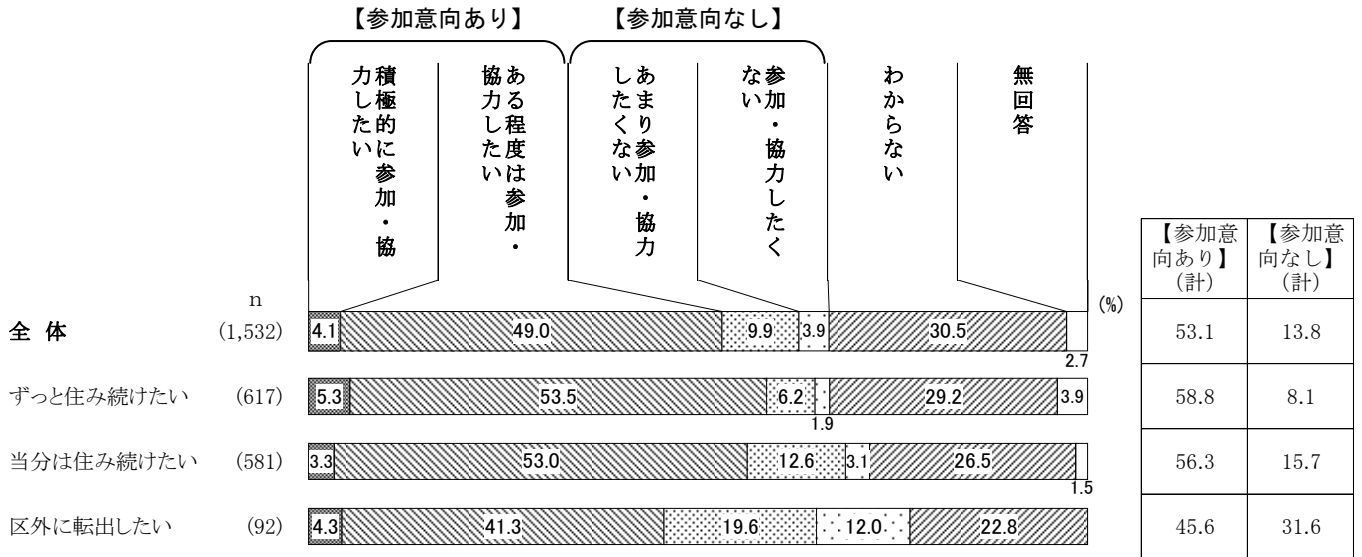
ライフステージ別でみると、家族成長前期では【参加意向あり】が59.0%と、6割近くを占め、全ステージ中最も高く、これに高齢期が56.1%で次いでいる。

図4-3-4 ライフステージ別 区政への参加



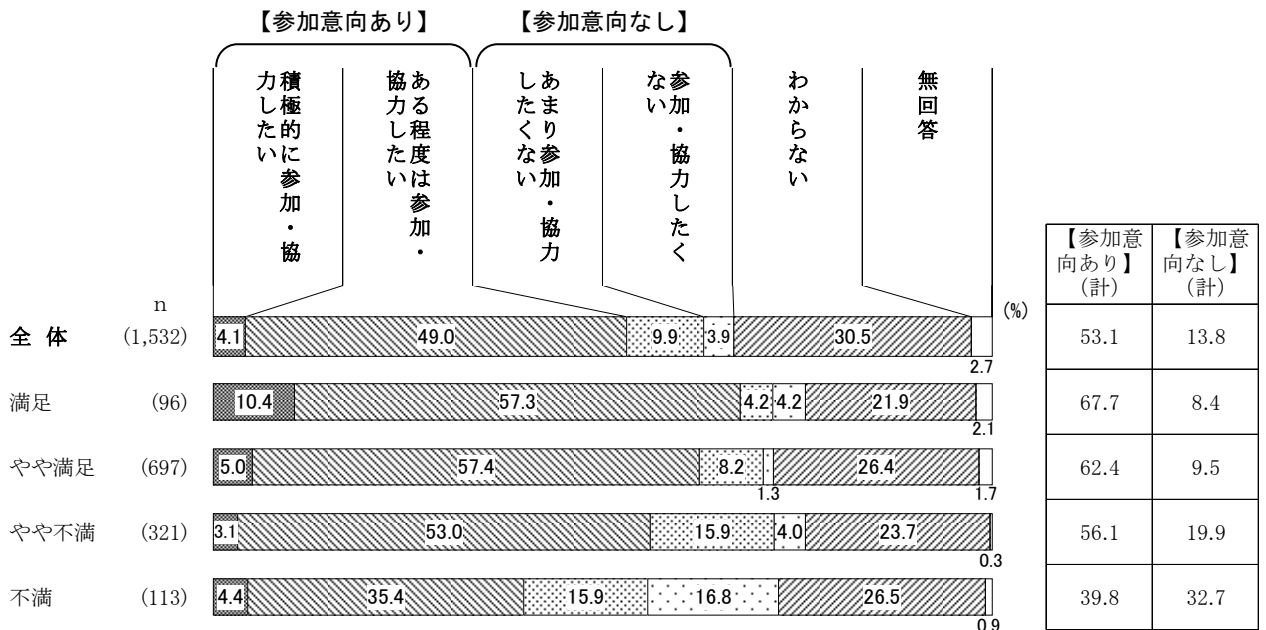
定住・移転意向別でみると、定住意向が強くなるほど、【参加意向あり】は上昇し、“ずっと住み続けたい”層では、【参加意向あり】が58.8%と6割近くを占める。

図4-3-5 定住・移転意向別 区政への参加



区政満足度別でみると、満足度が高くなるにつれて、【参加意向あり】は上昇し、“満足層”では67.7%と7割近くに達している。

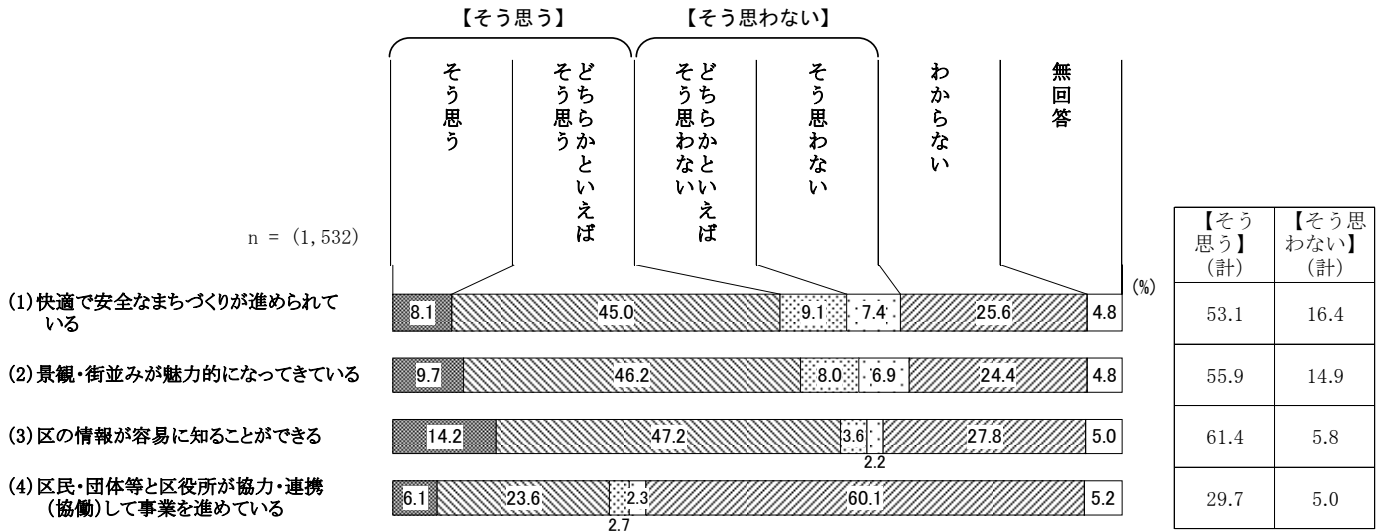
図4-3-6 区政への満足度別 区政への参加



(4) 区の取り組みについての評価・印象

●【そう思う】は〈区の情報が容易に知ることができる〉が61.4%で最も高い

問24 次の区の実践について、あなたはどのように感じていますか。(1)～(4)のそれぞれについてお答えください。(〇はそれぞれ1ずつ)



区の取り組みについて感じていることを、【そう思う】（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）の高い順にみると、〈区の情報が容易に知ることができる〉が61.4%で最も高く、以下、〈景観・街並みが魅力的になってきている〉（55.9%）、〈快適で安全なまちづくりが進められている〉（53.1%）、〈区民・団体等と区役所が協力・連携（協働）して事業を進めている〉（29.7%）の順で続いている。

前回の調査結果と比較すると、「景観・街並みが魅力的になってきている」は、前回の51.9%から4.0ポイント上昇している。

図4-4-1 前回調査結果との比較 区の取り組みについての評価・印象

〈快適で安全なまちづくりが進められている〉

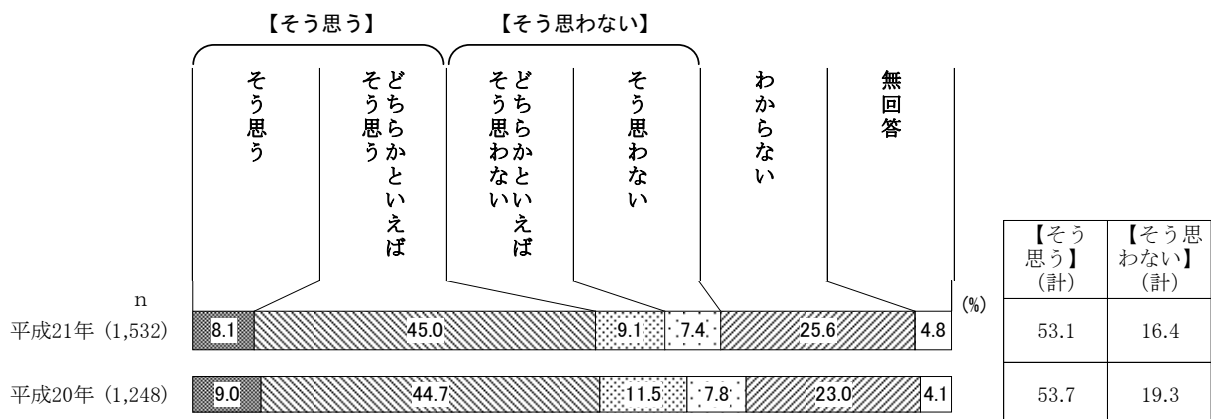
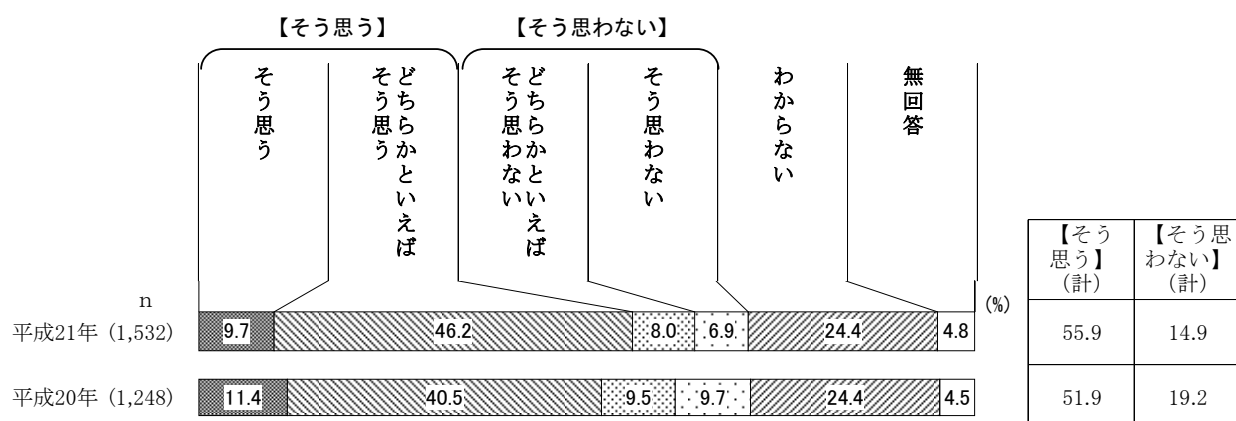
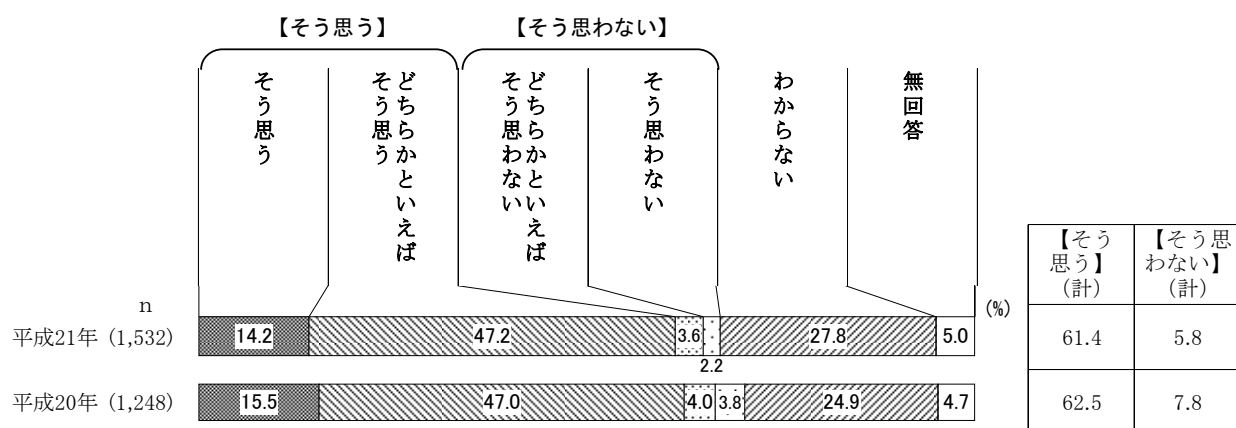


図4-4-1 前回調査結果との比較 区の取り組みについての評価・印象一つづきー

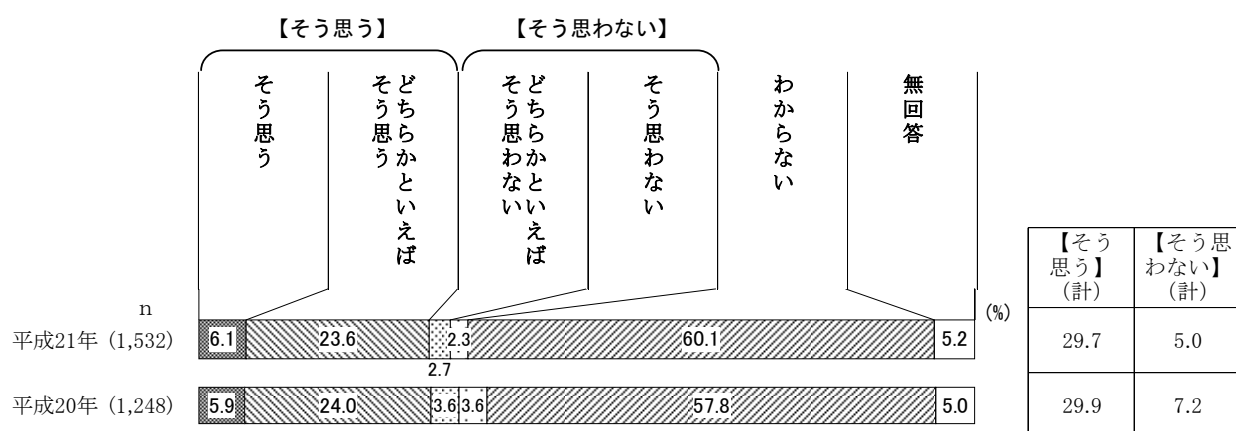
〈景観・街並みが魅力的になってきている〉



〈区の情報が容易に知ることができる〉



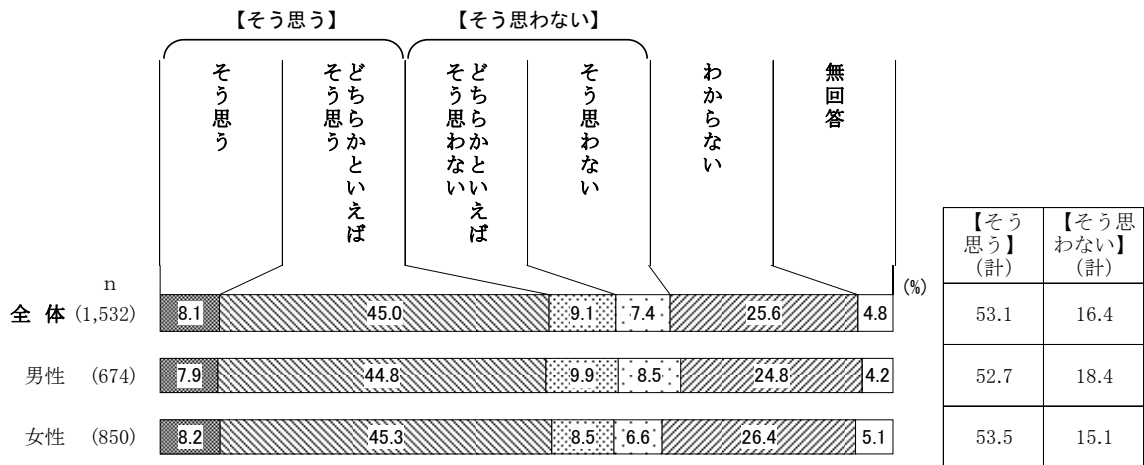
〈区民・団体等と区役所が協力・連携（協働）して事業を進めている〉



〈快適で安全なまちづくりが進められている〉

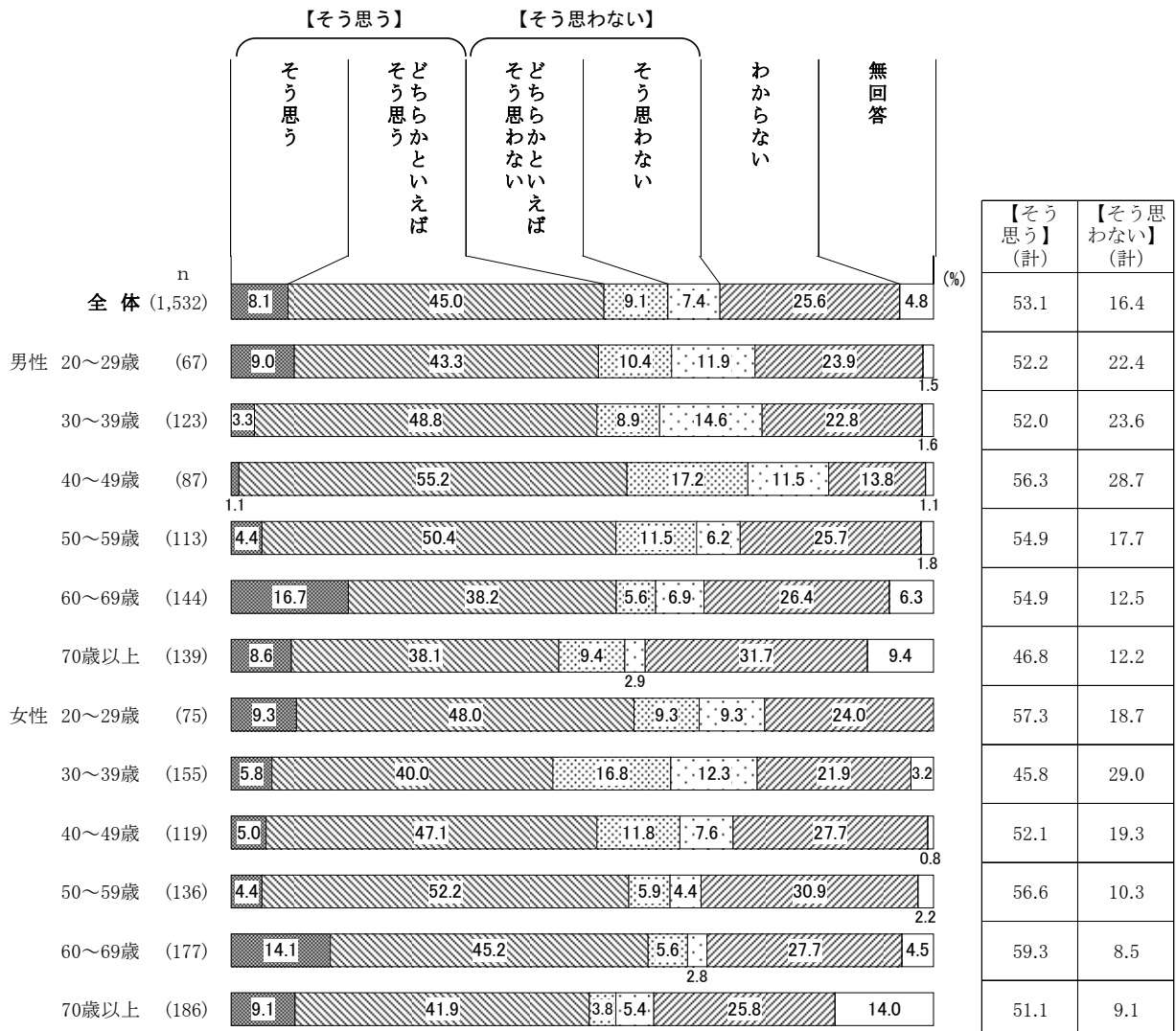
性別でみると、【そう思う】は、男性が52.7%、女性が53.5%となっている。

図4-4-2 性別 区の取り組みについての評価・印象



性・年代別でみると、男性では70歳以上を除く各年代で【そう思う】が5割を超えている。女性では、30代を除く各年代で【そう思う】が5割を超えている。

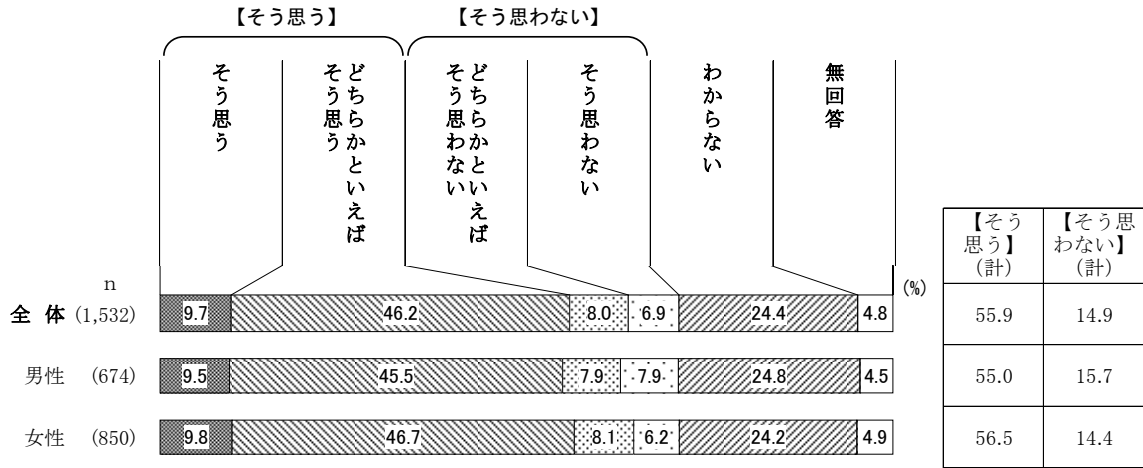
図4-4-3 性・年代別 区の取り組みについての評価・印象



〈景観・街並みが魅力的になってきている〉

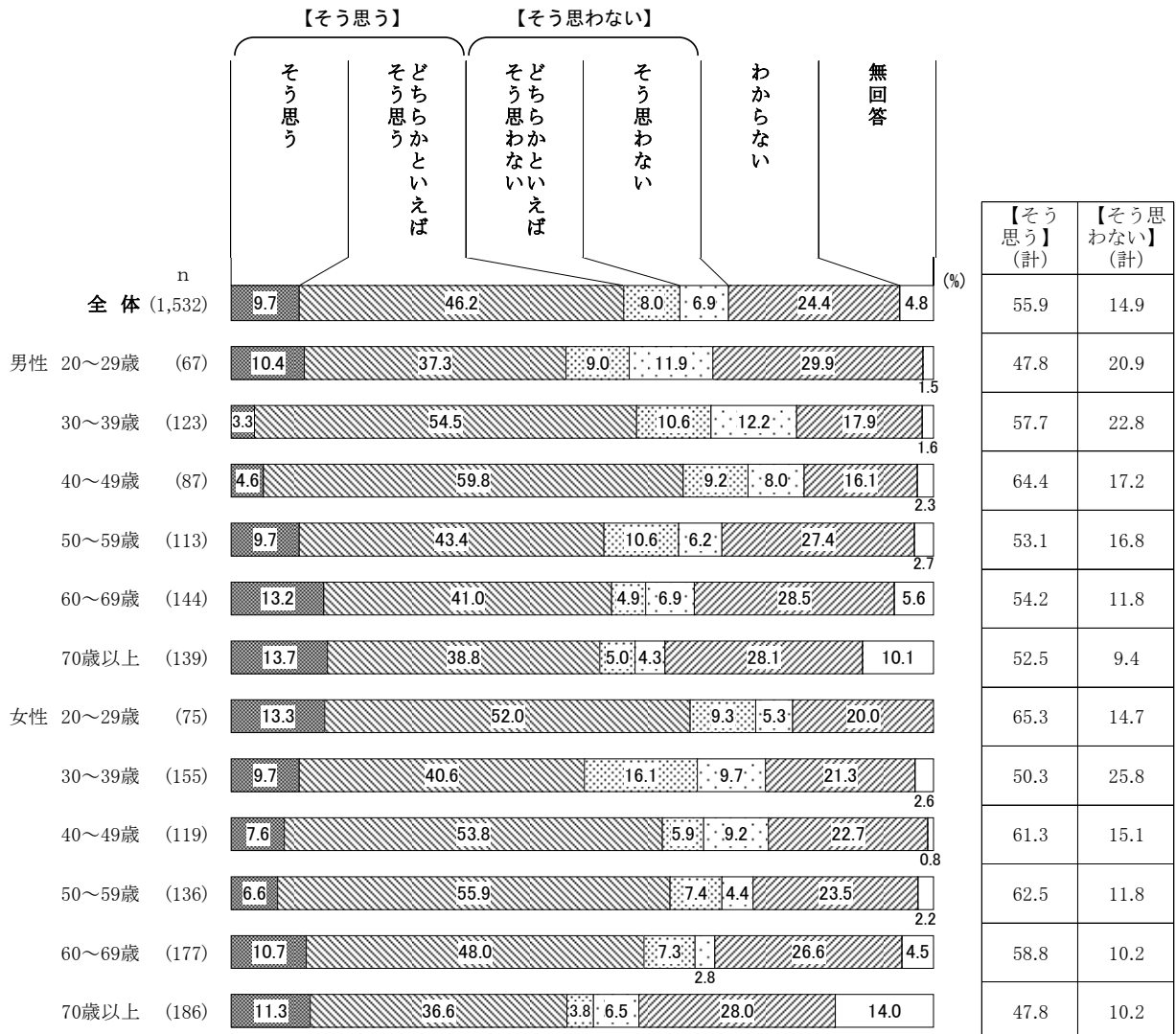
性別でみると、【そう思う】は男性55.0%、女性56.5%となっている。

図4-4-4 性別 区の取り組みについての評価・印象



性・年代別でみると、男性では、40代で【そう思う】が64.4%と最も高くなっている。また、女性では、20代、40代、50代で6割を超え、他の年代より高くなっている。

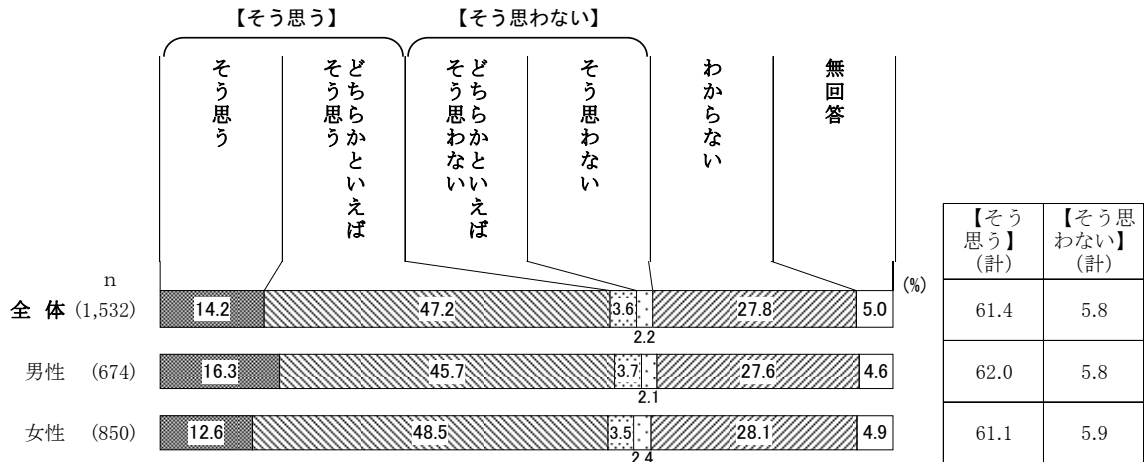
図4-4-5 性・年代別 区の取り組みについての評価・印象



〈区の情報が容易に知ることができる〉

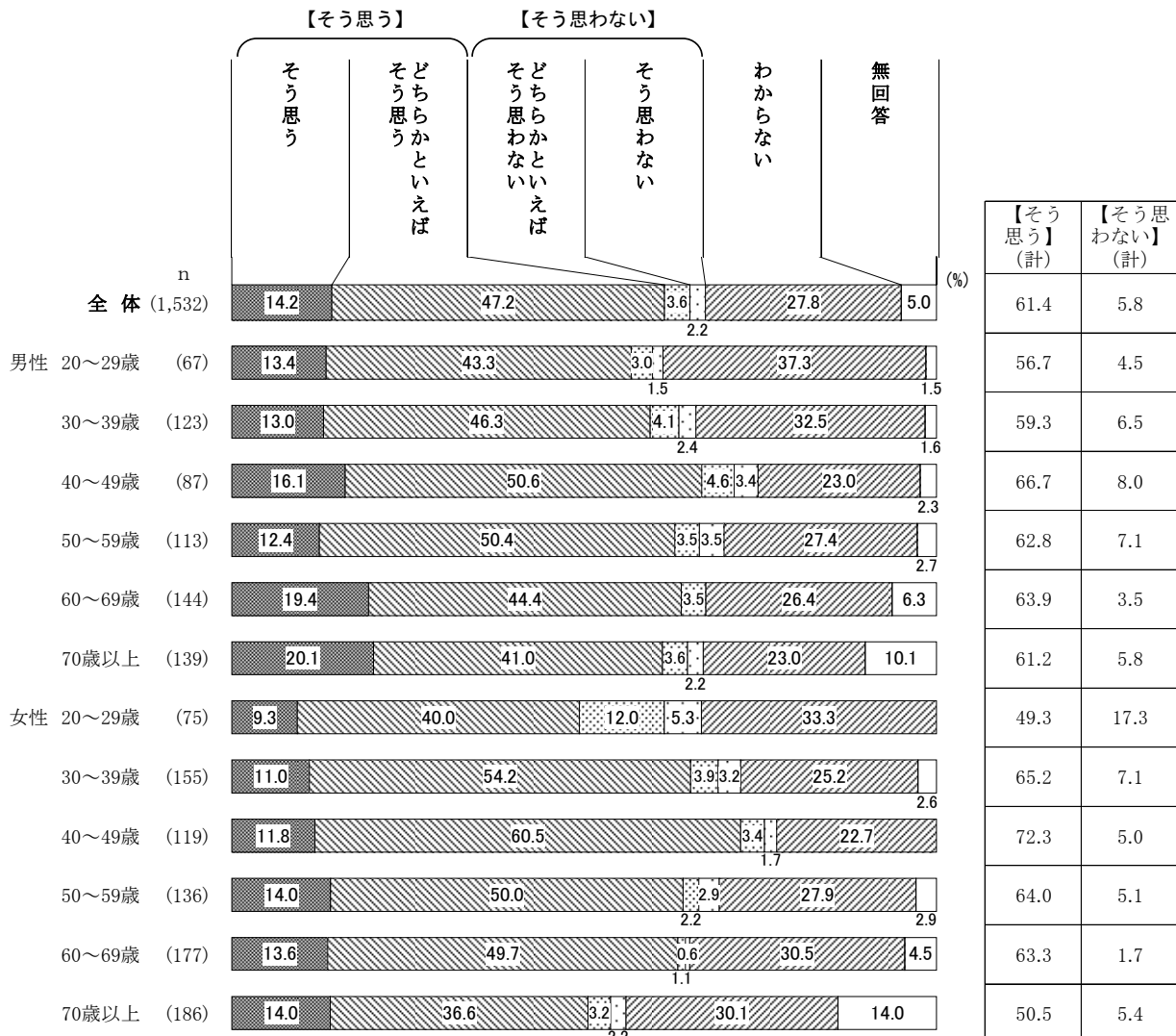
性別でみると、【そう思う】は、男性が62.0%、女性が61.1%となっている。

図4-4-6 性別 区の取り組みについての評価・印象



性・年代別でみると、男性では20代、30代を除く各年代で【そう思う】が6割を超えている。女性では、40代で【そう思う】は72.3%を占めているほか、30代、50代、60代で6割を超えている。

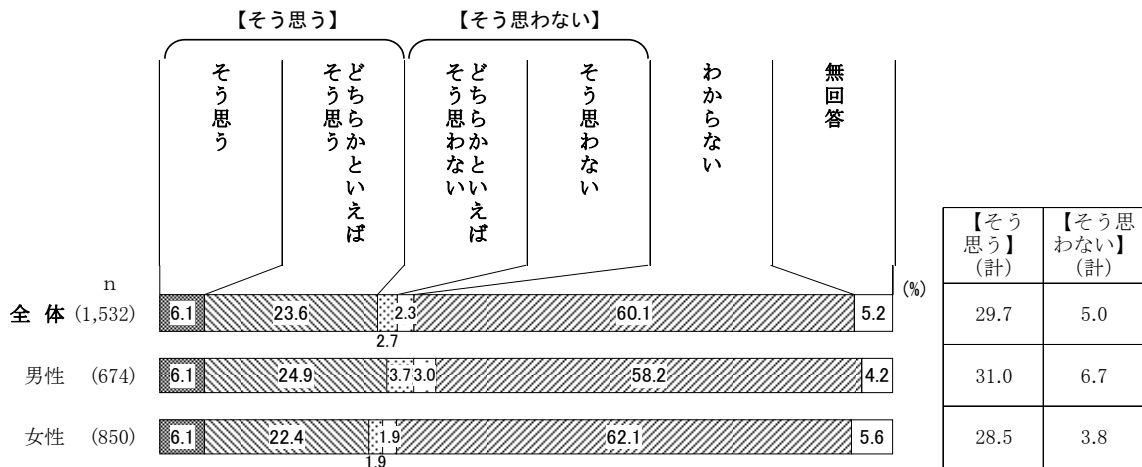
図4-4-7 性・年代別 区の取り組みについての評価・印象



〈区民・団体等と区役所が協力・連携（協働）して事業を進めている〉

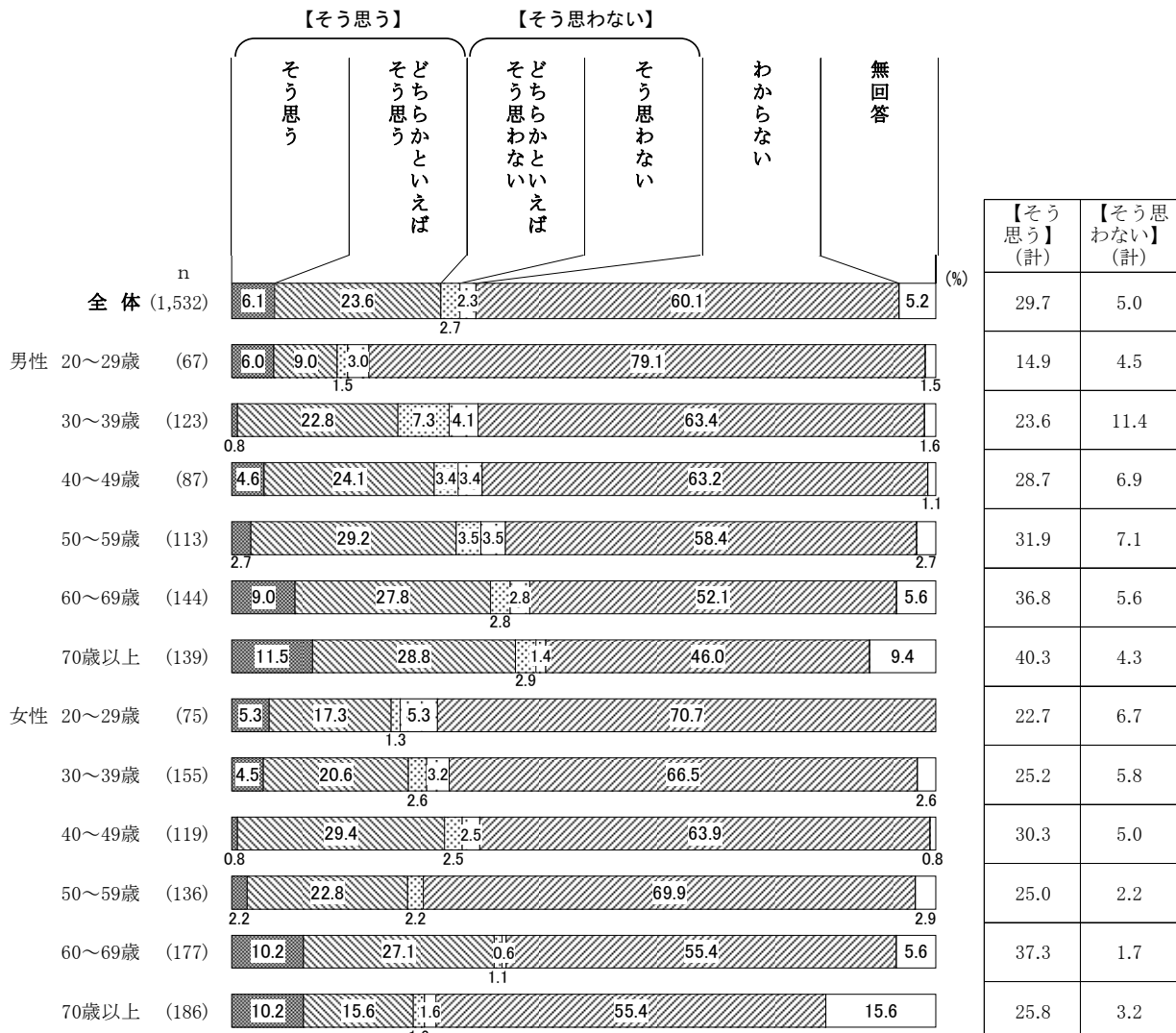
性別でみると、【そう思う】は、男性31.0%、女性28.5%となっている。

図4-4-8 性別 区の取り組みについての評価・印象



性・年代別でみると、男性では、50代以上で【そう思う】が3割を超えている。女性では、60代では【そう思う】が37.3%と全年代中最も高くなっている。

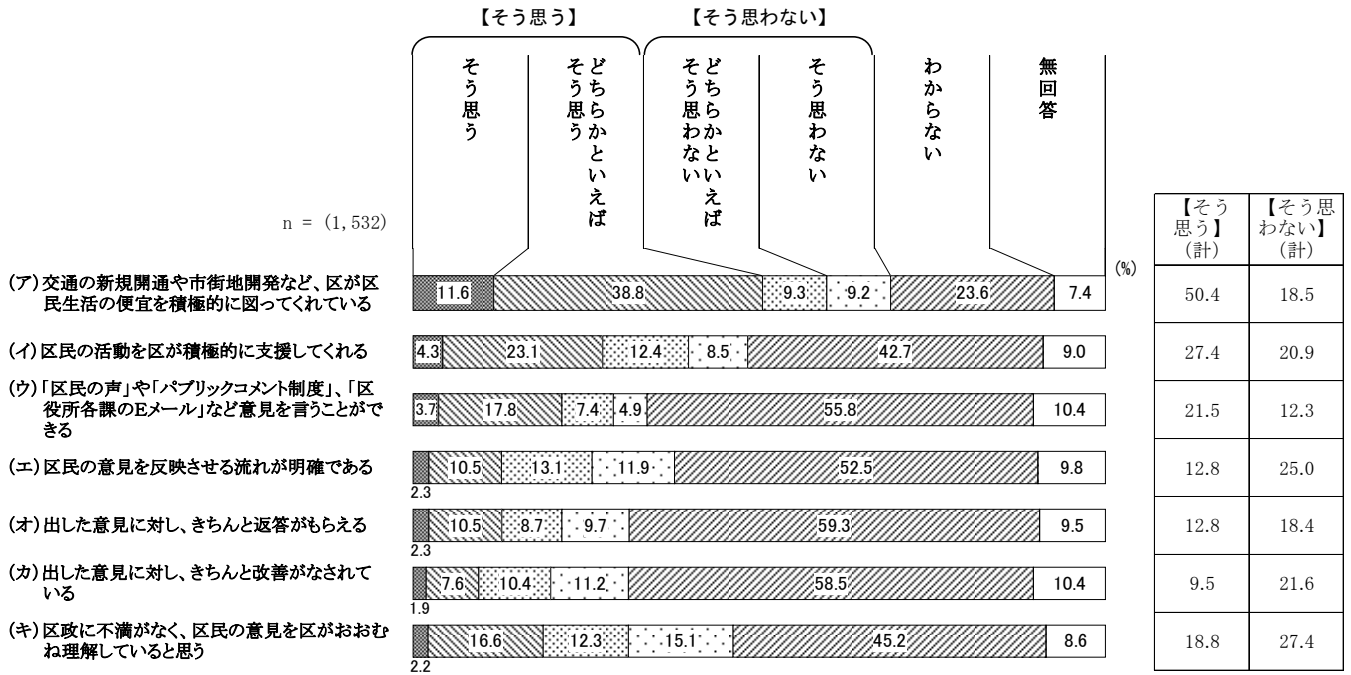
図4-4-9 性・年代別 区の取り組みについての評価・印象



(5) 区政への区民の意見の反映

- 【そう思う】は〈交通の新規開通や市街地開発など、区が区民生活の便宜を積極的に図ってくれている〉が50.4%で最も高い

問25 区政への区民の意見の反映について、あなたがあてはまると思うものはどれですか。
 (○は(ア)～(キ)それぞれ1つずつ)

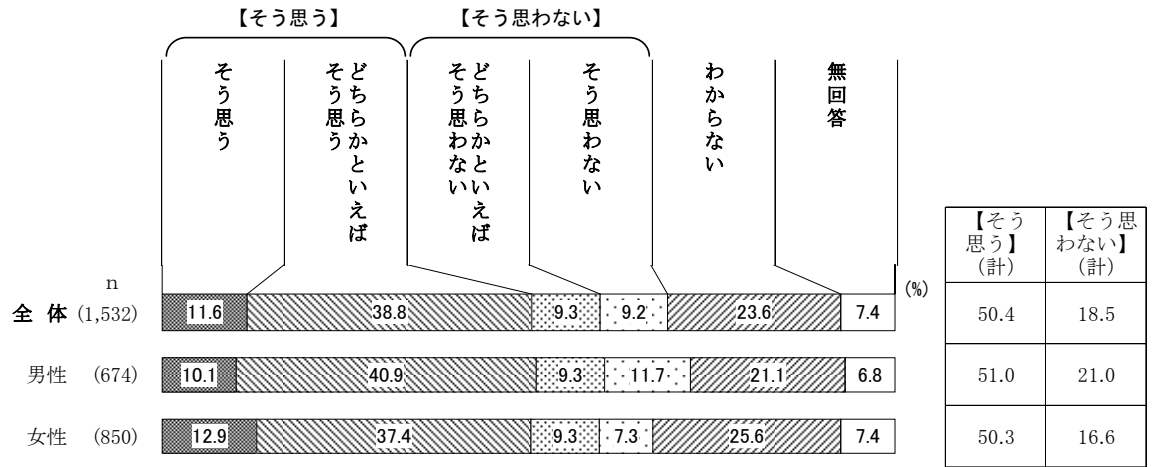


区政への区民の意見の反映について、【そう思う】(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)の高い順にみると、〈交通の新規開通や市街地開発など、区が区民生活の便宜を積極的に図ってくれている〉が50.4%で最も高く、以下、〈区民の活動を区が積極的に支援してくれる〉(27.4%)、〈『区民の声』や『パブリックコメント制度』、『区役所各課のEメール』など意見を言うことができる〉(21.5%)、〈区政に不満がなく、区民の意見を区がおおむね理解していると思う〉(18.8%)の順で続いている。

〈交通の新規開通や市街地開発など、区が区民生活の便宜を積極的に図ってくれている〉

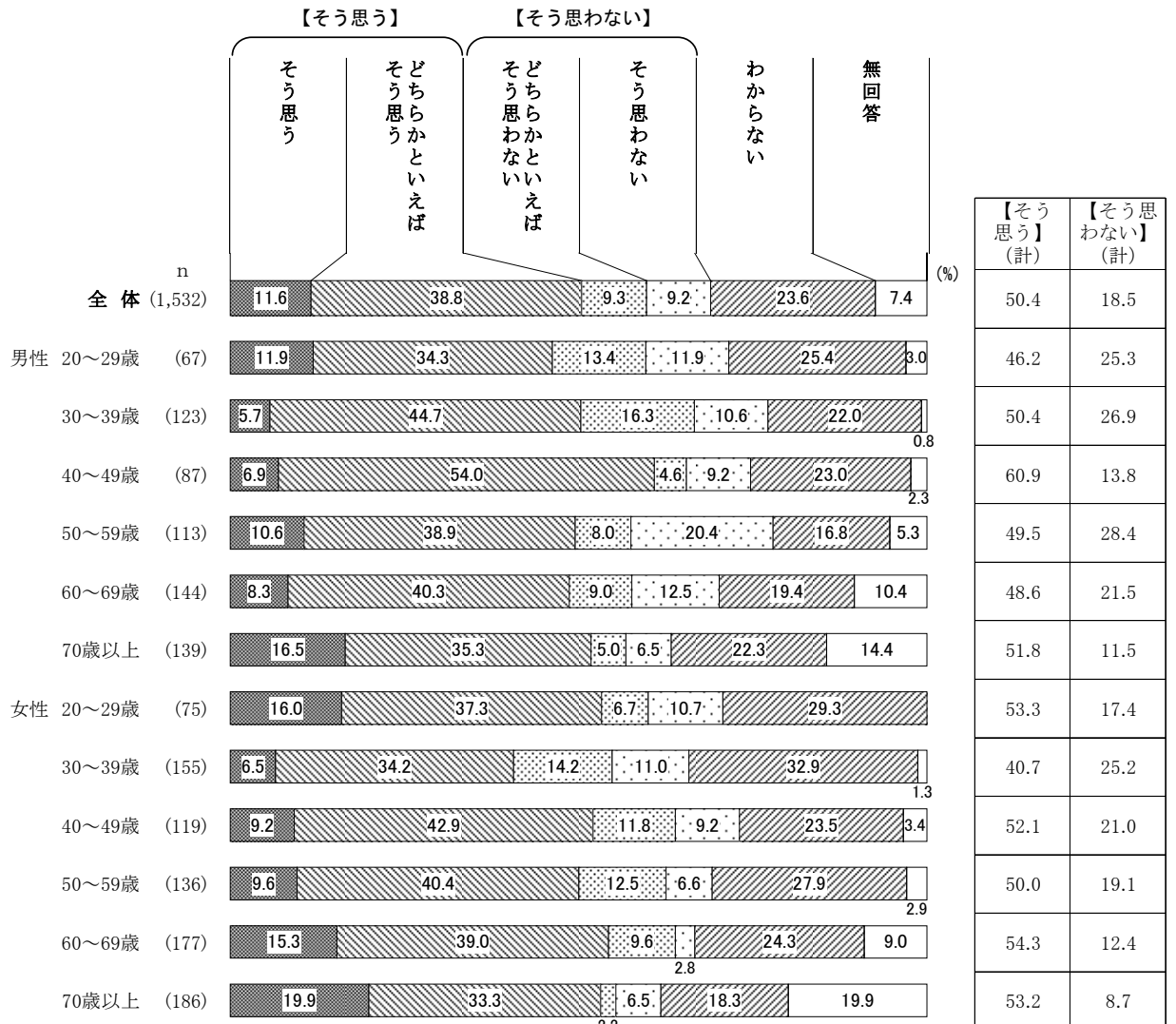
性別でみると、【そう思う】は、男性が51.0%、女性が50.3%となっている。

図4-5-1 性別 区政への区民の意見の反映



性・年代別でみると、男性では、40代で【そう思う】が60.9%と6割を超えているほか、30代、50代、60代でも5割前後を示している。女性では、40代以上で【そう思う】が5割台となっている。

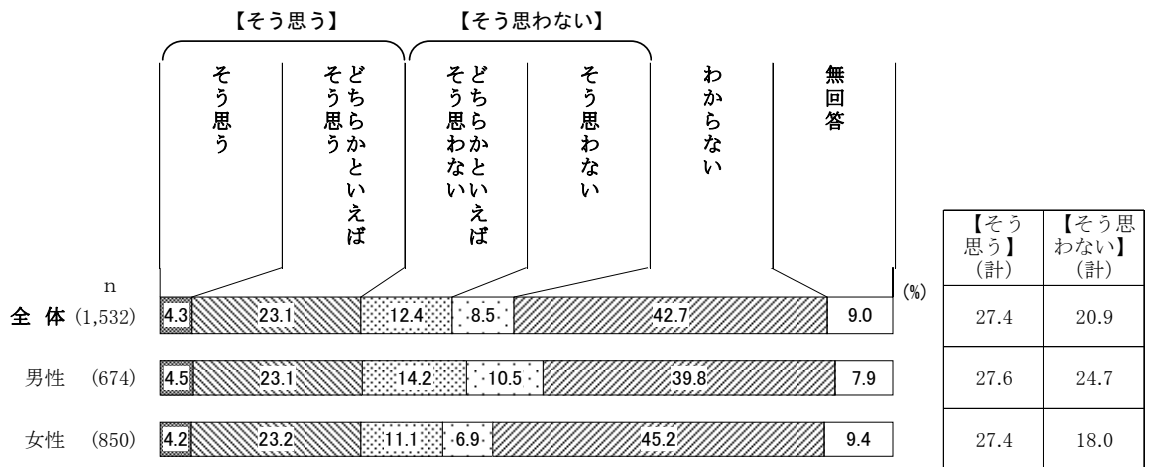
図4-5-2 性・年代別 区政への区民の意見の反映



〈区民の活動を区が積極的に支援してくれる〉

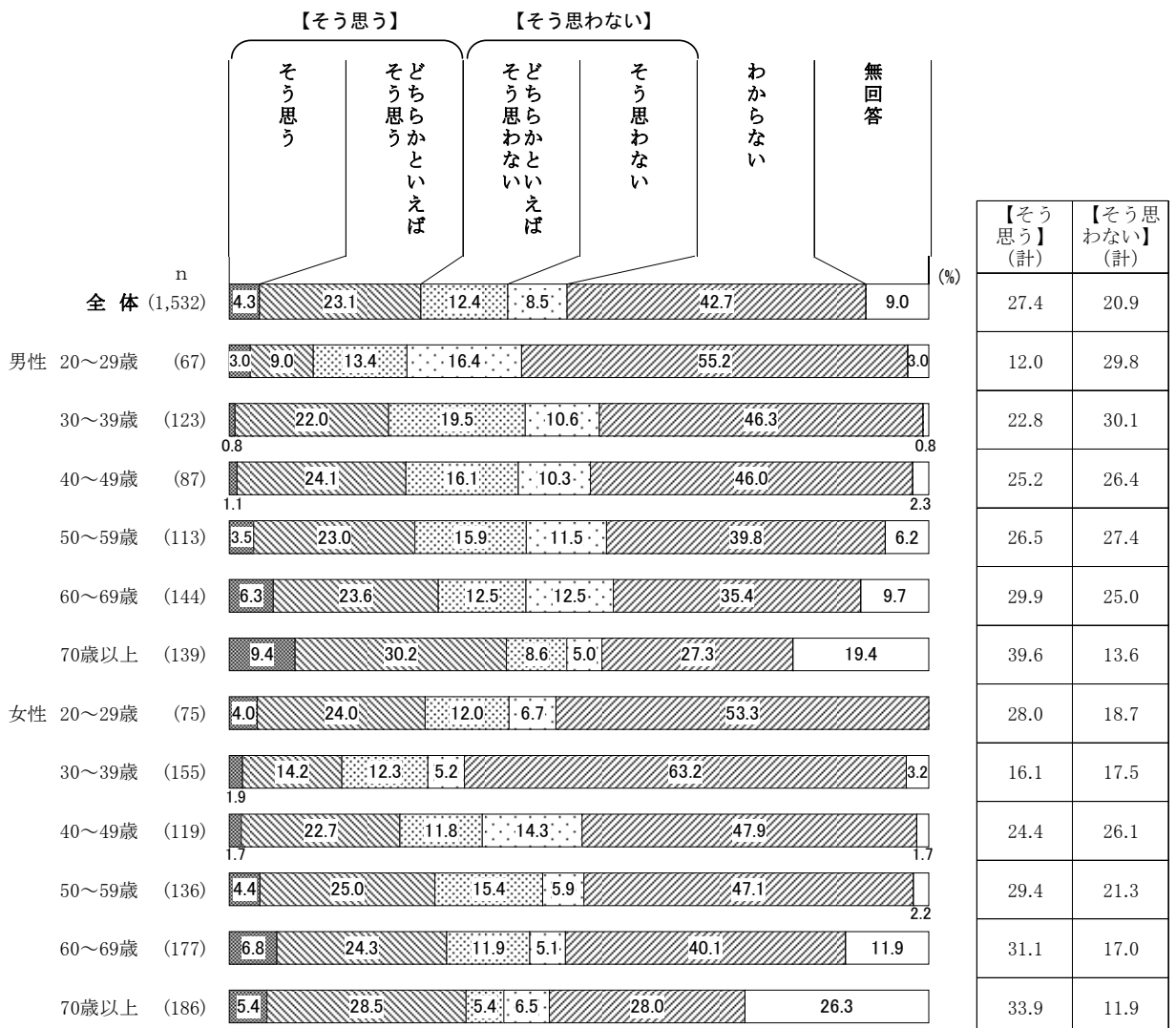
性別でみると、【そう思う】は、男性が27.6%、女性が27.4%となっている。

図4-5-3 性別 区政への区民の意見の反映



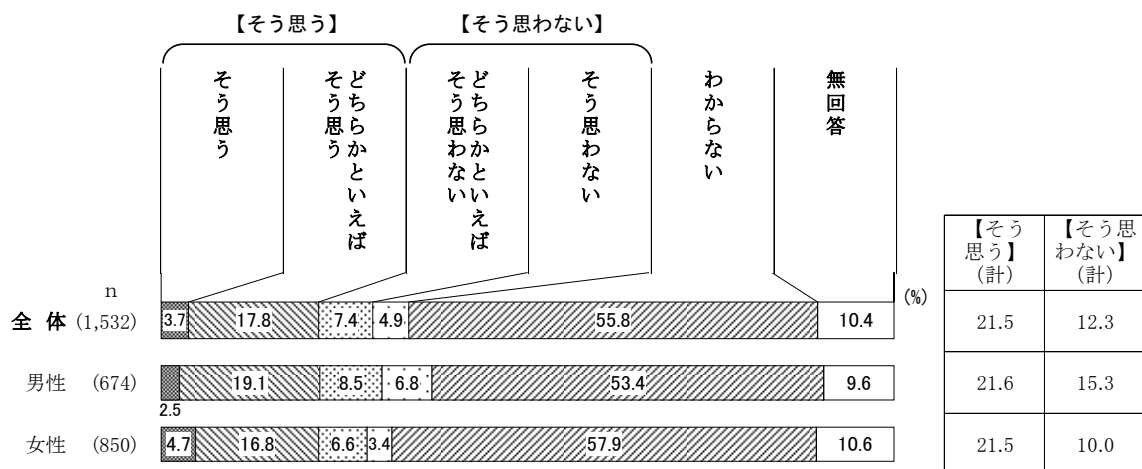
性・年代別でみると、男性では、60代で【そう思う】が3割近く、70歳以上で4割近くを占めている。女性では、50代以上で【そう思う】が3割前後を占めている。

図4-5-4 性・年代別 区政への区民の意見の反映



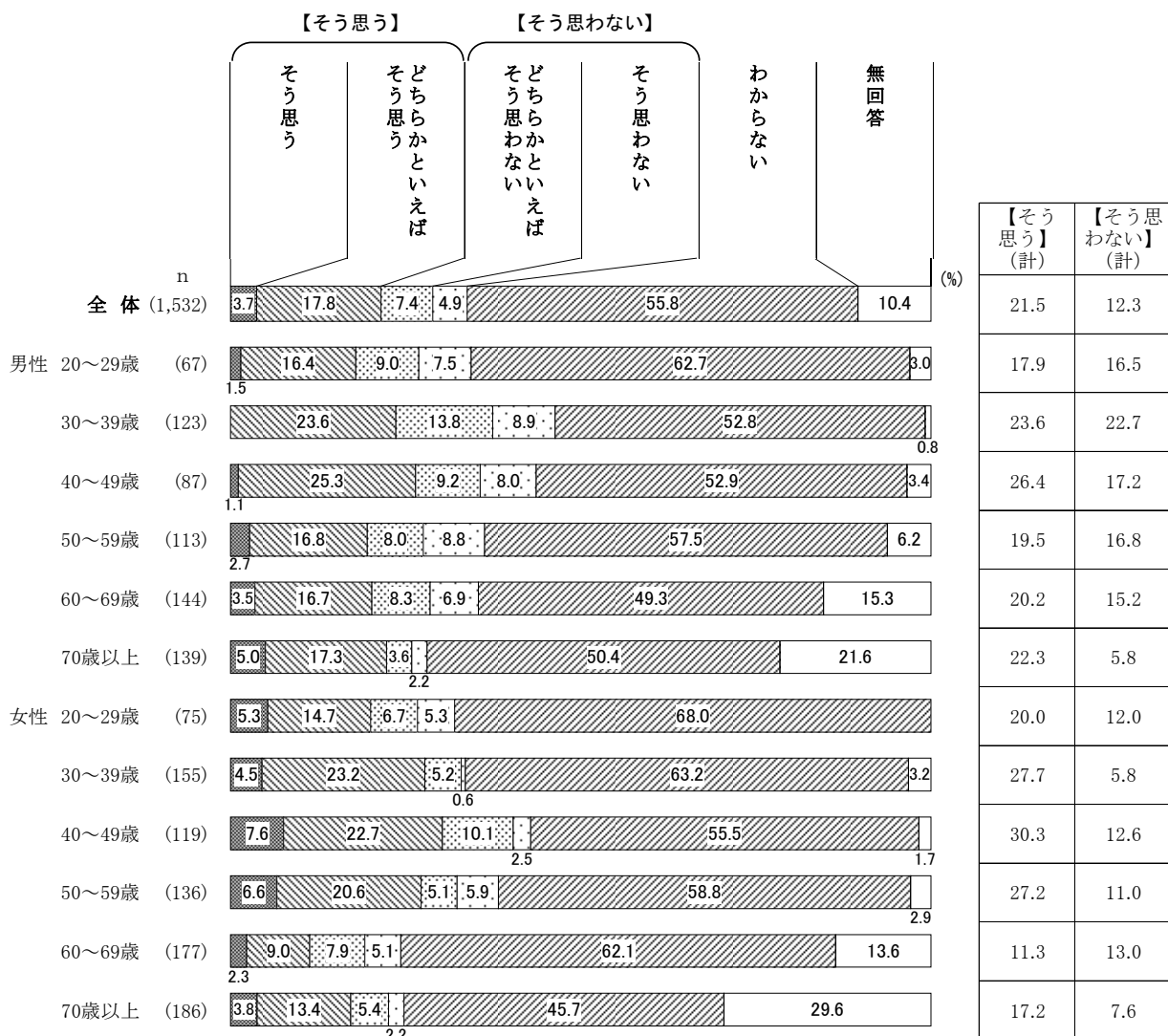
〈『区民の声』や『パブリックコメント制度』、『区役所各課のEメール』など意見を言うことができる〉
性別でみると、【そう思う】は、男性が21.6%、女性が21.5%となっている。

図4-5-5 性別 区政への区民の意見の反映



性・年代別でみると、男性では、20代、50代を除く各年代とも【そう思う】が2割を超えている。女性では、30代から50代では、【そう思う】が3割前後を占めている。

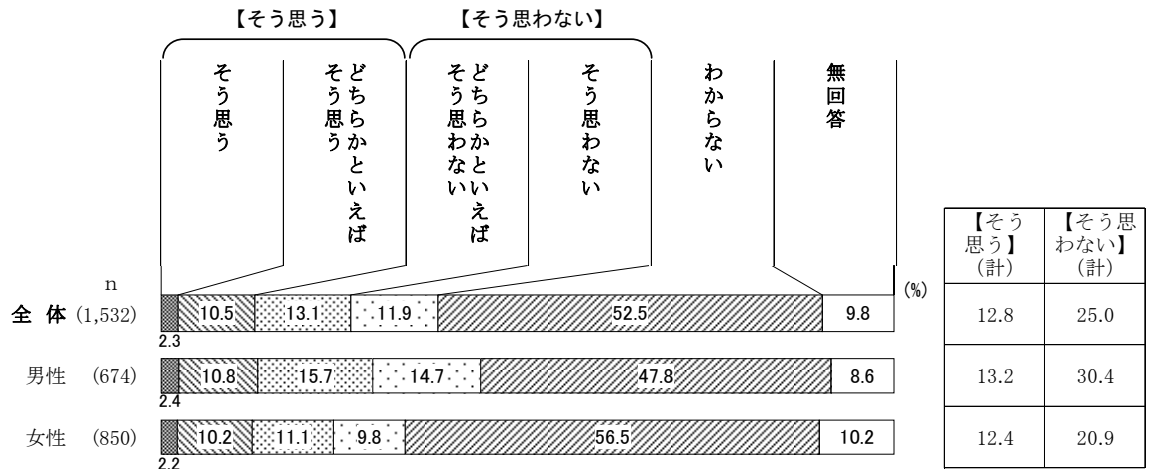
図4-5-6 性・年代別 区政への区民の意見の反映



〈区民の意見を反映させる流れが明確である〉

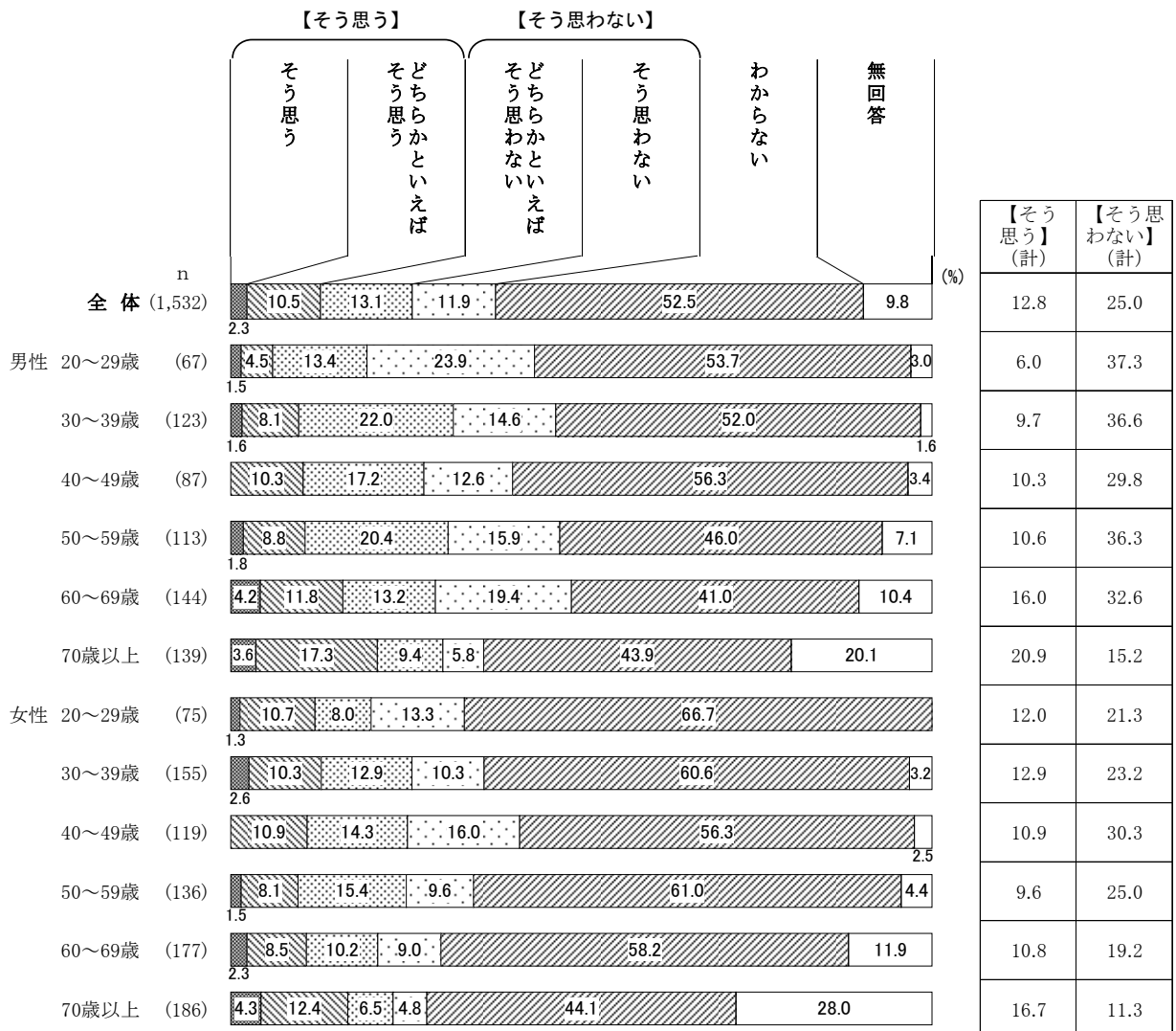
性別でみると、【そう思う】は、男性が13.2%、女性が12.4%となっている。

図4-5-7 性別 区政への区民の意見の反映



性・年代別でみると、男性では70歳以上で【そう思う】が20.9%と高くなっている。また、女性では70歳以上で【そう思う】が16.7%と高くなっている。

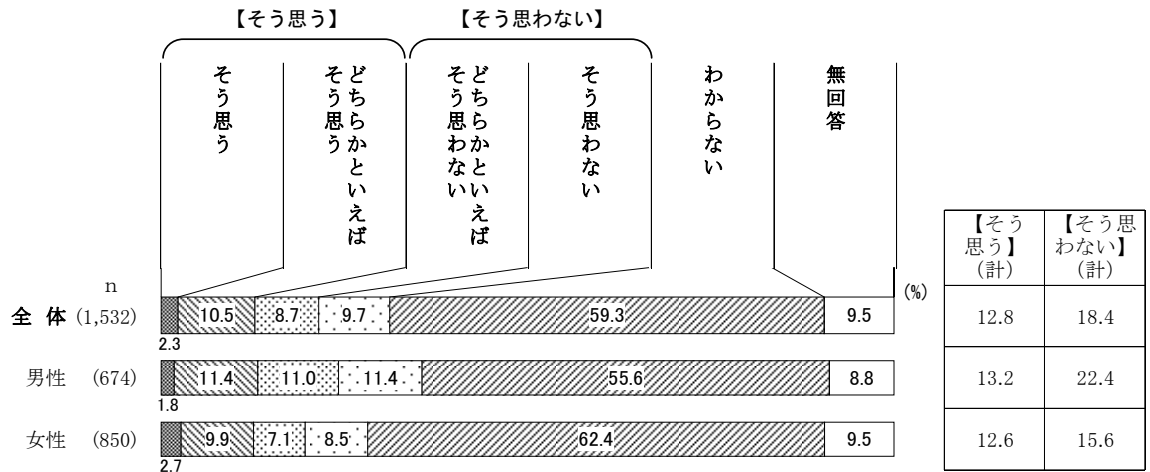
図4-5-8 性・年代別 区政への区民の意見の反映



〈出した意見に対し、きちんと返答がもらえる〉

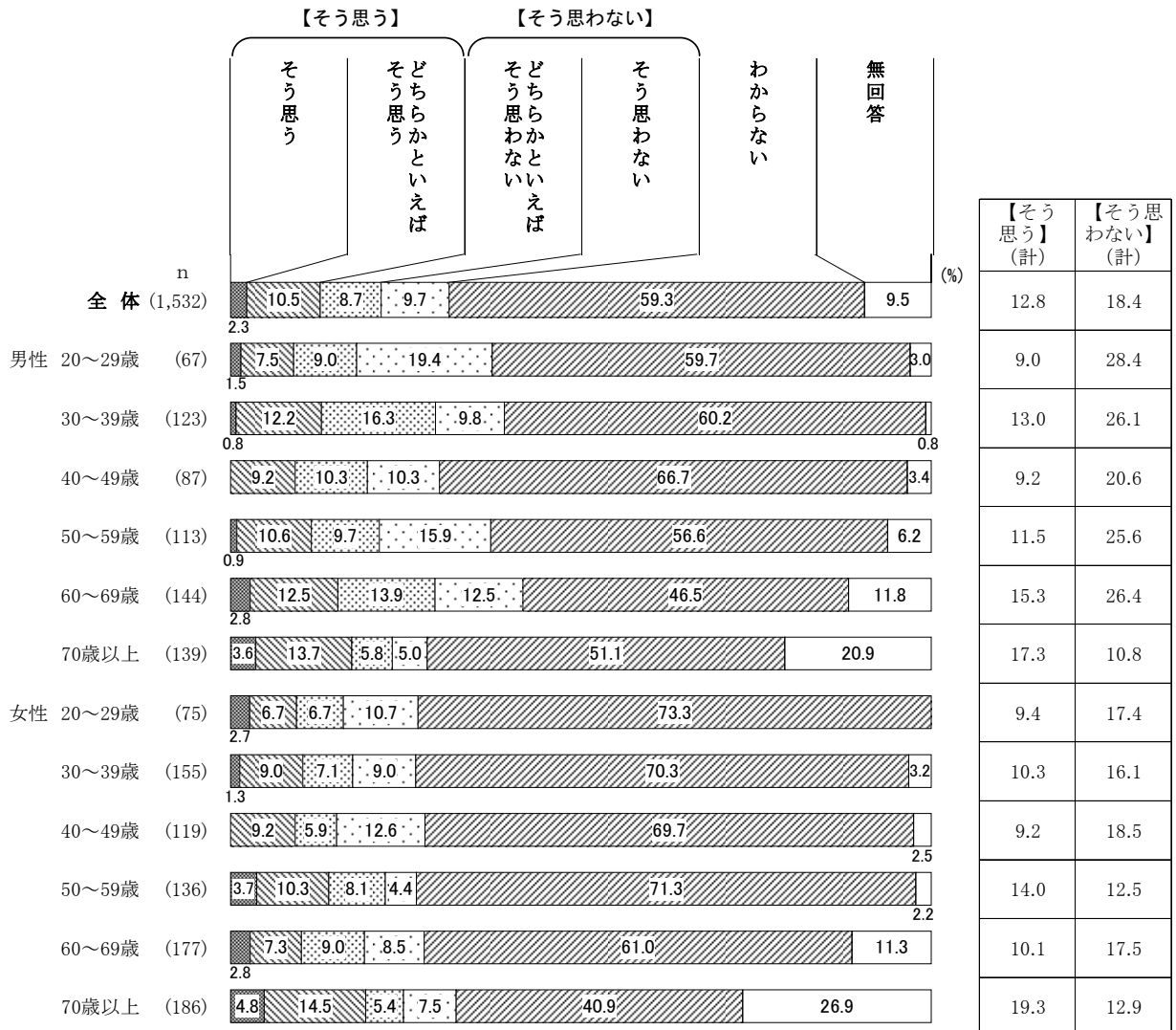
性別でみると、【そう思う】は、男性が13.2%、女性が12.6%となっている。

図4-5-9 性別 区政への区民の意見の反映



性・年代別でみると、男性では70歳以上で【そう思う】が17.3%、女性では70歳以上で【そう思う】が19.3%と高くなっている。

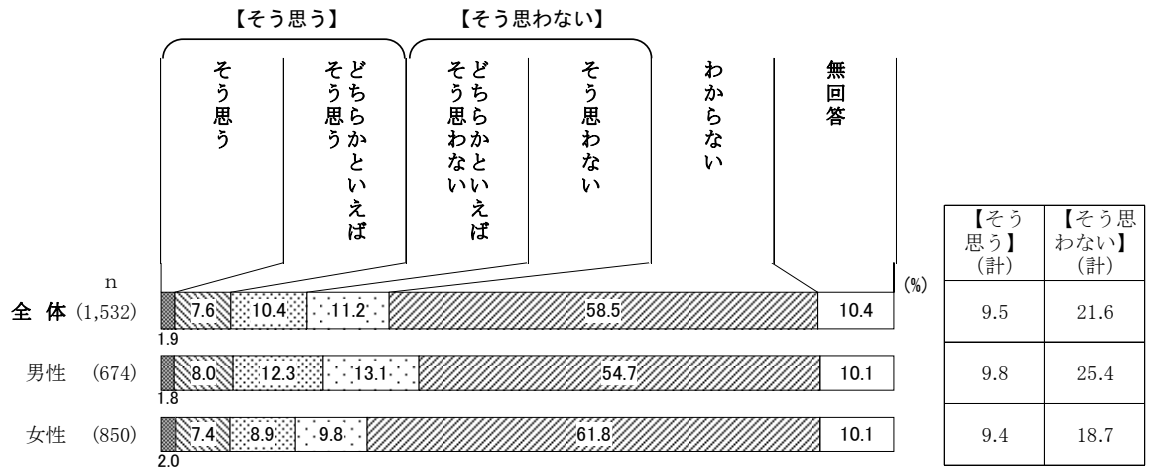
図4-5-10 性・年代別 区政への区民の意見の反映



〈出した意見に対し、きちんと改善がなされている〉

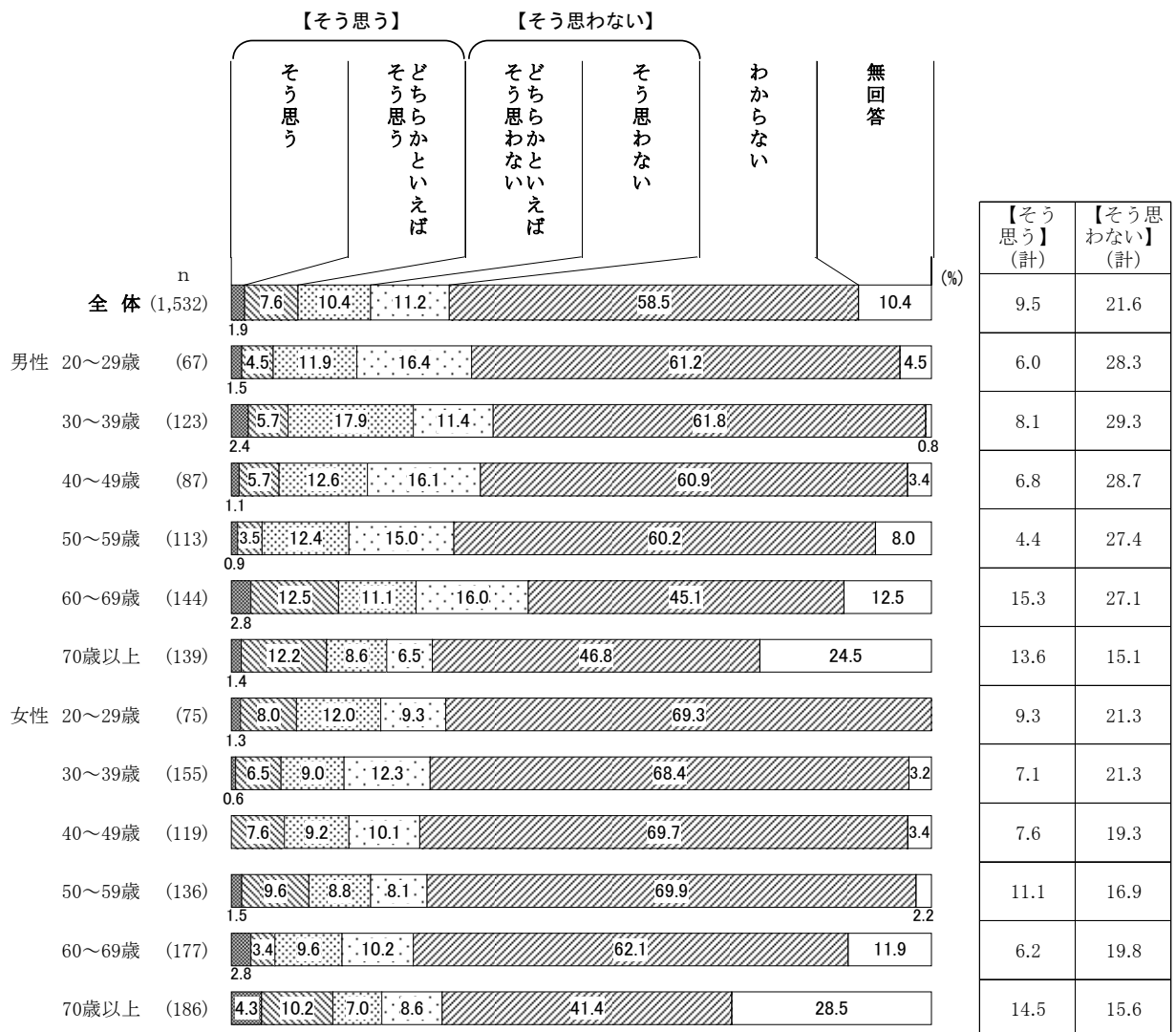
性別でみると、【そう思う】は、男性が9.8%、女性が9.4%となっている。

図4-5-11 性別 区政への区民の意見の反映



性・年代別でみると、男性では、60代、70歳以上で【そう思う】が1割台半ばを占めている。女性では70歳以上で【そう思う】が14.5%と高くなっている。

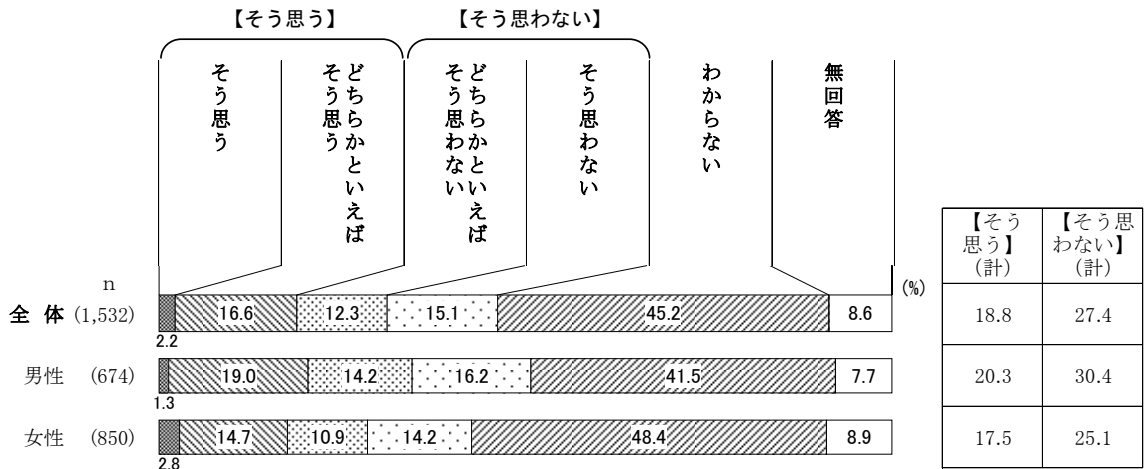
図4-5-12 性・年代別 区政への区民の意見の反映



〈区政に不満がなく、区民の意見を区がおおむね理解していると思う〉

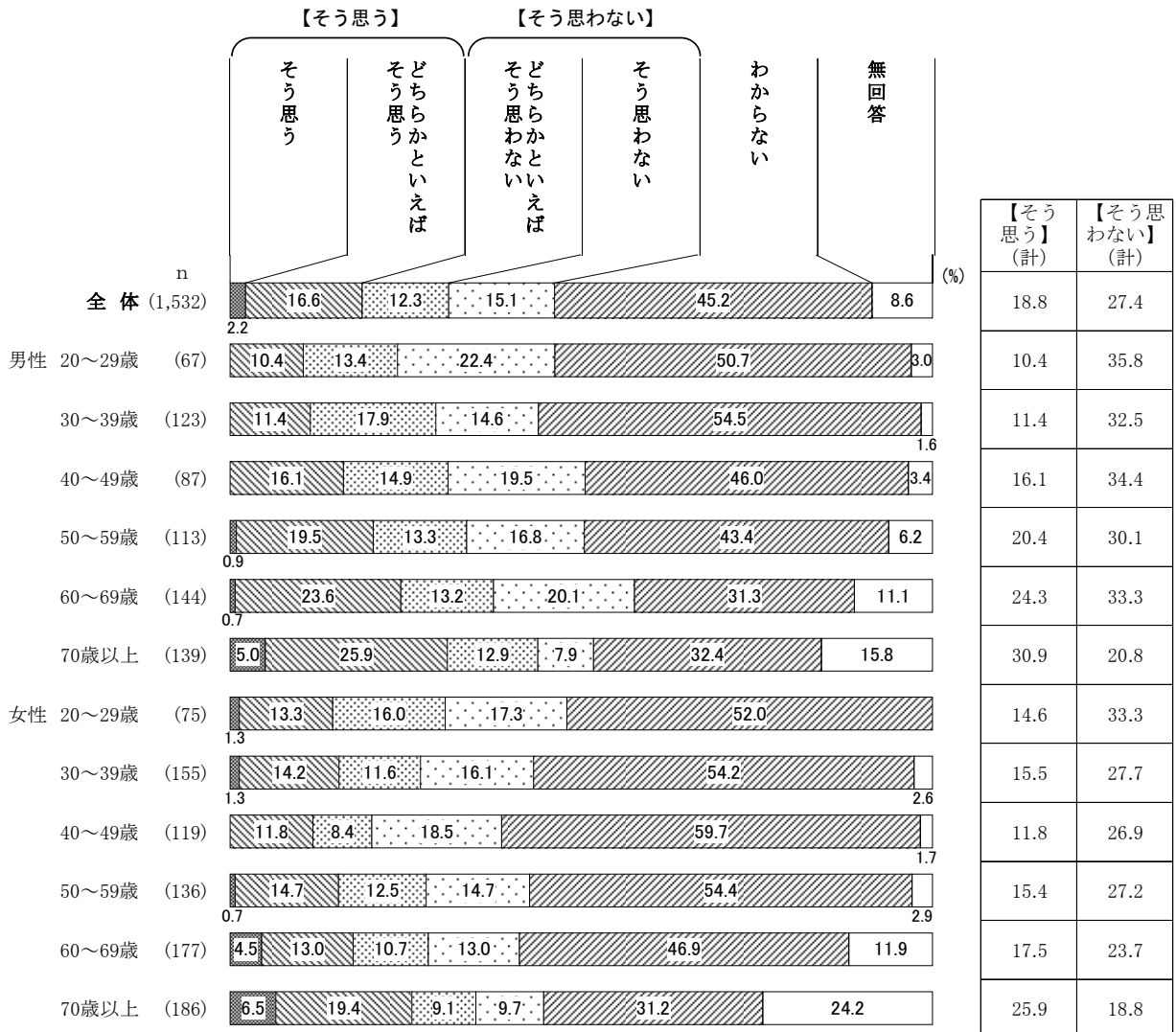
性別でみると、【そう思う】は、男性が20.3%、女性が17.5%となっている。

図4-5-13 性別 区政への区民の意見の反映



性・年代別でみると、男性では、50代以上の各年代で【そう思う】が2割を超え、特に70歳以上では30.9%を占めている。女性では70歳以上で【そう思う】が25.9%と高くなっている。

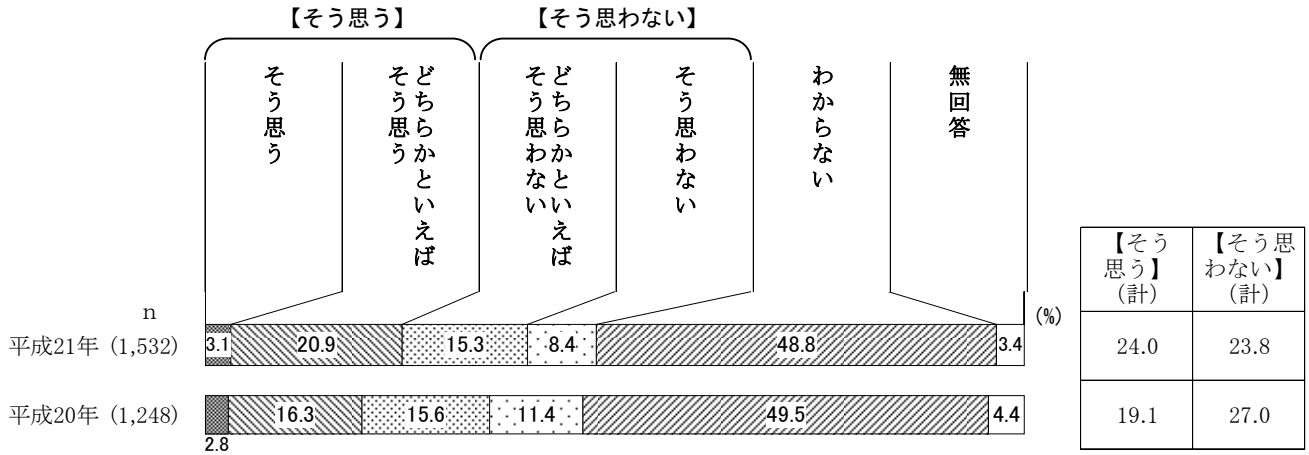
図4-5-14 性・年代別 区政への区民の意見の反映



(6) 区政への区民の意見の反映についての評価

●区政への区民の意見の反映は【そう思う】が24.0%

問26 あなたは、区政に区民の意見が反映されていると思いますか。(○は1つだけ)

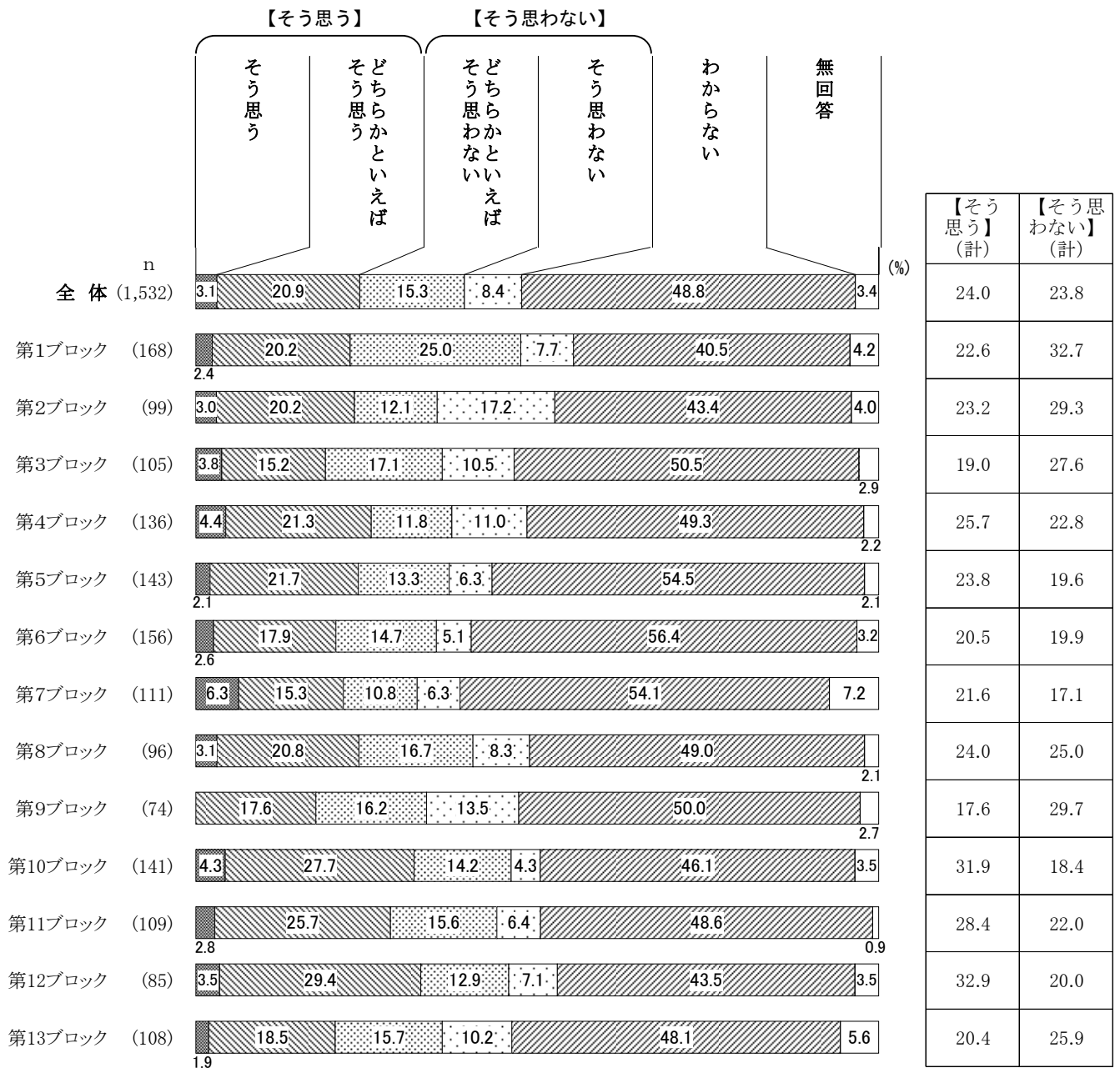


区政に区民の意見が反映されているかについて、「そう思う」が3.1%で、これに「どちらかといえばそう思う」(20.9%)を合わせた【そう思う】は24.0%を占めている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(15.3%)と「そう思わない」(8.4%)を合わせた【そう思わない】は23.8%である。

前回の調査結果と比較すると、【そう思う】は、前回の19.1%から4.9ポイント上昇している。一方、【そう思わない】は、前回の27.0%から3.2ポイント低下している。

地域ブロック別で見ると、第10、第11、第12ブロックでは、【そう思う】が3割前後を占め、他のブロックより高くなっている。一方、第1、第2、第3、第9ブロックでは、【そう思わない】が3割前後と高くなっている。

図4-6-1 地域ブロック別 区政への区民の意見の反映についての評価

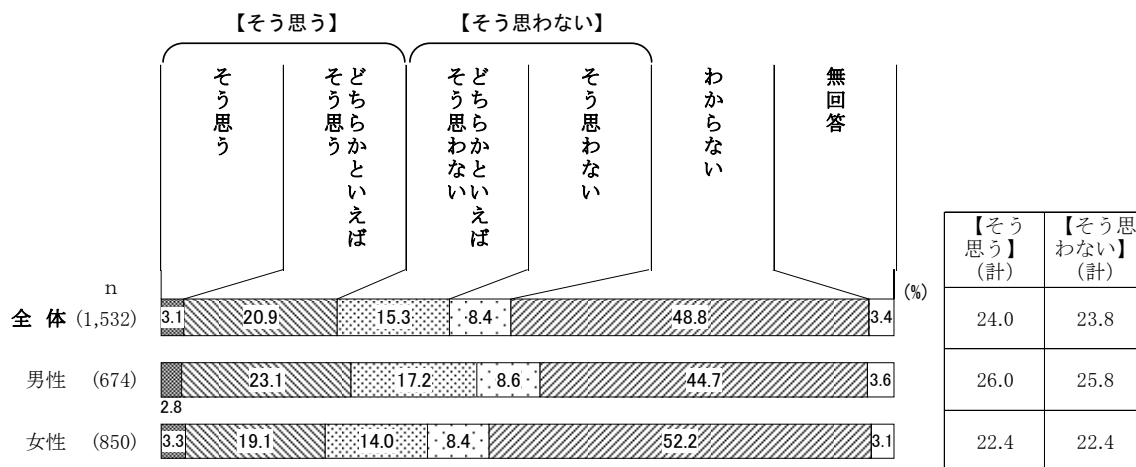


ブロック区分



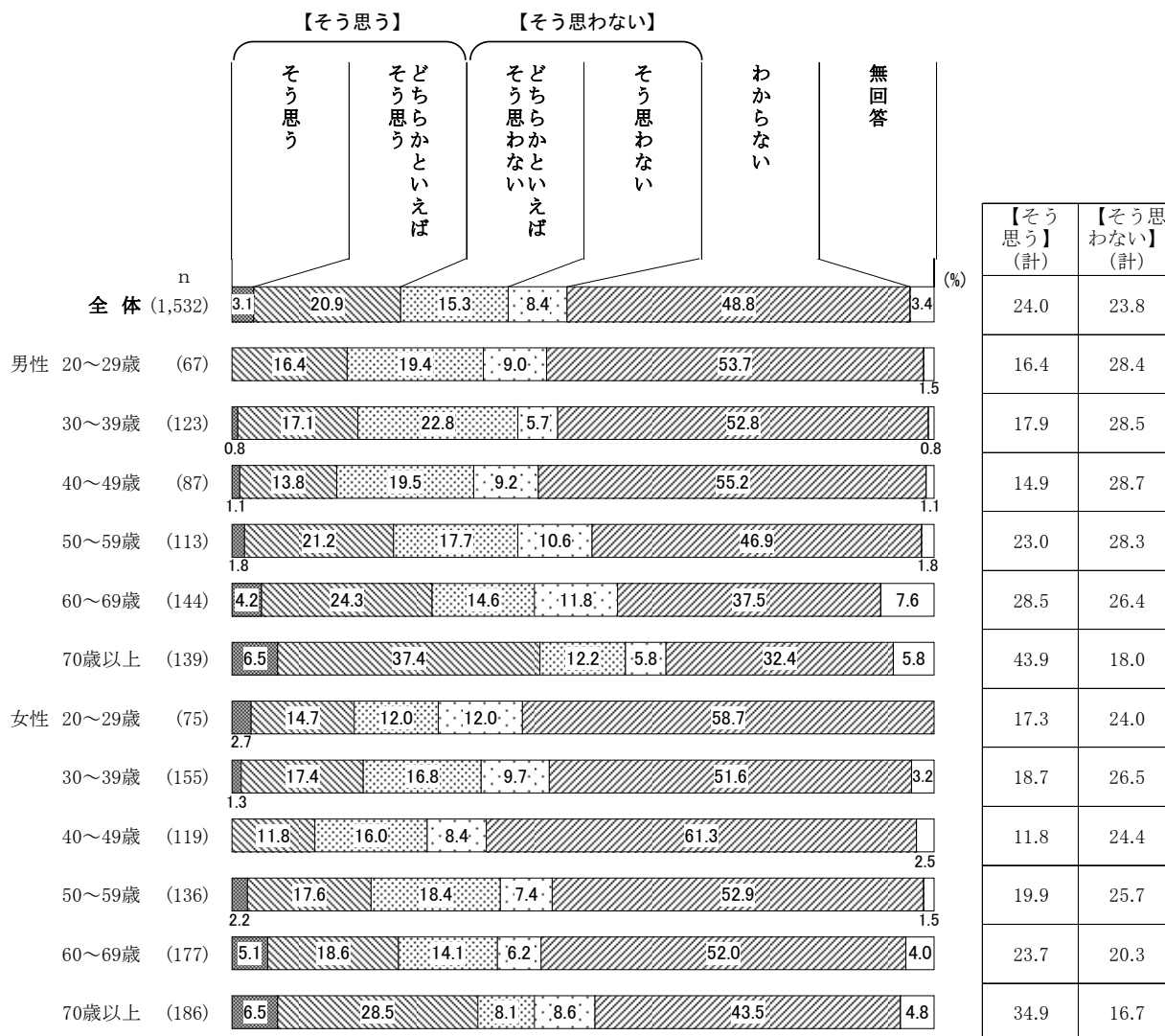
性別でみると、【そう思う】は、男性が26.0%、女性が22.4%となっている。

図4-6-2 性別 区政への区民の意見の反映についての評価



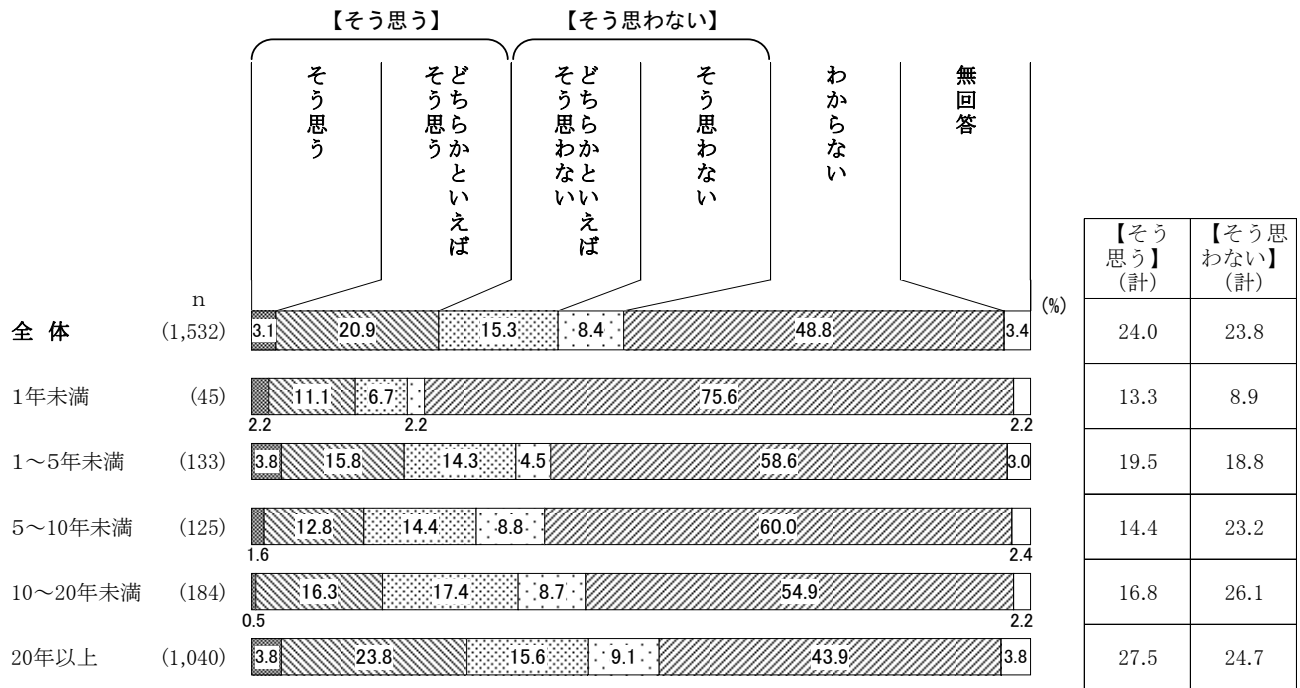
性・年代別でみると、男性では、50代以上で年齢が高くなるほど【そう思う】は高くなり、70歳以上では【そう思う】は43.9%を占めている。女性でも、50代以上で年齢が高くなるにつれて【そう思う】は高くなり、70歳以上では34.9%に達している。

図4-6-3 性・年代別 区政への区民の意見の反映についての評価



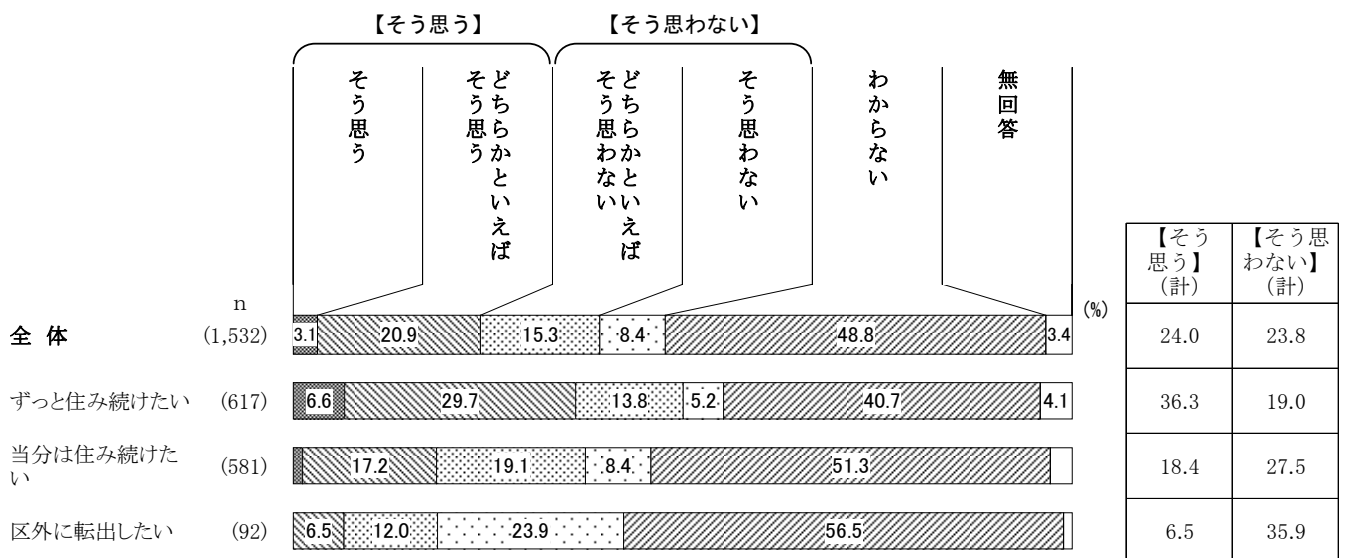
居住年数別でみると、20年以上では、【そう思う】が27.5%と他の層より高くなっている。

図4-6-4 居住年数別 区政への区民の意見の反映についての評価



定住・移転意向別でみると、“ずっと住み続けたい”層では、【そう思う】が36.3%を占めている。一方、“区外に転出したい”層では、【そう思わない】が35.9%を占めている。

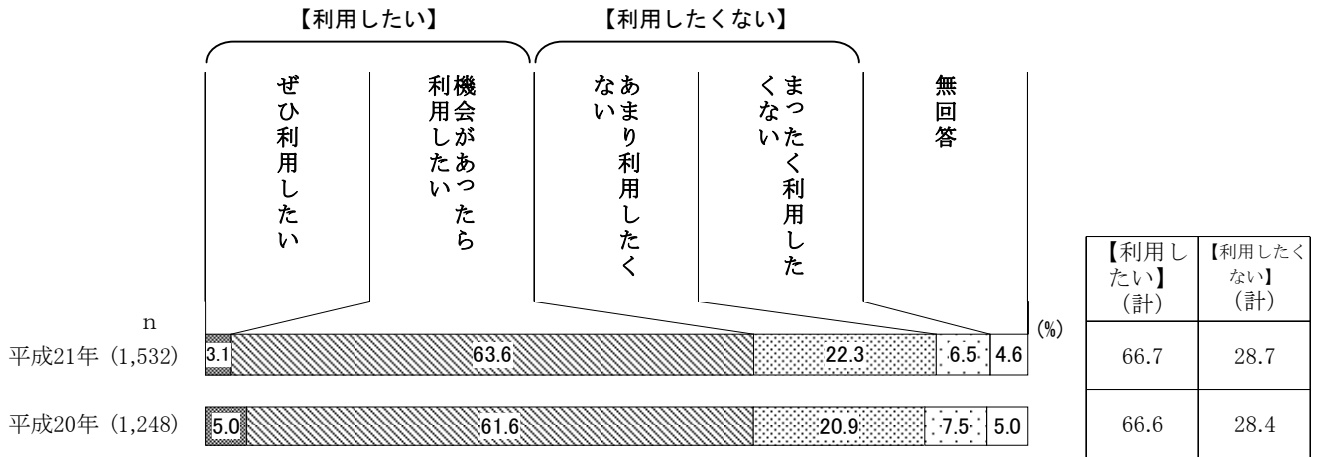
図4-6-5 定住・移転意向別 区政への区民の意見の反映についての評価



(7) 区政へ意見を言うことができる場の利用

●区政へ意見を言うことができる場を【利用したい】が66.7%

問27 足立区には「区民の声」や「パブリックコメント制度」、「区民モニター」など意見を言うことができる場がありますが、利用しようと思いませんか。(○は1つだけ)

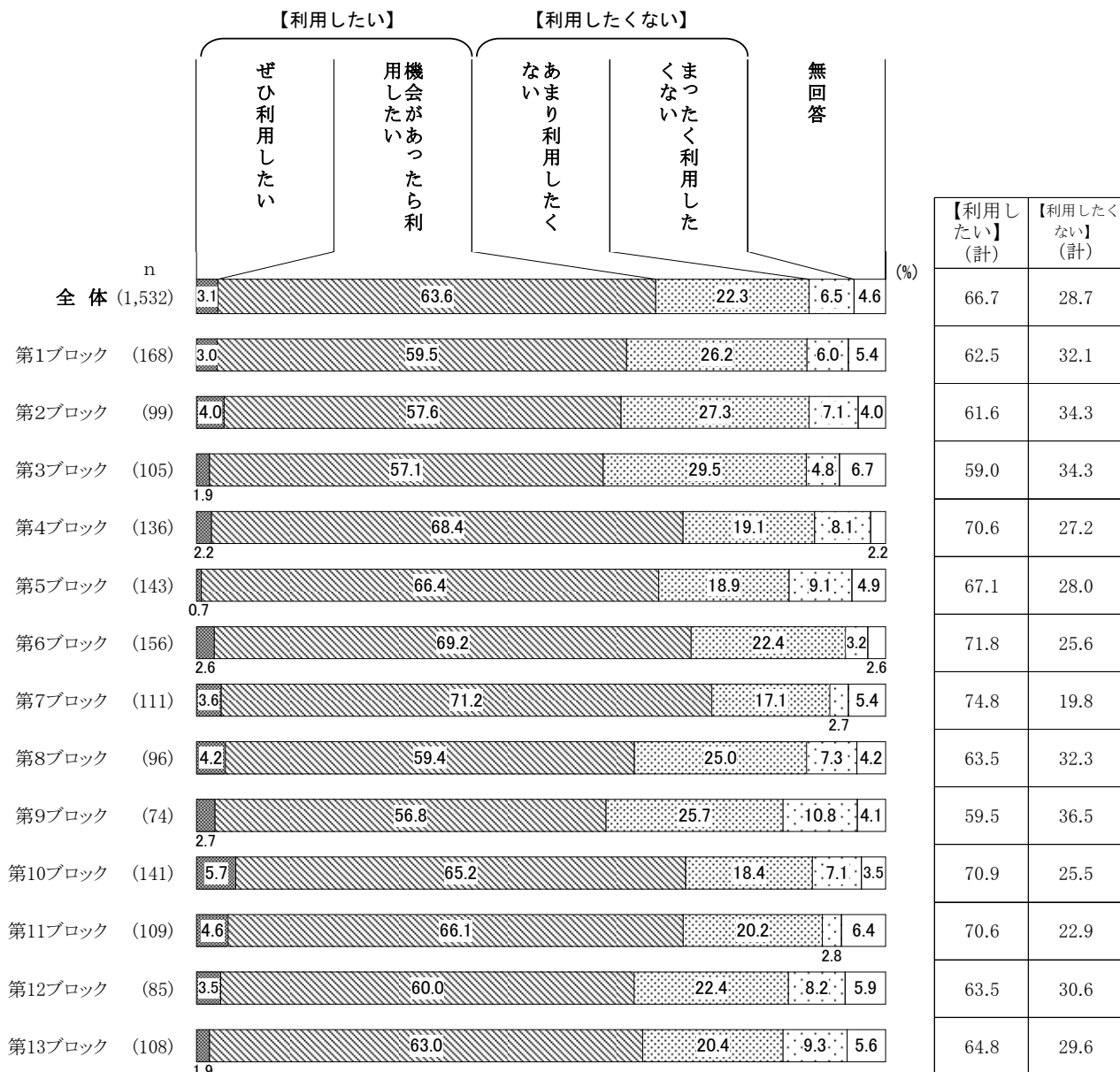


区政への意見を言うことのできる場の利用意向をみると、「ぜひ利用したい」は3.1%で、これに「機会があったら利用したい」(63.6%)を合わせた【利用したい】は66.7%を占めている。一方、「あまり利用したくない」(22.3%)と「まったく利用したくない」(6.5%)を合わせた【利用したくない】は28.7%となっている。

前回の調査結果と比較すると、【利用したい】は前回の66.6%からほとんど変化がない。

地域ブロック別でみると、第4、第5、第6、第7、第10、第11ブロックでは、【利用したい】が7割前後を占め、他のブロックより高くなっている。一方、第2、第3、第9ブロックでは、【利用したくない】が3割台半ばを示している。

図4-7-1 地域ブロック別 区政へ意見を言うことができる場の利用

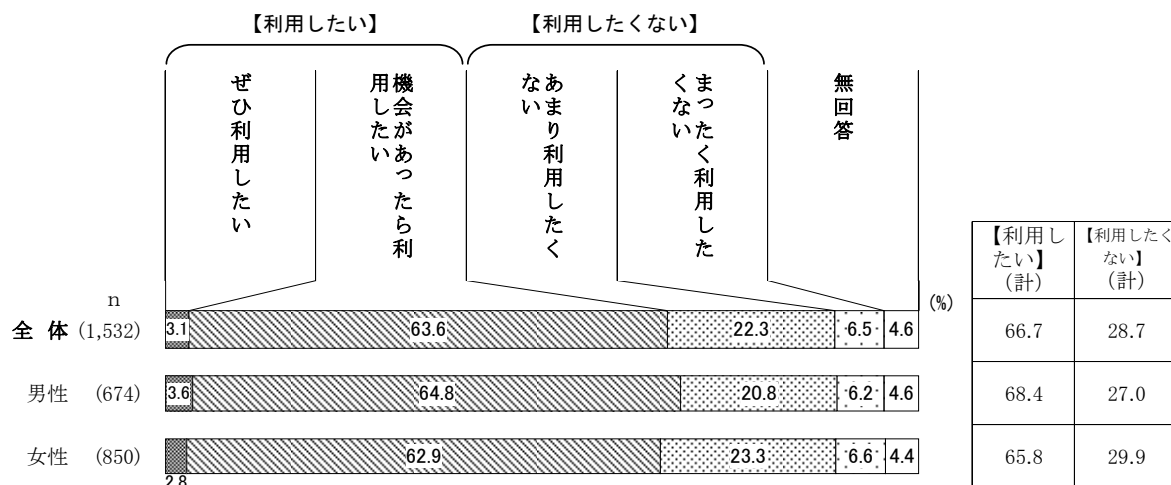


ブロック区分



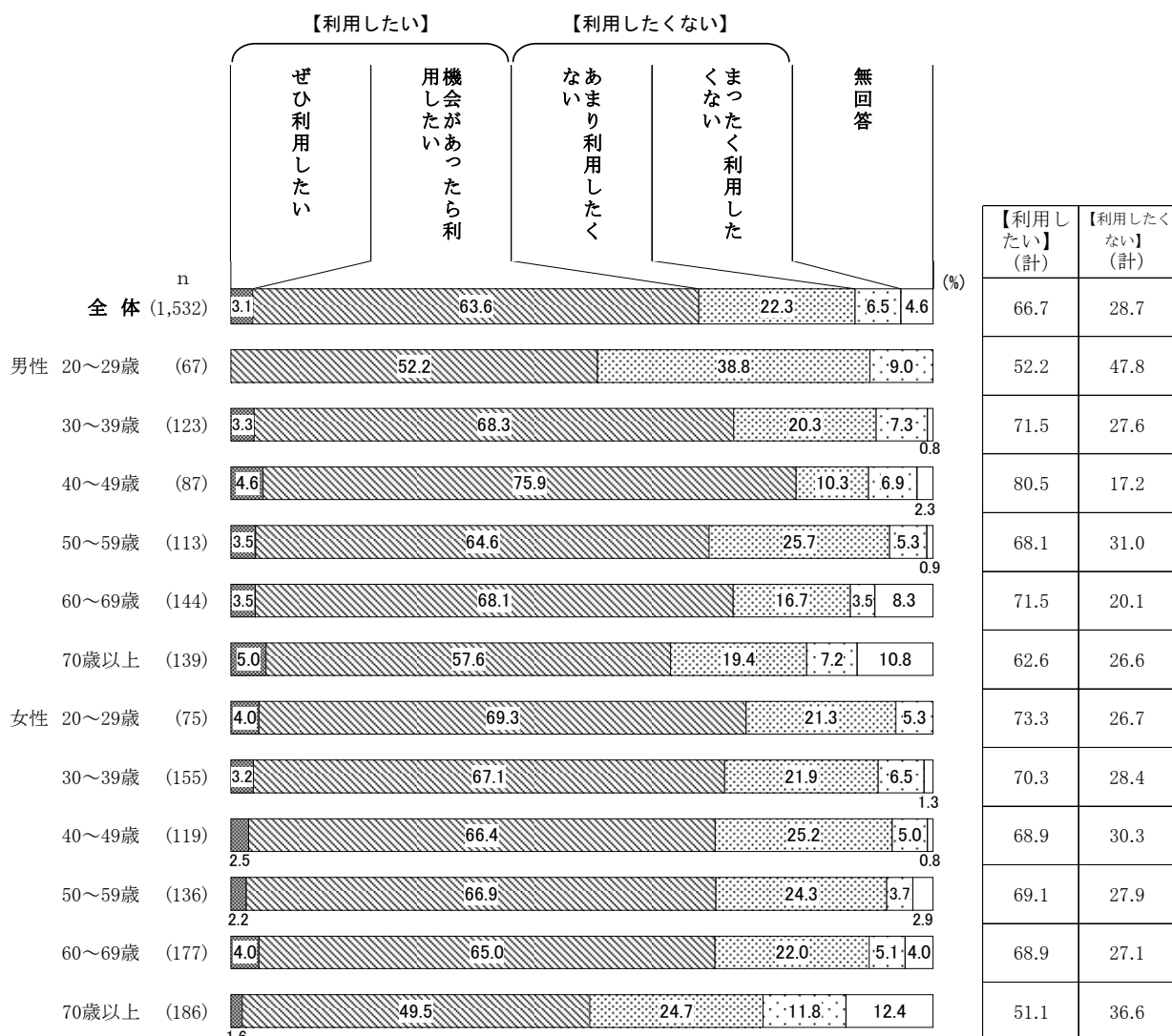
性別でみると、【利用したい】は、男性が68.4%、女性が65.8%となっている。

図4-7-2 性別 区政へ意見を言うことができる場の利用



性・年代別でみると、男性では、40代で【利用したい】が80.5%と最も高くなっている。女性では、20代から60代まで【利用したい】が7割前後を占めている。

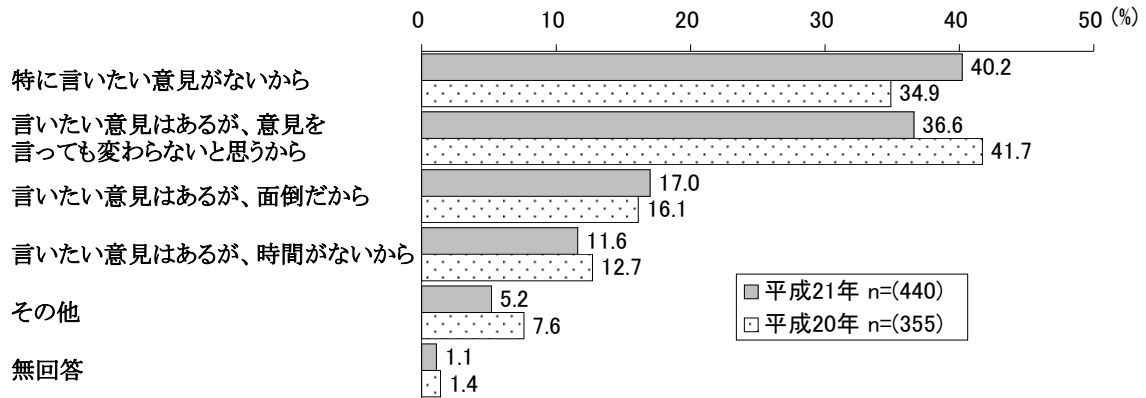
図4-7-3 性・年代別 区政へ意見を言うことができる場の利用



(8) 区政へ意見を言うことができる場を利用しようと思わない理由

●理由は「特に言いたい意見がないから」が約4割

(問27で「3. あまり利用したくない」「4. まったく利用したくない」とお答えの方に)
問27-1 利用しようと思わない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

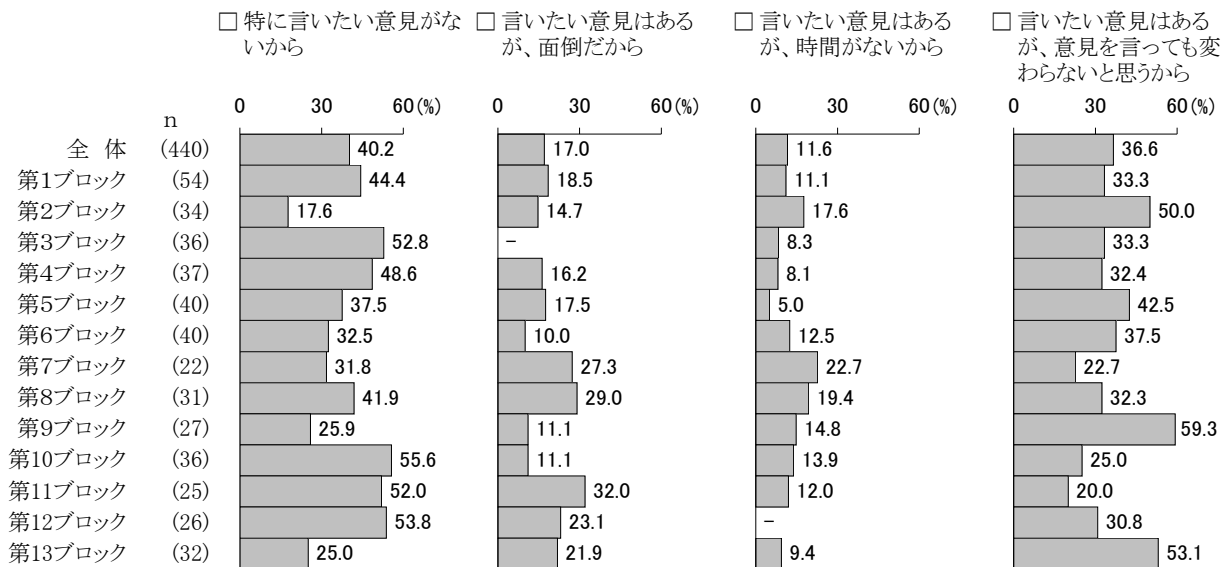


意見を言うことのできる場の利用意向のない人に、その理由をきいたところ、「特に言いたい意見がないから」が40.2%で最も高く、以下、「言いたい意見はあるが、意見を言っても変わらないと思うから」が36.6%で次いでいる。

前回の調査結果と比較すると、今回、「特に言いたい意見がないから」が、前回の34.9%から5.3ポイント上昇し、「言いたい意見はあるが、意見を言っても変わらないと思うから」が、前回の41.7%から5.1ポイント低下している。

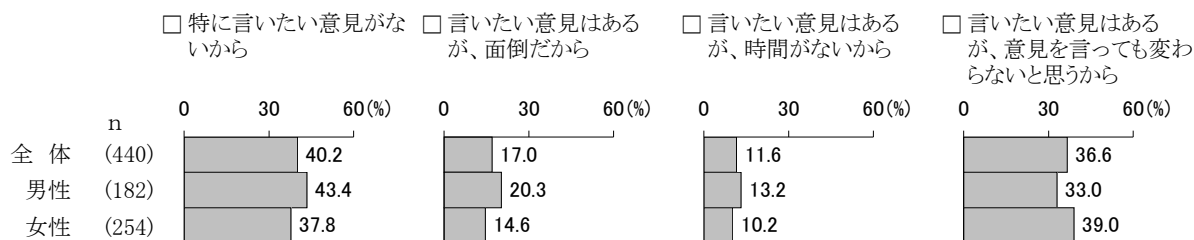
地域ブロック別で見ると、第3、第10、第11、第12ブロックでは、「特に言いたい意見がないから」が5割を超えている。また、第9ブロックでは、「言いたい意見はあるが、意見を言っても変わらないと思うから」が59.3%と6割近くを占めているほか、第2、第13ブロックでも5割台となっている。

図4-8-1 地域ブロック別 区政へ意見を言うことができる場を利用しようと思わない理由



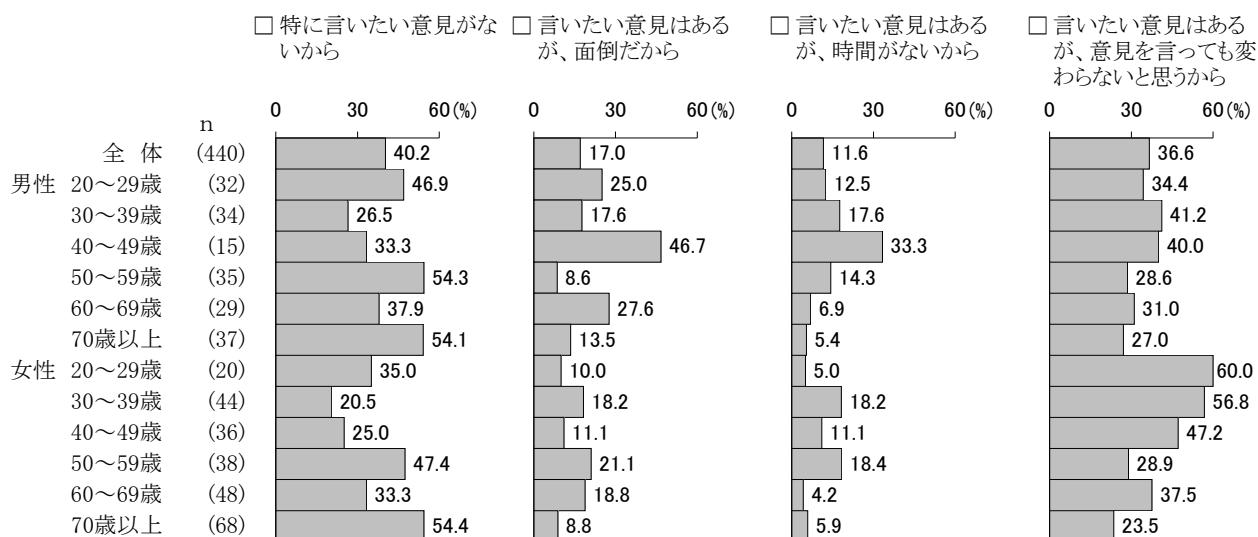
性別でみると、男性では、「特に言いたい意見がないから」が43.4%と女性（37.8%）より高くなっている。一方、女性では、「言いたい意見はあるが、意見を言っても変わらないと思うから」が39.0%と、男性（33.0%）を上回っている。

図4-8-2 性別 区政へ意見を言うことができる場を利用しようと思わない理由



性・年代別でみると、男性では、50代、70歳以上で「特に言いたい意見がないから」が、それぞれ54.3%、54.1%と他の年代より高くなっている。女性でも、50代、70歳以上で「特に言いたい意見がないから」が、それぞれ47.4%、54.4%と他の年代より高くなっている。また、20代、30代では、「言いたい意見はあるが、意見を言っても変わらないと思うから」が、それぞれ60.0%、56.8%と高くなっているほか、40代でも47.2%と5割近くを占めている。

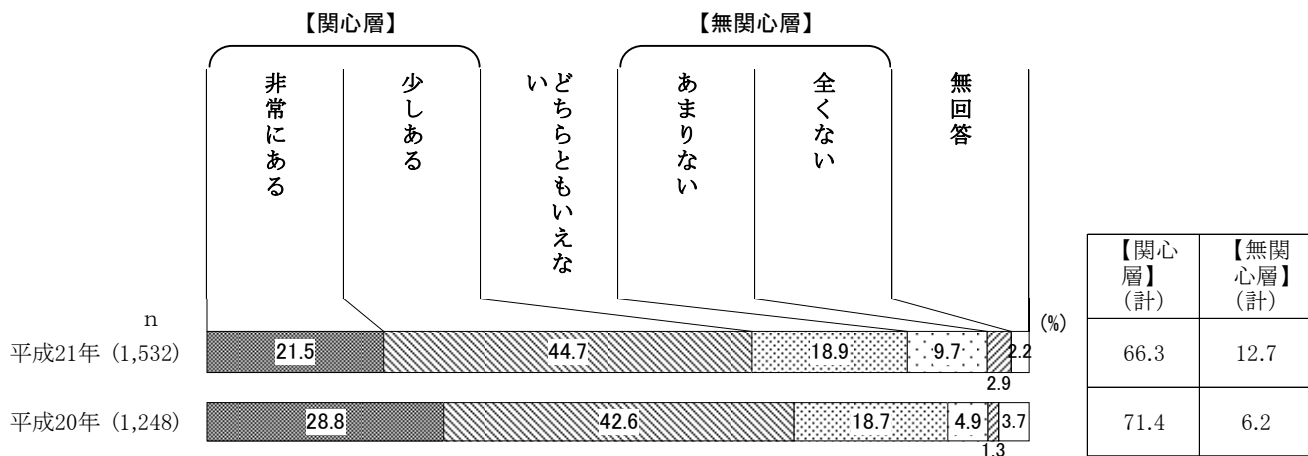
図4-8-3 性・年代別 区政へ意見を言うことができる場を利用しようと思わない理由



(9) 人権についての関心

●「人権への関心がある」は66.3%

問28 あなたは、人権について関心がありますか。(○は1つだけ)

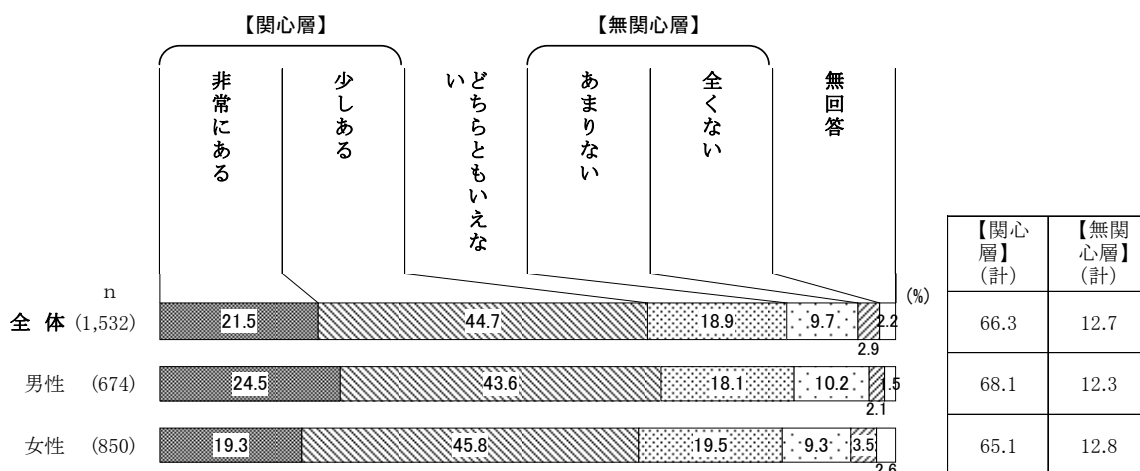


人権について関心が、「非常にある」は21.5%で、これに「少しある」(44.7%)を合わせた【関心層】は66.3%を占めている。また、「どちらともいえない」は18.9%である。一方、「あまりない」(9.7%)と「全くない」(2.9%)を合わせた【無関心層】は12.7%である。

前回の調査結果と比較すると、「関心がある」は今回、前回の71.4%から5.1ポイント低下している。

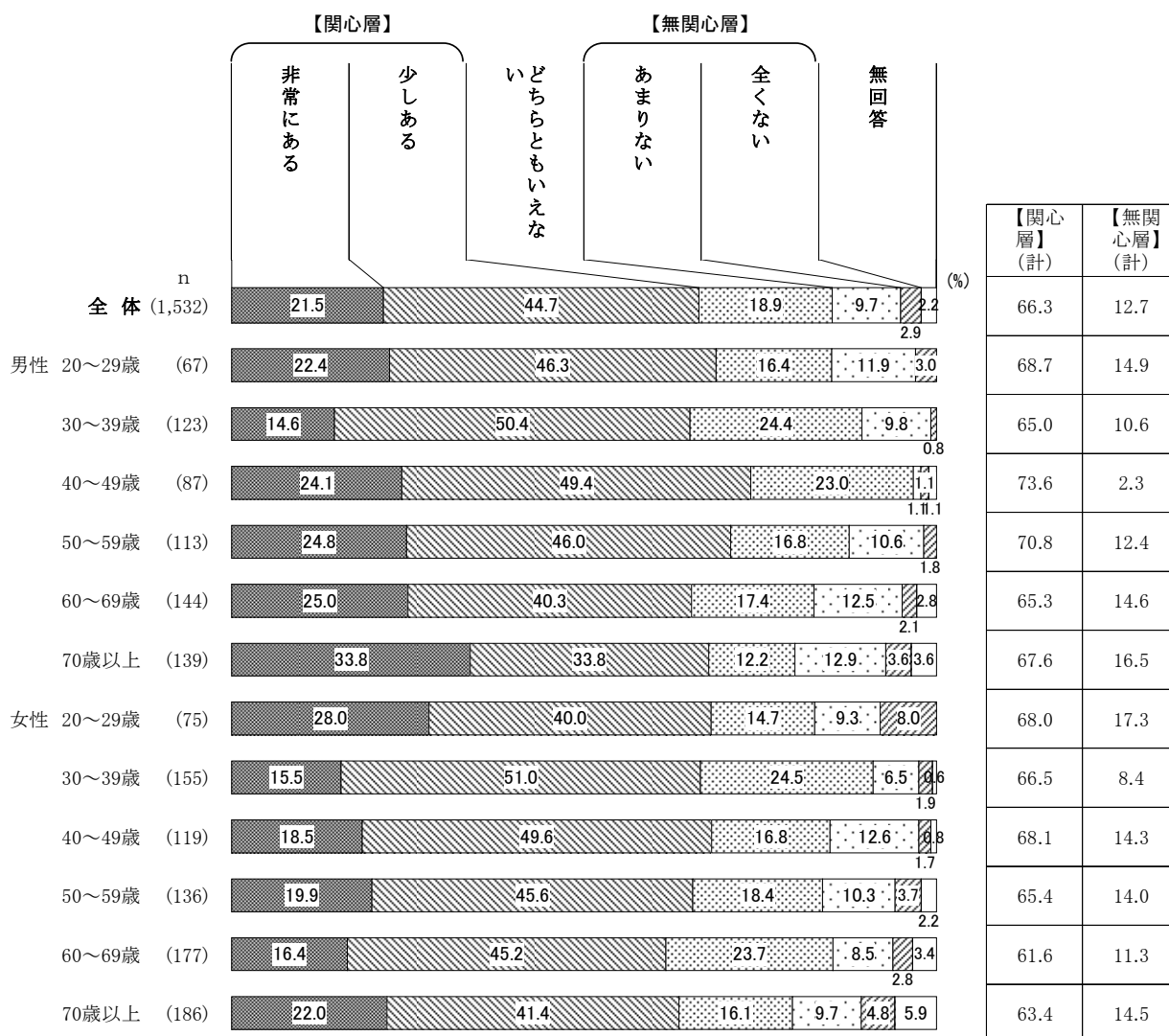
性別でみると、【関心層】は、男性が68.1%、女性が65.1%となっている。

図4-9-1 性別 人権についての関心



性・年代別でみると、男性では、いずれの年代でも【関心層】が6割を超え、特に40代で73.6%と高くなっている。女性では、20代から50代で【関心層】が7割近くを占めている。

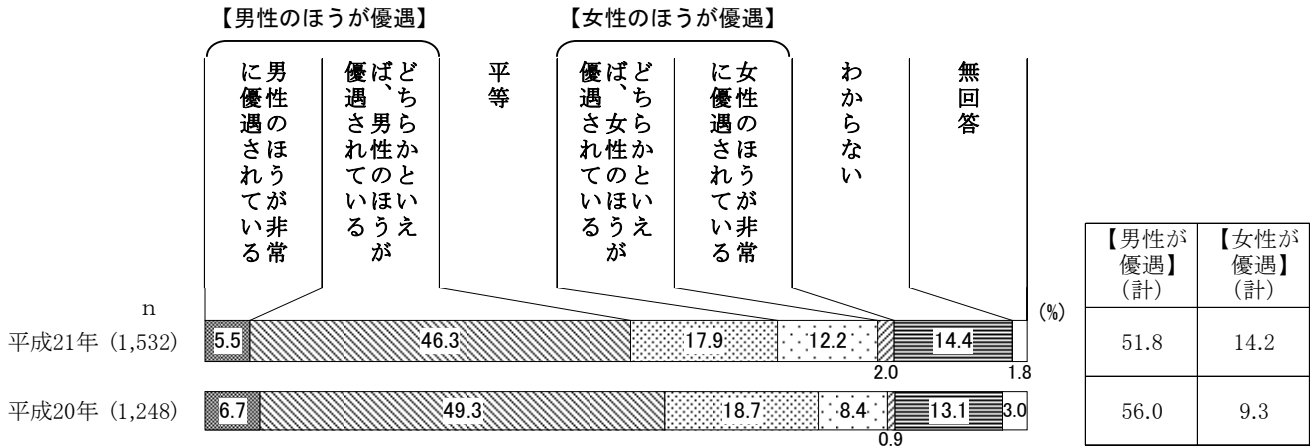
図4-9-2 性・年代別 人権についての関心



(10) 男女の地位の平等観

●【男性のほうが優遇】が51.8%を占める

問29 あなたは、社会全体において、男女の地位が平等だと感じますか。(○は1つだけ)

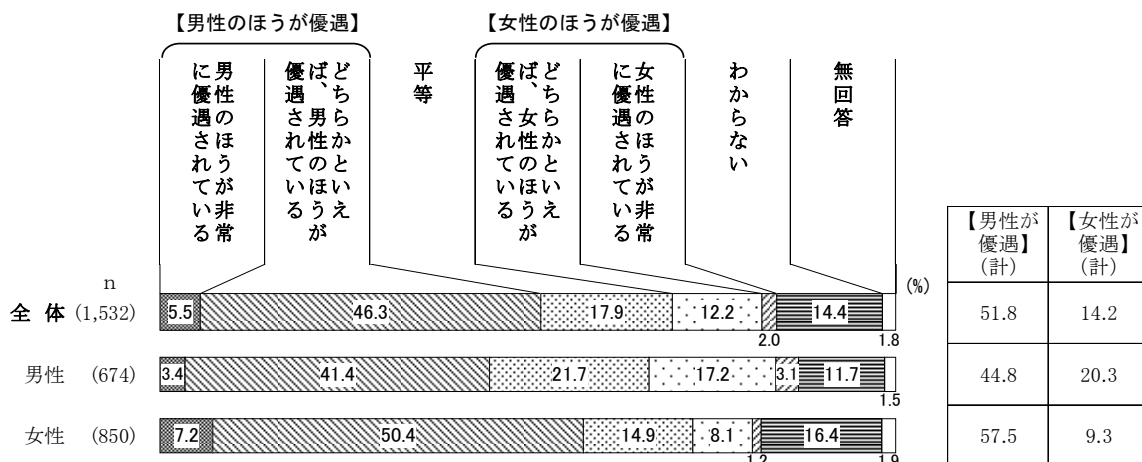


社会全体における男女の地位の平等観をみると、「男性のほうが非常に優遇されている」が5.5%で、これに「どちらかといえば、男性のほうが優遇されている」(46.3%)を合わせた【男性のほうが優遇】は51.8%を占めている。一方、「どちらかといえば、女性のほうが優遇されている」(12.2%)と「女性のほうが非常に優遇されている」(2.0%)を合わせた【女性のほうが優遇】は14.2%である。

前回の調査結果と比較すると、今回、【男性のほうが優遇】は、前回の56.0%から4.2ポイント低下し、反対に【女性のほうが優遇】は、前回の9.3%から4.9ポイント上昇している。

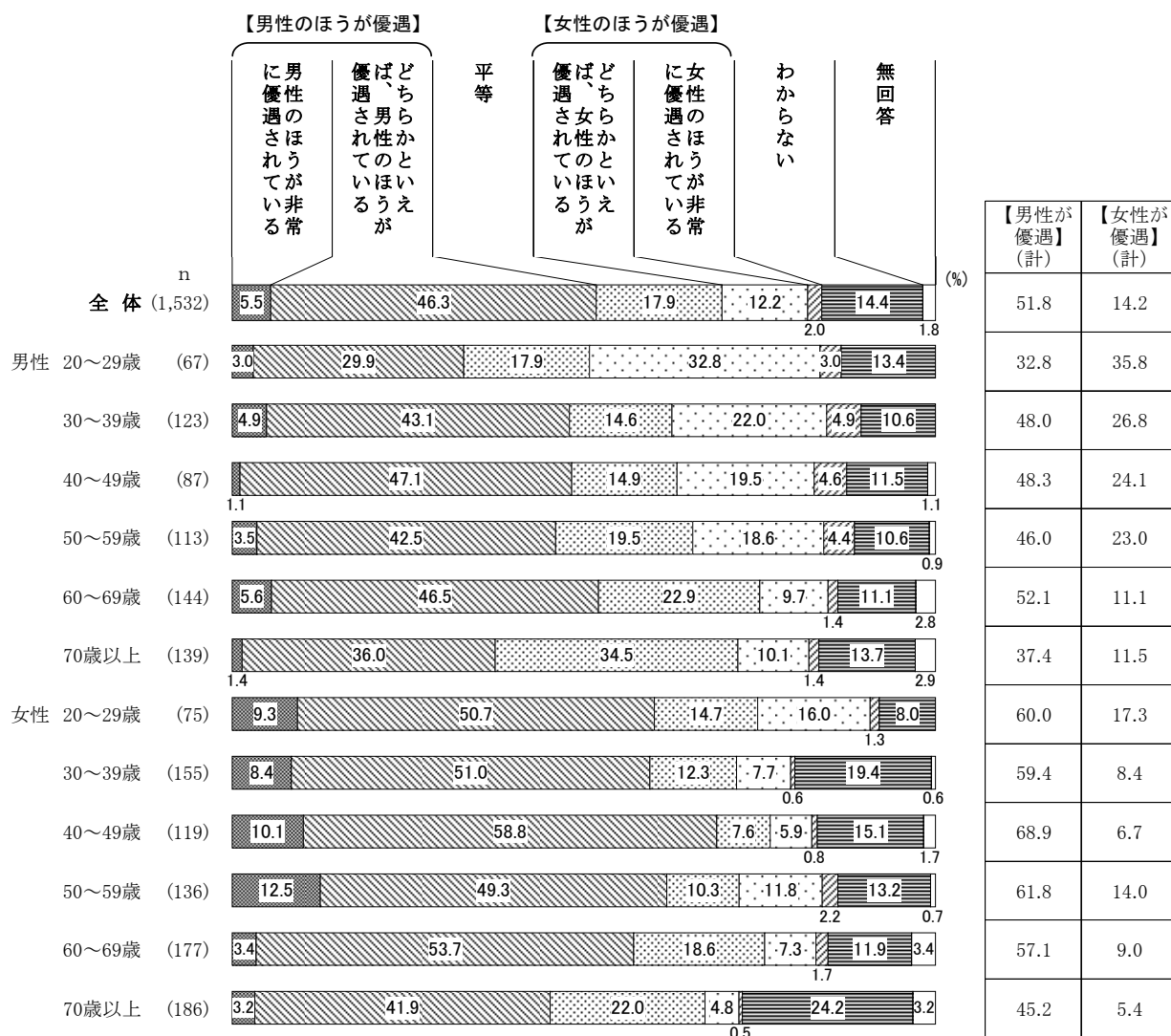
性別でみると、女性では、【男性優遇】が57.5%と男性（44.8%）より高くなっている。

図 4-10-1 性別 男女の地位の平等観



性・年代別でみると、男性では、60代で【男性優遇】が52.1%と高くなっている。一方、20代では【女性優遇】との評価が35.8%と、【男性優遇】との評価（32.8%）を僅かながら上回っており、同年代の女性との認識の開きが顕著である。女性では、40代で【男性優遇】が68.9%と7割近くを占めているほか、20代、30代、50代、60代でも6割前後を示している。

図 4-10-2 性・年代別 男女の地位の平等観



職業別でみると、事務職、役員・管理職では、【男性優遇】が、それぞれ67.6%、64.2%と、他の職業より高くなっている。

図4-10-3 職業別 男女の地位の平等観

